トヨタ純正

SDナビゲーション

型番 DSZT-YC4T

取扱書

本機の操作
ナビゲーション
オーディオ&ビジュアル
音声操作システム
情報
周辺監視
ETC/ITSスポットサービス(DSRC)
ハンズフリー
T-Connect
ご参考に



お買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、
記載された内容にしたがって正しくお使いください。
本書は紛失しないように車の中に保管してください。
製品同梱の地図SDは本機のみでご使用ください。

トヨタ自動車株式会社

このたびはナビゲーションシステムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ナビゲーションシステムをお使いいただく前に、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

本書について

- 本書は、ナビゲーションシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱書とあわせてお読みください。
- お買い上げの販売店で取りつけられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。

- お車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。
- ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。
- 本書の画面と実際の画面は、地図データの作成時期等によって異なることがあります。

	はじめに	· 知っておいていただきたいこと ..... 2 · 目次から検索する 6	2
1	本機の操作	· スイッチなどの基本的な使い方 ..... 14 · 自宅を登録する ..... 40 · Bluetooth 携帯電話を本機に登録する 47	12
2	ナビゲーション	· 最寄のコンビニなどを探す ..... 83 · 目的地を設定する ..... 107 · 渋滞情報を確認する（VICS） 183	60
3	オーディオ& ビジュアル	· DVD を楽しむ ..... 234 · SD メモリーカードの音楽や動画を楽しむ ..... 256 · iPod の音楽や動画を楽しむ 319	211
4	音声操作システム	· 基本的な使い方 ..... 362 · 目的地を設定する ..... 365 · オーディオを操作する 372	359
5	情報	· 燃費画面を表示する ..... 382 · JAF などの電話番号を表示する 384	381
6	周辺監視	· バックガイドモニターの使い方 ..... 392 · マルチビューバックガイドモニターの使い方 419	390
7	ETC システム／ ITS スポットサービス (DSRC)	· ETC の基本的な使い方 ..... 434 · ITS スポットサービスについて ..... 444 · インターネット接続サービスを使う 445	433
8	ハンズフリー	· Bluetooth 携帯電話の接続 ..... 462 · 電話をかける / 受ける ..... 466 · 携帯電話の電話帳データを転送する 481	454
9	T-Connect	· 利用手続きのしかた ..... 511 · 緊急通報サービス（ヘルプネット） ..... 525 · 最新の地図に更新する（マップオンデマンド） 548	499
	ご参考に	· 参考情報 ..... 604 · さくいん 613	603

知っておいていただきたいこと

- 1 章の「本機の操作」には、各機能共通の操作内容、およびはじめに設定しておくと便利なことがまとめられています。本機を初めてお使いになる際は、この章からお読みになることをおすすめします。

ナビゲーションについて

ナビゲーションは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

他のお車に付け替える場合

本機を別のお車に付け替える場合、必ず販売店で設定等を確認してください。

データの補償に関する免責事項について

本機は各種データを SD メモリーカードに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合等により、SD メモリーカードに保存されたデータ等が変化・消失することがあります。
お客様が SD メモリーカードに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

製品同梱の地図 SD について

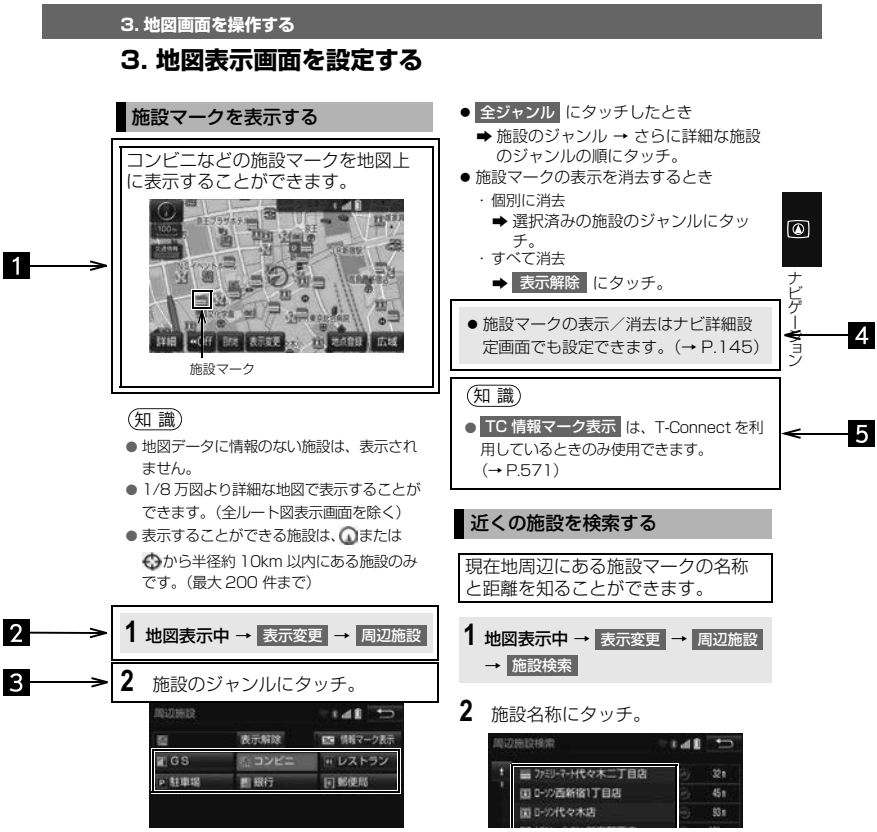
製品同梱の地図 SD は本機のみでご使用ください。
他ナビゲーションの地図 SD を本機に挿入すると、正常に動作しなかったり、一部機能が制限される場合があります。

補機バッテリーの取りはずしについて

本機はパワースイッチを OFF にするごとに、各種データを本機に保存しています。各種データの保存が終わる前に補機バッテリーターミナルを取りはずすと、データが正常に保存できないことがあります。詳しくは、トヨタ販売店にお問い合わせください。

本書の文章構成について

本書の見方



番号	項目	内容
1	**概要説明**	操作や機能の概要を説明しています。
2	**画面表示操作**	主要操作をする画面までの操作を記載しています。
3	**主要操作**	操作の手順を説明しています。
4	**関連操作**	主要操作の補足的な操作、応用操作を記載しています。
5	**知識**	知っておくと便利な情報を記載しています。

本書での表示について

表示	内容
現在地 MENU AUDIO	本体のスイッチを表しています。
○○○	画面のスイッチ名称を表しています。 （ 広域 ・ 詳細 など）
┘○○○└	画面のタブ名称を表しています。 （ ┘ナビ└ ・ ┘オーディオ└ など）

知 識

- 1つ前の画面に戻すときは、 ↩ にタッチします。選択した画面で操作が完了していない場合は、操作がキャンセルされます。

警告、注意について

⚠ 警告

● ここに記載されていることをお守りいただかないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。お客様自身と周囲の人々への危険を避けたり減少させたりするため必ずお読みください。

⚠ 注意

● ここに記載されていることをお守りいただかないと、傷害につながるおそれがあります。
お客様自身と周囲の人々への危険を避けたり減少させたりするため必ずお読みください。

注意

● ここに記載されていることをお守りいただかないと、お車や装備品の故障や破損につながるおそれや、正しい性能を確保できない場合があります。

イラスト内の表示について



セーフティーシンボル
“してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味を表しています。

その他の表示について

→ P.000	参照するページを表しています。
☆	オプションです。

1 本機の操作

1. 本機 14
各部の名称とおもな働き 14
電源を入れる・切る 17
地図SDの出し入れ 18
スライドタッチ操作について 21
メニュー画面について 23
ショートカット+
コントロール画面 24
2. QUICK SETUP
（初期設定サポート） 27
QUICK SETUPで設定する 27
3. セキュリティ 31
セキュリティを設定する 31
4. 文字入力のしかた 33
文字を入力する 33
文字入力の設定を変更する 35
5. リスト画面 37
複数の候補から項目を選ぶ 37
6. はじめに設定しておくこと 40
初期設定をする 40
メンテナンス時期を案内する 42
Bluetooth機器を初期登録する 47
7. 画面の調整・設定 49
画面の調整・設定を変更する 49
8. 本機の設定 52
本機の設定を変更する 52
スタートアップ画像の設定 56
9. 知っておいて
いただきたいこと 58
故障とお考えになる前に 58

2 ナビゲーション

1. ナビをお使いになる前に 64
はじめに 64
2. ナビを使ってみましょう 65
ナビゲーション画面の
見方について 65
地図画面を操作してみましょう 67
ルート案内をさせてみましょう 69
目的地案内中の現在地画面の
見方について 71
3. 地図画面を操作する 72
地図の表示 72
画面を分割表示する 81
地図表示画面を設定する 83
高速道路・都市高速道路の表示 88
地図を呼び出す 91
検索した地図を操作する 104
4. 目的地までの案内 107
目的地を設定してルートを
探索する 107
目的地案内の開始 114
目的地への案内について 115
ルート案内中の操作 122
ルートを再探索する 124
ルートを変更する 127
5. 地点の登録 134
メモリ地点を登録する 134
メモリ地点を取り込み・
取り出しする 143
6. ナビを使いこなす 146
自車位置マークが
ずれているとき 146
ナビの詳細を設定する 148
安全・快適走行の設定をする 161
エコ機能 166
GPSについて 173
知っておいていただきたいこと 174

7. 地図データ情報 180
地図について 180
8. VICS・交通情報を使う 183
VICS・交通情報の表示について 183
VICS・交通情報を活用する 187
VICS 放送局を選択する 194
VICS について 195
9. スマートフォンナビ連携 203
スマートフォン
ナビ連携について 203

3 オーディオ & ビジュアル

1. はじめに 214
知っておいていただきたいこと 214
基本操作をする 218
2. ラジオを聞く 230
ラジオを操作する 230
3. DVDプレーヤーの操作 234
はじめに 234
ディスクの出し入れ 235
音楽再生中の操作 237
映像再生中の操作 241
知っておいていただきたいこと 251
4. Audio SDの操作 256
お使いになる前に 256
Audio SDの出し入れ 258
Audio SDに録音する 260
音楽ファイル再生中の操作 265
動画ファイル再生中の操作 269
本機で録音したデータを
編集する 274
Audio SDの初期化について 282
5. デジタルテレビを見る 283
地上デジタルテレビの
操作について 283
テレビの操作 289
TVメニュー画面について 294
各種切替画面について 301
知っておいていただきたいこと 303
6. VTRの操作 304
VTRの操作 304
7. HDMIの操作 307
HDMIの操作 307
8. USBメモリの操作 310
はじめに 310
音楽ファイル再生中の操作 312
動画ファイル再生中の操作 315

9. iPodの操作.....319
はじめに.....319
音楽ファイル再生中の操作.....321
動画ファイルを再生する.....324
iPodの設定をする.....328
10. Bluetoothオーディオの操作.....329
はじめに.....329
Bluetoothオーディオ再生中の操作.....332
Bluetoothオーディオを設定する.....335
11. ステアリングスイッチの操作.....341
ステアリングスイッチで操作する.....341
12. SD Photoの操作.....343
SD Photoを操作する.....343
13. オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて.....345
オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて.....345
14. 知っておいていただきたいこと.....354
故障とお考えになる前に.....354

4 音声操作システム

1. 音声操作システムを使う前に.....360
はじめに.....360
各部の名称.....361
2. 基本操作について.....362
基本操作を覚える.....362
3. 代表的な音声操作.....365
音声操作の使用例.....365
4. 音声認識コマンド一覧.....376
音声認識コマンド一覧.....376
5. 知っておいていただきたいこと.....379
故障とお考えになる前に.....379

5 情報

1. 情報について.....382
情報画面について.....382
交通ナビ関連情報について.....384
ソフトウェア更新について.....385

6 周辺監視

1. バックガイドモニター 392
バックガイドモニターについて 392
ガイド画面の出し方 393
ガイド方法の選び方 394
並列駐車のしかた（進路表示モード） 396
並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード） 399
縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード） 401
縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード） 409
バックガイドモニターの設定 411
バックガイドモニターについての注意点 412
知っておいていただきたいこと 418
2. マルチビューバックガイドモニター 419
マルチビューバックガイドモニターとは 419
カメラの視点切替方法 420
マルチビューバックガイドモニターについての注意点 422
3. ブラインドコーナーモニター 426
ブラインドコーナーモニターとは 426
操作のしかた 427
ブラインドコーナーモニターについての注意点 428

7 ETCシステム／ITSスポットサービス（DSRC）

1. ETCシステム 434
ETCシステムについて 434
ETC 画面の操作 438
エラーコードについて 441
知っておいていただきたいこと 443
2. ITSスポットサービス（DSRC） 444
ITSスポット 対応DSRCユニット（ETC・VICS機能付）について 444
インターネット接続サービスについて 445
フルブラウザ 448

8 ハンズフリー

1. お使いになる前に 456
ハンズフリーについて 456
Bluetooth機器使用上の注意事項について 461
2. ハンズフリーの基本操作 462
ハンズフリーの準備をする 462
電話をかける／受ける 466
3. ハンズフリーの便利な使い方 468
色々な方法で電話をかける 468
着信中画面の操作 473
通話中の操作 474
簡易画面について 477
4. ハンズフリーの設定を変更する 478
設定・編集画面を表示する 478
音量の設定をする 479
電話帳を編集する 480
ハンズフリーの詳細設定を変更する 488
Bluetooth設定をする 489
5. ステアリングスイッチの操作 494
ステアリングスイッチで操作する 494
6. こんなときは 495
故障とお考えになる前に 495

9 T-Connect

1. はじめに 502
ご利用の前に知っておいていただきたいこと 502
T-Connectについて 508
2. 各種手続きをする 511
利用手続きをする 511
3. T-Connectトップ画面 517
T-Connectトップ画面について 517
4. 地点情報を登録する（Gメモリ） 519
Gメモリ 519
5. 情報画面の使い方 520
T-Connect Viewer 520
TC情報マーク 523
6. T-Connectをスマートフォンや携帯電話・パソコンで利用する 524
T-Connectをスマートフォンや携帯電話・パソコンで利用する 524
7. サービスの使い方 525
ヘルプネット 525
マイカー Security 541
リモートメンテナンスサービス 547
マップオンデマンド（地図差分更新） 548
Tルート探索（プローブ情報付） 559
オペレーターサービス 561
渋滞予測 564
WEB検索 567
エージェント 568
T-Connect Apps 576
CDタイトル情報取得 581

8. 各種登録・設定 582
オンライン詳細設定 582
プライバシー設定 584
通信設定 588
Wi-Fi® 設定 592
9. 知っておいていただきたいこと 597
こんなメッセージが表示されたときは 597
故障とお考えになる前に 600

ご参考に

1. 参考情報 604
アフターサービスについて 604
補機バッテリーの交換について 605
お手入れについて 607
VICS 情報有料放送サービス契約約款 608
仕様について 610
2 さくいん 613
50音さくいん 613
アルファベットさくいん 620

1

本機の操作

1 本機

1. 各部の名称とおもな働き.....14

2. 電源を入れる・切る 17

3. 地図SDの出し入れ 18
   - 地図 SD を入れる 18
   - 地図 SD を取り出す 19

4. スライドタッチ操作について 21

5. メニュー画面について.....23
   - メニュー画面の操作.....23

6. ショートカット＋
   コントロール画面.....24
   - ショートカット＋
     コントロール画面の表示 24
   - ショートカットスイッチの登録 25

2 QUICK SETUP（初期設定サポート）

1. QUICK SETUPで設定する.....27
   - QUICK SETUP の使い方 27

3 セキュリティ

1. セキュリティを設定する.....31
   - セキュリティの設定.....31

4 文字入力のしかた

1. 文字を入力する 33

2. 文字入力の設定を変更する 35
   - 単語を編集する 35
   - 定型文を修正する 36
   - 入力履歴を削除する 36
   - 予測変換候補の表示設定を変更する 36

5 リスト画面

1. 複数の候補から項目を選ぶ 37
   - 文字の表示範囲を変更する 39

6 はじめに設定しておくこと

1. 初期設定をする 40
   - 自宅を登録する 40
   - ナビ音声案内の音量を設定する 41
   - 車両情報の設定をする 41

2. メンテナンス時期を案内する 42
   - メンテナンスの案内表示について 42
   - メンテナンス項目を設定する 42
   - 自動通知（メンテナンス案内）の設定をする 43
   - 販売店の設定をする 45
   - 車両警告灯表示について 46
   - 車両警告灯の表示 46

3. Bluetooth機器を初期登録する 47

7 画面の調整・設定

1. 画面の調整・設定を変更する 49
   - ディスプレイの角度調整 49
   - 画質調整画面を表示する 49

8 本機の設定

1. 本機の設定を変更する 52
   - 共通設定画面について 52

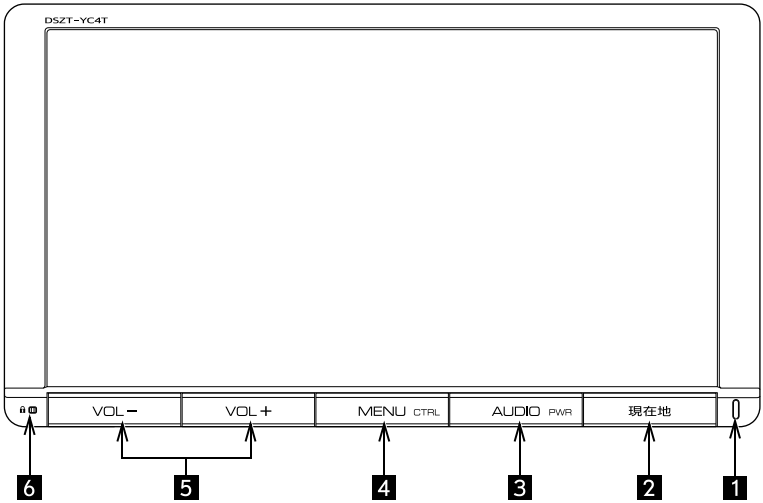
2. スタートアップ画像の設定 56
   - カスタムへの画像の登録 56

9 知っておいていただきたいこと

1. 故障とお考えになる前に 58

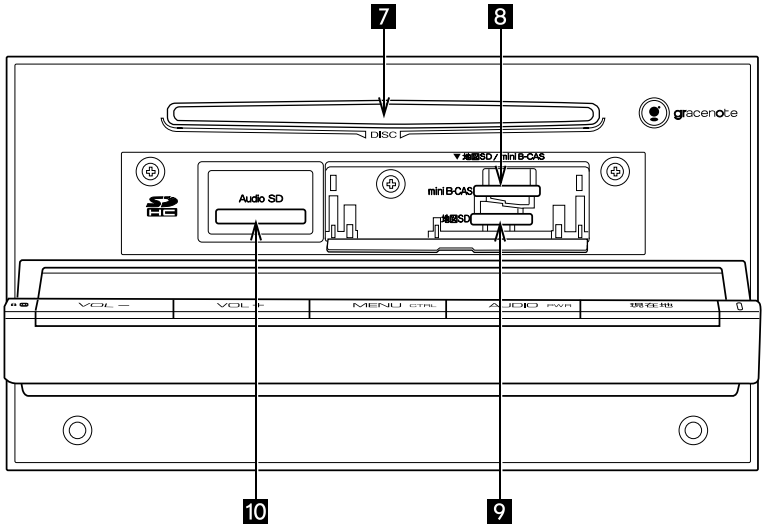
1. 各部の名称とおもな働き

▶ディスプレイ部を閉じている状態



番号	名称	機能
1	マイク	本機に内蔵されています。 ハンズフリー通話時に使用します。
2	現在地スイッチ	ナビゲーション画面で現在地を表示する。（→ P.67）
3	AUDIO スイッチ	オーディオ操作画面を表示する。（→ P.218） オーディオソースを切り替える。（→ P.220） “ピッ” と音がするまで押し続けると、オーディオの電源を ON ／ OFF する。 5 秒以上押し続けた後、スイッチから指を離すと、挿入中のディスクを排出する。
4	MENU スイッチ	メニュー画面を表示する。（→ P.23） 1 秒押し続けると、ショートカット＋コントロール画面を表示する。（→ P.24） 10 秒以上押し続けると、本機を再起動する。
5	音量調整スイッチ	音量を調整する。
6	作動インジケータ	セキュリティ設定時かつインジケータ ON 設定時に点滅する。

▶ディスプレイ部・フタを開いている状態



ディスプレイ部・フタの開閉、SD メモリーカードの出し入れは、「地図 SD の出し入れ」（→ P.18）「Audio SD の出し入れ」（→ P.258）をご覧ください。

番号	名称	機能
7	ディスク挿入口	音楽ディスク、映像ディスクを挿入して再生することができます。（→ P.234） また、ソフトウェア更新（→ P.385）、マップオンデマンド (地図差分更新) （→ P.548）で使用します。
8	miniB-CAS カードスロット	miniB-CAS カードを挿入します。（→ P.284）
9	地図 SD 挿入口	プログラムや地図データを収録した地図 SD が挿入されています。
10	Audio SD 挿入口	市販の SD メモリーカードを挿入して下記のことができます。 • 音楽 CD からの録音、録音した音楽やパソコンで記録した音楽の再生、家庭用レコーダーやパソコンで記録した動画ファイルの再生（→ P.256） • デジタルカメラなどで記録した写真の表示（→ P.343） • スタートアップ画像の設定（→ P.56） • メモリ地点の取り込み・取り出し（→ P.143） • ソフトウェア更新（→ P.385） 本機で使用できる SD メモリーカードについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.346）をご覧ください。 本書ではこの SD メモリカードを「Audio SD」という表現で説明しています。

(知 識)

- − 20 ℃以下の低温時には、ナビの動作ができなくなったり、SD メモリーカードへの書き込みができなくなります。
- 液晶画面は、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- 太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見にくくなります。
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。
- 液晶画面に保護フィルム（保護フィルター）等を貼り付けないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなることがあります。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
- 走行するときは、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートや、道幅が狭く通行できないルートが表示されることがあります。

注意

- 補機バッテリー上がりを防ぐため、ハイブリッドシステム停止中に長時間使用しないでください。
- 画面のよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。
  手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。
- 表示画面のタッチスイッチ内側に結露が発生した場合、正しく動作しないことがありますので無理に使用せず、結露がなくなるまで操作をしないようにしてください。
- タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。ボールペン、シャープペンシルの先など先端の硬い物や先端の鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。

2. 電源を入れる・切る

電源を入れる・切る

1 車両のパワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにする。

- スタートアップ画面を表示し、その後自動でナビゲーション画面、またはオーディオ画面に切り替わります。
- 車両のパワースイッチを OFF にすると、本機の電源が切れます。

知 識

- 電源が入っている状態で MENU を10 秒以上押し続けると、本機が再起動します。自車位置マークが動かないなど本機が動作不良を起こした場合に行ってください。
- QUICK SETUP 画面が表示された場合、設定しておくと便利なナビゲーション機能をまとめて設定することができます。(→ P.27)

3. 地図 SD の出し入れ

地図 SD を入れる

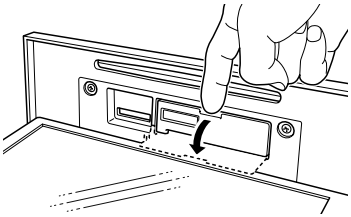
1 メニュー画面（→ P.23）または ショートカット + コントロール画面（→ P.24）→ TILT・EJECT

2 ▲ 地図 SD にタッチ。



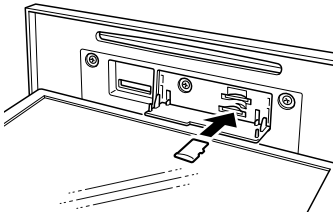
- ディスプレイが開きます。

3 フタを開ける。



4 挿入口に地図 SD を挿入する。

- ラベル面を上にして、挿入口にまっすぐ奥まで挿入します。



- 地図 SD を挿入したあと、フタを閉めます。

5 CLOSE にタッチ。

- ディスプレイが閉じます。
- 本体のいずれかのスイッチ（→ P.14）を押してもディスプレイは閉じます。

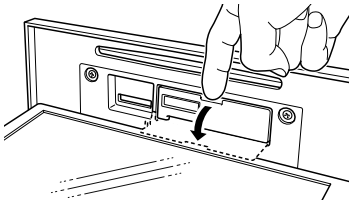
補機バッテリーとの接続が断たれたとき

地図 SD を取り出した状態で、パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにすると、「Audio スイッチを 5 秒以上長押ししてディスプレイを開き地図 SD カードを入れてください」のメッセージが表示されます。その場合、次の手順で地図 SD を挿入します。

1 AUDIO を 5 秒以上押し続ける。

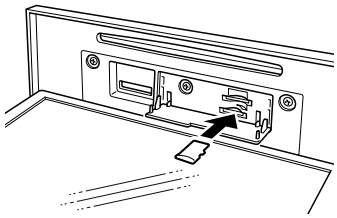
- スイッチから手を離すと、ディスプレイが開きます。

2 フタを開ける。



3 地図 SD を挿入する。

- 地図 SD 挿入後は、フタを閉めます。
- プログラムの読み込みを開始します。完了するとスタートアップ画面→ TILT・EJECT 画面の順に表示されます。



4 CLOSE にタッチ。

- ディスプレイが閉じます。
- 本体のいずれかのスイッチ（→ P.14）を押してもディスプレイは閉じます。

知 識

- 地図 SD を挿入していない状態で、使用した場合、すべてのナビゲーション機能が動作しません。地図 SD を挿入した状態でご使用ください。

地図 SD を取り出す

1 メニュー画面（→ P.23）またはショートカット + コントロール画面（→ P.24）→ TILT・EJECT

2 ▲ 地図 SD にタッチ。



3 地図 SD を軽く押して取り出す。

- 地図 SD を取り出したあと、フタを閉めます。

4 CLOSE にタッチ。

- ディスプレイが閉じます。
- 本体のいずれかのスイッチ（→ P.14）を押してもディスプレイは閉じます。

⚠ 警告

- 地図 SD を取り出している場合、カードを乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと窒息、またはけがの恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠ 注意

- 地図 SD を本機の内部に落とした場合は、内部の金属部分に注意して探してください。指をけがする恐れがあります。
- 地図 SD の差し込み途中に、CLOSE にタッチ、または本体のいずれかのスイッチを押さないでください。
- ディスプレイ部の開閉時は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、ディスプレイの故障の原因となります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをする恐れがあります。

注意

- 地図 SD は “カチッ” と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
- 挿入口に地図SD以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷する恐れがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷する恐れがあります。
- 本機から地図SDを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。地図 SD を破損する恐れがあります。
- ⏏ AudioSD にタッチして、地図 SD を取り出すと、データが破損する恐れがあります。
- 地図 SD を取り出すときは、TILT・EJECT 画面で ⏏ 地図 SD にタッチして取り出してください。パソコンでの読み込みができなくなる恐れがあります。

注意

- ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因となります。
- 地図SDが押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、地図 SD を傷つける恐れがあります。
- 熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、地図 SD を挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。

知 識

- 取り出し処理を行った地図 SD は、一度、挿入口から抜かないと使用できません。(抜いた後で再度挿入すると使用できるようになります。)
- 取り出した地図SDを地図更新などでパソコンへ接続する際、microSD カード非対応のパソコンを使用するときは、同梱のアダプターを使用してください。
  また、同梱のアダプターを使用するときは、誤消去防止スイッチの LOCK が解除の状態になっていることを確認してください。

ディスプレイ警告ブザー

ディスプレイ部を開いたままパワースイッチを OFF にすると、“ピッピッピッピッピッ” というブザー音でお知らせします。パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにして CLOSE にタッチ、または本体のいずれかのスイッチを押すと、ディスプレイを閉じることができます。

4. スライドタッチ操作について

本機は通常のタッチ操作に加え、タッチする指の動きに合わせて、地図画面やリスト画面などを動かすことができます。

スライドタッチ操作を「する」に設定（→ P.52）していると、次の操作ができます。

- スライド操作
- フリック操作
- ピンチ操作

知 識

- 走行中は地図画面でのスライド操作とフリック操作ができません。

スライド操作について

一部の地図画面やリスト画面で操作できます。

画面にタッチしたまま指をずらすと、指の動きに合わせて、画面が移動します。

▶地図画面



▶リスト画面



フリック操作について

地図画面やリスト画面、ショートカット登録・編集画面、デジタルテレビなどの映像画面（全画面表示）で操作できます。

▶地図画面

地図画面の場合、画面にタッチした状態で指を払うと、払った方向に画面が動きます。フリック操作によって動く量は、指を払う速度によって変わります。動かした画面は、自動で止まります。動いている画面にタッチしても止めることができます。



▶リスト画面

リスト画面の場合、画面にタッチした状態で指を払うと、払った方向にリストが動きます。フリック操作によって動く量は、指を払う速度によって変わります。動かしたリストは、自動で止まります。動いているリストにタッチしても止めることができます。



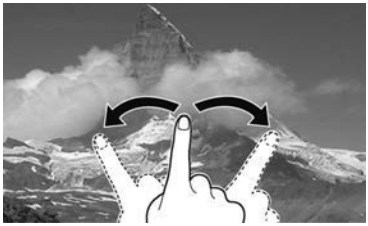
▶ショートカット登録・編集画面

ショートカット登録・編集画面の場合、画面にタッチした状態で左右に指を払うと、払った方向にページが切り替わります。



▶映像画面

デジタルテレビなどの映像画面（全画面表示）の場合、画面をタッチした状態で、左右に指を払うと、デジタルテレビのチャンネルや DVD のチャプター、SD・USB・iPod のビデオファイルが切り替わります。



ピンチ操作について

地図画面で操作できます。

タッチした 2 本の指を広げて地図を拡大するピンチアウト操作と、狭めて地図を縮小するピンチイン操作があります。（画面全体が拡大縮小します。）

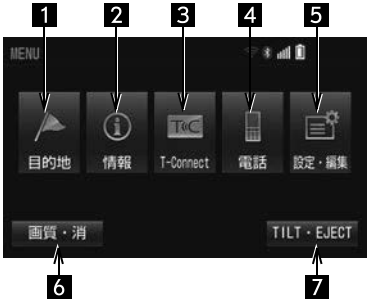


5. メニュー画面について

メニュー画面の操作

目的地設定、情報画面の表示などはメニュー画面を表示させてから操作します。

1 MENU を押すと、メニュー画面が表示される。



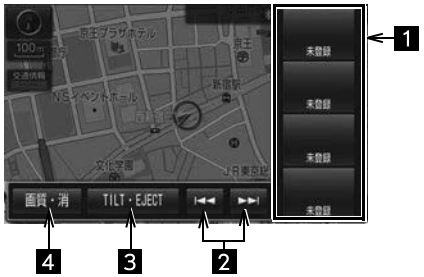
番号	機能	ページ
1	目的地を設定する。	107
2	情報画面を表示する。	382
3	T-Connect 画面を表示する。	517
4	電話画面を表示する。	468
5	設定・編集画面を表示する。	40
6	画質調整画面を表示する。	49
7	ディスプレイの角度調整をする。	49
	地図 SD、ディスク、Audio SD を出し入れする。	18 235 258

6. ショートカット+コントロール画面

オーディオ操作画面（→ P.218）とは別に選曲などのオーディオの操作をすることができます。また、よく使う機能をショートカットスイッチに登録しておくと、簡単に操作することができます。

ショートカット+コントロール画面の表示

1 MENU を 1 秒以上押す。



1 ショートカットスイッチ

登録した機能（→ P.25）を操作する。

2 選曲・選局スイッチ

曲、映像ファイル、チャプターの切り替え、早送り／早戻しやラジオ・デジタルテレビの放送局を切り替えるなど。

3 TILT・EJECT スイッチ

ディスプレイの角度調整をする。（→ P.49）
地図 SD、ディスク、Audio SD を出し入れする。（→ P.18、P.235、P.258）

4 画質・消スイッチ

画質調整画面を表示する。（→ P.49）

知 識

- ショートカットスイッチとコントロールスイッチ以外の画面にタッチまたは 現在地 ・ AUDIO ・ MENU のいずれかを押すと、ショートカット + コントロール画面を解除することができます。

ショートカットスイッチの登録

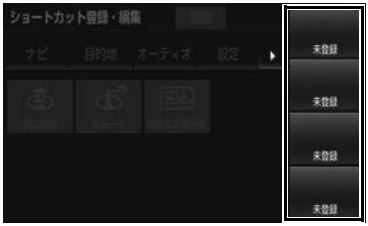
お好みの機能を４つまでショートカットスイッチに登録することができます。よく使う機能を登録しておくと便利です。

1 MENU （1 秒以上）→ ショートカットスイッチの 未登録 → はい

または

MENU → 設定・編集 → 共通設定 → ショートカット登録・編集

2 登録したいショートカットスイッチにタッチ。



3 登録したい機能のスイッチにタッチ。



- 「ナビ」・「目的地」・「オーディオ」・「設定」・「情報」・「T-Connect」・「Apps」のいずれかにタッチしてジャンルを切り替えることができます。
- ▶ または ◀ にタッチすると、タブを切り替えることができます。
- ＞ または ＜ にタッチすると、ページを切り替えることができます。
- ショートカットスイッチの配置を入れ替えたいとき
  ➡ 入れ替えたいスイッチにタッチし、入れ替え先のスイッチにタッチ。
- 次の項目をショートカットスイッチに登録することができます。

ジャンル	項目	ページ
ナビ	周辺施設	83
	全ルート※	122
	地図&車両情報	82
目的地	名称	96
	住所	99
	施設	100
	電話番号	100
	WEB	567
	メモリ地点	92
	ジャンル	101
	TC で設定	—
	マップコード	102
	自宅に帰る	108
	履歴	103
	特別メモリ１／２／３／４／５※	92
	目的地消去※	129

ジャンル	項目	ページ
オーディオ	AM	220
	FM	220
	DISC	220
	SD	220
	SD REC	220
	TV	220
	Bluetooth	220
	USB	220
	VTR	220
	HDMI	220
	交通情報	220
	AUDIO OFF	218
	音設定	221
設定	音量設定	41
	案内中止／案内再開 ※	70
	ルート変更 ※	127
	画面消	51
	機器登録・接続	47
情報	VICS	183
	ETC	438
T-Connect	オペレーターサービス	561
	HELPNET	525
Apps	インストールアプリ	576

※ ショートカットに設定できますが、機能の設定によっては使用できない場合があります。

知 識

● 走行中は操作できません。

ショートカットスイッチの登録解除

1 MENU → 設定・編集 → 共通設定 → ショートカット登録・編集

2 解除したいショートカットスイッチにタッチ。

3 削除 にタッチ。



知 識

● 走行中は操作できません。

● すでに登録されているショートカットスイッチを選択した場合、上書きされます。

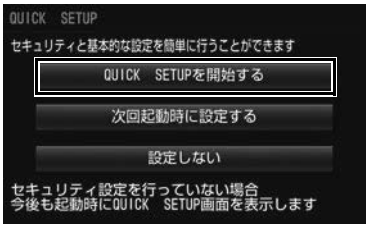
1. QUICK SETUP で設定する

QUICK SETUP の使い方

初めて本機を起動したときや補機バッテリーをはずしたときは、QUICK SETUP 画面が表示されます。最初に設定しておくと便利な、自宅や案内音量、車両情報などを設定することができます。設定状況は、画面で確認することができます。

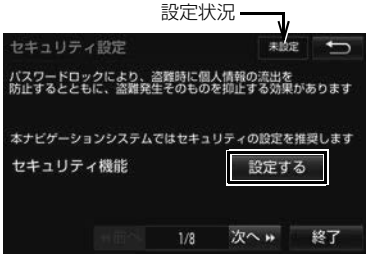
セキュリティの設定および QUICK SETUP 内で 終了 → はい の順にタッチしないと、本機を起動するたびに QUICK SETUP 画面が表示されます。

1 QUICK SETUP を開始する にタッチ。



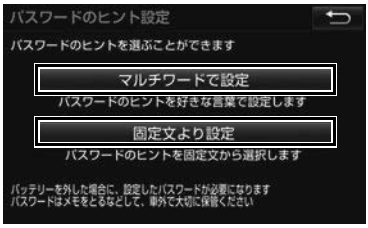
- QUICK SETUP を終了し、次回起動時に QUICK SETUP 画面を再度表示するとき
  ➡ 次回起動時に設定する にタッチ。
- QUICK SETUP を終了し、次回起動時に QUICK SETUP 画面を再度表示しないとき
  ➡ 設定しない にタッチ。
- セキュリティを設定しないと、設定しない を操作できません。

2-1 セキュリティを設定する。
設定する にタッチ。



- 項目により、画面右上に設定状況が表示されます。

2-2 マルチワードで設定 または 固定文より設定 にタッチ。



- マルチワードで設定 : パスワードのヒントを任意に入力する
- 固定文より設定 :パスワードのヒントを5つの中から選ぶ

2-3 パスワードのヒントを登録する。

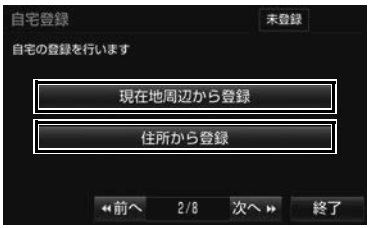
- 手順 **2-2** で マルチワードで設定 にタッチしたとき
  ➡ ヒントを入力する。（→ P.33）
- 手順 **2-2** で 固定文より設定 にタッチしたとき
  ➡ ヒントにタッチする。

2-4 パスワードを入力する。（→ P.33）

2-5 完了 にタッチ。

3 次へ ▶▶ にタッチ。

4-1 自宅を登録する。
現在地周辺から登録 または
住所から登録 にタッチ。



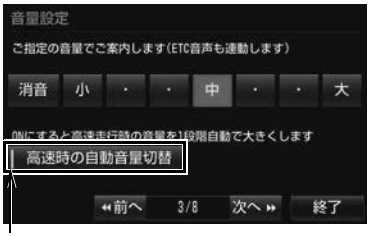
- 現在地周辺から登録 にタッチした場合、現在地周辺の地図を表示します。
- 住所から登録 にタッチした場合、都道府県名→市区町村名→町名→丁目（字）の順にタッチ。
  - ・郡名は表示されません。
  - ・「大字」や「字」の文字は省略して表示されます。（「大字○○」や「字○○」は「○○」と表示されます。）
  - ・ ○○主要部 にタッチすると、広域図が表示されます。
  - ・ 番地指定 にタッチし、番地を入力した後 検索 にタッチすると、該当する住所付近の地図が表示されます。

4-2 セット にタッチ。

5 次へ ▶▶ にタッチ。

6 案内音量を設定する。
設定したい音量を選択する。

- 音声を OFF にするとき
  ➡ 消音 にタッチ。
- 高速時の自動音量切替 を ON に設定すると、車速が約 80km/h 以上になったときにナビの音声案内の音量が自動的に 1 段階上がるようにすることができます。車速が約 70km/h 以下になると、もとの音量に復帰します。



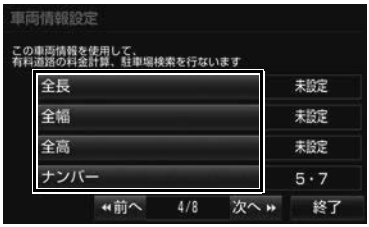
作動表示灯

- 高速時の自動音量切替が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。

7 次へ ▶▶ にタッチ。

8 車両情報を設定する。
全長、全幅、全高、ナンバー にタッチして設定する。

- 目的地が設定されていると設定できません。
- ＞ ：寸法を大きくする、またはナンバープレートの分類番号を選択する。
- ＜ ：寸法を小さくする、またはナンバープレートの分類番号を選択する。



9 次へ ▸▸ にタッチ。

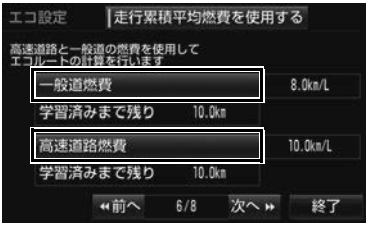
10 地図表示カスタマイズを設定する。
「地図色」、「ルート色」、「自車マーク」、「文字サイズ」にタッチして、設定する。

- 「地図色」：地図の表示色を フレッシュ、ナチュラル、スタイリッシュ、クッキリ、カラフル の中から選ぶ。
- 「ルート色」：ルートの表示色を青色、緑色、赤色、水色、黄色の中から選ぶ。
- 「自車マーク」：自車位置マークを 
の中から選ぶ。
- 「文字サイズ」：地図上に表示される地名などの文字サイズを 大、中、小 の中から選ぶ。



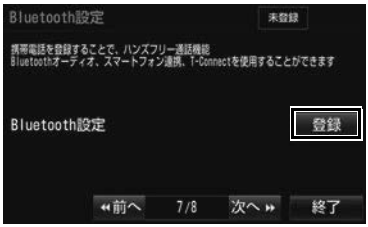
11 次へ ▸▸ にタッチ。

12 エコ機能の燃費を設定する。（→ P.168）

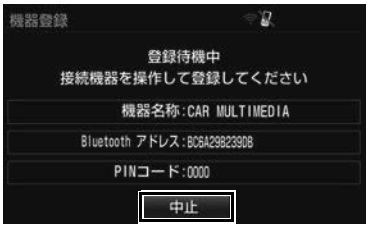


13 次へ ▸▸ にタッチ。

14 Bluetooth の設定をする。
登録 にタッチし、機器登録画面に表示される案内にしたがって、携帯電話本体を操作する。



- 他の Bluetooth 機器が接続されている場合、登録できません。
- 携帯電話側の登録操作は、必ずこの機器登録画面を表示させて行ってください。
- 中止するとき
  ➡ 中止 にタッチ。

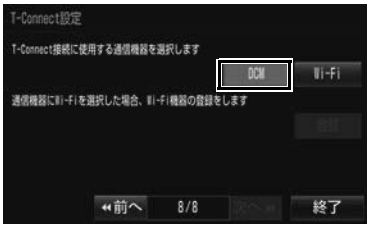


- 接続が完了するとメッセージが表示され、携帯電話の登録が完了します。

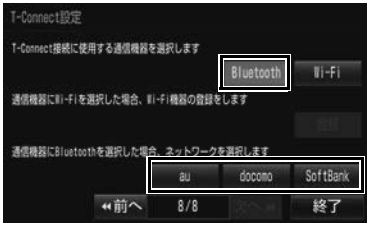
15 次へ ▸▸ にタッチ。

16 T-Connect の設定をする。

- T-Connect 接続に使用する通信機器を選択します。
- DCM を接続している場合は DCM、DCM を未接続の場合は Bluetooth か Wi-Fi® のどちらか一方を選択します。
- DCMに設定する場合、 DCM にタッチ。



- Bluetooth に設定する場合、 Bluetooth にタッチし、使用する携帯電話の通信業者にタッチ。



- Wi-Fi® に設定する場合は、 Wi-Fi → 登録 の順にタッチして登録する。



・次の方法から Wi-Fi® 機器の接続または設定をします。



項目	ページ
Wi-Fi® 通信を ON ／ OFF する	593
利用できるネットワークから Wi-Fi® 接続する	593
簡単設定から Wi-Fi® 接続する	594
Wi-Fi® テザリング対応スマートフォンで Wi-Fi® 接続する	594
Wi-Fi® 詳細設定を変更する	595

17 終了 にタッチ。

18 はい にタッチ。

知 識

- 表示される内容や項目は、接続機器によって異なります。
- ◀◀前へ にタッチすると、前の画面に戻ることができます。
- 設定の途中で本体のスイッチにタッチして他の画面に切り替えた場合、そこまでの設定が反映されます。次回起動時に、QUICK SETUP 画面が再度表示されます。
- 設定の途中で 終了 → はい の順にタッチした場合、そこまでの設定が反映されます。次回起動時には、QUICK SETUP 画面は表示されません。
- QUICK SETUP は、ナビ詳細設定からも操作することができます。（→ P.160）
- DCM を接続している場合、Wi-Fi® を選択することも可能です。

1. セキュリティを設定する

セキュリティの設定

セキュリティ機能を作動させると、車両の補機バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合、本機がロックして操作できなくなります。セキュリティの作動中は、作動インジケータを点滅させて、盗難を抑止することができます。

また、表示されるシリアルナンバーを控えておくと、盗難などにあった場合、本機と所有者を確認することができます。



お車を手放すときは、パスワードの登録を解除してください。（→ P.32）

セキュリティを作動させる

パスワードのヒントとパスワードを登録すると、セキュリティを作動させることができます。

知 識

- パスワードのヒントとパスワードは、全角と半角、大文字と小文字を区別します。
- 登録したパスワードは忘れないよう控えておいてください。ロックを解除するときに必要です。

1 MENU → 設定・編集 → 共通設定

2 セキュリティ設定 にタッチ。

3 セキュリティ機能の 設定 にタッチ。

- パスワードを登録している場合、設定 → はい の順にタッチするとパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力すると、新しいパスワードを登録することができます。

4 マルチワードで設定 または 固定文より設定 にタッチ。

- マルチワードで設定 …パスワードのヒントを任意に入力する
- 固定文より設定 …パスワードのヒントを5つの中から選ぶ

5 パスワードのヒントを登録する。

- 手順**4**で マルチワードで設定 にタッチした場合
  ➡ ヒントを入力する。（→ P.33）
- 手順**4**で 固定文より設定 にタッチした場合
  ➡ ヒントにタッチする。

6 パスワードを入力する。（→ P.33）

7 内容を確認して 完了 にタッチ。

セキュリティのロックを解除する

車両の補機バッテリーターミナルをはずして本機が操作できなくなった場合、登録したパスワードを入力すると、操作できるようになります。

1 パスワードを入力する。(→ P.33)



2 了解 にタッチ。

- 本機が再起動します。

(知 識)

- パスワードを忘れた場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

作動インジケータを点滅させる

パワースイッチを OFF にした場合、作動インジケータを点滅させることができます。

(知 識)

- 作動インジケータを点滅させる前に、セキュリティを作動します。(→ P.31)

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定 → セキュリティ設定

2 インジケータの ON にタッチ。

- OFF にタッチすると、作動インジケータは点滅しません。

セキュリティを解除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定 → セキュリティ設定

2 セキュリティ機能の 解除 にタッチ。

3 はい にタッチ。

4 パスワードを入力する。(→ P.33)

1. 文字を入力する

本機では、文字入力が必要になると、文字入力画面が表示されます。

- 各スイッチの働きは、次のようになっています。
  - ・特に説明のないスイッチは、各入力時とも共通です。
  - ・ナビで文字入力するときは、専用の文字入力画面を使用します。
    ➡「名称で地図を検索する」（→ P.96）
    ➡「メモリ地点名称を入力する」（→ P.140）
- ここではT-Connectの文字入力画面で説明しています。

▶画面例（かな・漢字入力）



スイッチ	機能
定型	定型文入力画面を表示し、定型文を入力する。
履歴	履歴入力画面を表示し、前回までに入力した文字列の履歴から入力する。
文字入力	各種文字を入力する。
カーソル移動	カーソルを移動する。 • タッチし続けると、連続してカーソルが移動します。 • 未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動します。 確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。
修正	文字を消去する。 • カーソルが文字の右にあるときは、カーソルの左の文字を消去します。 続けてタッチすると、カーソルの位置から1文字ずつ順に消去します。
改行	改行する。
スペース	カーソルの左に空白を入力する。
完了	文字入力を終了する。 文字入力画面が表示される前の画面に戻り、文字が入力される。
無変換	かな入力時、ひらがなのままで確定する。
変換	かな入力時、漢字に変換する。 • そのままの状態でよいとき ➡ 全確定 にタッチ。 • 変換範囲のみ変換するとき ➡ 希望の候補にタッチ。 • 変換範囲（文節）が間違っているとき ➡ < ・ > にタッチして変換範囲を修正する。 • 特定の文字を漢字に変換したいとき ➡ 単漢字 にタッチして < ・ > で変換範囲を修正し、希望の候補にタッチ。
入力モード切り替え	文字の入力モードを切り替える。 かな：ひらがな、漢字を入力 カナ：カタカナを入力 英数字：アルファベット、数字を入力 数記号：数字、記号を入力
全角／半角	半角入力と全角入力を切り替える。

スイッチ	機能
大文字／小文字	大文字入力と小文字入力を切り替える。
▲ 1/2 ▼（ページ切り替え）	ページを切り替える。
検索エンジン	検索エンジンを選択する。
エリア	検索エリアを指定する。 Ⓐ：現在地を指定 ：住所を指定 「G1 ～ G5」：目的地を指定 「なし」：エリア指定なし

知 識

- 表示される状況により、文字入力画面の意匠が異なったり、入力方法が限定されたりします。

予測変換候補を表示する

オンライン詳細設定の予測変換候補（→ P.36）の表示で「する」を選択しているとき、予測変換をすることができます。文字を入力すると、未確定文字の後に続く文字を予測して、読みの先頭部分が一致する予測変換候補を画面左下に表示します。

1 かな入力状態で、文字を 1 文字以上入力する。

2 予測変換候補にタッチ。



- 表示された候補でよいとき
  ➡ 予測変換候補にタッチ。
- 希望の候補でないとき
  ➡ ▼ にタッチして希望の候補を表示させ、候補にタッチ。

知 識

- 予測変換候補は最大 5 候補まで表示されます。

2. 文字入力の設定を変更する

設定・編集のオンライン詳細設定画面（→ P.582）から、次の設定をすることができます。

項目	ページ
単語の編集	35
定型文の修正	36
入力履歴の削除	36
予測変換候補の表示設定	36

- 単語登録は名称検索（→ P.69）、電話帳登録（→ P.483）、T-Connect の文字入力などで使用できます。
- 定型文はT-Connect 機能のメールで使用できます。

単語を編集する

読みと単語を指定して、本機の辞書に変換候補対象となる単語を追加することができます。また、追加した単語を修正・削除することができます。

単語を追加する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン → オンライン詳細設定 → 単語編集

2 追加 にタッチ。



3 読み および 単語 にタッチして、それぞれ入力する。（→ P.33）

4 完了 にタッチ。

- 単語の最大登録数を超えたときは、登録済みの不要な単語を削除してください。（→ P.35）

単語を修正する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン → オンライン詳細設定 → 単語編集 → 修正

2 修正したい読みにタッチ。

3 読み または 単語 にタッチして修正する。（→ P.33）

4 完了 にタッチ。

- 引き続き単語の修正をするとき
  ➡ 手順 **2** ～ **4** の操作を繰り返す。

単語を削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン → オンライン詳細設定 → 単語編集 → 削除

2 削除したい読みにタッチ。

- すべての単語を選択するとき
  ➡ 全選択 にタッチ。

3 削除 にタッチ。

4 はい にタッチ。

定型文を修正する

定型文は、お好みにより内容を変更することができます。
ただし、新規に追加することはできません。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン → オンライン詳細設定 → 定型文修正

2 修正したい定型文にタッチ。

3 定型文を修正する。(→ P.33)

- 引き続き定型文の修正をするとき
  ➡ 手順 **2**～ **3** の操作を繰り返す。

入力履歴を削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン → オンライン詳細設定 → 入力履歴削除

2 削除したい履歴にタッチ。

- すべての履歴を削除するとき
  ➡ 全削除 にタッチ。

3 はい にタッチ。

予測変換候補の表示設定を変更する

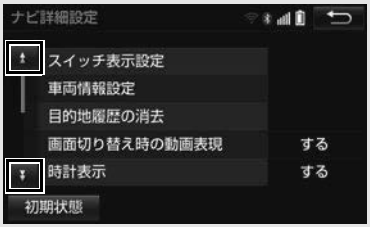
文字入力画面を使用するとき、予測変換候補の表示／非表示を選択できます。

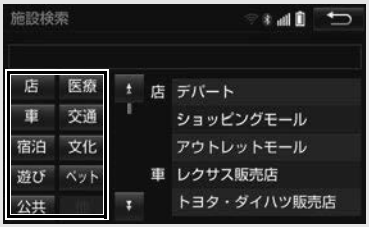
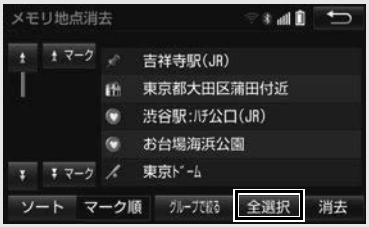
1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン → オンライン詳細設定 → 予測変換候補表示

2 する または しない にタッチ。

1. 複数の候補から項目を選ぶ

地図を呼び出すときなどに複数の候補（選択項目）がある場合、リスト画面が表示されます。希望の候補がないときは、リストを切り替え、希望の候補を選択します。

スイッチ	機能
	行ごとにリストが切り替わります。 ＜例＞ あ行 にタッチするとあ行のリストに切り替わります。
	続けてタッチすると、行の中で「あ→い」と音ごとにリストが切り替わります。
	マークの種類ごとにリストが切り替わります。
	タッチするごとに１ページずつリストが切り替わります。
	タッチし続けている間、リストが切り替わります。
	種類ごとにリストが切り替わります。

スイッチ	機能
	地域ごとにリストが切り替わります。
	施設項目ごとにリストが切り替わります。
	全選択 にタッチすると、リストの全ての項目を選択します。

文字の表示範囲を変更する

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、すべて表示されないことがあります。
次の操作をすると、名称をすべて確認することができます。

1 にタッチ。



- 先頭に戻すとき

  ➡ にタッチ。

1. 初期設定をする

自宅を登録する

自宅を登録すると、目的地設定で 自宅に帰る にタッチするだけで、自宅までのルート探索ができます。

例として、自宅「東京都文京区後楽1丁目4－18」の地図を住所から呼び出し、登録します。

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集

2 メモリ地点登録・編集の 自宅 にタッチ。

3 登録 にタッチ。

4 地図の呼び出す方法を選ぶ。
ここでは、住所 にタッチ。

5 都道府県名から順に、住所を選択する。まず、東京23区 にタッチ。

6 文京区 にタッチ。

7 後楽 にタッチ。

8 1丁目 にタッチ。

9 番地指定 にタッチ。

10 番地を入力する。

11 検索 にタッチ。

12 にタッチして、自宅の位置に を合わせる。

13 セット にタッチ。

14 完了 にタッチ。

知 識

- 地図の呼び出し方法は、住所のほかにも呼び出すことができます。(→ P.91、P.104)

ナビ音声案内の音量を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 音量設定

2 設定したい音量にタッチ。



作動表示灯

- 音声を OFF にするとき
  ➡ 消音 にタッチ。
- 高速走行時、自動的に音量を大きくするとき
  ➡ 高速時の自動音量切替 にタッチ。

知 識

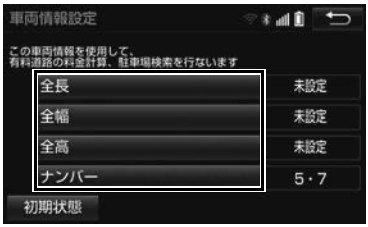
- 高速走行時、車速が約 80km/h 以上になると、設定した音量が自動的に上がります。（車速が約 70km/h 以下になると、もとの音量に復帰します。）
- 高速時の自動音量切替が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。

車両情報の設定をする

お車の仕様（サイズなど）を登録しておくと、登録した情報をもとに料金案内の表示や提携駐車場の検索をします。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → 車両情報設定

2 全長 、全幅 、全高 または ナンバー にタッチ。



- 寸法を設定し、 にタッチ。
- ＞ ：寸法を大きくする、またはナンバープレートの分類番号を選択する。
- ＜ ：寸法を小さくする、またはナンバープレートの分類番号を選択する。
- 初期状態 → はい の順にタッチすると、初期設定の状態（寸法が設定されていない状態）に戻ります。

知 識

- 目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。
- 車両寸法については、車検証をご覧ください。

2. メンテナンス時期を案内する

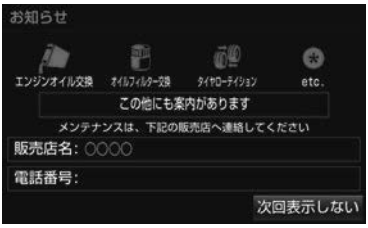
メンテナンス機能とは、GPS（→P.173）の時計機能と車速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換時期・各種点検時期などの案内を行う機能です。

（知 識）

- メンテナンスの内容や時期については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 車の使用状況により、設定した時期と実際に案内が行われる時期に誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離に誤差が生じることがあります。

メンテナンスの案内表示について

設定した日をすぎる、または設定した距離を走行すると、ナビゲーション画面が表示されるとき、同時に４つまで案内されます。



- 5つ以上の項目があるときは、⊛が表示されます。
  - ・任意入力項目のときは、入力した名称（→P.43）を表示します。
- 次回表示しない にタッチすると、次にナビゲーション画面が表示されるときは、案内されません。

メンテナンス項目を設定する

メンテナンスを知らせる時期／距離を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 項目設定

2 設定する項目にタッチ。



- 任意入力 （任意入力項目）にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。（→P.43）

3 お知らせ日 または お知らせ距離 にタッチ。

4 日付・距離を入力し、完了 にタッチ。

- 間違えたとき
  ➡ 修正 にタッチ。
- お知らせ日入力画面で、一桁の日付を入力するときは、月 ・ 日 にタッチして入力することができます。
  - ・２～９月と４～９日は 月 ・ 日 にタッチして入力する必要はありません。
    〈例〉2015年１月２日と入力するとき
    1 ・ 5 ・ 1 ・ 月 ・ 2 ・ 日 または 1 ・ 5 ・ 0 ・ 1 ・ 0 ・ 2 の順にタッチします。

(知 識)

- メンテナンス時期の設定をしても、メンテナンスの自動通知を設定しないと、メンテナンス案内は行われません。(→ P.43)
- 未設定の項目は  (白色)、すでに設定されている項目は  (水色)、メンテナンス案内が行われる時期の項目は  (橙色) で表示されます。

自動通知(メンテナンス案内)の設定をする

自動通知を設定すると、時期を設定した項目の案内が行われます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「メンテナンス」 → 項目設定

2 自動通知 にタッチ。

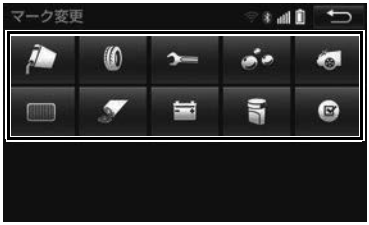


- 自動通知が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき
  ➡ 自動通知 にタッチ。

任意入力項目を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「メンテナンス」 → 項目設定 → 任意入力

2 設定するマークにタッチ。



3 名称を入力する。(→ P.33)

4 お知らせ日 または お知らせ距離 にタッチ。

- 名称修正 にタッチすると、名称を変更することができます。
- 「メンテナンスを知らせる時期/距離を設定する」(→ P.42) 手順 **3** へ。

メンテナンス設定を消去する

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊メンテナンス⌋ → 項目設定

2 設定を消去する項目にタッチ。

● すべての設定を消去したいとき

➡ 設定全消去 にタッチし、はい にタッチ。

3 設定消去 にタッチ。



4 はい にタッチ。

メンテナンス設定を更新する

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊メンテナンス⌋ → 項目設定

2 設定を更新する項目にタッチ。

● すべての設定を更新したいとき

➡ 自動全更新 にタッチし、はい にタッチ。

3 自動更新 にタッチ。



4 はい にタッチ。

● 距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。

(知 識)

● 新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日と現在の日、または案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。(項目により、計算方法は異なります。)

販売店の設定をする

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌈メンテナンス⌋ → 項目設定

2 販売店設定 にタッチ。



3 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示する。
(→ P.94、P.104)

4 セット にタッチ。

- ⊕の位置に販売店が設定されます。
- 「施設で地図を検索する」(→ P.100) でトヨタ販売店を呼び出し、そのまま位置を調整せずに セット にタッチすると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。

販売店の情報を修正・入力する

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌈メンテナンス⌋ → 項目設定 → 販売店設定

2 修正／入力をする。



- 修正・入力方法については以下のページをご覧ください。

項目	ページ
販売店名	140
位置	141
電話番号	141

- 販売店に行く にタッチすると、販売店の地図が表示されます。
- 販売店を消去したいとき
  ➡ 販売店の消去 にタッチし、はい にタッチ。

車両警告灯表示について

車両の異常時に警告灯名や警告内容をナビ画面に表示することができます。

車両警告灯の自動通知の設定をすることができます。(→ P.46)

(知 識)

- 車両警告灯表示は、メーター内のすべての警告灯を表示するものではありません。

車両警告灯の表示

自動で表示する

車両警告灯の自動通知設定をしているときは、メーター内の警告灯が点灯したとき、自動で警告灯をナビ画面に表示することができます。

1 表示されている警告灯にタッチ。



- 警告灯名や警告内容が表示されます。
  ・表示を解除するとき
  ➡ 表示消 にタッチ。
- 購入販売店情報 にタッチすると、設定した販売店(→ P.45)の施設情報を表示することができます。
- 販売店検索 にタッチすると、周辺施設検索画面が表示され、現在地周辺の販売店を検索することができます。(→ P.83)

手動で表示する

車両警告灯の自動通知設定をしていないときは、次の手順で表示することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 車両警告表示

2 表示されている警告灯にタッチ。

- 警告灯名や警告内容が表示されます。

自動通知の設定

メーター内の警告灯が点灯したときに自動でその警告灯がナビ画面に表示されるように設定することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 車両警告表示

2 自動通知 にタッチ。



作動表示灯

- 自動通知が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。
- 自動通知の設定を解除するとき
  ➡ メッセージの内容を確認し、了解 にタッチ。

3. Bluetooth 機器を初期登録する

ハンズフリーや Bluetooth オーディオを使用するためには、携帯電話／ポータブル機を本機に初期登録する必要があります。

※ 本書では一部を除き、携帯電話・スマートフォンを「携帯電話」という表現で説明しています。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth

2 機器登録・接続 にタッチ。



3 追加 にタッチ。

- 他の Bluetooth 機器が接続されている場合は、メッセージが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。
- 携帯電話／ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にしてください。

4 表示された画面にしたがって携帯電話／ポータブル機から Bluetooth を登録する。

- 携帯電話の機種によっては操作が異なります。
  - ・PIN コードで登録するとき
    ➡ 携帯電話／ポータブル機で本機に表示されている PIN コードを入力。



  - ・暗証番号で登録するとき
    ➡ 本機に表示されている暗証番号を確認し、表示にしたがって操作。



- 携帯電話／ポータブル機の機種により、PIN コード入力後に携帯電話 / ポータブル機の操作が必要になる場合があります。
- ポータブル機で PIN コードが入力できないとき
  ➡ 本機の PIN コードをポータブル機の PIN コードに変更し（→ P.339）操作しなおす。

5 登録が完了すると、メッセージが表示されます。

●「Bluetooth機器からの接続を待ちましたが、完了していません 車載機からの接続に切り替えます」のメッセージが表示されたとき

➡ 了解 または 中止 にタッチ。

・ 了解 にタッチすると、Bluetooth 接続を開始します。接続が完了すると、ハンズフリーや Bluetooth オーディオが使用できます。

・ 中止 にタッチしたときは、Bluetooth 接続をしません。ハンズフリーや Bluetooth オーディオ、スマートフォンナビ連携、T-Connect を使用するには、Bluetooth 接続が必要になります。(→ P.205、P.335、P.462)

● 失敗画面が表示されたとき

➡ 画面の案内に従い、操作してください。

知 識

● 接続する機器によっては、機器名称の表示など本機と一致しない場合があります。
● 携帯電話を Bluetooth オーディオとしても使用したい場合は、同時に登録できます。
● Bluetooth 機器は、5 台まで本機に登録できます。
● Bluetooth 機器側の操作は、Bluetooth 機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
● 複数の Bluetooth 機器を使用する場合は、Bluetooth 機器の数だけ登録を繰り返します。
● PIN コードとは、Bluetooth 機器を本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。(→ P.339、P.493)
● 携帯電話／ポータブル機を登録すると、最後に登録した機器が本機で使用する機器として選択されます。

知 識

● 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
● HFP に対応していない携帯電話は、本機に携帯電話として登録ができません。また、DUN、OPP、PBAP、SPP のみのサービスは利用できません。
● 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
● 携帯電話やポータブル機を接続しているときに、他の機器を登録する場合、オーディオ再生しているポータブル機、または携帯電話の接続を切断します。
● 登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、本機側の登録が完了しない場合があります。
その場合、携帯電話側から Bluetooth の接続を行ってください。
● 販売店装着オプションの iPod 対応 USB ／ VTR アダプターまたは USB/HDMI 入力端子に iPod 機器（iPod/iPhone）を接続しているときは、スマートフォンナビ連携は使用できません。

1. 画面の調整・設定を変更する

ディスプレイの角度調整

1 メニュー画面（→ P.23）または ショートカット + コントロール画面（→ P.24）→ TILT・EJECT

2 TILT ▼▼ または TILT ▲▲ にタッチ。



- TILT ▼▼ … 斜め下方に傾ける
- TILT ▲▲ … 傾きを戻す
  - タッチするごとに 1 段階（5°）ずつ傾きます。最大 6 段階（30°）まで傾けることができます。

知 識

- ディスプレイ部を傾けた状態で車両のパワースイッチを OFF にすると、自動で傾いていない状態になります。次にパワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにした場合、元の傾いた状態に戻ります。

画質調整画面を表示する

▶ナビゲーション画面

1 メニュー画面（→ P.23）または ショートカット + コントロール画面（→ P.24）→ 画質・消

作動表示灯



▶DVD やカメラの映像画面

1 映像表示画面→ 各種切替 → 画質調整





知 識

- DVD などの映像表示中、またはカメラ画面表示中は、メニュー画面からの画質調整はできません。

画質を調整する

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整できます。

1 メニュー画面（→ P.23）またはショートカット＋コントロール画面（→ P.24）→ 画質・消

2 ＞ または ＜ にタッチし、調整したい項目を切り替える。

3 画質を調整する。

- 画質調整では、次の項目を調整することができます。

項目	スイッチ	機能
コントラスト	強	強くする
	弱	弱くする
明るさ	明	明るくする
	暗	暗くする
色合い※	緑	緑色を強くする
	赤	赤色を強くする
色の濃さ※	濃	色を濃くする
	淡	色を淡くする

※ 色合い、色の濃さは、DVD などの映像を表示している時に調整できます。
ナビゲーション画面やオーディオ操作画面などは、コントラスト、色の明るさのみ調整できます。

（知 識）

- 昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

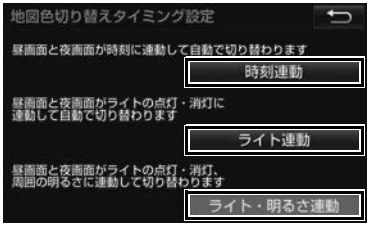
昼画表示・夜画表示の切り替え

昼画表示と夜画表示を切り替えるタイミングを次の中から選択することができます。

- 時刻連動･･･時刻に合わせて表示を切り替えます。
- ライト連動･･･ライトの点灯・消灯に合わせて表示を切り替えます。
- ライト・明るさ連動･･･ライトの点灯・消灯や周囲の明るさに合わせて表示を切り替えます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → 地図表示設定 → 地図色切り替えタイミング設定

2 時刻連動 ・ ライト連動 ・ ライト・明るさ連動 のいずれかにタッチ。



手動で昼画表示にする

1 メニュー画面（→ P.23）またはショートカット＋コントロール画面（→ P.24）→ 画質・消

2 夜画表示のとき、昼画 にタッチ。

- 選択するごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

知 識

- 昼画表示のときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 地図色切り替えタイミング設定（→ P.50）の設定により、昼画 の表示は次のようになります。
  - ・「時刻連動」設定時：時刻が夜と判断されているときに表示。
  - ・「ライト連動」設定時：ライト点灯時に表示。
  - ・「ライト・明るさ連動」設定時：ライト点灯と周囲の明るさで夜と判断されているときに表示。

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

1 メニュー画面（→ P.23）またはショートカット＋コントロール画面（→ P.24）→ 画質・消

2 画面消 にタッチ。

- 画面を表示させるとき
  - ➡ 現在地 · MENU · AUDIO のいずれかを押す。

知 識

- 画面を消した状態でも MENU を1秒以上押すと、ショートカット＋コントロール画面を表示することができます。
- 画面を消しても、GPS による現在地測位は継続されています。

1. 本機の設定を変更する

共通設定画面について

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定

2 各項目を設定する。

- 共通設定画面から、次の項目を設定できます。



スライドタッチ操作

スライドタッチ操作のする／しないを設定できます。（→ P.21）

BEEP 音通知

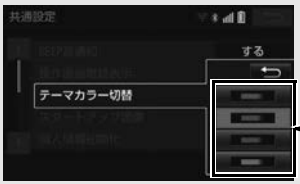
タッチスイッチにタッチしたときの応答音出力のする／しないを設定できます。

操作画面継続表示

する にタッチすると、オーディオ操作画面を継続して表示します。しない にタッチすると、オーディオ画面を表示したまま約 20 秒操作しなかった場合、自動でもとの画面に戻ります。

テーマカラー切替

画面のテーマカラーを変更することができます。

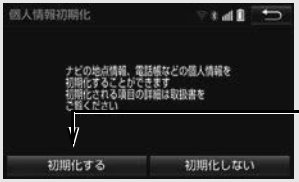


スタートアップ画像

本機の電源を入れたときに表示される画面をお好みに合わせて切り替えることができます。（→ P.56）

個人情報初期化

本機の設定や保存されている情報を初期化することができます。(→ P.54)



初期化する → はい → OK の順にタッチ。

ソフトウェア更新設定

ソフトウェア更新の設定を行います。(→ P.389)

オープンソフトウェア情報

本製品に使用される第三者ソフトウェアに関するお知らせを表示します。(該当する場合、ソフトウェアの入手方法のご案内も含みます。)

セキュリティ設定

セキュリティの設定を行います。(→ P.31)

ショートカット登録・編集

ショートカットスイッチの登録、編集を行います。(→ P.25)

(知 識)

● 操作画面継続表示について

・ ハンズフリーの着信時などの割り込み画面が表示されると、割り込み画面の解除後に、もとの画面に戻らないことがあります。

個人情報の初期化について

本機の設定や保存されている情報を初期化することができます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。

- 次の情報を削除、または初期設定の状態にすることができます。

項目	情報
文字入力	入力履歴
	追加した単語
	編集した定型文
	文字入力関連の設定・編集項目
ナビゲーション	走行軌跡
	目的地履歴
	メモリ地点
	迂回メモリ地点
	安全・快適走行設定の項目※
	メンテナンス機能の各種設定項目
	メンテナンス自動通知の設定
	販売店の設定
	エコ機能の設定および履歴
	ショートカット項目
	Web 検索の設定情報
	赤信号案内や一時停止案内の設定
	ルート学習結果
	車両情報設定
オーディオ&ビジュアル	ラジオ、デジタルテレビでプリセットスイッチに記憶した周波数およびチャンネル情報
	ポータブル機の登録情報
	スタートアップ画像の設定
ハンズフリー	電話帳データ
	発信または着信の履歴データ
	ワンタッチダイヤル
	Bluetooth 電話機の登録情報
	ハンズフリー関連の設定・編集項目
T-Connect	T-Connect 画面の情報確認
	G メモリ
	T-Connect コンテンツで取得した TC 情報マーク
	メインメニュー画面にトヨタスマートセンターが追加したスイッチ
	ブックマーク
	閲覧履歴
	My リクエストのメニュー
	T-Connect 関連の設定・編集項目

※ 踏切案内、合流案内、カーブ案内、レーン警告、事故多発地点案内の設定は初期化されません。

知 識

- 一度初期化されたデータはもとに戻せません。十分注意して初期化してください。
- 本機を他人へ譲渡するときは、個人情報の初期化とパスワードの解除、セキュリティのロックの解除を必ず行ってください。

2. スタートアップ画像の設定

車両のパワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにしたときに表示される画面をお好みに合わせて切り替えることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定 → スタートアップ画像

2 1 ・ 2 ・ 3 ・ カスタム のいずれかにタッチ。



- カスタム は画像が登録してあるときのみタッチできます。

カスタムへの画像の登録

Audio SD に記録されている画像データを取り込み、カスタムに登録することができます。本機で使用できる Audio SD や画像データについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.346、P.353）をご覧ください。

1 Audio SD を挿入（→ P.258）→ MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定 → スタートアップ画像

2 カスタムの変更 にタッチ。

3 設定したい画像にタッチ。



- リストから画像を探したいとき
  ➡ リスト →設定したいファイル名→画像の順にタッチ。

4 スタートアップ画像設定 にタッチ。



● 別の画像を見たいとき

➡ < または > にタッチ。

5 完了 にタッチ。



● 選択した画像のプレビュー画面を見たいとき

➡ プレビュー にタッチ。

・ プレビュー画面を解除するとき

➡ 3 秒経過または画像にタッチ。

知 識

● Audio SD 再生時、カスタムの変更 にタッチすると、オーディオは OFF になります。

● CD 録音再生中（→ P.260）または本機で録音した音楽再生時（→ P.265）は カスタムの変更 にタッチできません。

1. 故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶特有の現象です。	故障ではありません。 そのままご使用ください。
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整が適正でないため。	コントラスト、明るさを調整してください。（→ P.50）
車両のハイブリッドシステムをアクセサリーモードまたはON モードにしたあと、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくすると安定します。
地図 SD の挿入検知（半挿入など）	地図 SD が正しく挿入されていないため。	地図 SD を正しく挿入してください。（→ P.18）
タッチパネルが効かない、ずれる、反応が悪い。	タッチパネルに、保護シートを貼っているため。	保護シートを貼っている場合は、剥がしてください。
スタートアップ画像変更用の画像の読み込みができない。	読み込み可能な SD メモリーカードではない。 画像データが規定外。	SD メモリーカードおよび画像データをご確認ください。（→ P.345）
車両情報を変更できない。 車両情報を設定できない。	目的地が設定されている。	目的地が設定されているときは、車両情報を設定できません。目的地を消去してから設定してください。
車両情報設定の「変更する」スイッチが操作できない。		

2

ナビゲーション

1 ナビをお使いになる前に

1. はじめに.....64
ナビゲーションについて.....64
知っておいていただきたいこと.....64

2 ナビを使ってみましょう

1. ナビゲーション画面の見方について.....65

2. 地図画面を操作してみましょう.....67
地図に現在の車の位置を表示する.....67
地図を動かす.....67
地図を拡大／縮小する.....68

3. ルート案内をさせてみましょう.....69
目的地を決める.....69
ルート案内を中止する.....70
目的地を消去する.....70

4. 目的地案内中の現在地画面の見方について.....71

3 地図画面を操作する

1. 地図の表示.....72
現在地を表示する.....72
スイッチの表示／非表示.....73
地図を動かす.....74
地図縮尺を切り替える.....75
地図記号・地図表示について.....76
地図の向きを切り替える.....78
市街図を表示する.....79
施設の内容を表示する.....80
地図をカスタマイズする.....80

2. 画面を分割表示する.....81
地図を左右２分割して表示する（地図２画面）.....81
画面を左右２分割して表示する（地図／オーディオ）.....82
画面を左右２分割して表示する（地図／車両情報）.....82

3. 地図表示画面を設定する.....83
施設マークを表示する.....83
近くの施設を検索する.....83
立体ランドマークの施設情報を表示する.....84
DSSS（Driving Safety Support Systems）安全運転支援機能を使用する.....85
走行した経路を表示する（走行軌跡）.....87

4. 高速道路・都市高速道路の表示.....88
ハイウェイモード表示の操作.....88
高速分岐案内表示の操作.....90

5. 地図を呼び出す.....91
地図を検索する.....91
名称で地図を検索する.....96
住所で地図を検索する.....99
施設で地図を検索する.....100
電話番号で地図を検索する.....100
ジャンルで地図を検索する.....101
マップコードで地図を検索する.....102
履歴で地図を検索する.....103

6. 検索した地図を操作する.....104
ピンポイント検索について.....104
提携駐車場を検索する.....105
住所で絞り込む.....105

4 目的地までの案内

1. 目的地を設定してルートを探索する 107
目的地の設定について 107
目的地画面から目的地を設定する 107
地図画面から目的地を設定する 107
自宅を目的地に設定する 108
ルート探索について 108
ルート探索後の全ルート図表示について 109

2. 目的地案内の開始 114
目的地案内を開始する 114
目的地案内を中止する 114

3. 目的地への案内について 115
音声案内について 115
交差点案内について 117
到着予想時刻について 121

4. ルート案内中の操作 122
全ルート図を表示する 122
到着予想時刻・残距離表示を切り替える 122

5. ルートを再探索する 124
ルートを再探索する 124
ルートの再探索方法を選ぶ 124

6. ルートを変更する 127
ルート変更画面を表示する 127
探索条件を変更する 128
目的地を追加する 128
目的地の順番を並び替える 129
目的地を消去する 129
出入口 IC（インターチェンジ）を指定する 131
通過する道路を設定する 131

5 地点の登録

1. メモリ地点を登録する 134
地点の登録について 134
地図画面から登録する 134
メモリ地点登録・編集画面を表示する 134
自宅を登録する 135
特別メモリを登録する 135
メモリ地点を登録する 136
迂回メモリを登録する 137
メモリ地点の情報を修正する 139
メモリ地点をグループで絞り込む 141

2. メモリ地点を取り込み・取り出しする 143
メモリ地点の取り込みと取り出しについて 143
パスワードの設定 143
メモリ地点の取り出し 144
メモリ地点の取り込み 145

6 ナビを使いこなす

1. 自車位置マークが
ずれているとき.....146
補正について.....146
現在地を修正する.....146
距離を補正する.....146

2. ナビの詳細を設定する.....148
地図表示設定をする.....149
案内表示設定をする.....153
ルート系設定をする.....154
自動表示切替設定をする.....157
音声設定をする.....158
その他の設定をする.....159

3. 安全・快適走行の設定をする.....161

4. エコ機能.....166
エコ機能について.....166
燃費の計算.....166
ルート案内時の燃費設定.....167
エコ情報の表示.....168
エコ運転アドバイスの設定.....169
エネルギーモニターの表示.....170
ESPO 画面の表示.....171

5. GPSについて.....173

6. 知っておいて
いただきたいこと.....174
こんなメッセージが
表示されたとき.....174
故障とお考えになる前に.....176
ナビの精度について.....178

7 地図データ情報

1. 地図について.....180
データベースの情報を見る.....180
地図データについて.....180
地図データの更新について.....181

8 VICS・交通情報を使う

1. VICS・交通情報の
表示について.....183
VICS・交通情報について.....183
タイムスタンプについて.....184
VICS 記号の内容を表示する.....185
VICS・交通情報の表示設定.....185

2. VICS・交通情報を活用する.....187
渋滞・規制音声案内について.....187
VICS 図形情報・文字情報を
表示する.....187
割込情報（ビーコン即時案内）を
表示する.....188
割込情報の表示設定を変更する.....191
新旧ルートを比較して表示する.....192

3. VICS 放送局を選択する.....194

4. VICS について.....195
知っておいていただきたいこと.....196
VICS の用語について.....197
VICS センター著作権および
VICS 過去データについて.....197
VICS・ITS スポット ・DSSS の
問い合わせ先について.....198
道路管理者からのお知らせとお願い...199
VICS 記号・表示について.....202

9 スマートフォンナビ連携

1. スマートフォン
ナビ連携について.....203

Bluetooth 機器使用上の注意事項.....204

スマートフォンを登録する.....205

スマートフォンを接続する.....205

スマートフォンの接続を切る.....207

Bluetooth 接続の再接続について.....207

スマートフォンナビ連携を
利用する.....208

使用するスマートフォンを
選択する.....208

スマートフォン機器詳細情報を
表示する.....209

スマートフォン機器の登録を
削除する.....210

1. はじめに

ナビゲーションについて

目的地を設定することによって、自動的にルートが探索され、音声と画面表示による目的地案内が行われます。

知っておいていただきたいこと

- 走行するときは、実際の交通規制に必ずしたがってください。
- 安全のため、走行状態になると操作できなくなる機能があります。
- 目的地案内で表示されるルートは、あくまでも目的地周辺までの参考ルートです。
  - ・必ずしも最短ルート、渋滞していないルート、早く行けるルートなどではありません。
- 道路・地名・施設情報・料金のデータは、最新状態ではないことや不備な点があることがあります。
- タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。(→ P.146)
  - ・このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
- 自車位置マークは、必ずしも正しい位置を表示するとは限りません。
  - ・このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすことはできません。
- 実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。
  - ・人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車位置マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車位置マークがずれることがあります。

    ただし、地図の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチング※ や GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

    「ナビの精度について」もあわせてご覧ください。（→ P.178）

※ マップマッチングとは、GPS 情報などを利用して得られた現在地の情報と、今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路に自車位置マークを表示させるシステムです。

1. ナビゲーション画面の見方について



番号	表示	機能	ページ
1	方位マーク	地図の方角を表示する。 ：ノースアップ時 ：ヘディングアップ時 ：3D 時 • 地図向きの切り替えについて ➡「地図の向きを切り替える」	78
2	自車位置マーク	現在位置と車が向いている方角を表示する。	67
3	レーン（車線）表示	通過・分岐する交差点の車線を表示する。（地図データに情報のある交差点のみ） • 目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示されます。	—
4	ステータスバー	各機能の通信状況や電池残量などを表示する。	159
5	名称表示	状況により次のものを表示する。（地図データに情報のある地点のみ） • 通過・分岐する交差点の名称 • 走行している道路の名称 • 通過する IC・SA・PA の名称（高速道路を走行しているとき、かつ高速略図表示を解除しているときのみ） • 分岐する IC・JCT（ジャンクション：自動車専用道路同士の合流、分岐地点）の方面名称（高速道路を走行しているとき、かつ高速略図表示を解除しているとき、かつ高速略図表示を解除しているときのみ）	—

次のページに続く

番号	表示	機能	ページ
6	時計表示	現在の時刻を表示する。	159
7	VICS タイムスタンプ	VICS・交通情報が発信されている地域で、VICS・交通情報が提供された時刻を表示する。 • ルート上に情報があるときは、情報に応じて、タイムスタンプの色がかわります。	184
8	GPS マーク	人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに表示する。 • GPS マークが表示されているときでも、人工衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。	173
9	スケール表示	表示させている地図の縮尺を表示する。 • スケール表示について ➡「地図縮尺を切り替える」	75

(知 識)

● 本書で使用している地図画面は、一部の説明を除き、GPS マーク非表示、VICS 非表示の画面を使用しています。

2. 地図画面を操作してみましょう

地図に現在の車の位置を表示する

1 現在地 を押す。

現在の車の位置が表示されます。



現在の位置（自車位置マーク）

地図画面の表示について

次のような表示をすることもできます。

地図の表示	ページ
スイッチを消す	73
地図の向きをかえる	78
左右 2 画面で表示する	81
地図を立体的に表示する	78
地図の表示色をかえる	150
市街図を表示する	79

地図を動かす

スライド操作で動かす

スライドタッチ操作を「する」に設定（→ P.52）したときに操作することができます。

1 地図にタッチし、スライドまたはフリック操作をする。（→ P.74）

画面にタッチして動かす

スライドタッチ操作を「する／しない」どちらに設定（→ P.52）しても操作することができます。

1 地図にタッチ。



例えばここをタッチすると

タッチした位置が画面の中央に動きます。



タッチした位置

地図を拡大／縮小する

地図を拡大する

1 詳細 にタッチ、またはピンチアウト操作（→ P.22）をする。

地図を縮小する

1 広域 にタッチ、またはピンチイン操作（→ P.22）をする。

3. ルート案内をさせてみましょう

目的地を決める

例として、「名称」から「上野動物園」を探して、目的地に設定してみましょう。

1 MENU を押す。

2 目的地 にタッチ。

3 名称 にタッチ。



4-1 「うえのどうぶつえん」と入力する。

4-2 検索 にタッチ。

4-3 上野動物園／東京都台東区 にタッチ。

5 にタッチして、目的地に設定したい場所に を合わせる。

6 目的地セット にタッチ。

7 案内開始 にタッチ。

検索方法について

次の方法で検索することもできます。

検索方法	ページ
住所検索	99
施設検索	100
電話番号検索	100
メモリ地点検索	91
ジャンル検索	101
マップコード検索	102
WEB 検索	567

全ルート図について

案内を開始する前に、全ルート図から次のことができます。

項目	ページ
ルート情報を表示する	112
別のルートを表示する	113
探索条件を変更する	128
目的地を追加する	128
目的地を並び替える	129
目的地を消去する	129
出入口 IC の指定・解除をする	131
通過道路を指定する	131
通過道路を修正する	132

次のページに続く

項目	ページ
通過道路指定を解除する	133
季節規制区間を迂回するルートを探索する	133
Tルート探索する	559

ルート案内を中止する

ルート案内中に寄り道をしたいときなどには、ルート案内を中止することができます。中止しても目的地は消去されません。

1 MENU を押す。

2 設定・編集 にタッチ。

3 案内中止 にタッチ。



● 案内を再開するとき

➡ 案内再開 にタッチ。

目的地を消去する

目的地までの道がわかるときなど、ルート案内が不要になったときには、目的地を消去することができます。

1 MENU を押す。

2 目的地 にタッチ。

3 目的地消去 にタッチ。



4 はい にタッチ。

4. 目的地案内中の現在地画面の見方について



番号	表示	機能	ページ
1	ルート表示	目的地を設定したとき、目的地までのルートを表示する。 • ルートの表示色の設定について ➡「地図表示設定をする」	107 150
2	案内ポイント	目的地案内中、通過・分岐する交差点に表示する。	—
3	残距離表示	現在地から目的地までの距離を表示する。 • 表示されているルートを通っての距離を表示します。ルートからはずれたときは、直線距離を表示します。 • 残距離表示の切り替えについて ➡「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」	122
4	到着予想時刻表示／目的地方向マーク	状況により次のマークを表示する。 ■到着予想時刻表示 (アナログ) 9:42 (デジタル) 目的地への到着予想時刻を表示する。 • 到着予想時刻表示の切り替えについて ➡「到着予想時刻表示（アナログ／デジタル）の設定」、「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」 ■目的地方向マーク ルートからはずれたとき、目的地の方向を表示する。	154 122

1. 地図の表示

現在地を表示する

地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。



現在地以外の地図表示中、または地図以外を表示中

1 現在地 を押す。

- 現在地画面で、現在地 を押すと、画面上部に現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。



知 識

- 初めて本機を起動したときや補機バッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。
  ただし、地図の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→ P.146）
- 地図データに情報がないときは、路線名・路線番号は表示されません。
- 200m 図より広域な地図を表示しているときは、路線名・路線番号は表示されません。

緯度経度の表示

現在地の緯度や経度を確認することができます。



現在地の地図表示中

1 現在地 を押す。

2 座標 にタッチ。



- 現在地の住所と緯度経度の座標が表示されます。

知 識

- 緯度経度は、世界測地系と日本測地系の両方の座標が表示されます。

スイッチの表示／非表示

地図上のスイッチ類の表示を少なくすることができます。



1 Off にタッチ。



- スイッチ類を表示するとき
  ➡ On にタッチ。

- Off のときに表示するスイッチ類を設定できます。（→ P.159）

地図を動かす

スライド操作で動かす

スライドタッチ操作を「する」に設定（→ P.52）したときは、スライドおよびフリック操作で地図を動かすことができます。

地図表示中

1 地図上にタッチし、スライドまたはフリック操作をする。（→ P.21）

▶スライド操作



● 指の動きに合わせて地図が動きます。

▶フリック操作



● 指を払った方向に地図が動きます。
- 動く量は、払う速度により変化します。
- 動かした画面は、自動で止まります。動いている画面にタッチしても止めることができます。

知 識

● 走行中は、操作できません。

画面にタッチして動かす

スライドタッチ操作を「する／しない」（→ P.52）どちらに設定しても操作することができます。タッチした地点を画面の中心として、地図を動かすことができます。



現在地からの直線距離

地図表示中

1 地図上にタッチ。

● スライドタッチ操作を「しない」（→ P.52）に設定した場合、タッチし続けると、地図が連続で移動します。（このとき、✥が黄色になります。）タッチする位置により、移動する速度が異なります。

知 識

● 走行中は安全のため、一定の距離しか移動できません。また、走行中で市街図（→ P.79）を表示しているときは、地図を動かすことはできません。
● 地図を動かすと、走行しても地図は動かなくなります。この場合、現在地 を押し現在地の表示にすると、地図が動くようになります。
● 地図を動かしたときは、地図向きの切り替え（→ P.78）ができないことがあります。

地図を動かした時の地名表示

地図を動かすと、画面上部に画面中心付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。



- 地図を動かした後、約 6 秒間表示されます。

知 識

- 以下のときは、路線名・路線番号は表示されません。
  - ・ 地図データに情報のないとき
  - ・ 200m 図より広域な地図を表示しているとき

地図縮尺を切り替える

地図を 1/2048 万図～ 1/5 千図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。



スケールバー

地図を拡大表示する

1 詳細 にタッチ、またはピンチアウト操作（→ P.22）をする。

地図を縮小表示する

1 広域 にタッチ、またはピンチイン操作（→ P.22）をする。

- 13 段階に切り替えることができます。
- タッチするごとに、1 段階ずつ切り替わります。
- 広域 ・ 詳細 にタッチしたあと、スケールバーの数字にタッチすると、縮尺が切り替わります。また、約 1 秒以上タッチし続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。希望の縮尺になったら手をはなします。

- 縮尺切り替えメッセージの表示／非表示を設定できます。（→ P.153）

知 識

● 走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、またはスケールバーの数字にタッチして縮尺を切り替えることはできません。

地図のスケール表示について

地図左上に表示される 100m の ＿＿ の長さが約 100m であり、表示されている地図が 1/1 万縮尺であることを示しています。



スケール表示	縮尺
25m	1/2500
50m	1/5 千
100m	1/1 万
200m	1/2 万
400m	1/4 万
800m	1/8 万
1.6k	1/16 万
3k	1/32 万
7k	1/64 万
13k	1/128 万
26k	1/256 万
50k	1/512 万
100k	1/1024 万
200k	1/2048 万

知 識

● 1/2500 図は市街図表示（→ P.79）に切り替えたとき、表示することができます。

地図記号・地図表示について

表示	内容
（紫色）	高速道路（都市高速道路・有料道路を含む）
（橙色）	国道
（黄色）	都道府県道
（白色）	主要道・一般幹線道
	トンネルまたは整備計画区間（各道路で表示色は異なります。）
	私鉄
	JR
（青色）	水域
	都道府県界
（緑色）	緑地
（灰色）	駅舎・敷地

知 識

● 選択した地図色によって、表示される色が異なります。（→ P.150）

記号	内容
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京 23 区役所
	町村役場・東京以外の区役所
	警察署
	消防署
	郵便局
IC	IC（インターチェンジ）
SA	SA（サービスエリア）
PA	PA（パーキングエリア）
IC	スマート IC （ETC 専用インターチェンジ）
	信号機
P	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	学校
幼	幼稚園
	病院・医院
	電力会社・発電所
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど
H	ホテル・旅館など
	ビル
	工場

記号	内容
	灯台
	神社
	寺院
	教会
	霊園・墓地
	城・城跡
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場
	アイススケート場
	マリーナ・ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	山
	その他の施設
	通常の踏み切り
	ボトルネック踏み切り ※
	トヨタ販売店・トヨタ共販店
	ネッツ店
	ダイハツ販売会社

※ 列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。

(知 識)

- 地図データに収録されているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成しています。
- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設が代表して 1 つのマークで表示されることがあります。

地図の向きを切り替える

▶ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図を表示します。



▶ヘディングアップ表示

車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。



▶3D 表示

地図を立体的に表示させることができます。3D 表示に切り替えているときは、車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。



1 、 または にタッチ。

- タッチするごとに、ノースアップ表示・ヘディングアップ表示・3D 表示に切り替わります。

- 3D 表示の角度を調整することができます。（→ P.150）

知 識

- ヘディングアップ表示と 3D 表示は、現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）にするとノースアップ表示になりますが、現在地画面にするとヘディングアップ表示または 3D 表示に復帰します。

3D 表示の地図を回転する

1 地図上にタッチ。

2 、 にタッチし、地図を回転する。



：地図が時計まわりに回ります。

：地図が反時計まわりに回ります。

知 識

- 現在地画面にすると、もとの表示状態（回転前の状態）に復帰します。

市街図を表示する

地図データに市街図の情報がある地域では、1/5 千図または 1/2500 図を表示すると「市街図」が表示され、市街図表示に切り替えることができます。



1/5 千図または 1/2500 図表示中（スケール表示が 50m または 25m のとき）

1 市街図 にタッチ。



- 市街図表示には 1/5 千市街図と 1/2500 市街図があります。
  広域 ・ 詳細 にタッチして切り替えます。
- 市街図の表示を解除する
  ➡ 1/5 千市街図表示中、広域 にタッチ。

知 識

- 市街図がない地域に地図または現在地を動かすと、市街図表示は自動的に解除されます。
- 1/2500 市街図にすると （一方通行）を表示します。

施設の内容を表示する

市街図表示中

1 施設 にタッチ。



2 にタッチして、内容を表示する施設がある建物に地図を動かし、施設情報 にタッチ。

- 選んだ建物の階数・施設の件数が表示されます。
- 選んだ建物に 1 つしか施設がないときは、その施設の内容が表示されます。

3 施設名称にタッチ。

(知 識)

- 地図データに情報のない建物は、内容が表示されません。

地図をカスタマイズする

地図色、ルート色、自車位置マーク、文字サイズを選択することができます。(→ P.149)

2. 画面を分割表示する

画面を左右2分割して表示することができます。画面の分割表示および右画面の表示設定はナビ詳細設定画面でも設定できます。（→ P.149）

知 識

- 現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）は、2 画面表示が解除されますが、現在地画面にすると、2 画面表示に復帰します。
- 一度 2 画面表示を解除し、再度 2 画面表示にしたときは、前回 2 画面表示していたときの縮尺で表示されます。

地図を左右 2 分割して表示する（地図 2 画面）



1 地図表示中 → 表示変更 → 地図表示

2 地図 2 画面 にタッチ。



- 解除するとき

  ➡ 地図 1 画面 にタッチ。

右画面を地図画面から設定する

1 右画面の地図上にタッチ。

2 右画面の設定をする。



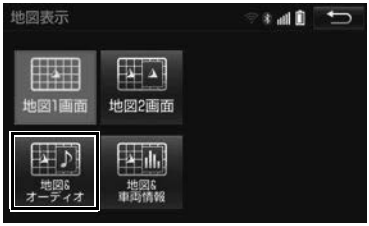
- 周辺施設表示やVICS表示が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。
- 周辺施設表示、VICS 表示については、「地図表示設定をする」（→ P.149）をご覧ください。

画面を左右２分割して表示する（地図／オーディオ）



1 地図表示中 → 表示変更 → 地図表示

2 地図＆オーディオ にタッチ。



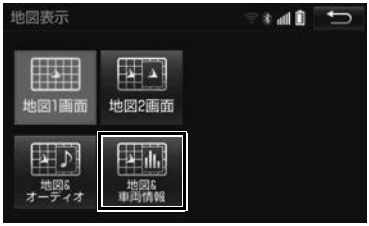
- 左画面にタッチすると、一時的に地図１画面に切り替えることができます。２画面表示に戻すときは、現在地 を押します。
- 右画面には、放送局情報や、楽曲情報が表示されます。オーディオ操作については、３章オーディオ＆ビジュアルをご覧ください。

画面を左右２分割して表示する（地図／車両情報）



1 地図表示中 → 表示変更 → 地図表示

2 地図＆車両情報 にタッチ。



- 左画面にタッチすると、一時的に地図１画面に切り替えることができます。２画面表示に戻すときは、現在地 を押します。
- 右画面の ＜ または ＞ にタッチすると、ESPO・エネルギーモニター・毎分燃費・区間燃費に表示を切り替えることができます。

3. 地図表示画面を設定する

施設マークを表示する

コンビニなどの施設マークを地図上に表示することができます。



施設マーク

知 識

- 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- 1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）
- 表示することができる施設は、または から半径約 10km 以内にある施設のみです。（最大 200 件まで）

1 地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設

2 施設のジャンルにタッチ。



- 5つまで選択することができます。
- 一度に選択できる施設は 1 施設です。一度に複数の施設を選択するときは、ナビ詳細設定の周辺施設表示（→ P.151）から設定してください。
- 表示されている以外のジャンルを選択するとき
  ➡ 全ジャンル にタッチ。
- 全ジャンル にタッチしたとき
  ➡ 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。
- 施設マークの表示を消去するとき
  - 個別に消去
    ➡ 選択済みの施設のジャンルにタッチ。
  - すべて消去
    ➡ 表示解除 にタッチ。

- 施設マークの表示／消去はナビ詳細設定画面でも設定できます。（→ P.151）

知 識

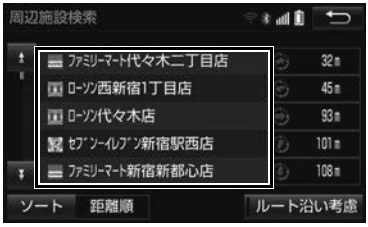
- TC 情報マーク表示 は、T-Connect を利用しているときのみ使用できます。

近くの施設を検索する

現在地周辺にある施設マークの名称と距離を知ることができます。

1 地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設 → 施設検索

2 施設名称にタッチ。



- 表示されている矢印は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを示しています。
  - 地図を動かしたとき、矢印は表示されません。

● ソート にタッチするごとに、以下の並べ方をすることができます。

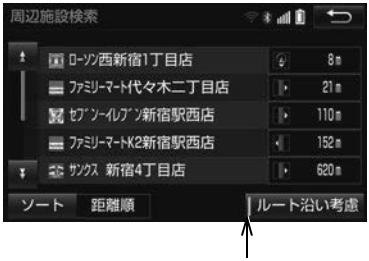
スイッチ	並べ方
距離順	または から近い施設の順
種類順	施設の記号の種類順

知 識

● 検索することができる施設は、または から半径約 10km 以内にある施設のみです。(最大 200 件まで)
● 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。
● 施設マークを表示していないときは、検索できません。

ルート・距離を考慮したリストを表示する

目的地が設定されているとき、ルート沿いにある施設のリストを表示することができます。



1 地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設 → 施設検索 → ルート沿い考慮

● ルート沿い考慮が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。
● 設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右、後ろのどちらの方向にあるかを表示します。

知 識

● 表示することができる施設は、ルート沿いにある施設のみです。

立体ランドマークの施設情報を表示する

地図上に立体的な施設マーク (立体ランドマーク) を表示させることができます (→ P.152)

1 立体ランドマークにタッチ。

● 名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 情報 にタッチ。



● 施設の内容が表示されます。(→ P.104)

DSSS（Driving Safety Support Systems）安全運転支援機能を使用する

▶販売店装着オプションの ITS スポット対応 DSRC ユニットを装着したとき

DSSS（Driving Safety Support Systems）は、ドライバーの認知・判断の遅れや誤りを低減するための運転支援機能です。

見通しの悪い周辺の状況や、信号または標識などの交通管制情報を、道路上に設置された DSSS 用光ビーコンから受信し、車の走行状態や受信情報から、必要に応じてドライバーに周辺の危険要因に対する注意を促します。

DSSS では、次のような案内・注意喚起を行います。

(1)信号待ち発進準備案内

(2)前方停止車両存在案内

(3)わき道車両存在案内

- DSSS は警察庁が推進しているプロジェクトです。2011 年 7 月より、東京都と神奈川県の交差点でサービスが始まり、順次全国展開される予定です。
- 本サービスの対象交差点などの DSSS プロジェクトに関するお問い合わせについては、「VICS・ITS スポット ・DSSS の問い合わせ先について」（→ P.198）をご覧ください。
- DSSS に関する規格は、一般社団法人 UTMS 協会によって策定されています。また、DSSS システム定義は DSSS 有識者懇談会によって策定されています。本製品はそれらに基づいて作られています。

⚠ 警告

- DSSS 運転支援機能はあくまでも補助機能です。
  案内・注意喚起を過信せず、常に道路標識・表示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

(知 識)

- 運転支援情報を受信したときは、ナビゲーション画面の右上に案内マークが表示されます。
- ナビゲーション画面の右上に表示される案内マークは、一定時間経過または支援対象区間通過後に消えます。
- 表示中の画面によっては、案内マークが表示されない場合があります。
- 以下のような場合は、DSSS機能が作動しないことや、案内・注意喚起の内容が実際の道路状況と異なる場合があります。
  - DSRC ユニットの上に物を置いたり、窓が汚れたりして、DSSS 用光ビーコンとの通信が遮られたとき
  - DSSS 用光ビーコンに木の葉や雪などが付着して、通信が遮られたとき
  - 雨天時等、ワイパーが作動して DSSS 用光ビーコンの通信が遮られたとき
  - DSSS用光ビーコンやDSRCユニットに太陽光などが差し込んだとき
  - DSSS 用光ビーコンの通信エリアに駐停車車両があり、通信できないとき
  - DSSS 用光ビーコンの通信エリアに他の車両と並走して進入したとき
  - DSSS 用光ビーコンや感知器、信号機など路側装置の機器メンテナンス作業や故障などによって、通信ができないとき、または誤った情報が本機に提供されたとき
  - DSSS 用光ビーコン通過時の速度が著しく速いとき
  - DSSS 用光ビーコンの近くに他の光ビーコンが設置されているとき
  - DSSS 用光ビーコンヘッドの向きが変わってしまっているとき（台風等）

(知 識)

- 車両始動直後に DSSS 用光ビーコンを通過したとき
- 本機に故障等があり、受信した情報を正しく処理できないとき
- システムの誤差などでナビゲーションが現在地を特定できないとき
- 遅い速度で走行しているとき
- サービス対象地点の地図データがないとき
- 自車位置が特定できないとき

走行した経路を表示する（走行軌跡）

走行した道路を約 1000km 分保存し、軌跡を表示することができます。



走行軌跡

走行軌跡を表示／解除する

1 地図表示中 → 表示変更

2 走行軌跡表示 にタッチ。



- 走行軌跡を消去するとき
  ➡ 走行軌跡解除 → はい の順にタッチ。

知 識

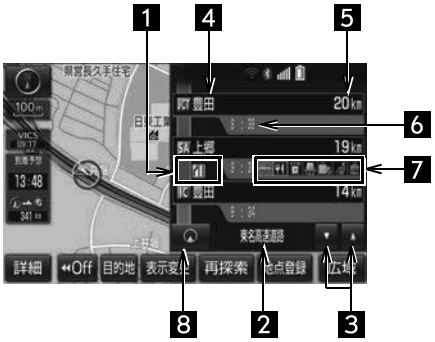
- 保存できる距離を超えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおします。
- 1/2500 図～1/512 万図で表示することができます。
- 走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

4. 高速道路・都市高速道路の表示

ハイウェイモード表示の操作

高速道路（都市高速を除く）にはいると、自動的に高速道路の名称や施設の名称、施設にある設備などを表示するハイウェイモード（高速略図）に切り替わります。

目的地案内中は、都市高速または一部の有料道路にはいっても、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。



番号	機能
1	VICS・交通情報を受信したとき、赤色（渋滞）、橙色（混雑）を表示。 •「VICS・交通情報の表示設定」（→ P.185）で、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。
2	道路の名称を表示。
3	▲ または ▼ にタッチすると、表示区間が切り替わる。
4	施設の名称を表示。 （目的地案内をさせていないときは、最大 10 カ所まで）
5	現在地からの距離を表示。
6	通過予想時刻を表示。
7	施設（SA・PA のみ）にある設備を、ガソリンスタンドを除き最大 6 つまで表示。 • ガソリンスタンドは先頭に表示されます。 • 6 つ以上の設備があるときは、表示されない設備マークがあります。
8	表示区間を切り替えているときに ◎ にタッチすると、自車が走行している区間に戻る。

設備のマークについて

記号	内容
— ※	ガソリンスタンド
	レストラン
	ドラッグストア
	仮眠休憩施設
	お風呂
	キャッシュコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル
	郵便ポスト
	FAX サービス
	ショッピングコーナー
	休憩所
	スナックコーナー
	トイレ
	ハイウェイオアシス
	スマート IC (ETC 専用インターチェンジ)

※ 固有のロゴマークが表示されます。

知 識

- 反対車線の情報は表示されません。
- 通過予想時刻は設定した平均車速（→ P.153）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- SA・PA にはいるなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード表示が解除されることがあります。
- 目的地案内中のとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、高速分岐案内画面（→ P.90）が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに復帰します。

ハイウェイモード表示を解除する

1 地図表示中 → 表示変更 → 地図表示

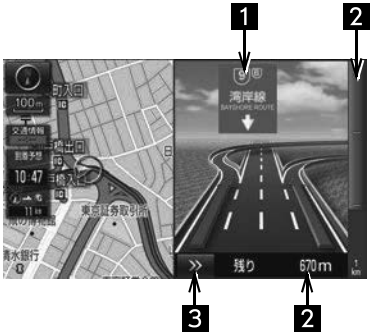
2 高速略図解除 にタッチ。



- ハイウェイモードに戻すとき
  ➡ 高速略図表示 にタッチ。

高速分岐案内表示の操作

目的地案内中、分岐点（出口 IC・SA・PA・JCT）が近づくと、高速分岐案内が表示されます。



番号	機能
1	IC の出口名称、SA・PA 名称または JCT の方面名称を表示。
2	分岐点までの距離を表示。 （分岐点に近づくとともに右側のバーが短くなります。）
3	高速分岐案内画面を解除。 • 高速分岐案内画面に戻すとき ➡ 現在地 を押す。

知 識

- 地図データに情報のない分岐点では、高速分岐案内画面は表示されません。また、高速分岐案内画面が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 分岐点名称表示、車線数が実際の分岐点と異なることがあります。
- 目的地案内直後や目的地周辺では、高速分岐案内が行われない場合があります。
- 高速分岐案内画面は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐点が近いときは、続けて高速分岐案内画面が表示されます。

5. 地図を呼び出す

地図を検索する

目的地の設定・目的地の追加・メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときには、設定・登録する場所の地図をさまざまな方法で呼び出し、表示させることができます。

- 表示された画面で、地図の呼び出し方法を選びます。各呼び出し方法については、表（→ P.92）をご覧ください。

目的地の設定のとき

1 MENU または現在地画面（市街図を表示していないとき）→ 目的地 → 目的地画面（→ P.107）



＞その他の方法 にタッチまたはフリック操作

＜戻る にタッチまたはフリック操作



目的地の追加のとき

1 ルート変更画面（→ P.127）→ 目的地・通過目的地の 追加 → 目的地追加画面（→ P.128）



＞その他の方法 にタッチまたはフリック操作

＜戻る にタッチまたはフリック操作



● 目的地の設定と追加画面では、次の表にある方法で地図を表示することができます。

項目（スイッチ）	機能	ページ
名称	名称で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した地名がある地域の地図を表示する。	96
住所	地名、番地で指定した地点または地域の地図を表示する。	99
施設	さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示する。	100
電話番号	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した電話番号が使用されている地域の地図を表示する。	100
WEB	トヨタスマートセンターを経由し、インターネットの検索エンジンを使用して地図を表示する。	567
メモリ地点	メモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示する。 • メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。（→ P.136）	—
ジャンル	現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示する。	101
TC で設定	ドライブプランや G メモリ（→ P.519）を使用して地図を表示する。 • 目的地の設定を行うときのみ使用できます。	—
マップコード	入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示する。	102
特別メモリに行く 1 / 2 / 3 / 4 / 5	特別メモリ地点を目的地としてルート探索を開始する。 • 特別メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。（→ P.135）	—

項目（スイッチ）	機能	ページ
履歴	目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点の地図を表示する。 • 目的地履歴が登録されているときのみ使用できます。 前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示する。 • 一度目的地案内を行ったときのみ使用できます。	103
自宅に帰る	自宅を目的地としてルート探索を開始する。 • 自宅を登録していない場合は、ここから登録することができます。（→ P.108） • 目的地の設定を行うときのみ使用できます。	—
自宅周辺	自宅周辺の地図を表示する。 • 自宅を登録しているときのみ使用できます。（→ P.135） • 目的地の追加を行うときのみ使用できます。	—

目的地の設定・追加以外のとき ※

＜自宅の登録＞

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 自宅 → 登録 →
自宅登録画面（→ P.40）

＜特別メモリ登録＞

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 特別メモリ → 登録 →
特別メモリ登録画面（→ P.135）

＜メモリ地点登録＞

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → メモリ地点 → 登録 →
メモリ地点登録画面（→ P.136）

＜迂回メモリ登録＞

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 迂回メモリ → 登録 →
迂回メモリ登録画面（→ P.137）

＜販売店設定＞

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌜メンテナンス⌟ → 項目設定 → 販売店設定 →
販売店設定画面（→ P.45）



※ 画面はメモリ地点の登録時のものです。

● 目的地の設定と追加以外の地図呼び出し画面では、次の表にある方法で地図を表示することができます。

項目（スイッチ）	機能	ページ
現在地周辺	現在地周辺の地図を表示する。	—
目的地履歴	目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点の地図を表示する。 • 目的地履歴が登録されているときのみ使用できます。 前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示する。 • 一度目的地案内を行ったときのみ使用できます。	103
名称	名称で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した地名がある地域の地図を表示する。	96
住所	地名、番地で指定した地点または地域の地図を表示する。	99
施設	さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示する。	100
電話番号	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した電話番号が使用されている地域の地図を表示する。	100
WEB※	トヨタスマートセンターを経由し、インターネットの検索エンジンを使用してスポット検索を行う。	567
メモリ地点	メモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示する。 • メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。 （→ P.136）	—
ジャンル	現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示する。	101
マップコード	入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示する。	102
特別メモリ周辺	特別メモリ地点周辺の地図を表示する。 • 特別メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。 （→ P.135）	—

※ 自宅登録画面、迂回メモリ登録画面、販売店設定画面では表示させることができません。

名称で地図を検索する

施設名称または地名を入力し、地図を呼び出すことができます。

また全国リスト画面（→ P.97）に表示された件数が多い場合は、エリア（→ P.98）・ジャンル（→ P.99）を指定することにより件数を絞り込むことができます。

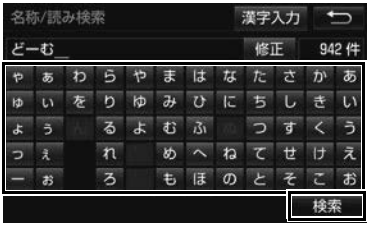
知 識

- 入力中に検索先の候補が5件以下になり、約 10 秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。

名称の読みで検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.91）→ 名称

2 名称を入力し、検索 にタッチ。



- 入力するごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。
- 漢字・カタカナ・英数字で入力するとき
  ➡ 漢字入力 にタッチ。（→ P.96）

3 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→ P.97）

名称の文字入力で検索する

名称読み検索に比べ、検索する施設名称または地名の件数を絞り込むことができます。

- 読み入力 にタッチすると、入力していた文字は消去され、名称読み検索の画面に戻ります。（→ P.96）

■ひらがな・漢字入力

1 地図の呼び出し画面（→ P.91）→ 名称 → 漢字入力

2 かな にタッチし、入力画面を切り替える。

3 名称を入力し、変換 にタッチ。



- 入力したままの状態で確定したいとき
  ➡ 無変換 にタッチ。

4 入力したい熟語にタッチ。

- 変換範囲を修正するとき
  ➡ < ・ > にタッチ。
- そのままの状態でよいとき
  ➡ 全確定 にタッチ。

5 検索 にタッチ。（手順 **3** の画面）

6 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→ P.97）

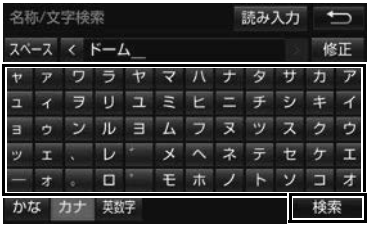
■カタカナ、英数字入力

1 地図の呼び出し画面（→P.91）→ 名称 → 漢字入力

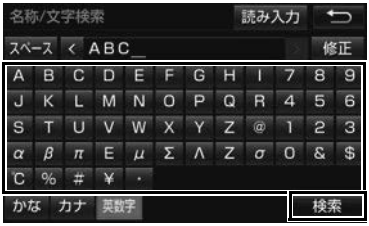
2 カナ ・ 英数字 のいずれかにタッチし、入力画面を切り替える。

3 名称を入力し、検索 にタッチ。

▶カタカナ入力時



▶英数字・記号入力時

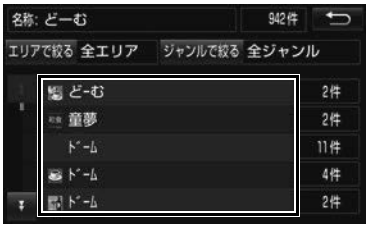


4 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→P.97）

全国リストから検索する

1 地図の呼び出し画面（→P.91）→ 名称 → （名称入力） → 検索

2 表示させる施設名称または地名にタッチすると、タッチした施設の地図が表示されます。



- エリア（→P.98）またはジャンル（→P.99）を指定することにより、リストに表示されている施設名称または地名を絞り込むことができます。
- 同じ施設名称、または施設名称に複数の店舗（チェーン店など）があるときは、まとめてリストに表示されます。この場合、施設名称の右側に検索された施設の件数が表示されます。
- まとめて表示されたリストにタッチしたとき
  ➡ 施設名称にタッチ。
  ・施設名称のリストは、以下の並べ方をすることができます。

スイッチ	並べ方
距離順 ※1	から近い施設または地名の順
名称順 ※2	50 音順

※1 検索された施設名称または地名の件数が多い場合は、距離順に並び替えできない場合があります。
※2 数字、ローマ字が先に表示されます。

エリア別に絞り込む

エリアを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

1 全国リスト画面（→ P.97）→ エリアで絞る

2 エリアの指定方法にタッチ。



- 次の方法で、エリアを指定することができます。

スイッチ	項目	ページ
住所	住所で絞り込む	98
地域	地域で絞り込む	98
周辺	周辺で絞り込む	98

■住所選択時

1 都道府県名にタッチ。



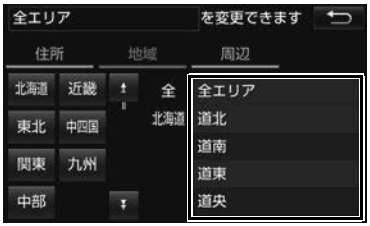
- リスト画面に戻すとき
  ➡ 全エリア にタッチ。

2 市区町村名にタッチ。

- 都道府県を指定してリスト画面を表示するとき
  ➡ ○○全域 にタッチ。

■地域選択時

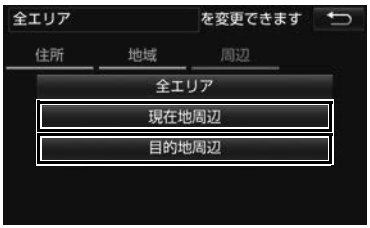
1 地域名にタッチ。



- リスト画面に戻すとき
  ➡ 全エリア にタッチ。

■周辺選択時

1 現在地周辺 または 目的地周辺 にタッチ。



- リスト画面に戻すとき
  ➡ 全エリア にタッチ。
- 目的地を複数設定している場合に、目的地周辺 にタッチしたとき
  ➡ 目的地にタッチ。

施設のジャンル別に絞り込む

ジャンルを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

1 全国リスト画面（→ P.97）→ ジャンルで絞る

2 施設のジャンル→さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。



- リスト画面に戻すとき
  ➡ 全ジャンル にタッチ。
- 地名（住所）を入力したいときは、その他 → 住所 の順にタッチすると、地名（住所）のリストが表示されます。

知 識

- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

住所で地図を検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.91）→ 住所

2 住所を都道府県名から順にタッチ。



- 郡名は表示されません。
- 「大字」や「字」の文字は省略して表示されます。（「大字○○」や「字○○」は「○○」と表示されます。）
- ○○主要部 にタッチすると、広域図が表示されます。

3 番地指定 にタッチ。

4 番地を入力し、検索 にタッチ。

- 入力した番地に該当する住所がないときは、了解 にタッチするとその丁目（字）の広域図が表示されます。

施設で地図を検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.91）→ 施設

2 施設のジャンルにタッチ。



- 表示されている以外のジャンルを表示するとき
  ➡ その他 にタッチし、施設のジャンルにタッチ。

3 都道府県名（路線名）にタッチ。

- さらに市区町村名（または路線名・販売会社名）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（または路線名・販売会社名）にタッチします。
- 施設のジャンルによっては、全国施設リストが表示されることがあります。
  このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。
  全国の○○ にタッチすると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が50 音順に表示されます。

4 施設名称にタッチ。

電話番号で地図を検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.91）→ 電話番号

2 電話番号を入力し、検索 にタッチ。



- 市外局番から入力します。
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- 該当する施設がないときや個人住宅などのときは、市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 同じ電話番号で複数の地点があるとき
  ➡ 施設名称にタッチ。

(知 識)

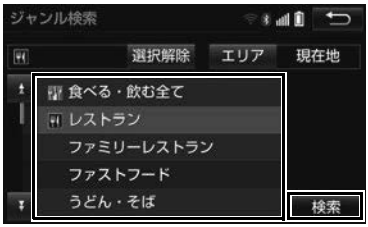
- 同じ名前の施設が、複数表示されることがあります。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
  - ・ デパートの美術館・アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
  - ・ 一般情報誌などではホール等の電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地の地図が表示されます。
- 施設の電話番号や所在地、名前などは 1 年間で数万件が変化します。この点に留意してご利用ください。
- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。
- 収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。
  記憶できる件数をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

ジャンルで地図を検索する

現在地または目的地周辺など施設を検索するエリアを変更し、変更したエリア周辺の施設を検索することができます。

1 地図の呼び出し画面（→ P.91）→ ジャンル

2 施設のジャンル→さらに詳細な施設のジャンル→ 検索 の順にタッチ。



- 5 つまで選択することができます。
- 間違えたとき
  ➡ 選択解除 または選択済みの施設のジャンルにタッチ。
- 選択解除 にタッチした場合、最後に選択した施設のジャンルから解除されます。

3 施設名称にタッチ。

- 施設のリストは、以下の並べ方をすることができます。

スイッチ	並べ方
距離順	または から近い施設の順
種類順	施設の記号の種類順

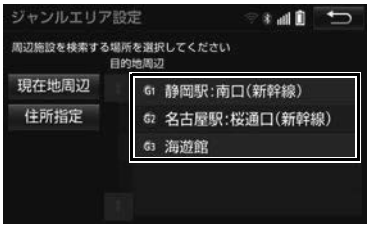
知 識

● ルート沿い考慮 にタッチすると、ルート沿いの施設のみリストに表示されます。(→P.84)

施設検索するエリアを変更する

1 地図の呼び出し画面（→P.91）→ ジャンル → エリア

2 施設を検索したい地域にタッチ。



● 住所指定 にタッチすると、住所から施設を検索したい地域を選択することができます。
・選択方法について
➡「住所で地図を検索する」(→P.99) 手順 **2** へ。

3 にタッチして、検索したい地点まで を移動する。

4 セット にタッチ。

マップコードで地図を検索する

1 地図の呼び出し画面（→P.91）→ マップコード

2 マップコードを入力し、検索 にタッチ。



知 識

● マップコード※ とは、特定の位置の位置データをコード化し、1 ～ 13 桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。

※「マップコード」は、株式会社 デンソーの登録商標です。

● マップコードについては、以下のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。
http://www.e-mapcode.com

● マップコードは、メモリ地点（→P.136）や自宅（→P.135）、特別メモリ（→P.135）、迂回メモリ地点（→P.137）を登録すると、位置の名称の下に表示されます。

履歴で地図を検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.91）→ 履歴

2 希望の目的地履歴にタッチ。



- 前回出発地 にタッチすると、前回目的地案内させたときの出発地点の地図が表示されます。

履歴を消去する

1 地図の呼び出し画面（→ P.91）→ 履歴 → 履歴消去

2 (地点名称) にタッチ。

3 消去 にタッチ。

4 はい にタッチ。

(知 識)

- 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。

6. 検索した地図を操作する

ピンポイント検索について

地図を呼び出したとき、施設によっては、ピンポイント検索されます。

▶ピンポイント検索されたとき



▶ピンポイント検索されなかったとき



知 識

- 検索された施設に、詳細な情報があるときは、検索された施設の地点に が表示されます。

地図の位置を変更する

1 にタッチして、地図を動かす。

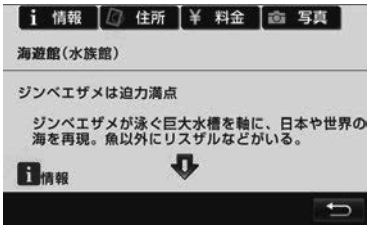
施設の内容を表示する

1 情報 にタッチ。

▶簡易情報表示



▶情報付き施設表示



- 画面を動かすとき

  ➡ にタッチ。

- 情報 ・ 住所 ・ 料金 ・ 写真 にタッチすると、それぞれの情報が書かれている部分に画面が動きます。

知 識

- 呼び出した地図の地点により、表示される画面が異なります。
- 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

提携駐車場を検索する

検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

1 提携P にタッチ。



- 提携駐車場のリストが表示されます。

2 駐車場名称にタッチ。

- タッチした駐車場の地図が表示されます。
- 専用駐車場は P（青色）、提携駐車場は P （緑色）で表示されます。

知 識

- 提携P にタッチしても、駐車場が検索されないことがあります。
- 地図データに情報のない駐車場は、検索されません。
- 施設によっては、駐車場が検索されない施設もあります。
- 検索される駐車場は、設定した車両情報（→ P.41）により異なります。また、車両寸法が設定されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

住所で絞り込む

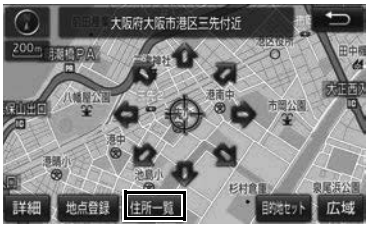
住所一覧から検索する

次のときに、検索することができます。

(1)「名称で地図を検索する」（○○県○○市などで検索するとき）でリストから地名（住所）をタッチしたとき

(2)「電話番号で地図を検索する」で、該当する施設がなかったとき

1 住所一覧 にタッチ。



2 地名にタッチ。

- タッチした地名の地図が表示されます。
- 詳細がわからないとき
  ➡ ○○主要部 にタッチし、広域図を表示。

周辺住所から検索する

次のときに、検索することができます。
(1)「住所一覧から検索する」で、該当する住所がなかったとき
(2)「住所で地図を検索する」で、該当する住所がなかったとき

1 周辺住所 にタッチ。



2 番地にタッチ。

1. 目的地を設定してルートを探索する

目的地の設定について

(知 識)

- 1/8 万図以下の詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。(最大 100 カ所まで) 100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地履歴は、消去することもできます。(→ P.159)

目的地画面から目的地を設定する

1 MENU **または現在地画面(市街図を表示していないとき) →** 目的地

2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示する。
(→ P.91、P.104)

3 にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かし、
目的地セット にタッチ。



- の位置に目的地が記号で表示され、ルート探索が開始されます。(→ P.108)
- 設定した目的地を消去するとき
  ➡「目的地を消去する」(→ P.129)
- すでに目的地が設定されているとき
  ➡ 次のいずれかにタッチ。

新規目的地 : 新しく目的地を設定する

追加目的地 : 目的地を追加する ※

※ 以降の設定方法について
➡「目的地を追加する」(→ P.128) 手順 **4** へ。

地図画面から目的地を設定する

現在、表示させている地図に目的地を設定することができます。

1 地図上にタッチし、目的地セット にタッチ。

2 にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かし、
目的地セット にタッチ。



- の位置に目的地が記号で表示され、ルート探索が開始されます。(→ P.108)
- すでに目的地が設定されているときに、地図画面から目的地を追加した場合、その目的地が一番初めの目的地になり、ルート探索を開始します。

(知 識)

- 現在地画面の 目的地 にタッチしたときは、地図を検索する機能を使用することができます。(→ P.91)

自宅を目的地に設定する

1 MENU **または現在地画面（市街図を表示していないとき）→** 目的地

2 自宅に帰る にタッチ。

自宅が登録されていないときは

1 MENU **または現在地画面（市街図を表示していないとき）→** 目的地

2 自宅登録 にタッチ。

3 自宅の登録方法を選択する。

- 次の方法で、地図を呼び出すことができます。

機能	ページ
現在地周辺	—
目的地履歴	103
住所指定	99

4 セット にタッチ。

5 自宅に帰る にタッチ。

ルート探索について

目的地の設定が終了すると、ルート探索が開始されます。ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。（→ P.109）

知 識

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても、探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- 高速道路や有料道路の IC・SA・PA 内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道路から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（→ P.124）を行ってください。
- 私有地などは、その土地の所有者であっても、進入を規制するルートが探索されます。
- 歩行者天国が行われる場所などは、開催日以外の日でも、進入を規制するルートが探索されます。
- 車両制限（車高・車幅・車長など）のある道路は、ルート探索時に考慮されません。

ルート探索後の全ルート図表示について

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

- 全ルート図が表示されたあと、現在地 を押す、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。（→ P.114）
- 目的地案内開始後にも全ルート図表示画面を表示することができます。（→ P.122）

画面の表示について

下の画面はすべて最終の目的地までのものです。



番号	表示	機能
1	IC マーク	一番最初に一般道路から有料道路に入る IC と、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の位置に表示する。
2	IC 名称表示	一番最初に一般道路から有料道路に入る IC の名称を下に、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の名称を上に表示する。
3	有料道路距離表示	目的地までに通るすべての有料道路の距離を表示する。 • 有料道路を通らないときは、利用する主な道路の種類が表示されます。
4	料金案内	目的地までに通るすべての有料道路の料金を表示する。 • 有料道路を通らないときは、利用する主な道路の距離が表示されます。 • 目的地案内開始後に全ルート図表示画面を表示したときは、現在地から目的地までに通る残りの有料道路の料金を表示します。
5	距離表示	出発地点から目的地までの距離を表示する。

次のページに続く

番号	表示	機能
6	残距離表示	表示されているルートの自車位置から目的地までの距離を表示する。 • ルートからはずれたときは、目的地までの直線距離を表示します。
7	到着予想時刻表示	目的地への到着予想時刻を表示する。 • ルートからはずれたときは、目的地方向マークを表示します。

全ルート図画面の操作

全ルート図表示画面で、次のことができます。

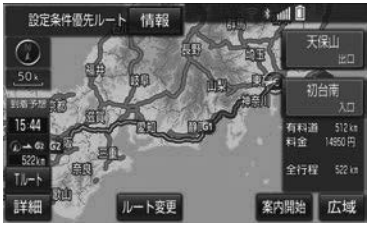


番号	スイッチ	機能	ページ
1	情報	案内道路情報を表示する。	112
2	IC 名称	出入口 IC を指定する。	131
3	案内開始／案内に戻る	目的地案内またはデモンストレーションを開始する。 目的地案内中は、現在地画面に戻る。	114
4	ルート変更	ルート変更画面を表示する。	127
5	5 ルート	別のルートを表示して選択する。 • 目的地案内開始後は表示されません。	113
6	T ルート／元ルート	トヨタスマートセンターから交通情報を入手してルート検索する。	559
7	到着予想時刻・ 残距離表示	各目的地までの到着予想時刻・残距離に切り替える。（目的地を複数設定しているとき）	122

知 識

- 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- 料金は設定した車両情報（→ P.41）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 到着予想時刻は設定した平均車速（→ P.153）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- 交通規制（常時進入禁止、時間による進入禁止など）区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に✕が表示されることがあります。
- 地図データには中央分離帯の情報が収録されていないものがあります。そのため、探索されるルートは中央分離帯を考慮したものではないことがあります。

ルートの表示について



● ルートの表示は、次の 4 種類あります。

表示色	内容
青色 (▬▬)	目的地を 1 カ所、または複数設定しているときの現区間（次の目的地まで）の表示
白色 (▬▬)	目的地を複数設定しているときの現区間（次の目的地まで）以外の表示
水色 (▬▬)	幅 5.5m 未満の道路表示 （→ P.112）
橙色 (▬▬)	季節規制区間の表示 （→ P.155）

● ルートの表示色の設定を変更することができます。（→ P.150）

● ここでは、初期設定の表示色（青色）で説明しています。

■幅 5.5m 未満の道路表示について

現在地または目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路を通るルートも探索します。



知 識

● 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。

ルート情報を表示する（案内道路情報）

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・料金・通過予想時刻）を表示させることができます。

1 全ルート図表示画面（→ P.109）→ 情報

2 ルート情報画面が表示される。



● 入口 IC・出口 IC・JCT・目的地・道路の種別の変わり目などでルートを分割して表示します。

● 分割されたそれぞれのルートは、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。
・ それぞれの地点の地図を表示するとき
➡ 地図 にタッチ。

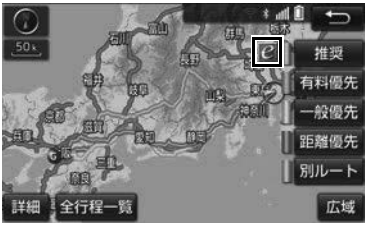
知 識

● 現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。

5つのルートから希望のルートを選ぶ

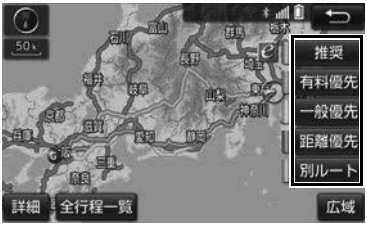
5つのルートが5色に色分けされて表示されます。

燃費を設定している場合、最もエコなルートにアイコンが表示されます。(→P.167)



1 全ルート図表示画面(→P.109)→ 5ルート

2 表示したいルート名称にタッチ。



- 選択したルートの全ルート図表示画面が表示されます。

スイッチ	内容
推奨	一般的なルートで案内できます。
有料優先	有料道路を優先して案内できます。
一般優先	一般道路を優先して案内できます。
距離優先	距離の短いルートで案内できます。
別ルート	他の4つのルートとは別のルートで案内できます。

知識

- 以下のときは、5ルートを表示できません。
  - 目的地を複数設定しているとき
  - 通過する地点(IC・通過道路)を指定しているとき
  - 目的地案内開始後

5つのルートの詳細情報を表示する

5つのルートの目的地までの距離・有料道路の距離・料金・所要時間を確認することができます。



1 全ルート図表示画面(→P.109)→ 5ルート → 全行程一覧

- ルート名称にタッチすると、タッチしたルートの全ルート図表示画面が表示されます。
- 燃費を設定している場合、エコ度が3段階の葉マークで表示されます。(→P.167)

2. 目的地案内の開始

目的地案内を開始する

全ルート図表示画面（→ P.109）

1 案内開始 にタッチ。



- 全ルート図が表示されたあと、現在地 を押す、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。

デモンストレーション（デモ）を見る

ルート探索終了後、目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることができます。



全ルート図表示画面（→ P.109）

1 案内開始 を約 3 秒以上タッチ。

- デモを終了するとき
  ➡ 現在地 を押す、または走行する。

知 識

- 目的地案内を開始したあとは、デモを見ることはできません。

目的地案内を中止する

1 MENU ▶ 設定・編集

2 案内中止 にタッチ。



- 再開するとき
  ➡ 案内再開 にタッチ。

知 識

- 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。

3. 目的地への案内について

音声案内について

目的地案内中の音声案内の例

■分岐交差点手前

700m 手前

「ポーン およそ 700m 先 ○○を右方向です」

300m 手前

「ポーン およそ 300m 先 ○○を右方向です」

100m 手前

「ポーン まもなく右方向です」

交差点直前

「右方向です」



● ○○（道路名称や交差点名称、目印など）は、情報のある地点のみ案内されます。

▶信号機案内の例

「ポーン およそ 300m 先 次の信号を右方向です」

「ポーン 次の信号を右方向です」

「ポーン 2つ目の信号を右方向です」

▶目印案内の例

リアル交差点（→P.119）を表示したときに音声案内されます。

「ポーン まもなく右方向 高架を登ります」

■有料道路への進入時

「ポーン まもなく右方向です
その先 高速道路です」

「ポーン この先 料金所です」

■連続車線変更案内時

連続車線変更案内（→P.119）を表示したときに音声案内されます。

「ポーン すぐに左に車線変更が必要です」

■幅 5.5m 未満の道路への進入時

「実際の交通規制や道幅に注意して走行してください」

■首都高速の車線変更案内時

1km 手前

「およそ 1km 先、右（左）方向○○方面です
右（左）側 1 車線を走行してください」

500m 手前

「まもなく右（左）方向、○○方面です
右（左）側 1 車線を走行してください」

■首都高速の車線変更禁止区間案内時

1km 手前

「およそ 1km 先、右（左）方向○○方面です
車線変更禁止区間にご注意ください」

500m 手前

「まもなく右（左）方向、○○方面です
車線変更禁止区間にご注意ください」

目的地周辺に到着したときの音声案内の例

■目的地の手前

「ポーン まもなく目的地です」

■目的地の直前

「ポーン 目的地は右（左）側にあります」

音声案内はあくまでも参考としてください。

● 音声案内の音量は調節することができます。（→ P.41）

（知 識）

- 音声案内の例は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。
- 地図データに情報のある地点で案内されます。
- 首都高速の車線変更禁止区間案内は、車線変更禁止区間の端までの距離が短いとき出力されない場合があります。
- 信号機案内は、以下のようなとき出力されない場合があります。
  - ・信号機のある交差点を走行しているとき
  - ・分岐する交差点までの距離が短いとき
  - ・分岐する交差点までの間に別の信号機があるとき

幅 5.5m 未満の道路での音声案内について

目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートも音声案内を行います。

● 細街路での音声案内をする／しないを設定できます。（→ P.158）

（知 識）

- 実際の入り口（玄関、駐車場など）と異なる場所に案内される場合があります。
- 出発地点が幅 5.5m 未満の道路にある場合、幅 5.5m 以上の道路までは、音声案内を行いません。
- 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが案内されることがあります。

他モードでの音声案内について

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。

● 他モードに切り替えたときに音声案内のする／しないを設定できます。（→ P.158）

（知 識）

- 音声案内が出力されていないときも、目的地案内は継続して行われます。

交差点案内について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくと、レーンリスト図（→P.117）または交差点拡大図（→P.118）に切り替わります。また、ターンリスト図（→P.120）を表示させることもできます。

レーン（車線）リスト図の表示／解除

分岐する交差点の手前（約 700m 以内）では、レーンリスト図を表示させることができます。

レーンリスト図は、走行する交差点の名称とレーンを 4 つまで表示させることができ、走行を推奨するレーンが青色で表示されます。

⚠ 警告

- レーン案内はあくまでも補助機能です。
  案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

■レーンリスト



- レーンリスト図を解除するとき
  ➡ **レーン解除** にタッチ。
  ・レーンリスト図に戻すとき
  ➡ **レーン表示** にタッチ。

（知 識）

- レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図（→P.118）が自動的に表示されます。

■高精度レーンリスト

高精度レーンリストでは、実際の車線状況に応じたレーンリスト（右側・左側車線の増減を画面にそのまま反映したもの）が表示されます。



- レーンリスト図を解除するとき
  ➡ **レーン解除** にタッチ。
  ・レーンリスト図に戻すとき
  ➡ **レーン表示** にタッチ。

■高精度レーンリストを表示できる地域について

2014 年 10 月時点の東京 23 区・政令指定都市 ※1・中核市 ※2 における片側 3 車線以上の道路

※1 京都市、福岡市、静岡市、横浜市、神戸市、広島市、堺市、大阪市、北九州市、仙台市、新潟市、名古屋市、札幌市、千葉市、浜松市、川崎市、さいたま市、岡山市、相模原市、熊本市

※2 宇都宮市、長崎市、旭川市、東大阪市、金沢市、大分市、松山市、富山市、岐阜市、豊田市、横須賀市、函館市、姫路市、福山市、奈良市、下関市、高知市、倉敷市、青森市、宮崎市、川越市、鹿児島市、いわき市、船橋市、秋田市、長野市、郡山市、豊橋市、岡崎市、和歌山市、高松市、高槻市、盛岡市、柏市、西宮市、久留米市、尼崎市、前橋市、大津市、高崎市、豊中市、那覇市、越谷市、八王子市、枚方市

＊2015 年 11 月時点のものであり、変更される場合があります。

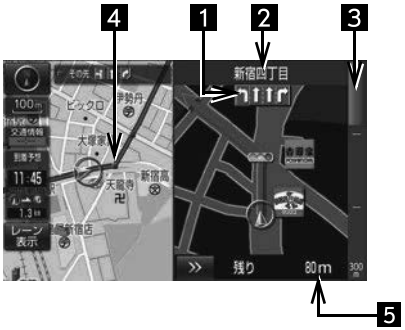
交差点拡大図について

分岐する交差点に近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図が表示されます。

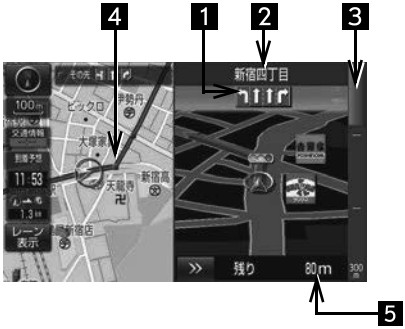
▶分岐しない交差点



▶分岐する交差点（交差点拡大図）



▶分岐する交差点（3D 交差点拡大図）



番号	機能
1	通過・分岐する交差点のレーンが表示されます。 • 走行を推奨するレーンが青色で表示されます。
2	通過・分岐する交差点の名称が表示されます。
3	交差点までの距離が表示されます。 • 交差点に近づくとともに右側のバーが短くなります。
4	通過・分岐する交差点に表示されます。
5	交差点までの距離が表示されます。

● 交差点拡大図の 3D 表示する／しないを設定できます。(→ P.153)

(知 識)

● 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は行われません。
● レーン表示・交差点名称表示が実際の交差点と異なることがあります。
● 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われない場合があります。
● 交差点拡大図表示は、遅れたり早くなることがあります。
● 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
● 交差点拡大図が表示されているとき、レーン表示・交差点名称表示は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。

連続車線変更案内について

分岐する交差点までの距離が短く、複数回車線変更が必要な場合に表示されます。



(知 識)

● 地図データに情報のある地点で表示します。

立体的な拡大図の表示／解除

目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。

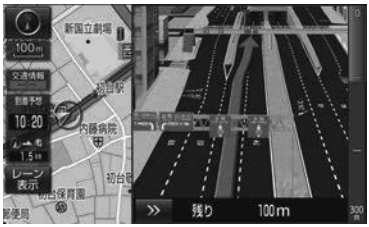
▶都市高速 IC 入口



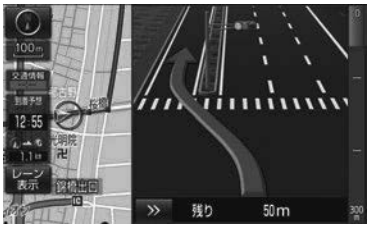
▶立体交差点



▶リアル交差点



▶側道案内



- 拡大図表示を解除するとき

  ➡ [≫] にタッチ。

  ・拡大図に戻すとき

  ➡ [現在地] を押す。

- 地図データに情報のある地点で表示されます。
- リアル交差点拡大図は、都市部の交差点で分岐が分かりづらい交差点で表示されます。

ターンリスト図の表示

分岐する交差点・IC・JCT などの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号を表示させることができます。



番号	機能
1	分岐する交差点・IC・JCT 名称が表示されます。 現在地から次に分岐する交差点・IC・JCT までは、現在走行中の路線名が表示されます。
2	案内ポイント区間の距離、案内ポイント通過後の路線番号が表示されます。
3	案内ポイントでの案内する方向が表示されます。

- ターンリスト図の自動表示のする／しないを設定できます。(→ P.157)
- ターンリスト自動表示を「しない」に設定していても、地図画面の [表示変更] → [地図表示] からターンリスト図を表示することができます。

知 識

- 一般道路走行中は、ターンリスト図を表示させていても交差点の約 700m 手前では、レーンリスト図（→ P.117）・交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図（→ P.118）が自動的に表示されます。
- 地図データに情報のない交差点・IC・JCT 名称、路線名、路線番号は表示されません。

■ターンリスト図表示の解除

1 地図表示中 → 表示変更 → 地図表示

2 ターンリスト解除 にタッチ。



- ターンリスト図に戻すとき
  ➡ ターンリスト表示 にタッチ。

到着予想時刻について

全ルート図表示画面（→ P.109）と目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、到着予想時刻を表示させることができます。



到着予想時刻表示

- 到着予想時刻の表示（アナログ／デジタル）を設定できます。（→ P.153）

知 識

- 到着予想時刻は設定した平均車速（→ P.153）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ルートからはずれたときは、目的地方向マーク（ ）になります。

4. ルート案内中の操作

全ルート図を表示する

1 地図表示中 → 表示変更

2 全ルート にタッチ。



- 全ルート図表示画面について
  ➡「ルート検索後の全ルート図表示について」（→ P.109）

全ルート図表示縮尺に切り替える

目的地を設定しているときに、現在地から目的地までの全ルートを、現在地を地図表示画面の中心にした縮尺に切り替えることができます。



1 広域 または 詳細 にタッチ。

2 にタッチ。



知 識

- 現在地と目的地の位置によっては、全ルートを表示できないことがあります。

到着予想時刻・残距離表示を切り替える

目的地を複数設定しているとき、目的地ごとの到着予想時刻・残距離表示に切り替えることができます。



到着予想時刻・残距離表示

1 到着予想時刻・残距離表示にタッチ。



- 目的地が 2 カ所のときは、タッチするごとに各目的地までの到着予想時刻・残距離表示に切り替わります。

2 表示させたい目的地までの到着予想時刻・残距離表示にタッチ。

知 識

● 状況により目的地までの表示が異なります。
・現在地がルート上にあるとき
➡ 到着予想時刻と表示されている
ルートを通っての距離
・ルートからはずれたとき
➡ 目的地の方向と直線距離

5. ルートを再探索する

ルートを再探索する

ルートを外れたときは、自動的に再探索します。
再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

(知 識)

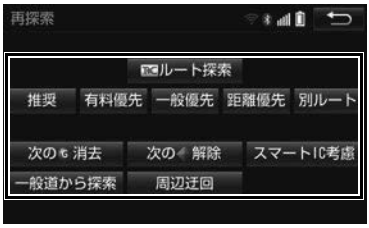
- 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートが探索されます。
- 自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ道路を走行していると判断されたときのみ行われます。

ルートの再探索方法を選ぶ

目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）の現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索をすることができます。

1 現在地 ▶ 再探索

2 再探索する項目にタッチ。



項目（スイッチ）	機能
次の消去	現在地の次の目的地を消去して、再探索をする。
次の◆解除	現在地の次の通過道路（◆）を解除して、再探索をする。IC を指定している場合、指定IC解除 にタッチすると IC の指定を解除して、再探索をする。
スマート IC 考慮	目的地周辺や現在地周辺に適当なスマート IC がある場合は、スマート IC を通るルートが探索される。適当なスマート IC がない場合は、通常の IC を通るルートが探索される。
推奨	現在地から次の目的地※4の間で、一般的なルートを探索する。
有料優先	現在地から次の目的地※4の間で、有料道路を優先してルートを探索する。
一般優先	現在地から次の目的地※4の間で、一般道路を優先してルートを探索する。
距離優先	現在地から次の目的地※4の間で、距離の短いルートを探索する。
別ルート	現在地から次の目的地※4の間で、選ばれているルートとは別のルートを探索する。
周辺迂回※1	現在地周辺で、探索されたルートの迂回路を探索する。（探索されたルートが工事中で通れないときなどに使用します。） • 目的地案内開始前にはできません。
有料道から探索／一般道から探索※2	有料道路と並行している一般道路を走行中に、有料道路の方がルート表示されている、またはその逆のときに、もう一方の道路からルートを探索する。 • 目的地案内開始前にはできません。
T ルート探索／取得中止※3	トヨタスマートセンターから交通情報を入手してルートの再探索を行う。ルート探索中、取得中止 にタッチすると、T ルート探索情報の取得を中止する。

※1 ルートからはずれたときは表示されません。

※2 有料道路と一般道路が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは表示されません。

※3 T-Connect を利用しているときのみ使用できます。

※4 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路を指定しているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートを探索します。

知 識

- 通常のルート探索では、スマート IC を通らないルートが探索されます。
- 「○○優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、**有料優先** にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、**一般優先** にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
- 道路形状により再探索されないことや、条件を変更しても同じルートが探索されることがあります。
- ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへ戻るルートではなく、設定している目的地または指定している IC・通過道路に向かうルートが再探索されます。

6. ルートを変更する

ルート変更画面を表示する

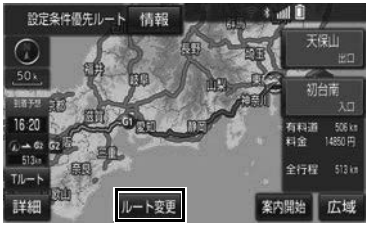
1 MENU ▶ 設定・編集
または
全ルート図表示画面（→ P.109）

2 ルート変更 にタッチ。

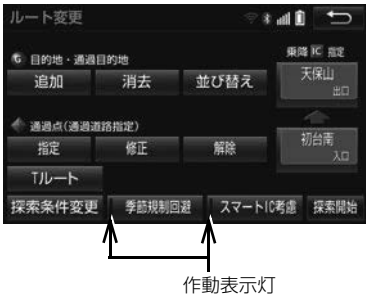
▶設定・編集画面



▶全ルート図表示画面



3 ルート変更画面が表示される。



● ルート変更画面では、次のことができます。

機能	ページ
探索条件の変更	128
目的地の追加	128
目的地の並び替え	129
目的地の消去	129
出入口 IC の指定・解除	131
通過道路の指定	131
通過道路の修正	132
通過道路指定の解除	133
季節規制区間の迂回ルート探索	133
T ルート探索	559

● 探索開始 にタッチすると、ルートが探索されます。

● スマート IC 考慮 にタッチすると、目的地周辺や現在地周辺に適当なスマート IC がある場合は、スマート IC を通るルートが探索されます。適当なスマート IC がない場合は、通常の IC を通るルートが探索されます。スマート IC 考慮が設定されているときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。

探索条件を変更する

目的地を複数設定、または通過道路を指定しているときは、それぞれの区間で探索条件を選択することができます。

1 ルート変更画面（→ P.127）→ 探索条件変更

2 それぞれの区間の探索条件（ルート名称）→ 探索開始 の順にタッチ。



知 識

- 探索条件の特徴について
  ➡「ルートの再探索方法を選ぶ」（→ P.124）
- 最初の目的地までの区間のみ、「別ルート」が表示されます。

目的地を追加する

目的地を設定したあと、さらに追加して目的地を設定することができます。

1 ルート変更画面（→ P.127）→ 目的地・通過目的地の 追加

2 地図の呼び出し方法を選び、追加したい地点の地図を表示する。（→ P.91、P.104）

3 目的地セット にタッチ。

- ここまでの操作は、目的地の設定と同じ方法で追加することもできます。（→ P.107）

4 目的地を追加する区間の 設定 にタッチ。



- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 にタッチ。
- さらに追加して目的地を設定するとき
  ➡ 追加 にタッチ。（手順 **2** の画面へ）

知 識

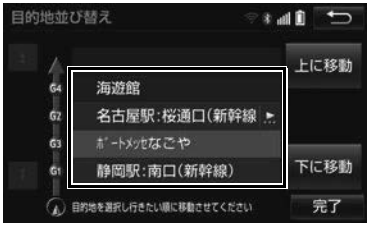
- 10 カ所まで設定することができます。
- 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。記憶できる件数をこえると、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地履歴を選択して消去することもできます。（→ P.159）
- IC・通過道路（→ P.131）を指定しているときは、目的地を追加すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

目的地の順番を並び替える

1 ルート変更画面（→ P.127）→ 目的地・通過目的地の 並び替え

- IC・通過道路（→ P.131）を指定しているときは、メッセージが表示されます。
  はい にタッチすると、指定されているIC・通過道路の指定が解除されます。その場合、不適切なルートが探索されることがあります。

2 順番を変更したい目的地にタッチ。



3 上に移動 または 下に移動 にタッチ。

- 上に移動 にタッチすると、タッチした目的地を上に移動します。（目的順としては後ろに移動します。）
- 下に移動 にタッチすると、タッチした目的地を下に移動します。（目的順としては前に移動します。）

4 完了 にタッチ。

- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 にタッチ。

目的地を消去する

次の方法で、目的地を消去することができます。

消去方法	ページ
ルート変更画面から消去する	130
目的地画面から消去する	130
地図画面から消去する	130

知 識

- すべての目的地を消去すると、目的地案内を再開させることはできません。目的地案内を行わせるには再度、目的地を設定してください。
- 複数目的地を設定し、IC・通過道路（→ P.131）を指定しているときは、目的地を消去すると、指定されている地点によってIC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

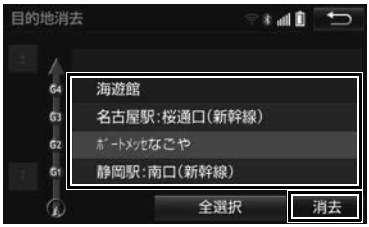
ルート変更画面から目的地を消去する

ルート変更画面（→ P.127）

1 目的地・通過目的地の 消去 にタッチ。

● 1 カ所のみ設定されていたとき
➡ 手順 **3** へ。

2 消去したい目的地→ 消去 の順にタッチ。



3 はい にタッチ。

● ルート変更画面に戻ったとき
➡ 探索開始 にタッチ。
● すべての目的地消去指定を解除するとき
➡ 全選択解除 にタッチ。

目的地画面から目的地を消去する

1 MENU または現在地画面（市街図を表示していないとき）→ 目的地

2 目的地消去 にタッチ。



● 複数目的地が設定されていたとき
➡「ルート変更画面から目的地を消去する」（→ P.130）手順 **2** へ。
● 1 カ所のみ設定されていたとき
➡「ルート変更画面から目的地を消去する」（→ P.130）手順 **3** へ。

地図画面から目的地を消去する

1 地図上の消去したい目的地にタッチ。

2 情報 にタッチ。



3 消去 にタッチ。

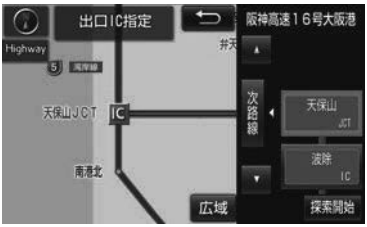
●「ルート変更画面から目的地を消去する」（→ P.130）手順 **3** へ。

出入口 IC（インターチェンジ）を指定する

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出口 IC・入口 IC を 1 カ所ずつ指定することができます。

1 全ルート図表示画面（→ P.109）またはルート変更画面（→ P.127）→ (IC 名称表示)

2 次のいずれかの操作をする。



▶左画面で指定する

- 左画面で指定したい IC 付近に地図を動かし、右画面に表示される IC 候補から (指定したい IC) → 探索開始 の順にタッチ。

▶右画面で指定する

- ▲ ・ ▼ または 次路線 にタッチして IC を切り替え、(指定したい IC) → 探索開始 の順にタッチ。
- 次路線 は JCT があり分岐するときのみ表示されます。
- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 にタッチ。

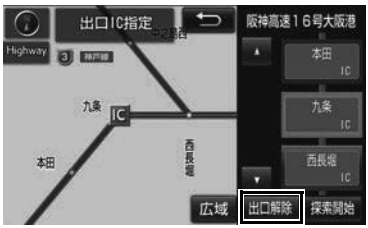
(知 識)

- スマート IC（ETC 専用インターチェンジ）を選択することもできます。
  このとき、ETC 車載器の有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認の上、注意して走行してください。

IC の指定を解除する

1 全ルート図表示画面（→ P.109）またはルート変更画面（→ P.127）→ (IC 名称表示)

2 出口解除 または 入口解除 にタッチ。



通過する道路を設定する

目的地を設定したあと、通過する道路を指定することができます。

(知 識)

- 2 カ所まで指定することができます。
- IC を指定しているとき（→ P.131）、通過道路を指定すると、指定されている地点によって、指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

通過する道路を指定する

1 ルート変更画面（→ P.127）→ 通過点（通過道路指定）の 指定

2 通過道路を指定する位置に地図を動かし、通過道路セット にタッチ。



3 セット にタッチ。

- 通過道路が◆記号で指定されます。
- 希望の通過道路でないとき
  ➡ 次候補 にタッチ。
- 目的地を複数設定しているとき、またはIC・通過道路を指定しているとき
  ➡ 通過道路を指定する区間の 設定 にタッチ。
- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 にタッチ。

知 識

- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、次候補 にタッチしても、道路が選べないことがあります。

通過する道路を修正する

1 ルート変更画面（→ P.127）→ 通過点（通過道路指定）の 修正

2 通過道路を指定する位置に地図を動かし、通過道路セット にタッチ。

- 通過道路が複数指定されていたとき
  ➡ 道路または地名にタッチ。



3 セット にタッチ。

- 通過道路が◆記号で指定されます。
- 希望の通過道路でないとき
  ➡ 次候補 にタッチ。
- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 にタッチ。

知 識

- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、次候補 にタッチしても、道路が選べないことがあります。

通過する道路指定を解除する

1 ルート変更画面（→ P.127）→ 通過点（通過道路指定）の 解除

2 はい にタッチ。

- 通過道路が複数指定されていたとき
  ➡ 道路または地名にタッチ。



- すべての通過道路指定を解除するとき
  ➡ 全解除 にタッチ。
- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 にタッチ。

季節規制区間の迂回ルートを探索する

1 ルート変更画面（→ P.127）→ 季節規制回避

- 季節規制回避が設定されているときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。

知 識

- 季節規制回避 は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。
- 規制区間を通らないと目的地に行けないようなとき（規制区間内に目的地・通過道路が設定・指定されているときなど）は、季節規制回避 にタッチしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

1. メモリ地点を登録する

地点の登録について

検索した地点を本機に登録することができます。

地点を登録しておくと、

(1) 地図にマークで表示されます。

(2) 近づいたときに音が鳴るようにすることができます。

(3) 目的地の設定のときなどに、簡単な操作で地図を呼び出すことやルート探索を開始することができます。(→ P.91)

地図画面から登録する

現在、表示させている地図にメモリ地点を登録することができます。

1 地図表示中、登録したい位置に地図を動かし 地点登録 にタッチ。

(知 識)

- 高速道路（都市高速道路・有料道路を含む）上で 地点登録 にタッチすると、方向付きメモリ（→ P.139）になります。

メモリ地点登録・編集画面を表示する

1 MENU ▶ 設定・編集

2 メモリ地点登録・編集 にタッチ。



3 メモリ地点登録・編集画面が表示される。



- 以下の方法で地点の登録・編集をすることができます。

番号	機能	ページ
1	自宅の登録と編集を行う。	135
2	特別メモリの登録と編集を行う。	135
3	メモリ地点の登録と編集を行う。	136
4	迂回メモリの登録と編集を行う。	137

(知 識)

- 1/8 万図より詳細な地図で登録することができます。(現在地画面から登録するときを除く)
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号も同時に表示されることがあります。

自宅を登録する

自宅の登録方法は、「自宅を登録する」（→ P.40）をご覧ください。

自宅を修正／消去する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 自宅

2 修正 にタッチ。

- 自宅を消去するとき
  ➡ 消去 → はい の順にタッチ。

3 自宅修正画面で各項目を修正する。

- 修正・入力方法については下記ページをご覧ください。

項目	ページ
マーク	139
名称	140
地図への名称表示	140
名称読み	141
位置	141
電話番号	141

4 完了 にタッチ。

特別メモリを登録する

特別メモリとは、走行中でも呼び出すことが可能なメモリ地点です。5カ所まで登録することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 特別メモリ → 登録

2 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。（→ P.94）

3 セット にタッチ。

4 未登録の番号にタッチ。



- 特別メモリを置き換えたいとき
  ➡ 置き換えたい特別メモリ→ はい の順にタッチ。

5 完了 にタッチ。

特別メモリを修正する

1 特別メモリ画面（→ P.135）→ 修正

2 修正したい特別メモリにタッチ。

3 特別メモリ修正画面で各項目を修正する。

- 修正・入力方法については下記ページをご覧ください。

項目	ページ
マーク	139
名称	140
地図への名称表示	140
名称読み	141
位置	141
電話番号	141

4 完了 にタッチ。

特別メモリを消去する

1 特別メモリ画面（→ P.135）→ 消去

2 消去したい特別メモリにタッチ。

3 消去 にタッチ。

4 はい にタッチ。

メモリ地点を登録する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → メモリ地点 → 登録

2 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。（→ P.94）

3 セット にタッチ。



4 完了 にタッチ。

メモリ地点を修正する

1 メモリ地点画面（→ P.136）→ 修正

2 修正したいメモリ地点にタッチ。

- グループを作成（→ P.141）しているときは、グループで絞る にタッチすると、メモリ地点を指定したグループで絞り込むことができます。
  ・絞り込みを解除したいとき
  ➡ 絞り込み解除 にタッチ。
- メモリ地点のリストは、以下の並べ方をすることができます。

スイッチ	並べ方
マーク順	マークの種類別
登録順	メモリ地点の登録順

3 メモリ地点修正画面で各項目を修正する。

- 修正・入力方法については下記ページをご覧ください。

項目	ページ
マーク	139
名称	140
地図への名称表示	140
名称読み	141
位置	141
電話番号	141
グループ	141

4 完了 にタッチ。

メモリ地点を消去する

1 メモリ地点画面（→ P.136）→ 消去

2 消去したいメモリ地点にタッチ。

- グループを作成（→ P.141）しているときは、グループで絞る にタッチすると、メモリ地点を指定したグループで絞り込むことができます。
  ・絞り込みを解除したいとき
  ➡ 絞り込み解除 にタッチ。

3 消去 にタッチ。

4 はい にタッチ。

迂回メモリを登録する

工事や通行止め、よく渋滞する場所などが分かっているとき、迂回メモリとして登録しておくと、そのエリアを迂回するルートを探索します。

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 迂回メモリ → 登録

2 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。（→ P.94）

3 セット にタッチ。

- 迂回範囲が黄色の四角で表示されます。

4 迂回範囲を設定し、セット にタッチ。



▲ ：迂回範囲を広くする

▼ ：迂回範囲を狭くする

● ▲ ・ ▼ の間にある数値は迂回させる範囲の一辺の距離になります。

5 完了 にタッチ。

知 識

- 1/8 万図より詳細な地図で登録することができます。
- 迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称も同時に表示されることがあります。
- 迂回範囲を最小にすると、▣（迂回メモリ地点）に切り替えることができます。高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることができません。迂回したいときは、迂回メモリ地点を道路上に設定してください。
- 迂回メモリ地点は専用のマーク（▣）で表示され、マークを変更することはできません。

迂回メモリを修正する

迂回メモリの修正、および解除、迂回エリアの変更ができます。

1 迂回メモリ画面（→ P.137）→ 修正

2 修正したい迂回メモリにタッチ。

3 迂回メモリ修正画面で各項目を修正する。

- 修正・入力方法については下記ページをご覧ください。

項目	ページ
名称	140
地図への名称表示	140
位置	141

- 迂回メモリの迂回機能を無効にしたいとき
  ➡ 無効 にタッチ。
- 有効にするとき
  ➡ 有効 にタッチ。
- 迂回エリアを変更したいとき
  ➡ 迂回エリア変更 にタッチ。
  ▲ ・ ▼ で迂回範囲を設定し、
  セット にタッチ。

4 完了 にタッチ。

迂回メモリを消去する

1 迂回メモリ画面（→ P.137）→ 消去

2 消去したい迂回メモリにタッチ。

3 消去 にタッチ。

4 はい にタッチ。

メモリ地点の情報を修正する

メモリ地点のマーク・名称などの地点情報は、メモリ地点修正画面から変更できます。

メモリ地点修正画面を表示する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 自宅 、特別メモリ または メモリ地点

2 修正 にタッチ。

- 自宅の場合は、メモリ地点修正画面（**3** の画面）が表示されます。

3 修正するメモリ地点にタッチするとメモリ地点修正画面が表示される。



マークを変更する

1 メモリ地点修正画面（→ P.139）→ マーク

2 ⌜マーク１⌟、⌜マーク２⌟、⌜マーク３⌟ または 音声付 にタッチし、希望のマークを選ぶ。



- マークが不要なとき
  ➡ ⌜マーク３⌟ の マーク無し にタッチ。

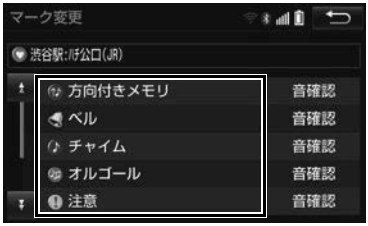
3 完了 にタッチ。

■音声付きメモリを設定する

音声付きメモリに設定すると、音声付きメモリのマークに変更されます。
設定した地点の約 500m 付近で音が鳴ります。

1 メモリ地点修正画面の マーク（→ P.139）→ 音声付

2 鳴らしたい音にタッチ。



● 鳴る音を確認するとき
➡ 音確認 にタッチ。

3 完了 にタッチ。

■音声／方向付きメモリを設定する

指定した方向から約 500m 付近に近づくと音が鳴ります。

1 メモリ地点修正画面の マーク (→ P.139) → 音声付 → 方向付きメモリ

2 方向を指定し、セット にタッチ。



: 反時計回り

: 時計回り

3 完了 にタッチ。

メモリ地点名称を入力する

1 メモリ地点修正画面（→ P.139）→ 名称

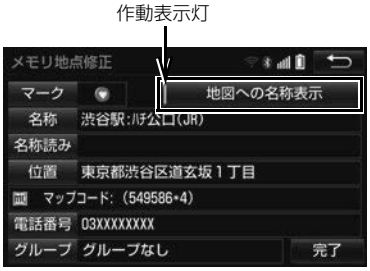
2 文字入力画面で名称を入力する。(→ P.33)

3 完了 にタッチ。

地図にメモリ地点名称を表示する

メモリ地点修正画面（→ P.139）

1 地図への名称表示 にタッチ。



● 地図への名称表示が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。
● 解除するとき
➡ 地図への名称表示 にタッチ。

知 識
● 1/8 万図より詳細な地図で名称を表示することができます。

メモリ地点の名称読みを入力する

名称読みを入力しておくと、音声操作で地図を呼び出すことができます。(→ P.373)

1 メモリ地点修正画面（→ P.139）→ 名称読み

2 文字入力画面で名称読みを入力する。(→ P.33)

3 完了 にタッチ。

メモリ地点の位置を修正する

1 メモリ地点修正画面（→ P.139）→ 位置

2 にタッチして地点の位置を修正し、セット にタッチ。



3 完了 にタッチ。

メモリ地点の電話番号を入力する

電話番号を入力しておくと、電話番号で地図を呼び出すことができます。(→ P.100)

1 メモリ地点修正画面（→ P.139）→ 電話番号

2 市外局番から電話番号を入力し、完了 にタッチ。



3 完了 にタッチ。

メモリ地点をグループで絞り込む

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → メモリ地点 → 修正 または 消去 → グループで絞る

2 絞り込みたいグループにタッチ。



● 絞り込みを解除したいとき
➡ 絞り込み解除 にタッチ。

● 地図呼び出し画面のメモリ地点検索でも、グループで絞り込むことができます。(→ P.91)

グループを指定する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → メモリ地点 → 修正 → (指定するメモリ地点) → グループ

2 指定したいグループにタッチ。



● グループ指定をしないとき
➡ グループなし にタッチ。

3 ⮌ にタッチ。

4 完了 にタッチ。

■グループを作成・修正する

1 新規グループ作成 にタッチ。

● グループ名を修正したいとき
➡ (修正したいグループ名) → グループ名修正 の順にタッチ。

2 文字入力画面でグループ名を入力する。(→ P.33)

■グループを削除する

1 グループ削除 にタッチ。

2 (削除したいグループ) → 削除 の順にタッチ。

3 はい にタッチ。

2. メモリ地点を取り込み・取り出しする

メモリ地点の取り込みと取り出しについて

本機で登録したメモリ地点を、取り出したり、取り込んだりすることができます。
本機からメモリ地点を取り出すときには、パスワードの設定が必要になります。

- パスワードの初期化は「パスワードを初期化する」（→P.143）を参照してください。
  初期化すると、本機に登録しているメモリ地点も消去されますのでご注意ください。

知 識

- WEB 検索（→P.567）で登録したメモリ地点は、取り出すことができません。
- メモリ地点のデータ移行操作時は、他の操作をすることができません。

パスワードの設定

パスワードを設定する

データの読み込みで使用するパスワードを設定すると、メモリ地点のデータを保存することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 自宅、特別メモリ、メモリ地点 または 迂回メモリ → メモリ地点移行

2 パスワードの 設定 にタッチ。



3 数字 4 桁のパスワードを入力し、完了 にタッチ。

- すでにパスワードが設定されているとき
  ➡ 既存のパスワードを入力後、新しいパスワードを入力。
- 間違えたとき
  ➡ 修正 にタッチ。

4 もう一度パスワードを入力し、完了 にタッチ。

知 識

- 設定したパスワードは、SD メモリーカードからメモリ地点を読み込むときに必要です。忘れないよう控えておいてください。

パスワードを初期化する

パスワードを忘れた場合、パスワードの初期化が必要です。初期化すると、本機に登録しているメモリ地点も消去されますのでご注意ください。

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 自宅、特別メモリ、メモリ地点 または 迂回メモリ → メモリ地点移行

2 パスワードの 初期化 にタッチ。



3 はい にタッチ。

4 はい にタッチ。

メモリ地点の取り出し

本機で登録したメモリ地点を SD メモリーカードに保存することができます。

1 Audio SD を挿入（→ P.258）→ MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 自宅、特別メモリ、メモリ地点 または 迂回メモリ

2 メモリ地点移行 にタッチ。

3 保存の SD にタッチ。



4 パスワードを入力し、完了 にタッチ。

- 間違えたとき
  ➡ 修正 にタッチ。

5 はい にタッチ。

6 了解 にタッチ。

- 登録している全てのメモリ地点が保存されます。

知 識

- メモリ地点を保存する前に、パスワードを設定してください。（→ P.143）
- メモリ地点をSDメモリーカードに保存すると、本機に登録しているメモリ地点は全て消去されます。また、パスワードも初期化されます。
- すでにメモリ地点のデータを保存している SD メモリーカードを使用した場合、上書き保存となり、保存していたデータは消去されます。消去したデータは保証できませんので注意して保存してください。
- SD メモリーカードにデータを保存中はパワースイッチを OFF にしないでください。データが破損する恐れがあります。
- 車両のパワースイッチを OFF にするなどして保存、読み込みが中断した場合、再度操作します。
- メモリ地点移行画面（**3**の画面）で本体のスイッチを押しても、操作することができません。↩ にタッチして、メモリ地点画面から操作します。

メモリ地点の取り込み

SD メモリーカードに保存したメモリ地点の情報を、本機に取り込むことができます。

1 Audio SD を挿入（→ P.258）→ MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 自宅、特別メモリ、メモリ地点 または 迂回メモリ

- どの種類のメモリ地点を選択しても、SD メモリーカードに保存されている全てのメモリ地点が取り込みの対象となります。

2 メモリ地点移行 にタッチ。

3 読み込みの SD にタッチ。



4 パスワードを入力し、完了 にタッチ。

- 間違えたとき
  ➡ 修正 にタッチ。

5 はい にタッチ。

6 了解 にタッチ。

知 識

- メモリ地点を取り込むには、保存したときに入力したパスワードが必要です。
  パスワードの変更や初期化をした場合でも保存したときに入力したパスワードで取り込んでください。
- メモリ地点を移すと、本機に登録しているメモリ地点のデータは全て消去され、SD メモリーカードに保存した全てのメモリ地点のデータに置き替えられます。
- SD メモリーカードからメモリ地点を移すと、SD メモリーカードに保存していたメモリ地点のデータは全て消去されます。
- SDメモリーカードの誤消去防止スイッチの LOCK を解除してから操作します。

1. 自車位置マークがずれているとき

補正について

地図上の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。

GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

(知 識)

- 現在地の自動補正は、数分かかることがあります。

現在地を修正する

実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）とき、自車位置マークの位置と向いている方向を修正することができます。

1/8 万図より詳細な地図で補正することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → ナビ補正 → 現在地修正

2 にタッチして現在地を修正し、セット にタッチ。

3 方向を修正し、セット にタッチ。



：反時計回り

：時計回り

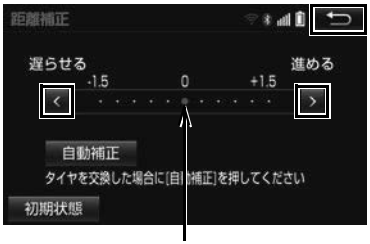
距離を補正する

走行中、地図上の自車位置マークの進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき、自車位置マークの進み方を修正することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → ナビ補正 → 距離補正

2 補正をして、 にタッチ。

- 実際より遅く進むとき
  ➡ ＞ （進める）にタッチ。
- 実際より早く進むとき
  ➡ ＜ （遅らせる）にタッチ。



初期状態の位置

- 自動補正 にタッチすると、GPS 情報を利用しながら、しばらく走行し、自動的に補正を行います。
- 初期状態 にタッチすると、自車位置マーク  を適切な位置に表示できるように自動で補正します。（● の位置が初期状態（0 の位置）に戻ります。）

知 識

- タイヤ交換を行ったときは自動補正を行ってください。
- 自動補正モード中ではないときも、距離補正の学習機能を持っているため、自車位置マークの進み方が走行状態により、変化することがあります。
- 自動補正モード中は、補正をすることはできません。

2. ナビの詳細を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集

2 ナビ詳細設定 にタッチ。



3 設定したい項目にタッチ。



4 各項目を設定する。

● 詳しくは、次の表をご覧ください。

項目	ページ
地図表示設定	149
案内表示設定	153
ルート系設定	154
自動表示切替設定	157
音声設定	158
その他	159

● 初期設定の状態に戻すとき

➡ 初期状態 にタッチ。

地図表示設定をする

地図表示設定

地図表示方法を、地図１画面 、地図２画面 、地図 & オーディオ 、地図 & 車両情報 の中から選択できます。

▶地図１画面



▶地図２画面



▶地図 & オーディオ



▶地図 & 車両情報



- 地図 2 画面表示させているとき、左画面の操作は、1 画面表示のときと同じです。
- 地図 2 画面表示にさせているときは、左画面のみ地図を動かすことができます。
- 地図&オーディオ画面、地図&車両情報画面を表示させているときは、左画面にタッチすると、一時的に地図１画面に切り替えることができます。2 画面表示に戻すときは、**現在地** を押します。

右画面設定

地図を２画面表示にしたときの、右画面表示を設定できます。

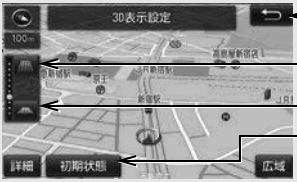


- 設定後にタッチ
- 地図向きを切り替える
- 左画面に施設の記号を表示させているときに、右画面でも施設の記号を表示する
- 左画面に VICS・交通情報を表示させているときに、右画面でも VICS・交通情報を表示する
- 地図縮尺を切り替える

次のページに続く

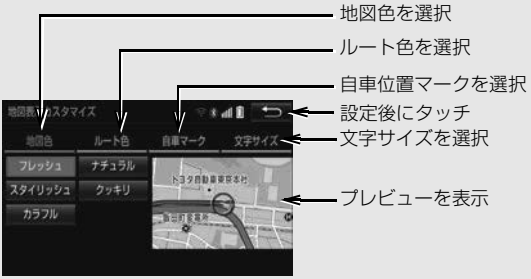
3D 地図表示設定

地図を 3D 表示するときの角度設定ができます。



地図表示カスタマイズ

地図をカスタマイズすることができます。



▶地図色

地図の表示色を フレッシュ 、 ナチュラル 、 スタイリッシュ 、 クッキリ 、 カラフル の中から選択できます。



▶ルート色

ルートの表示色を青色、緑色、赤色、水色、黄色の中から選択できます。



▶自車マーク

自車位置マークを5種類（ 、 、 、 、 ）の中から選択できます。



▶文字サイズ

地図上に表示される地名などの文字サイズを 大 、 中 、 小 の中から選択できます。

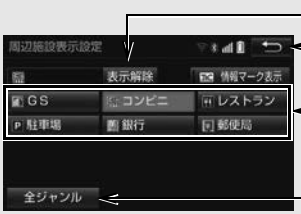


地図色切り替えタイミング設定

昼画と夜画の切り替えタイミングを 時刻連動 、 ライト連動 、 ライト・明るさ連動 の中から選択できます。（→ P.50）

周辺施設表示

ガソリンスタンドなどの施設マークを地図上に表示することができます。





次のページに続く

立体ランドマーク表示

立体的な施設マークの表示する／しないを選択できます。



- 1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）

シーズンレジャーランドマーク表示

桜や紅葉の季節名所の表示する／しないを選択できます。



- 1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）
- マークが表示される時期は、名所ごとに異なります。

（知 識）

● 立体ランドマーク表示 / シーズンレジャーランドマーク表示について

・ 地図データに情報のない施設 / 名所は、表示されません。

● ルート色設定について

・ ルート色が変更されるのは地図上のルート色のみです。ルート情報画面、探索条件変更画面、交差点拡大図などのルート色は変更されません。

案内表示設定をする

縮尺切替メッセージ表示

縮尺切替中にメッセージを画面に表示する／しないを選択できます。

- 縮尺切替メッセージ表示を「しない」に設定したときは、以下のメッセージは表示されなくなります。
  - ・「施設情報 VICS・交通情報は広域の地図には表示されません」
  - ・「施設情報は 800m 図より広域の地図には表示されません」
  - ・「VICS・交通情報は 1.6km 図より広域の地図には表示されません」

県境案内

都道府県境を通過したとき、案内マークと音声で案内する／しないを選択できます。



← 県境案内マーク

3D 交差点拡大図

交差点拡大図を立体的（3D）に表示する／しないを選択できます。



到着予想時刻用速度設定

ルート案内するときの、到着予想時刻・通過予想時刻・所要時間を計算する基準である平均車速を自動、または手動で設定できます。

▶手動で設定するとき



← 設定後にタッチ

下げる

上げる

初期設定の状態に戻す

次のページに続く

到着予想時刻表示

到着予想時刻の表示を、デジタルまたはアナログに設定できます。

▶デジタル



▶アナログ



TC 情報マーク連動サービス ※

オペレーターに目的地周辺の駐車場情報の送信を依頼した場合に、目的地に近付くと最新の満空情報に自動で更新する／しないを選択できます。

※ T-Connect サービスを利用されているときに操作することができます。

(知 識)

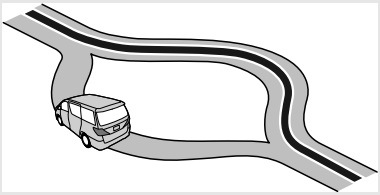
● 県境案内について

・ 県境案内は、遅れたり早くなることがあります。

ルート系設定をする

ルート学習

ルート探索時に、いつも通る道を考慮したルートで案内する／しないを選択できます。「する」に設定した場合、目的地案内中に、ルートとは異なる道路を走行した場合にそのルートを学習します。何度か同じように走行し、学習が完了すると次のルート探索時に学習したルートで案内させることができます。



- ルート学習する区間に、一部でも幅 5.5m 未満の道路が含まれている場合は、ルート学習をすることができません。(自宅登録時の自宅周辺を除く)
- ルート学習は、ルート探索時の推奨ルートに反映されます。

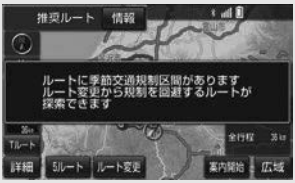
ルート学習結果の消去

はい にタッチすると、ルート学習結果を消去できます。

季節規制メッセージ表示

冬期通行止めになる道路など、長期間に渡り規制される区間を含むルートが探索されたとき、メッセージを表示する／しないを選択できます。規制区間は、全ルート図表示画面にルートが ═══ （橙色）で表示されます。

▶「する」設定時



- 「しない」に設定しているとき、「ルートに季節交通規制区間があります」のメッセージが表示されます。
- 季節規制区間を迂回するルートを探索したいとき
  ➡「季節規制区間の迂回ルートを探索する」（→ P.133）

フェリールート利用

フェリーを利用するルートを探索する／しないを選択できます。フェリーの航路は ------（破線）で表示されます。

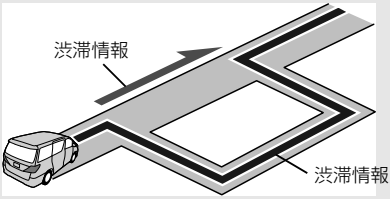


- フェリーターミナルまで音声案内が出力されます。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

次のページに続く

渋滞考慮探索 ※1

ビーコンからの現況 VICS 情報が受信されたとき、受信された渋滞・規制情報を考慮したルートを探索する／しないを選択できます。



- T-Connect サービス利用時にプローブコミュニケーション交通情報が取得されたときは、取得された渋滞・規制情報が考慮されたルート探索ができます。(→ P.559)
- 現在地から約 10km 以内の渋滞・規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮されません。

新旧ルート比較表示 ※1

ビーコンまたはトヨタスマートセンターから提供される現況情報が受信され、渋滞・規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、右画面に新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示する／しないを選択できます。(→ P.192)



プローブ交通情報自動取得 ※2

T ルート情報を取得する／しないを選択できます。(→ P.560)

※1 販売店装着オプションの ITS スポット対応 DSRC ユニットを装着したとき、または T-Connect サービスを利用されているときに操作することができます。

※2 T-Connect サービスを利用されているときに操作することができます。

(知 識)

- ルート学習について
  - 学習した道が使われない場合もあります。
  - 自車位置マークが実際の道路と異なる場所に表示されているときは、ルート学習ができない場合があります。(高速道路、またはバイパスのような高架道路と並行している道路がある場合など。)
  - 地図データを更新した場合、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されない場合があります。
- 季節規制メッセージ表示について
  - 地図データに情報のない規制区間では、ルートの色は変わらず、メッセージも表示されません。

自動表示切替設定をする

一般道方面看板表示

一般道と同等の方面看板を自動で表示する／しないを選択できます。



ターンリスト自動表示

ターンリスト（分岐する交差点・IC・JCT などの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号）を表示する／しないを選択できます。（→ P.120）



- 一般道路走行中は、ターンリスト図を表示させていても交差点の約 700m 手前では、レーンリスト図（→ P.117）・交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図（→ P.118）が自動的に表示されます。

知 識

- 一般道方面看板表示について
  - 地図データに情報のない地点では表示されません。
- ターンリスト自動表示について
  - 地図データに情報のない交差点・IC・JCT 名称、路線名、路線番号は表示されません。

音声設定をする

VICS 渋滞・規制音声自動発声

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）の現況情報を音声案内する／しないを選択できます。（→ P.187）

細街路での音声案内

目的地周辺で、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートで音声案内する／しないを選択できます。（→ P.116）

他モード時の案内

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときに、音声案内する／しないを選択できます。（→ P.116）

ハートフル音声

以下の例のような、通常の目的地案内中の音声案内とは、異なった音声を出力する／しないを選択できます。

▶ハートフル音声の例

- 自宅を目的地に設定して、目的地に到着したとき
  「お疲れさまでした」
- ナビゲーション画面が表示されるとき
  「今日は○月○日○曜日です」

予報音

音声案内の予報音（ポーン）を、BEEP1（低音）、BEEP2（高音）、消音から選択できます。

- 消音を選択すると、予報音の出力をしません。

エコドライブインフォメーション

エコ運転のアドバイスを音声案内する／しないを選択できます。（→ P.169）

知 識

- VICS 渋滞・規制音声自動発声について
  - 音声案内はあくまでも参考としてください。
  - 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
  - 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。
- ハートフル音声について
  - 状況などにより異なった音声が出力されたり、他のナビ音声案内などと重なったときは、出力されないことがあります。

その他の設定をする

スイッチ表示設定

地図画面の Off にタッチしたときに、表示するスイッチ類の設定ができます。

- 文字または記号が灰色のスイッチは、Off にタッチしたとき表示されません。



設定後にタッチ

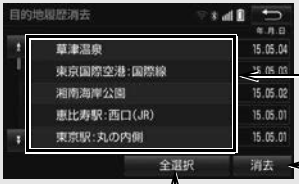
初期設定の状態に戻す

車両情報設定

料金の計算、および提携駐車場を検索するときの基準である車両情報を変更することができます。(→ P.41)

目的地履歴の消去

目的地設定した地図の地点を削除できます。



消去する地点名称にタッチ

消去 → はい の順にタッチ

すべての目的地履歴を選択

- 目的地設定した地図の地点が 100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

画面切り替え時の動画表現

画面の切り替わるスイッチにタッチしたときや、現在地 を押したとき、アニメーションのように表現されて画面を表示する／しないを選択できます。

時計表示

地図画面に時計を表示する／しないを選択できます。(→ P.65)

地図のステータスバー表示

地図画面にステータスバーを表示する／しないを選択できます。(→ P.65)

ナビ補正

自車位置マーク の位置と方向、進み方を修正できます。(→ P.146)

次のページに続く

VICS/ITS スポット設定

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。（→ P.191）また、現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。（→ P.194）

周辺施設 走行中呼出ジャンル

走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更することができます。



設定後にタッチ

変更する周辺施設のジャンルにタッチ

初期設定の状態に戻す

QUICK SETUP

QUICK SETUP の設定や設定した内容を修正することができます。（→ P.27）

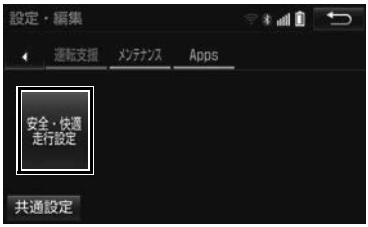
知 識

- 画面切り替え時の動画表現について
  - 動画表現することのできない画面もあります。
- 時計表示について
  - 時計表示の時刻は、GPS 電波を利用して自動調整します。（操作することはできません。）

3. 安全・快適走行の設定をする

1 MENU ▶ 設定・編集 → 運転支援

2 安全・快適走行設定 にタッチ。



3 各項目を設定する。



● 詳しくは、次の表をご覧ください。

一時停止案内

一時停止交差点に近づいたときに、案内マーク（  ）と音声で案内する／しないを選択できます。

信号待ち発進準備案内（DSSS）※

赤信号で停車したとき、信号待ち時間の目安をナビゲーション画面に表示する／しないを選択できます。待ち時間が短くなると、周囲の状況確認を促すメッセージを表示します。

▶待ち時間が十分にある場合 ▶待ち時間が少ない場合





- ≫ にタッチすると、信号待ち時間表示を消すことができます。再度表示するには、地図画面で 表示変更 → 信号待ち発進準備案内 の順にタッチします。

前方停止車両存在案内（DSSS）※

前方が見えにくい場所に停止車両または低速車両が存在する場合、案内マーク（前方注意）と音声で「ポーン、この先、前方の車にご注意ください」と案内する／しないを選択できます。

わき道車両存在案内（DSSS）※

見通しが悪い交差点のわき道に車が存在する場合、案内マーク（わき道注意）と音声で「ポーン、この先、わき道からの車にご注意ください」と案内する／しないを選択できます。

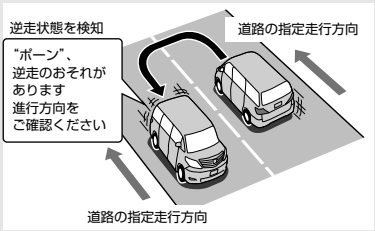
次のページに続く

逆走注意案内

サービス対象道路*にて、逆走状態を検知し、画面表示と音声で「ポーン、逆走のおそれがあります。進行方向をご確認ください」と案内する／しないを選択できます。

* サービス対象道路は、都市間高速道路・都市高速道路・一部の有料道路の本線および IC・JCT・SA・PA 施設です。





踏切案内（道路形状案内）

踏切に近づくと、案内マーク（ ）と音声で案内する／しないを選択できます。

合流案内（道路形状案内）

合流道路に近づくと、案内マーク（ 、 ）と音声で案内する／しないを選択できます。

カーブ案内（道路形状案内）

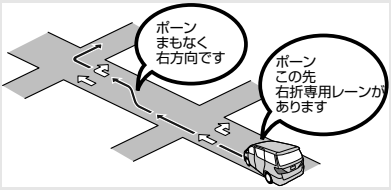
急カーブに近づくと、案内マーク（ 、 、 、 ）と音声で案内する／しないを選択できます。

レーン案内（道路形状案内）

都市高速道路走行中、レーン数減少地点に近づくと、案内マーク（ 、 ）と音声で案内する／しないを選択できます。

- 右折・左折専用レーンでは、案内マークは表示されません。

▶右折・左折専用レーン案内の例



- 直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先 右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。目的地案内中で、右折（左折）する交差点では右折・左折専用レーン案内はされません。この場合は「ポーン まもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。

事故多発地点案内

交通事故が多発している地点を案内する／しないを選択できます。

- 一般道路上では、交通事故が多発している地点に案内マーク（ ）が表示されます。1/5 千図～ 1/8 万図の地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）
- 高速道路上では、交通事故が多発している地点に近づくと、案内マーク（ ）が表示され、音声で案内します。

学校存在案内

学校に近づくと、案内マーク（ ）と音声で案内する／しないを選択できます。

- 案内できる学校は、全国の小学校・中学校・養護学校（聾学校・盲学校含む）・外国人学校*の小学校・中学校です。

* 専有校舎物件のみ。

※ 販売店装着オプションの ITS スポット対応 DSRC ユニットを装着したときに操作することができます。

⚠ 警告

● 安全・快適走行設定の案内は、あくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

(知 識)

● 一時停止案内について
- 以下のようなときは、一時停止案内が行われない場合があります。
  - 地図データに情報のない地点
  - 自車位置が正確に特定できないとき
  - 進入した道路の一時停止交差点までの距離が短いとき
- 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
  - 一時停止交差点が連続するとき
  - 他のナビ音声案内などと重なるとき
- 以下のようなときは、誤って一時停止案内を行う場合があります。
  - 自車位置が正確に特定できないとき
  - 地図データと実際の道路状態が変わったとき（信号機付き交差点に変わったなど）

● DSSS について
- DSSS については、「DSSS（Driving Safety Support Systems）安全運転支援機能を使用する」（→ P.85）をご覧ください。

● 信号待ち発進準備案内について
- 以下のようなときは、信号待ち発進準備案内が作動しない、または実際の信号表示と異なる場合があります。
  - 停車時点で赤信号の待ち時間が少ないとき
  - 信号機に矢印信号が点灯しているとき
  - 信号機の制御方式等により、DSSS 用光ビーコンから送信される信号情報が不確定なとき

(知 識)

● 前方停止車両存在案内について
- 以下のようなときは、前方停止車両存在案内が作動しない、または実際の道路状況と異なる場合があります。
  - DSSS 用光ビーコンを通過後、支援対象地点に進むまでに、停止車両や渋滞などの状況が変化し、受信した検知情報が実際の交通状況と異なるとき
  - 停止車両がセンサーの検知範囲外に存在しているとき
  - 車両を検出する路上に設置されたセンサーが、車両の特徴や環境条件、経年変化などによって、車両の未検知や誤検知を起こすとき

● わき道車両存在案内について
- 以下のようなときは、わき道車両存在案内が作動しない、または実際の道路状況と異なる場合があります。
  - DSSS 用光ビーコンを通過後、支援対象地点に進むまでに、前方のわき道に存在する車両の状況が変化し、受信した検知情報が実際の交通状況と異なるとき
  - 車両がセンサーの検知範囲外に存在しているとき
  - 路上に設置された車両を検出するセンサーが、車両の特徴や環境条件、経年変化などによって、車両の未検知や誤検知を起こすとき

知 識

● 逆走注意案内について

・以下のようなときは、逆走注意案内が行なわれない場合があります。
  ・サービス対象道路以外を走行している場合
  ・「本線、または本線に繋がる区間でのUターン、SA・PA進入路からの逆走」以外の方法で逆走する場合（一般道から高速道出口へ進入し逆走する場合など）
  ・ナビゲーション、またはナビゲーションの各種センサーが故障している場合
  ・ナビゲーションが、サービス対象道路を走行中であることを特定できていない場合
  ・地図データに情報のない道路を走行している場合
  ・急激な回転をした場合
  ・自車位置補正、方位補正が行われた直後
  ・地図更新が行われた直後
  ・料金所付近を走行している場合
  ・本線への合流区間が短い場合
  ・スマートIC付きSA・PA、その他特定のSA・PAである場合
・以下のようなときは、誤って逆走注意案内が行なわれる場合があります。
  ・自車位置を逆走対象道路上と誤認識し、Uターン動作をした場合
  ・自車位置マークの位置が正しくない場合
  ・料金所手前などのUターンが禁止されている場所で、逆走とはならないUターンを行った場合
  ・SA・PA内で交通規制に従わない走行を行った場合（SA・PA内での一方通行違反等）
  ・重大事故発生時などの警察・道路管理会社の誘導によりUターンを行った場合

知 識

● 道路形状案内について

・地図データに情報のない地点では、道路形状案内は行われません。
・以下のようなときは、道路形状案内が行われない場合があります。
  ・目的地案内開始直後
  ・再探索直後
  ・目的地周辺
・現在地から道路形状案内地点までの距離が短い、道路形状案内地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、案内が行われない場合があります。
・道路形状案内は、遅れたり早くなることがあります。
・次の道路形状案内マークが表示されている地点が短いときは、続けて道路形状案内が行われます。

● 学校存在案内について

・以下のようなときは、学校存在案内が行われない場合があります。
  ・地図データに情報のない地点
  ・土曜日、日曜日
  ・午後7時～午前7時
  ・自宅登録時の自宅周辺
  ・一部の有料道路や自動車専用道路を走行中
・以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
  ・案内表示中に別の学校に近づいたとき
  ・他のナビ音声案内などと重なるとき

4. エコ機能

エコ機能について

エコ機能とは、燃料消費量の少ないルートにアイコンを表示したり、運転内容をエコな観点で評価したりすることで、環境にやさしい運転をサポートする機能です。

燃費の計算

給油した量と給油した時点での走行距離から、燃費が計算されます。

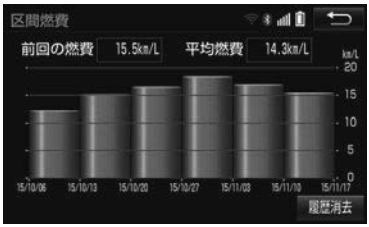
また、燃費の履歴から平均燃費が計算されます。

知 識

- 満タンに給油しない場合、燃費が正確に計算されません。

履歴とグラフの表示

平均燃費や燃費の履歴を表示させることができます。



1 MENU ▶ 情報

2 燃費 にタッチ。

- 履歴を消去したいとき
  ➡ 履歴消去 → はい の順にタッチ。
- 前回の燃費と全履歴の平均燃費が数値で表示されます。

知 識

- 数値の表示は、最大 99.9km/L、最小 0.1km/L になります。
- グラフの表示は、最大 60km/L になります。

ルート案内時の燃費設定

燃費を設定すると、5ルート同時表示画面のルートの中で最もエコなルートにアイコンを表示することができます。また、全行程一覧表画面にはルートごとにエコ度を3段階で表示することができます。

燃費は次の方法で設定することができます。

- 走行累計平均燃費を使用して燃費を設定する
- 燃費を手動で設定する

▶5ルート同時表示画面



▶全行程一覧表示画面



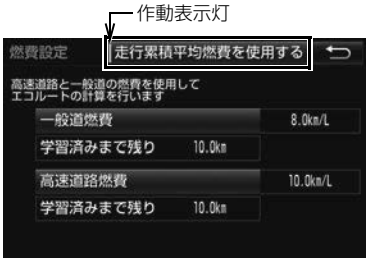
走行累積平均燃費を使用する

走行状態に合わせて、自動で平均燃費を算出し、燃費を設定することができます。

1 MENU ▶ 情報

2 燃費設定 にタッチ。

3 走行累積平均燃費を使用する にタッチ。



- 走行累積平均燃費が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。
- 一般道および高速道路をしばらく走行すると「学習済み」と表示され、燃費が設定されます。

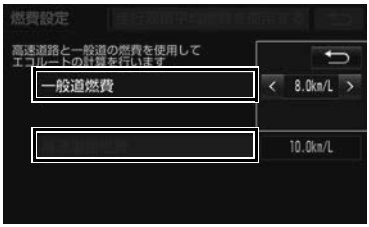
燃費を手動で設定する

履歴・グラフ（→P.166）に表示されている平均燃費などを参考に手動で設定することができます。

1 MENU ▶ 情報

2 燃費設定 にタッチ。

3 一般道燃費 または 高速道路燃費 にタッチ。



4 燃費を設定して ⮌ にタッチ。

- 燃費を上げたいとき
  ➡ ＞ にタッチ。
- 燃費を下げたいとき
  ➡ ＜ にタッチ。

知 識

- 走行累積平均燃費（→P.167）を使用している場合は、一般道燃費 および 高速道路燃費 にはタッチできません。
- フェリー航路は、燃料消費量の対象になりません。
- 入力できる燃費設定は、0.1km/L ～ 99.9km/L の範囲です。

エコ情報の表示

区間燃費の表示

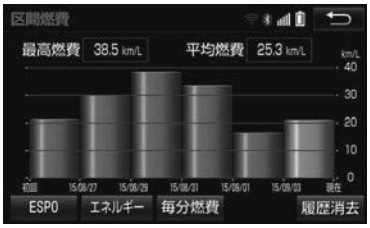
車両側のメーターの燃費表示をリセットするごとの燃費情報を最大6回グラフで表示します。

1 MENU ▶ 情報

2 燃費 にタッチ。



3 区間燃費画面が表示される。



- 履歴を消去したいとき
  ➡ 履歴消去 → はい の順にタッチ。
- 最高燃費とは、前回区間燃費の履歴を消去してから現在までの過去最高の区間燃費です。

知 識

- 車両側のメーターの燃費表示については、車両の取扱書をご覧ください。

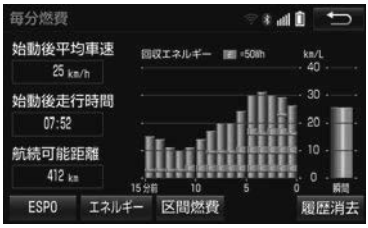
毎分燃費の表示

1分間ごとの燃費情報をグラフで表示します。

1 MENU ▶ 情報 → 燃費

2 毎分燃費 にタッチ。

3 毎分燃費画面が表示される。



- 履歴を消去したいとき
  ➡ 履歴消去 → はい の順にタッチ。
- 航続可能距離は、車両側のメーターから通知された数値が表示されます。
- 区間燃費 にタッチすると、区間燃費を表示します。

知 識

- 車両により表示する画面が異なります。

エコ運転アドバイスの設定

エコな運転に役立つアドバイスを音声で案内させることができます。

▶エコ運転アドバイス音声の例

- 気持ちにゆとりを持った運転がエコドライブに繋がります。
- エアコンの設定温度を控えめにすることで燃費がよくなります。
- 空ぶかしを行うと多くの燃料を浪費します。

- エコ運転アドバイスをする／しないを設定できます。（→P.158）

知 識

- エコ運転アドバイスの音声は一般的なものであり、運転環境やご使用の車により該当しないことがあります。
- ハートフル音声（→P.158）とエコ運転アドバイスの音声が重複した場合、ハートフル音声が優先されます。その場合、エコ運転アドバイスは、次回パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにしたときに発話されます。

エネルギーモニターの表示

ハイブリッドシステムの状態を、画面に表示することができます。

1 MENU ▶ 情報 → ESPO

2 エネルギー にタッチ。

3 エネルギーモニター画面が表示される。



(知 識)

● 燃費表示画面の エネルギー にタッチしても表示することができます。

ESPO 画面の表示

ESPO の情報を画面に表示することができます。

1 MENU ▶ 情報

2 ESPO にタッチ。

3 ESPO 画面が表示される。

- 毎分燃費画面、区間燃費画面からも ESPO 画面を表示できます。



番号	スイッチ／表示	機能
1	更新スイッチ ※	走行情報などをトヨタスマートセンターへ送信し、ステータスなどを更新します。
2	毎分燃費 （前回ハイブリッドシステム始動～ハイブリッドシステム停止／今回ハイブリッドシステム始動～現在）	1 分ごとの平均燃費を最大 15 分ずつグラフ表示します。今回と前回の平均燃費を色分けして表示します。

次のページに続く

番号	スイッチ／表示	機能
3	アドバイススイッチ	• ドライバーの運転操作について、エコ運転の観点で診断した結果を表示します。良いところを確認したり、さらに良くするにはどうしたら良いかを知ることができます。 • エコ運転や環境に関する豆知識を表示します。
4	エコカルテスイッチ	T-Connect の ESPO メニューが表示され、燃費ランキングなどが確認できます。
5	エネルギースイッチ	エネルギーモニター（→ P.170）を表示します。
6	区間燃費スイッチ	区間燃費（→ P.168）を表示します。
7	毎分燃費スイッチ	燃費画面（→ P.169）を表示します。
8	エコレベル平均値	エコレベルインジケーターの平均値を表示します。マークが増えるほど、環境に配慮した運転をしていることになります。
9	エコレベルメーター	エコ運転のレベルを表示します。 マークが増えるほど、環境に配慮した運転をしていることになります。
10	ステータス表示 ※	エコ運転の採点結果や走行情報をトヨタスマートセンターに送信し、計算されたデータを元にポイントやステータスを表示します。 ステータスはエコ運転を継続することでブロンズ、シルバー、ゴールドの順にランクがアップします。
11	エコレベルインジケーター	エコレベルメーターのレベルに応じて、Good・Excellent が表示されます。 レベルが低い場合は表示されません。

※ T-Connect サービスをご利用されているときに表示されます。

(知 識)

● トヨタスマートセンターへ送信する走行情報は、ナビゲーションシステムが算出するものであり、車両に表示される走行距離や燃費などとは一致しないことがあります。

5. GPS について

GPS（Global Positioning System：汎地球測位システム）は、米国が開発・運用しているシステムで、通常 4 個以上、場合により 3 個の人工衛星を利用して、利用者の現在位置（緯度・経度など）を知ることができるものです。
このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して、ナビゲーションを行っています。

GPS 情報を利用できないとき

以下のようなときは、GPS 情報を利用できないことがあります。

- ビル・トラック・トンネルなどで人工衛星の電波が遮断されるとき
- GPS アンテナの上に物を置くなどして電波が遮断されるとき
- 人工衛星が電波を出していないとき（米国の追跡管制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）
- デジタル式携帯電話（1.5GHz）を GPS アンテナ付近で使用したとき

システムの特性上、避けられないズレ

このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。

この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

6. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原因	処置
自宅が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、自宅周辺 にタッチしたため。	自宅を登録してからお使いください。（→ P.40）
特別メモリ地点が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ周辺 1 ～ 5 または特別メモリに行く 1 ～ 5 にタッチしたため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。 （→ P.135）
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する施設の地点が特定できません 周辺の地図を表示します	検索された施設の正確な所在地が特定できず、所在地の住所を代表する地点を検索したため。	実際の施設の所在地をご確認ください。
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	1/8 万図より広域の地図で、目的地・メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。（現在地画面から地点登録するときを除く）	目的地・メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図（1/8 万図以下）で行ってください。
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を動かして、道路付近に通過道路を指定してください。
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、河川などが近くにあるため。	はい にタッチしたあと、地図を道路付近に動かして、セット にタッチし、目的地を設定してください。 表示されている位置に目的地を設定するときは、いいえ にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	

メッセージ	原因	処置
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。(→ P.136)
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点 400 カ所・G メモリ 100 カ所登録しているときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。 (→ P.137)
セットで◆を乗降 IC に設定します 次候補で別の出入口を探します	指定した IC に出口（入口）が複数あるため。	希望の出口（入口）のときは、セット にタッチしてください。 希望の出口（入口）でないときは、次候補 にタッチしてください。
指定した IC は時間規制によりご利用できない場合があります IC 指定を続けますか？	指定した IC に時間規制があるため。	指定を続けるとき、はい にタッチしてください。 指定をやめるとき、いいえ にタッチしてください。
指定された出入口 IC は規制があります ご注意下さい	時間規制のある IC を利用時間内に通過できないおそれがあるため。	指定している前後の IC から乗降してください。
○○○○上に目的地を設定しますか？ (高速道路、有料道路など)	高速道路、有料道路上などで目的地を設定しようとしたため。	そのまま設定するときは、設定する にタッチしてください。 別の道路に設定するときは、他の道路 にタッチしてください。
指定された区間の前後に乗降 IC または通過道路が決定済みです 指定を解除しますか？	乗降 IC または通過道路を指定してある前後に目的地を追加しようとしたため。	乗降 IC または通過道路の指定を解除して目的地の追加を続けるときは、はい にタッチしてください。 乗降 IC または通過道路の指定を解除せず目的地の追加を続けるときは、いいえ にタッチしてください。
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を動かすか、ほかの施設で検索してください。
該当する施設がありません	施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	条件を変更して、再度検索してください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
地図が表示されない。	地図 SD が差し込まれていますか。	地図 SD を差し込んでください。（→ P.18）
走行しても地図が動かない。 自車位置マークが表示されない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。（→ P.72）
GPS マークが表示されない。	GPS 情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動するか、GPS アンテナの受信を妨げるものを取り除いてください。
音声案内が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。（→ P.114）
	案内の音量が小さく（音声 OFF に）なっていませんか。	音量を大きくしてください。（→ P.41）
実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている。 （自車位置マークがずれている。）	人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車位置マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車位置マークがずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。） GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→ P.146）
地図の画面上部が青色になる。	3D 表示にて、「空（ソラ）」が表示されており、それが青色となっていませんか。 3D 表示の 1.6k スケール以上で「空（ソラ）」が表示されます。	「空（ソラ）」の青色が気になるようでしたら、2D 表示にする（→ P.78）か、3D 表示で 1.6k スケールより詳細なスケールにしてください。（→ P.75）

症状	考えられること	処置
渋滞情報が表示されない。	VICS 情報を 非表示 に設定していませんか。	VICS 情報を表示させる設定になっているかご確認ください。（→ P.185）
	FM-VICS 選局が 手動 に設定され、現在地エリアの FM-VICS 放送局が選局されていないと FM-VICS 放送を受信できません。	現在地エリアの FM-VICS 放送局を選局するか、自動 を選択してください。（→ P.194）
FM-VICS が受信できない。	周辺機器に FM トランスミッターを使用していませんか。	FM トランスミッターの使用を中止してください。
	車両のラジオアンテナを最大まで伸ばしていますか。	車両のラジオアンテナを最大まで伸ばしてください。

ナビの精度について

知 識

- このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
- タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。(→ P.146)

■以下のような車両の状態（走行場所や運転条件）のときは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。

- 角度の小さなＹ字路を走行しているとき、他方の道に自車位置マークが表示されることがあります。
- 走行中の道路の近くに別の道路が並走している場合、隣の道路に自車位置マークが表示されることがあります。
- 市街図を表示させているとき、自車位置マークやルート表示が反対車線や道路以外の場所に表示されることがあります。
- 市街図から市街図以外の縮尺の地図に切り替えたとき、ほかの道路に自車位置マークが表示されることがあります。
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと、自車位置マークが移動前の位置になっていることがあります。
- 自車位置マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行したとき
- 補機バッテリーターミナルを脱着したあと
- らせん状の道路を走行しているとき
- 勾配の急な山岳等を走行しているときや急カーブを走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場などでの切り返しや、ターンテーブルで回転をしたあと、一般道路に出たとき
- 渋滞・交差点の手前などで、発進・停止を繰り返したときや徐行運転時
- 砂、砂利、雪道などのすべりやすい道路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- タイヤを交換したとき（とくに応急用タイヤ、スタッドレスタイヤ使用時）
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したとき
- タイヤの空気圧が 4 輪とも指定の空気圧でないとき
- 摩耗したタイヤに交換したとき（2 シーズン目以降のスタッドレスタイヤなど）
- ビルの近くを走行したとき
- 高速走行中、長距離のルート探索を行ったとき

以上のようなときでも、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

■探索条件や走行場所により、以下のように適切な目的地案内が行われないことがあります。

- 直線道路走行中に、直進の案内が行われることがあります。
- 交差点で曲がるのに、案内が行われないことがあります。
- 案内が行われない交差点があります。
- U ターン禁止の場所で、U ターンするルートの案内が行われることがあります。
- 実際には通行できない道（進入禁止の道路、工事中の道路、道幅が狭い道路など）の案内が行われることがあります。

- 目的地までの道路がなかったり、細い道路しかないときは、目的地から離れた所までしか目的地案内が行われないことがあります。
- ルートからはずれたとき（手前の交差点などで曲がったときなど）、音声案内が誤って出力されることがあります。
- 実際の現在地と異なる場所に自車位置マーク  が表示されている場合、誤った案内をすることがあります。

■ルート再探索時、以下のようなことがあります。

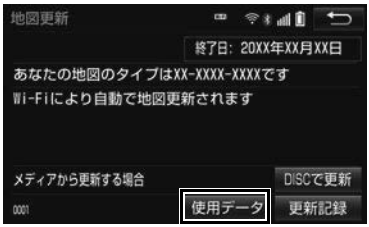
- 再探索時のルートの表示が、次の右左折までに間に合わないことがあります。
- 高速走行時の再探索時間が長いことがあります。
- 再探索時に、ルートが遠まわり（大まわり）になることがあります。
- 通過するはずの目的地を通らずに最終の目的地に向かうとき、再探索すると、通過するはずの目的地へ戻るルートが表示されることがあります。
- 再探索しても、ルートがかわらないことがあります。
- ルートが探索されないことがあります。

1. 地図について

データベースの情報を見る

1 MENU ▶ 設定・編集 → 地図更新

2 使用データ にタッチ。



地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。

なお、このナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

知 識

- 地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- 幅が 3m 未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が 3m 未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

地図データの更新について

地図データは、以下の方法で更新することができます。

全更新：最新版地図ソフトを購入いただき、全ての地図データを更新します。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

※ 最新版地図ソフトの発行は、予告なく終了する場合があります。

差分更新：通信またはパソコン（ディスク、地図 SD）を使用して、部分的に地図データを更新します。詳しくは、「マップオンデマンド（地図差分更新）」（→ P.548）をご覧ください。

地図データベースについて

いかなる形式においても、著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 20 万分の 1 地勢図、5 万分の 1 地形図、2 万 5 千分の 1 地形図、1 万分の 1 地形図及び数値地図 50m メッシュ（標高）を使用しました。（測量法 第 30 条に基づく成果使用承認 承認番号 平 26 情使、第 523-001 号）

この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

この地図作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
（測量法 第 44 条に基づく成果使用承認 12-040T）

©2007 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

© アイシン・エィ・ダブリュ（株）& ZENRIN CO.,LTD. & （株）トヨタマップマスター

■交通規制データの出典

- この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、（株）トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

■道路交通規制の優先

- このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

■交通事故多発地点

- 地図データに収録されている事故多発地点データは、警察庁及び国土交通省のデータを基に作成してあります。

■道路交通情報データ

- 道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。データ作成には、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

■渋滞考慮探索

- 渋滞考慮探索は、JARTIC/VICS の情報、プローブコミュニケーション交通情報を基にアイシン・エィ・ダブリュ株式会社が作成したデータを使用しています。

■渋滞考慮探索機能（交通情報予測機能）

- 渋滞考慮探索機能（交通情報予測機能）はアイシン・エィ・ダブリュ株式会社の提供です。

1. VICS・交通情報の表示について

地図上に VICS 交通情報／記号（→ P.202）を表示することができます。以下は表示例です。

▶通常の地図



▶ハイウェイモード



	渋滞情報の表示例		
	渋滞	混雑	空き道
現況情報	（赤色）	（橙色）	（水色）
統計情報	（赤色）	（橙色）	（水色）

VICS・交通情報について

VICS・交通情報には、現況情報と統計情報があります。

知 識

- 現況情報と統計情報を同時に表示する設定にしている場合は、現況情報を優先して表示します。
- 現況交通情報・統計情報は表示されない地点があります。また、地図差分更新（→ P.548）などにより今まで表示されていた地点でも、表示されなくなることがあります。
- 提供される現況交通情報・統計情報は、実際の交通状況と異なる場合がありますので、あくまでも参考としてください。
- 表示する地図の種類によっては、VICS・交通情報を表示させることができない場合があります。

現況情報について

■現況 VICS 情報

VICS センターから提供される現況の情報です。

知 識

- 現況情報は、1/16 万図より詳細な地図で表示することができます。
- VICS 記号によっては、1/16 万図では表示できない記号もあります。
- 現況交通情報は、Tルート探索（→ P.559）すると取得することができます。

■現況交通情報

トヨタスマートセンターから提供されるプローブコミュニケーション交通情報です。（→ P.559）

統計情報について

過去の交通情報を統計処理した情報です。

知 識

- この情報は、地図データに収録されています。現況情報が受信できないときでも、日時・時間帯に応じた情報を表示できます。
- 統計情報は、1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。

タイムスタンプについて

タイムスタンプにタッチすると、現況情報の提供時刻や渋滞情報、渋滞・規制音声案内を出力することができます。（→ P.187）



タイムスタンプ

時刻表示について

- 現況情報が提供された時刻を示しています。（現況情報が受信された時刻ではありません。）
- 現況情報が継続して受信されないと、約 30 分後に自動的に消去され、**[- - : - -]** の表示になります。
  現況情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が **[- - : - -]** になります。
- パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにした直後など、現況情報が受信されるまでは、**[- - : - -]** の表示になります。

色について

目的地案内中で現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）に現況情報があると色がかわります。

スイッチ	内容
赤色（ 8:00 ）	渋滞情報
橙色（ 8:00 ）	混雑情報
黄色（ 8:00 ）	交通規制情報

文字表示について

現況 VICS 情報を受信すると「VICS」、現況交通情報を受信すると「交通情報」と表示します。

知 識

- 現況 VICS 情報･現況交通情報の両方が受信されていないときは、「交通情報」が灰色になります。
- 1/32 万図より広域な地図では「交通情報」と表示します。
- パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにした直後など、現況情報が受信されるまでは「交通情報」と表示します。
- 現況VICS情報と現況交通情報を同時に表示できるときは、「VICS」と表示します。

VICS 記号の内容を表示する

1 規制情報の記号、または駐車場情報の記号にタッチ。



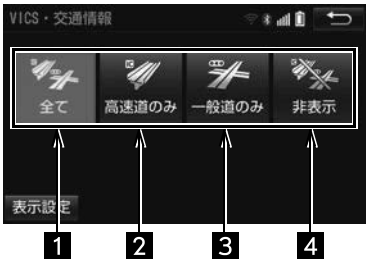
知 識

- VICS 記号によっては、内容が表示されないこともあります。

VICS・交通情報の表示設定

1 地図表示中 → 表示変更 → VICS・交通情報

2 VICS・交通情報を表示する道路にタッチ。



スイッチ	内容
1	高速道路・一般道路に表示
2	高速道路のみに表示
3 ※	一般道路のみに表示
4	交通情報を表示しない

※ ハイウェイモード（→ P.88）では、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報が表示されます。

- VICS・交通情報を表示したときは、タイムスタンプが表示されます。

表示する VICS・交通情報を選択する

1 地図表示中 → 表示変更 → VICS・交通情報 → 表示設定

2 表示する VICS・交通情報、完了の順にタッチ。



- 表示する項目が選択されているときは、作動表示灯が点灯します。

スイッチ	内容
渋滞・混雑※	渋滞・混雑している道路の表示
空き道※	空いている道路の表示
規制情報	事象・規制がある道路の表示
駐車場	駐車場情報の表示

※ 渋滞・混雑、空き道は統計情報を表示することができます。また、現況情報と統計情報を同時に表示することもできます。ただし、同じ地点に両方の情報があるときは、現況情報を優先して表示します。

2. VICS・交通情報を活用する

渋滞・規制音声案内について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）の現況情報を音声案内させることができます。

音声案内の例

▶VICS 表示がある地点
「およそ 1km 先 渋滞があります」

▶VICS 記号のある地点
「およそ 5km 先 電気工事のため 車線規制中です」

● 渋滞・規制音声自動発声の出力する／しないを設定できます。（→ P.158）

知 識

● 音声案内はあくまでも参考としてください。
● 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
● 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

渋滞・規制音声案内を再出力する

1 タイムスタンプにタッチ。



● 一度音声案内が出力されるとタイムスタンプがタッチスイッチになり操作することができます。

知 識

● VICS 渋滞・規制音声自動発声を「しない」に設定していても、タイムスタンプが点灯していれば、タッチすると渋滞・規制音声案内を出力させることができます。

VICS 図形情報・文字情報を表示する

1 MENU ▶ 情報 → VICS → FM 図形 または FM 文字

2 情報の番号（ 1 · 2 · 3 … ）にタッチ。

● 文字情報または図形情報に切り替えるとき
➡ 文字 または 図形 にタッチ。

3 ▲ · ▼ にタッチ。

● 情報のページを送るとき
➡ ▲ · ▼ にタッチ。
● 文字情報または図形情報に切り替えるとき
➡ 文字 または 図形 にタッチ。
● 目次 にタッチすると、VICS 情報目次画面が表示されます。（手順 **2** の画面）
● 自動送り にタッチすると、情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。
● 走行中は自動送りできません。
● 情報の自動送りを中止するとき
➡ 停止 にタッチ。

● 自動送り中に ▲ または ▼ にタッチして、情報を送ったときは、自動送りは中止されます。

割込情報（ビーコン即時案内）を表示する

▶販売店装着オプションの ITS スポット対応 DSRC ユニットを装着したとき

割込情報の表示設定をすると、ビーコンからの現況 VICS 情報が受信されたとき、VICS 文字情報または図形情報を自動的に表示させることができます。



割込情報を切り替えるとき

1 ▲・▼ にタッチ。

● 文字情報または図形情報に切り替えるとき
➡ 文字 または 図形 にタッチ。

● » にタッチする、または約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面に戻ります。
表示時間は調整することができます。（→ P.192）

知 識

● 表示させている画面により、割込情報が表示されないことがあります。

ITS スポットサービス（DSRC）で受けられる割込情報について

ITS スポットサービス（DSRC）では、VICS 文字情報・図形情報以外に、以下のサービスが受けられます。

● ITS スポットサービス（DSRC）については、「ITS スポットサービス（DSRC）で提供されるサービス内容について」（→ P.444）をご覧ください。

知 識

● 以下の割込情報の音量は、ナビの音量設定で調整することができます。（→ P.41）
・ 安全運転支援情報
・ 前方状況情報提供サービス
・ 施設情報提供サービス

■安全運転支援（注意警戒情報）案内サービス

見通しの悪いカーブ先の渋滞などを、高速道路などに設置された ITS スポット（DSRC）路側無線装置から受信して、音声と画面で案内します。

⚠ 警告

● ITSスポットサービス(DSRC)安全運転支援案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知 識

● ITS スポットサービス（DSRC）により提供される情報にはいくつかの種類があります。この種類は、情報画面上に表示される情報種別で判別されます。

代表例として以下のような情報が提供されます。

▶前方障害物情報提供

見通しの悪いカーブの先の停止車両や渋滞情報をカーブへの侵入前に音声や画面表示で案内します。



知 識

- 以下のようなときは、安全運転支援案内が行われない場合があります。
  - ・ ETC アンテナ付近に障害物があるとき
  - ・ 大型車と並んで走行しているとき
  - ・ 他のナビ音声案内、画面表示などと重なるとき
  - ・ 低速度で走行しているとき
  - ・ 自車位置が正確に特定できないとき
  - ・ ITS スポット（DSRC）路側無線装置、車両検知センサ・カメラ等の路側システムが稼動していないとき
- 表示させている画面により、安全運転支援情報が画面に表示されないことがあります。
- 実際の音声や画面表示は ITS スポット（DSRC）路側無線装置から提供されるものと異なることがあります。
- その他の安全運転支援情報については、「VICS・ITS スポット ・DSSS の問い合わせ先について」(→ P.198)をご覧ください。

■道路交通情報

代表例として以下のような情報が提供されます。

▶前方状況情報提供サービス

進行方向先の交通状況を画面と音声、または音声で案内します。



▶長文読上げサービス

ハイウェイラジオなどの情報を音声で案内します。

「現在の首都高速４号線上り方向の情報をお知らせします。・・・・・」

1 はい にタッチ。

- 読上げ中、中止 にタッチすると、読上げを中止します。

知 識

- 読上げ情報は、２回読上げると終了します。
- 約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面に戻ります。
- 再度読上げ情報を聞くときは、「割込情報を呼び出す」（→ P.190）をご覧ください。
- 長文読上げサービスの音量は、オーディオの音量調整スイッチで調整することができます。（→ P.218）

▶施設情報提供サービス

進行方向先のサービスエリアやパーキングエリアの混雑情報や施設情報を画面や音声で案内します。

割込情報を呼び出す

割込情報の表示を「しない」に設定しているときに、受信された割込情報を表示させることができます。
また、一度表示された割込情報を再度表示させることもできます。

■地図画面から呼び出す

地図表示中

1 割込情報 にタッチ。

- 最新の割込情報を表示します。

- 地図画面に 割込情報 を表示する／しないを選択できます。（→ P.191）

知 識

- 地図画面に表示する 割込情報 のタッチスイッチは、受信より 5 分以上経過すると消去されます。

■メニュー画面 から呼び出す

1 MENU ▶ 情報 → VICS

2 VICS呼出、またはITSスポット呼出の 割込情報 にタッチ。

3 ▲・▼ にタッチして、割込情報を切り替える。



- 画面は、図形情報を使用しています。文字情報（ITS スポット呼出のときは、表示情報、読上げ情報）を表示したときも操作方法は同じです。
- VICS呼出の文字情報または図形情報に切り替えるとき
  ➡ 文字 または 図形 にタッチ。
- ITS スポット呼出の表示情報または読み上げ情報に切り替えるとき
  ➡ 表示情報 または 読上げ情報 にタッチ。

知 識

- 提供時刻より約30分以上経過した割込情報は、表示させることができません。

割込情報の表示設定を変更する

▶販売店装着オプションの ITS スポット対応 DSRC ユニットを装着したとき

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → VICS/ITS スポット設定

自動割込を設定する

1 各項目の する または しない にタッチ。



割込設定	内容
VICS 注意警戒情報 自動割込	VICS 注意警戒情報を表示します。
VICS 文字情報 自動割込	VICS 文字情報を表示します。
VICS 図形情報 自動割込	VICS 図形情報を表示します。
ITSスポット表示情報 自動割込	ITS スポット情報、長文読上げ情報確認画面を表示します。
ITSスポット注意警戒情報 自動割込	ITS スポット注意警戒情報、安全運転支援情報を表示します。
自動割込み表示時間	割込情報の表示時間を調整します。(→ P.192)
ITSスポット音声案内	長文読上げ情報以外の音声情報の発話を設定します。
ITSスポット走行情報のアップリンク	ITS スポットサービス（DSRC）走行情報アップリンクのする／しないを選択できます。(→ P.192)
地図画面の割込情報スイッチ表示	地図画面に 割込情報 を表示する／しないを選択できます。

2 ⮌ にタッチ。

知 識

- 自動割込情報を「しない」に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報または図形情報が表示されます。
- ITS スポットサービス（DSRC）により提供される自動割込は、注意警戒情報と ITS スポット表示情報の設定項目でする／しないを設定できます。
  各々の設定項目は割込み画面上部の情報種別と同じです。
- ITS スポット音声案内を「する」に設定した場合でも、割込み画面下の 音声停止 にタッチすると、音声案内を中止できます。
- 同一割込み中において、発話中止後の再読み上げはできません。 音声停止 で中止した発話は次回割込み時に復帰します。

自動割込表示時間を調整する

1 自動割込みの表示時間 にタッチ。

2 表示時間を調整し、 にタッチ。

- 長くするとき
  ➡ ＋ にタッチ。
- 短くするとき
  ➡ － にタッチ。

3 にタッチ。

知 識

- 音声案内中は表示時間が経過しても表示は消えません。音声案内終了後に消えます。

ITS スポット走行情報のアップリンクの設定をする

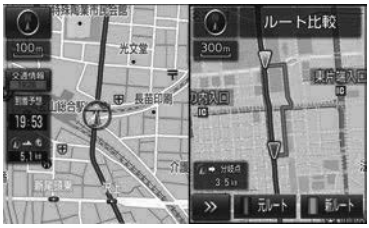
走行履歴などの情報（走行位置の履歴や車両に関する情報など）を ITS スポット対応 DSRC ユニットを通じて、ITS スポット（DSRC）路側無線装置へ送ることができます。詳しくは、「道路管理者からのお知らせとお願い」をご覧ください。（→ P.199）

1 ITSスポット走行情報のアップリンクの する または しない にタッチ。

新旧ルートを比較して表示する

ビーコン※またはトヨタスマートセンターから提供される現況情報が受信され、渋滞・規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、右画面に新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示します。

※ ビーコンを受信するには販売店装着オプションの ITS スポット対応 DSRC ユニットが必要です。



- 渋滞考慮探索・新旧ルート比較表示を「する」に設定したとき、新旧ルート比較表示ができます。（→ P.154）

新ルートで案内するとき

1 新ルート にタッチ。

- 約 10 秒以上操作しなかったときも、新ルートで案内します。

元ルートで案内するとき

1 元ルート にタッチ。

知 識

- 新旧ルート比較表示を「しない」に設定していても、渋滞考慮探索（→ P.154）を「する」に設定していて、渋滞を考慮したルートが新たに見つかったときは自動的に新しいルートで案内します。
- 新旧ルート比較表示では、VICS・交通情報の表示設定（→ P.185）に関わらず渋滞情報が表示されます。
  ただし、地図の縮尺によっては表示されないことがあります。（→ P.183）

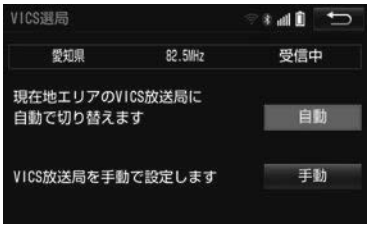
3. VICS 放送局を選択する

現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → VICS/ITS スポット設定 → VICS 選局

● 表示される画面は、前回選択していたモード（自動選択または手動選択）により異なります。

▶自動選択時



▶手動選択時



自動で放送局を選択する

現在地がある都道府県の、VICS 提供 FM 放送局が受信され、現在地を移動すると、自動的に放送局が切り替わります。

1 自動 にタッチ。

● 通常は、 自動 にしておいてください。「自動」で受信されないときのみ、 手動 で放送局または放送エリアを選択してください。

（知 識）

● 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

手動で放送局を選択する

▶エリア選択

選んだ都道府県の VICS 提供 FM 放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

▶周波数選択

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

1 手動 にタッチ。

2 エリア選択時は、受信させる放送局のある都道府県名にタッチ。
周波数選択時は、 ∧ ・ ∨ にタッチして、放送局の周波数を選ぶ。

● 放送局の電波が受信されると、「受信中」が表示されます。

4. VICS について

VICS（Vehicle Information and Communication System：道路交通情報通信システム）は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICS リンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会・公益財団法人日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。

VICS、およびこの機器に付与された VICS のロゴマークは一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICS のメディアについて

VICS は、FM 多重放送・電波ビーコン・光ビーコン・ITS スポット（DSRC)の 4 つのメディアを受信することができます。

- 4つのメディアはそれぞれ特長が異なります。

■FM 多重放送

FM 多重放送は、VICS 提供 FM 放送局（NHK-FM）から電波の届く範囲の車両に VICS 情報の提供が行われます。

■電波ビーコン

電波ビーコンは、おもに高速道路の路側に設置されており、その地点を通過する車両に VICS 情報の提供が行われます。

- 高速道路のVICS電波ビーコン(2.4GHz)による情報提供は、今後 ITS スポットによる情報提供に移行します。詳しくは、国土交通省道路局 ITS 推進室ホームページをご覧ください。

■光ビーコン

光ビーコンは、おもに一般道路の各車線ごとに設置されており、その車線を通過する車両に VICS 情報および DSSS 情報（→ P.85）の提供が行われます。

■ITS スポット（DSRC）

ITS スポット (DSRC) は、おもに高速道路の路側に設置されており、その地点を通過する車両にITSスポットサービス(DSRC)情報の提供が行われます。また、ITS スポットにて受信した情報をナビゲーションに蓄積し、高速道路上の任意の場所でタイミングよく情報提供が行われる場合もあります。

VICS の運用時間について

24 時間運用されています。

ただし、FM 多重放送は、AM1：00 ～ 5：00 の間はメンテナンスのため休止する場合があります。

- 休止時間については、VICS FM 多重放送の「気象情報他」で案内します。
- VICS の運用時間は予告なく変更・廃止されることがあります。

VICS FM 多重放送を受信できないとき

本機は、以下のようなとき VICS FM 多重放送の情報を受信できません。

- VICS FM 多重放送を受信できない状態から、VICS 情報を表示させようとした場合、VICS 情報が表示されない、または地図画面上のVICSタイムスタンプが更新されません。

知っておいていただきたいこと

- 提供されるVICS情報はあくまでも参考としてください。(提供される VICS 情報は、最新ではないことがあります。)
- 電波や光の信号がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れることがありますが、新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。
- VICSの表示内容は、VICSセンターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
- VICS 情報は、発信されている地域により、情報の内容が異なります。
- VICS による交通情報（渋滞や混雑など）の地図への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により、一部の情報が表示されなくなることがあります。

FM 多重放送特有の事項について

- FM 多重放送は、一定周期で情報が更新されますので、情報が揃うまでに時間がかかることがあります。
- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことがあります。
  - ・トンネルの中にいるとき
  - ・高層ビルの谷間にいるとき
  - ・高架道路の下にいるとき
  - ・盆地にいるとき
  - ・大型車とすれちがったとき

電波ビーコン・ITS スポット (DSRC) 特有の事項について

- 電波ビーコン・ITS スポット (DSRC) は、直線的にしか電波が届きません。
- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことや誤って受信されることがあります。
  - ・電波ビーコン・ITS スポット (DSRC) を発信する路側に街路樹が茂っているとき
  - ・トンネルの中にいるとき
  - ・高架道路の下にいるとき
  - ・大型車と並んで走行しているとき
  - ・ETC アンテナ付近に障害物があるとき
  - ・高速道路の下の一般道路を走行しているとき、高速道路の電波ビーコン・ITS スポット（DSRC）が受信されることがあります。

光ビーコン特有の事項について

- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことや誤って受信されることがあります。
  - ・大型車の後ろを走行しているとき
  - ・光ビーコンが太陽と重なったとき
  - ・フロントウインドウが汚れたり、雪が積もっているとき
  - ・光ビーコンユニット付近に障害物があるとき
  - ・光ビーコンユニットが汚れているとき

VICS の用語について

より有効に VICS を利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

緊急情報について

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

交通情報関連の用語について

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

駐車場・SA・PA 関連の用語について

- 空車：駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
- 混雑：駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
- 満車：駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。
- 不明：駐車場（SA・PA）の情報がない状態を示します。
- 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態を示します。

VICS センター著作権および VICS 過去データについて

1 お客様は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが所有しまたは管理することに同意する。

2 お客様は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

VICS・ITS スポット ・DSSS の問い合わせ先について

トヨタ販売店への問い合わせについて

■以下の内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ITS スポット対応 DSRC ユニットの調子・機能・使用方法・その他に関するもの
- VICS 情報の表示に関するもの
- ITS スポットにて提供される道路交通情報 / インターネット接続に関するもの
- ITS スポット安全運転支援案内に関するもの
- VICS のサービスエリアに関するもの
- DSSS 運転支援機能に関するもの
- その他上記に類するもの

VICS センターへの問い合わせについて

■以下の内容は VICS センターにご相談ください。

- VICS 文字情報・VICS 図形情報に関するもの
- ITS スポットにて提供される道路交通情報 / インターネット接続に関するもの
- ITS スポット安全運転支援案内に関するもの
- VICS の概念・事業計画（サービスエリアの計画）に関するもの
- DSSS の概念・事業計画に関するもの

【窓口】運用管理室

電話番号（受付時間 …9:30 ～ 17:45、土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

0570ー00ー8831（PHS/IP 電話からはご利用できません）

FAX 番号

03ー3562ー1719（24 時間受付）

ホームページ

次のアドレスでも連絡先をご覧いただけます。

http://www.vics.or.jp/

連絡先およびアドレスは、予告なしに変更・休止することがあります。ご了承ください。

道路管理者からのお知らせとお願い

プローブ情報の利用及び取り扱いについて

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ITS スポット（DSRC) 対応カーナビ※1 からプローブ情報を収集する場合における情報の利用や取り扱いについて、次の通りお知らせします。

プローブ情報をご提供いただくことで、より精度の高い道路交通情報などをドライバーの方々に提供することなどが可能となり、道路がより使いやすくなると期待されます。また、交通事故の削減や道路渋滞の緩和など環境負荷低減の取り組みにも活用する予定です。

※1: 製品により、ITS 車載器、DSRC ユニット、DSRC 車載器等と呼ばれていることがあります。

1．プローブ情報

(1)ここで「プローブ情報」とは、ITS スポット対応カーナビに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者が管理する ITS スポット (DSRC 路側無線装置)※2 と無線通信を行うことにより ITS スポット対応カーナビから収集される情報を言います。
なお、このプローブ情報から車両又は個人を特定することはできません。プローブ情報として収集する情報は次の通りです。

- ITS　スポット対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカ、型番等)、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカ、型番等））
- 車両に関する情報※3
- 走行位置の履歴※4
- 急な車両の動きの履歴※4

※2: 道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定等を結んだ者が管理するITS スポットを含みます。

※3: 車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報の一部です。なお、この情報に、車台番号や、自動車登録番号又は車両番号の 4 桁の一連番号は含まれないため、車両又は個人を特定することはできません。（例：「品川 500 あ 1234」では「1234」の部分は含まれません。）

※4: 走行開始地点や走行終了地点などの個人情報にかかわる情報は、収集されません。

2. プローブ情報の利用目的

(1)道路管理者は、プローブ情報を道路交通情報や安全運転支援情報の提供などドライバーへのサービス、道路に関する調査・研究、道路管理の目的に利用します。※5

※5: 例えば、収集した走行位置の履歴を統計的に処理することで、区間の走行所要時間や、渋滞の影響を高い精度で把握し、ドライバーに情報提供することができます。また、急な車両の動きを統計的に処理することで、道路上の障害物の検知や、走行に注意が必要な箇所を把握し、ドライバーに情報提供することが考えられます。

(2)道路管理者は、(1) 目的以外でプローブ情報を利用しません。

3. プローブ情報の収集

(1)道路管理者は、道路管理者が管理する ITS スポット※2 によって、プローブ情報を収集する場合があります。

(2)ITS スポット対応カーナビ利用者は、設定により、**1.** (1) で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択することができます。※6
選択の方法は、「ITS スポット走行情報のアップリンクの設定をする」(→ P.192) をご覧ください。

※6: カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションは該当しません。

(3)ITS スポット対応カーナビ利用者は、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供することで、これを利用した様々な追加サービスの提供を受けられる場合があります。

4. プローブ情報の第三者への提供

(1)道路管理者は、**2.** (1) の目的のため、プローブ情報を統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

(2)道路管理者は、ITS スポット対応カーナビ、ITS スポットの関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーに提供する場合があります。

(3)道路管理者は、(1) 及び (2) 以外でプローブ情報を第三者に提供しません。

5. プローブ情報の取り扱い

(1)道路管理者は、プローブ情報を安全に管理し、情報の漏えい等の防止に努めます。

(2)道路管理者は、プローブ情報が不要となった時点で、当該プローブ情報を消去します。

(3)道路管理者は、プローブ情報の提供先における情報の安全管理について、提供先を適切に指導します。

6. 問い合わせ先

国土交通省道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室

03-5253-8111(代)

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社保全・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国連絡高速道路株式会社保全計画部保全管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社

次のホームページでも説明をご覧いただけます。

国土交通省道路局 ITS ホームページ：

http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html

2010 年 10 月（国土交通省発表）

VICS 記号・表示について

記号	道路の種類
※（黒色）	通行止めの区間
（赤色）	渋滞している道路
（橙色）	混雑している道路
（水色）	すいている道路

※ 夜画のときは白色で表示されます。

記号	交通情報
（青色）	駐車場（空車）
（橙色）	駐車場（混雑）
（赤色）	駐車場（満車）
（黒色）	駐車場（不明）
	駐車場（閉鎖）
（青色）	SA・PA（空車）
（橙色）	SA・PA（混雑）
（赤色）	SA・PA（満車）
（黒色）	SA・PA（不明）
	SA・PA（閉鎖）

記号	規制情報
	事故
	故障車
	路上障害
（青色）	注意
（黒色）	地震警戒宣言
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪

記号	規制情報
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め
	入口規制
	出口規制
30	速度規制
	イベント

知 識

- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の VICS・交通情報が代表して 1 つの記号で表示されることがあります。

1. スマートフォンナビ連携について

動作確認済のスマートフォン*を本機に接続して、地図の操作や、目的地の設定、オーディオ操作の確認をすることができます。本機能を使用するためには、専用のアプリケーション（NaviCon® または smart nAVViLink）をスマートフォンにダウンロードする必要があります。スマートフォンの設定や利用方法については、「App Store」または「Google Play™」のヘルプをご覧ください。

* 本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）でご確認ください。

※専用のアプリケーションについては予告なく変更、終了する場合があります。

本機に接続するスマートフォンは、次の仕様に対応したスマートフォンである必要があります。

■対応 Bluetooth 仕様

- Bluetooth Specification Ver.1.1 以上（Ver.3.0+EDR を推奨）

■対応 Profile

- HFP（Hands Free Profile）：Ver.1.0 以上（Ver.1.6 を推奨）
- SPP（Serial Port Profile）：Ver.1.1

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士通テン株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマーク及び商号は、各所有権者が所有する財産です。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中にスマートフォンの操作をしないでください。

注意

- スマートフォンは車室内に放置しないでください。（炎天下など、車室内が高温となる場合があります）
- スマートフォンを本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、接続状態が悪化することがあります。

知 識

- スマートフォンナビ連携機能を使用するためには、スマートフォンを本機に登録する必要があります。(→ P.205)
- 一部機能については走行中の操作はできません。
- 接続対応スマートフォンについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターまたは USB/HDMI 入力端子に iPod 機器（iPod/iPhone）を接続しているときは、スマートフォンナビ連携は使用できません。
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.The trademark "iPhone" is used with a license from Aiphone K.K.

Made for iPod iPhone

- "Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- App Store は、Apple Inc. の商標です。
- 「NaviCon®」は株式会社デンソーの商標または登録商標です。
- 「smart nAVVi Link」はアイシン・エィ・ダブリュ株式会社の商標または登録商標です。
- Google Play is a trademark of Google Inc.

Bluetooth 機器使用上の注意事項

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
- この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。想定与干渉距離は 10m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

知 識

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

- Bluetooth 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。
  植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器およびそれ以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

スマートフォンを登録する

スマートフォンナビ連携を使用するためには、まず本機にスマートフォンを登録することが必要です。
（→ P.47）

スマートフォンを接続する

スマートフォンの本機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

（知 識）

- スマートフォン側の操作については、スマートフォンに添付の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth オーディオの再生中に接続動作を行った場合、オーディオ再生しているポータブル機、またはスマートフォンの接続を切断します。
- Bluetooth オーディオの操作後にスマートフォンの接続を行った場合、接続できないことがあります。また、スマートフォンの接続動作中に Bluetooth オーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。

スマートフォンを自動で接続する

Bluetooth 詳細設定の ACC ON 時の自動接続（→ P.493）を「する」に設定すると、自動で Bluetooth 接続できます。

パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたは ON モードにするたびに、本機は過去の接続履歴順に Bluetooth 接続します。

■Bluetooth 接続確認案内

Bluetooth 詳細設定の電話機の接続確認案内（→ P.493）で「する」を選択しているときは、スマートフォンが Bluetooth 接続されると、接続完了の案内が画面上部に表示されます。

スマートフォンナビ連携機能を使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth 接続確認案内



- Bluetooth 接続状態表示でも確認できます。（→ P.460）

知 識

- 接続完了の案内は、パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたは ON モードにした後、スマートフォンと Bluetooth 接続完了したときに表示されます。
（ヘルプネット動作後に再接続した場合は表示されません。）
- 自動接続した場合、スマートフォンの機種によっては表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、スマートフォン本体で照明を OFF に設定してください。
（設定については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。）

■自動接続できなかった場合

接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→ P.206）

スマートフォンを手動で接続する

スマートフォンの自動接続が失敗したときや自動接続 OFF 状態にしているときに Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

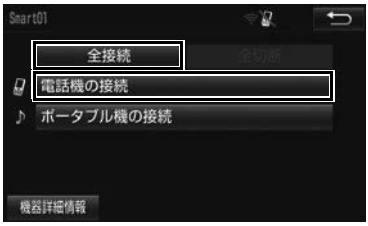
2 スマートフォンを Bluetooth 接続可能な状態にする。

3 使用するスマートフォンにタッチ。



- または にタッチするとスマートフォンの接続を開始します。

4 全接続 または 電話機の接続 にタッチ。



5 Bluetooth 接続画面が表示される。



- 他の機器を Bluetooth 接続しているときは、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

6 Bluetooth 接続状態表示を確認する。

知 識

- スマートフォンの状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

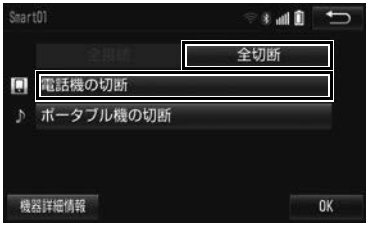
スマートフォンの接続を切る

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 接続を切るスマートフォンにタッチ。



3 全切断 または 電話機の切断 にタッチ。



Bluetooth 接続の再接続について

パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、再接続処理を自動的に行います。

知 識

- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→ P.206)

Bluetooth 接続が意図的に切断された場合

スマートフォン側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

- 次のいずれかの方法で再接続してください。

項目	ページ
手動で接続する	206
改めてスマートフォンを選択する	208

スマートフォンナビ連携を利用する

スマートフォンナビ連携機能が利用できるように設定します。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 使用するスマートフォンにタッチ。

3 機器詳細情報 にタッチ。

4 スマートフォン連携 にタッチし、する にタッチ。

5 ⮌ にタッチ。

使用するスマートフォンを選択する

スマートフォンの登録をすると、一番新しく登録したスマートフォンが本機で使用するスマートフォンとして選択されます。複数のスマートフォンを使用するときは、必要に応じてスマートフォンを選択します。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 スマートフォンを Bluetooth 接続可能な状態にする。

3 使用するスマートフォンにタッチ。



- または にタッチするとスマートフォンの接続を開始します。

4 全接続 または 電話機の接続 にタッチ。

- 他の Bluetooth 機器が接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ はい にタッチします。
- 接続完了のメッセージが表示されたら、スマートフォンナビ連携が使用できます。

知 識

- 接続できない場合は、一度他の Bluetooth 機器を切断してから、再度接続操作を行ってください。

スマートフォン機器詳細情報を表示する

本機に登録されているスマートフォンに関する情報の表示と設定をすることができます。

● 情報は、次の項目が表示されます。

機器名称

本機に表示されるスマートフォンの名称です。任意の名称に変更することができます。(→ P.209)

接続方法

Bluetooth オーディオと本機の接続を、どちら側からするか選ぶことができます。(→ P.338)

機器アドレス

機器固有のアドレスで、変更することはできません。

自局電話番号

スマートフォンの電話番号です。

スマートフォン連携

スマートフォンナビ連携機能が利用できるように設定できます。(→ P.208)

対応プロファイル

スマートフォンで対応しているプロファイルで、変更することはできません。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 情報を表示したいスマートフォンにタッチ。

3 機器詳細情報 にタッチ。

4 各項目の設定・確認をする。



● 初期設定の状態に戻すとき

➡ 初期状態 にタッチ。

スマートフォン機器の名称を変更する

本機に表示されるスマートフォンの名称を、任意の名称に変更することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → (名称変更したいスマートフォン) → 機器詳細情報

2 機器名称 にタッチ。

3 文字入力画面で入力する。(→ P.33)

4 ↩ にタッチ。

(知 識)

● 本機で機器名称を変更しても、スマートフォンに登録されている機器名称は変更されません。

スマートフォン機器の登録を削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → 削除

2 削除したいスマートフォンにタッチ。

3 はい にタッチ。

3

オーディオ&ビジュアル

1 はじめに

1. 知っておいていただきたいこと.....214
使用できるメディアについて.....214
DVD プレーヤーについて.....217
文字情報の表示について.....217

2. 基本操作をする.....218
基本操作スイッチ.....218
オーディオソース選択画面の操作.....220
音の設定をする.....221
画面モードについて.....229

2 ラジオを聞く

1. ラジオを操作する.....230
交通情報を受信する.....233

3 DVDプレーヤーの操作

1. はじめに.....234

2. ディスクの出し入れ.....235
ディスクを入れる.....235
ディスクを取り出す.....235

3. 音楽再生中の操作.....237

4. 映像再生中の操作.....241
設定画面について.....244

5. 知っておいていただきたいこと.....251
DVD 再生中の操作について.....251
DVD について.....251

4 Audio SDの操作

1. お使いになる前に.....256
Audio SD について.....256

2. Audio SDの出し入れ.....258
Audio SD を入れる.....258
Audio SD を取り出す.....258

3. Audio SDに録音する.....260
データベースについて.....260
録音についての注意.....262
録音の設定を変更する.....262
録音する.....263
録音を中止する.....264

4. 音楽ファイル再生中の操作.....265

5. 動画ファイル再生中の操作.....269
各種切替画面の操作.....273

6. 本機で録音したデータを編集する.....274
サウンドライブラリ編集メニュー画面について.....274
お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成する.....274
マイベストを編集する.....275
アルバム情報を編集する.....277
アルバムを削除する.....280
トラックを削除する.....280
Audio SD の空き容量を確認する（詳細情報の表示）.....281

7. Audio SDの初期化について.....282
Audio SD を初期化する.....282

5 デジタルテレビを見る

1. 地上デジタルテレビの操作について.....283
   miniB-CAS カードについて.....283
   miniB-CAS カードの出し入れ.....284
2. テレビの操作.....289
   EPG(電子番組表) を見る.....291
   緊急警報放送（EWS) の受信.....293
3. TVメニュー画面について.....294
   TV メニュー画面について.....294
   データ放送の操作について.....297
   ホームプリセット設定について.....299
4. 各種切替画面について.....301
   各種切替画面について.....301
5. 知っておいていただきたいこと.....303

6 VTRの操作

1. VTRの操作.....304
   各種切替画面について.....306

7 HDMIの操作

1. HDMIの操作.....307
   各種切替画面について.....309

8 USBメモリの操作

1. はじめに.....310
   USB メモリについて.....310
2. 音楽ファイル再生中の操作.....312
3. 動画ファイル再生中の操作.....315
   各種切替画面についての操作.....318

9 iPodの操作

1. はじめに.....319
2. 音楽ファイル再生中の操作.....321
3. 動画ファイルを再生する.....324
   各種切替画面の操作.....327
4. iPodの設定をする.....328
   iPod カバーアートを表示する.....328
   iPod ビデオ音声入力の設定を変更する.....328

10 Bluetoothオーディオの操作

1. はじめに.....329
   Bluetooth オーディオについて.....329
   各種表示について.....329
   Bluetooth 機器使用上の注意事項について.....330
2. Bluetoothオーディオ再生中の操作.....332
3. Bluetoothオーディオを設定する.....335
   ポータブル機を接続する.....335
   使用するポータブル機を選択する.....337
   ポータブル機の詳細情報を表示する...338
   本機の Bluetooth 設定を変更する....339
   ポータブル機の接続を切る.....340
   ポータブル機の登録を削除する.....340

11 ステアリングスイッチの操作

1. ステアリングスイッチで操作する 341

12 SD Photoの操作

1. SD Photoを操作する 343
写真を見る 343
Photo 操作画面を操作する 344

13 オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて

1. オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて 345
メディアについて 345
データの仕様について 349
Bluetooth について 353

14 知っておいていただきたいこと

1. 故障とお考えになる前に 354
オーディオ共通 354
AM ／ FM 354
ディスク（音楽 CD ／ MP3 ／ WMA ／ AAC） 355
テレビ 355
iPod 356
Audio SD 356

1. 知っておいていただきたいこと

使用できるメディアについて

オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア※については、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。

※ メディアとは、CD・DVD・SD メモリーカード・USB メモリなどの記憶媒体や本機に接続することができる外部機器の総称です。
本書では一部を除き、記憶媒体や外部機器をメディアという表現で説明しています。

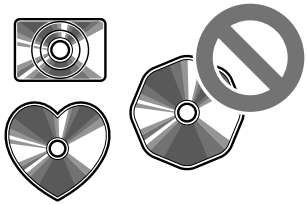
ディスクについて

注意

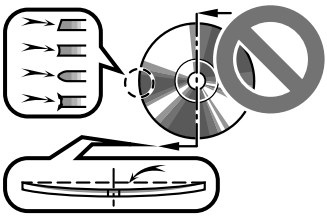
- ディスクには指紋、よごれ、キズ等をつけないように取り扱ってください。
- ディスクを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持つか、両端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてください。
- ディスクのよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布でこすると表面に傷がつくことがあります。また、レコードスプレー・帯電防止剤・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤や化学ぞうきんなどを使用すると、ディスクが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- ディスク取り出しスイッチを押して、ディスクが飛び出た状態のまま長時間放置しないでください。ディスクがそるなど変形し、使用できなくなるおそれがあります。
- ディスクは直射日光を避けて保管してください。ディスクがそるなど変形し、使用できなくなるおそれがあります。

注意

- DualDisc には対応していません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。
- レンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。
- 直径 12cm の円形以外のディスクは再生できません。特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。

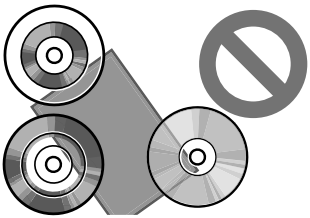


- 低品質または変形したディスクは機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。

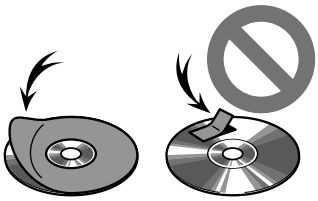


注意

● 記録部分に透明または半透明部分があるディスクは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので、使用しないでください。

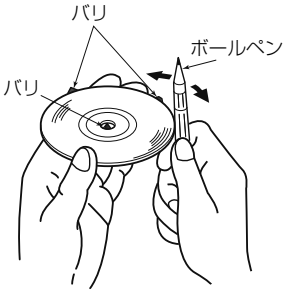


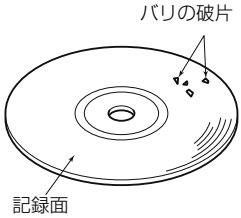
● セロハンテープ、シール、CD-R 用ラベルなどが貼ってあるディスクや、はがしたあとのあるディスクは使用しないでください。プレーヤーが正常に作動しなくなったり、ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となるおそれがあります。



注意

● 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に “バリ” があることがあります。“バリ” ※ がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ” がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しないことがあります。

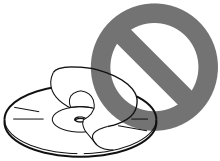




※ バリ：材料を生成したときに、角などにできる出っ張り。

注意

- 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となることがあります。



- 音質向上や防振効果を高める CD の保護用として市販されているアクセサリー（CD リング･プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となることがあります。



- プリンタブルディスク（ラベル印刷面に対応したディスク）は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

SD メモリーカードおよびアダプターについて

注意

- 定期的に表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- ラベルがはがれていたり、ネームテープが貼ってある SD メモリーカードおよびアダプターは使用しないでください。
- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。SD メモリーカードおよびアダプターが使用できなくなることがあります。
- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。
- 持ち運びや保管の際は、収納ケースに入れてください。
- 静電気や電気的ノイズを受ける恐れのある場所に、SD メモリーカードを放置しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- SD メモリーカードの再生中、録音中は、SD メモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。SD メモリーカードの取り出し方法については、「SD メモリーカードを取り出す」（→ P.258）をご覧ください。
- デ ータ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

DVD プレーヤーについて

- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても、なお機能が停止しているときは、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びをすることがあります。

文字情報の表示について

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

2. 基本操作をする

基本操作スイッチ

パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのときに使用できます。



▶画面スイッチ

ソース選択

オーディオソースを切り替えることができます。



希望するオーディオソースにタッチ

交通情報を受信する（→ P.233）

スイッチの配置を変更する（→ P.221）

オーディオを OFF にする

音設定

音の設定をします。（→ P.221）

▶本体のスイッチ

VOL+、VOL-
押すごとに音量が切り替わります。 • 押し続けると連続して音量が切り替わります。
AUDIO
押すとオーディオ操作画面を表示します。
約１秒押し続けるごとに、オーディオの ON ／ OFF が切り替わります。
オーディオ操作画面表示中に押すと、オーディオソース選択画面を表示します。オーディオソースを切り替えることができます。詳しくは、ソース選択 スイッチ（→ P.218）の内容をご覧ください。

⚠ 警告

● 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

(知 識)

● オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。
● 音量を上げすぎると、スピーカーからの振動により、ビビリ音などの異音が発生する場合があります。適度な音量でお聞きください。

オーディオソース選択画面の操作

オーディオソースを再生／受信するには、オーディオソースを選択します。オーディオソースを選択するときは、オーディオソース選択画面を表示させてから操作します。



スイッチ	内容
AM	AM ラジオを受信する。
FM	FM ラジオを受信する。
DISC	CD または DVD を再生する。
SDREC	本機で CD から Audio SD に録音した音楽ファイルを再生する。
SD	パソコンなどで Audio SD に記録した音楽ファイルや動画ファイルを再生する。
TV	デジタルテレビを受信する。
Bluetooth	Bluetooth オーディオを再生する。
HDMI	HDMI 対応の機器を再生する。
USB（iPod）	USB メモリ（iPod）に記録した音楽ファイルや動画ファイルを再生する。
VTR	VTR 機器を再生する。
交通情報	交通情報を受信する。

知 識

- 次のようなときは、スイッチを操作しても選択することができません。
  - ディスクが挿入されていないとき（DISC モード）
  - 再生するデータのない（録音されていない）とき（SDREC モード）
  - Audio SD が挿入されていないとき（SDREC、SD モード）
  - 販売店装着オプションの iPod 対応 USB ／ VTR アダプターや USB/HDMI 入力端子に機器が接続されていないとき（VTR、USB モード）
  - 販売店装着オプションの USB/HDMI 入力端子に HDMI 対応機器が接続されていないとき（HDMI モード）
- USB は販売店装着オプションの iPod 対応 USB ／ VTR アダプターや USB/HDMI 入力端子が接続されていないと表示されません。
- iPod を接続すると、USB が iPod に登録した機器名称の表示に切り替わります。
- HDMI は販売店装着オプションの USB/HDMI 入力端子が接続されていないと表示されません。
- VTR は販売店装着オプションの iPod 対応 USB ／ VTR アダプターが接続されていないと表示されません。
- SD は販売店装着オプションのドライブレコーダーに保存された映像も再生できます。

スイッチの配置を変更する

1 オーディオソース選択画面 → 配置変更

2 移動したいオーディオソースにタッチ。



3 << または >> にタッチして、スイッチを移動させる。
※ この時点でアイコンの配置変更が確定します。



音の設定をする

1 各オーディオ操作画面（→ P.218）→ 音設定

2 各項目を設定する。



● 音設定画面から次の項目が設定できます。

項目		ページ
イコライザの設定	パラメトリックイコライザの設定 (P.EQ)	221
音場の設定	SFC（音場）の設定	224
音量バランスの設定	ダイレクトポジションの設定	224
	FADER BALANCE の設定	225
音質の詳細設定	HARMONIZER の設定	226
	E-VOLUTION の設定	226
	LOUDNESS の設定	227
	ASL の設定	227
バーチャルシアターの設定	ツィーターの設定	228
	低音レベルの設定	228
	音場レベルの設定	228

パラメトリックイコライザの設定 (P.EQ)

車室内では音が乱反射し、周波数特性に特定の高低差が生まれます。パラメトリックイコライザは、中心周波数のポジションやレベル、カーブの緩急を微細に設定することができます。

1 各オーディオ操作画面（→ P.218）→ 音設定 → 「EQ」

2 イコライザを設定する。



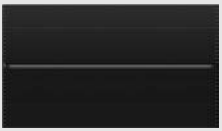
- イコライザカーブを選択するとき
  ➡「イコライザカーブの選択」（→ P.222）
- イコライザカーブを調整するとき
  ➡「イコライザカーブの調整」（→ P.222）

■イコライザカーブの選択

保存しておいたイコライザカーブを選択し、お好みの音質に設定することができます。

1 EQ1 ～ EQ5 のいずれかにタッチ。

- 選択された音質モードのイコライザカーブが表示されます。
- 音質を補正しない場合
  ➡ FLAT にタッチ。

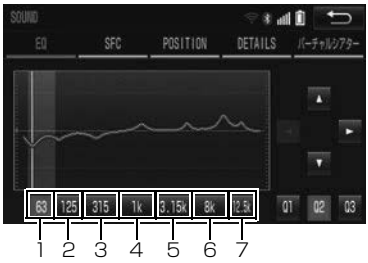
スイッチ	イコライザカーブ
EQ1	 高域を強調したパターン
EQ2	 低域高域を強調したパターン
EQ3	 低域を強調したパターン
EQ4	 低域高域を少し強調したパターン
EQ5	 ボーカル帯域を強調したパターン
FLAT	 EQ 補正なし

■イコライザカーブの調整

イコライザカーブの中心周波数、レベル、Q カーブ（帯域幅）をそれぞれ任意に調整することができます。

1 SETTINGS にタッチ。

2 調整したいバンドの周波数にタッチ。



- ◀ または ▶ にタッチして、各バンドの中心周波数を変更します。
  ▶ : 中心周波数を高くする。
  ◀ : 中心周波数を低くする。

バンド	中心周波数（Hz）
1	63 ↔ 80 ↔ 100
2	125 ↔ 160 ↔ 200
3	250 ↔ 315 ↔ 400 ↔ 500
4	630 ↔ 800 ↔ 1k ↔ 1.25k
5	1.6k ↔ 2k ↔ 2.5k ↔ 3.15k
6	4k ↔ 5k ↔ 6.3k ↔ 8k
7	10k ↔ 12.5k ↔ 16k

3 ▲ または ▼ にタッチして、レベルを調整する。

- ▲ : レベルを上げる。
- ▼ : レベルを下げる。

4 Q1 ～ Q3 にタッチして、Q カーブ（帯域幅）を調整する。

- Q1 : Q カーブを広くする。
- Q2 : Q1 と Q3 の中間の Q カーブにする。
- Q3 : Q カーブを狭くする。

5 各バンドごとに、手順 **2** ～ **4** の操作を繰り返す。

6 ⮌ にタッチ。

- 調整したイコライザカーブを記憶するとき
  ➡ EQ1 ～ EQ5 のいずれかに“ピーッ”と音がするまでタッチし続ける。
- 調整したイコライザカーブをリセットするとき
  ➡ FLAT を“ピーッ”と音がするまでタッチし続ける。

知識

- 周波数レベルは-10～+10の21段階です。
- 隣りあうバンドの中心周波数の値が近い場合、周波数レベルが -10 ～ +10 の範囲を超えた値になることがあります。
- 外部入力機器（iPod、ポータブルオーディオ機器、VTR 機器、HDMI 機器など）を接続する場合、外部入力機器の EQ 設定レベルを高くしていると音が割れることがあります。この場合は、EQ 設定レベルを低くしてください。

■本車両のオススメ設定

お客様の好みに合わせ、さまざまな音響設定を楽しむことができます。
以下のオススメ設定をお使いいただくことで、本車両において、いつものドライブがもっと快適になる理想的な音の空間を作り出します。

バンド	中心周波数（Hz）	レベル	Q カーブ
1	63	+5	Q3
2	125	-7	Q2
3	250	-1	Q1
4	630	+6	Q2

バンド	中心周波数 (Hz)	レベル	Q カーブ
5	2 k	+3	Q3
6	5 k	-1	Q1
7	12.5 k	-3	Q2

SFC（音場）の設定

再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現することができます。

1 各オーディオ操作画面（→ P.218）→ 音設定 → SFC

2 音場モードにタッチ。



スイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール
LIVE	ライブハウス
CATHEDRAL	残響音の多い教会
STADIUM	野外スタジアム
CLUB	ディスコ、クラブ
OFF	SFC OFF

- SFC（音場）の調整、記憶をするとき
  ➡「SFC（音場）の調整、記憶」（→ P.224）

知 識

- SFC レベルを調整中に、別の SFC モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。
- SFC はバーチャルシアターと同時に設定できません。
- 走行中は操作できません。

■SFC（音場）の調整、記憶

あらかじめ設定されている各 SFC（音場）モードのレベルを調整、記憶することができます。

1 調整したい音場モードで、▲ または ▼ にタッチ。

2 調整した音場モードを " ピーッ " と音がするまでタッチ。



- 調整した音場レベルをリセットするとき
  ➡ OFF を “ ピーッ ” と音がするまでタッチし続ける。

知 識

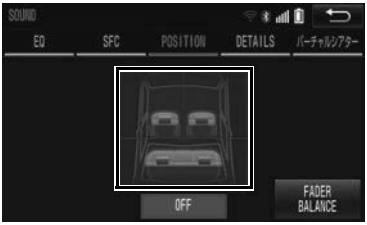
- 調整レベルは -5 ～ +5 の 11 段階です。

音量バランス（POSITION）の調整

前後左右の音量バランスの調整をすることができます。

1 各オーディオ操作画面（→ P.218）→ 音設定 → POSITION

2 音場の中心にしたいポジションにタッチ。



- 設定したポジションを解除するとき
  ➡ OFF にタッチ。
- FADER BALANCE の設定をするとき
  ➡「FADER BALANCE の設定」（→ P.225）

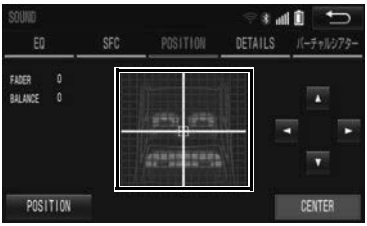
知 識

- POSITION（ポジショニングセレクター）は、FADER BALANCE（音量バランス）と同時に設定できません。

■FADER BALANCE の設定

1 FADER BALANCE にタッチ。

2 音場の中心にしたいポイントにタッチ。



- ▲、▼、◀、▶ にタッチすると、ポイントを微調整することができます。
- ▲、▼、◀、▶ にタッチし続けると、連続的に変化しますが、センター値で停止します。再度、タッチすると微調整することができます。
- 設定を解除するとき
  ➡ CENTER にタッチ。

知 識

- 走行中は操作できません。
- FADER BALANCE（音量バランス）は、POSITION（ポジショニングセレクター）と同時に設定できません。
- 調整レベルは F（フロント）側、R（リヤ）側、L（左）側、R（右）側各 15 段階です。

音質の詳細設定

1 各オーディオ操作画面（→ P.218）→ 音設定 → DETAILS

2 各種設定をする。



- HARMONIZER の設定をするとき
  ➡「HARMONIZER の設定」（→ P.226）
- E-VOLUTION の設定をするとき
  ➡「E-VOLUTION の設定」（→ P.226）
- LOUDNESS の設定をするとき
  ➡「LOUDNESS の設定」（→ P.227）
- ASL の設定をするとき
  ➡「ASL の設定」（→ P.227）

知 識

- 走行中は操作できません。

■HARMONIZER の設定

圧縮時に失われた音の響きや奥行き感、音色などの倍音を自動再生する音質補強レベルを設定することで、クリアなサウンドを楽しむことができます。

ハーモナイザー機能は、MP3/WMA/AAC 音楽データを再生しているときおよびソースが iPod、USB メモリ、SD REC、SD、Bluetooth オーディオのときに効果があります。

1 HARMONIZER にタッチし、Hi ・ Low ・ Off のいずれかにタッチ。

■E-VOLUTION の設定

圧縮された音楽データは、録音の条件により音量レベルが異なることがあります。音楽データの音量レベルを自動的に調整することにより、曲ごとの音量レベルの差を少なくすることができます。

E-VOLUTION 機能は、MP3/WMA/AAC 音楽データを再生しているとき、およびソースが iPod、USB メモリ、SD のときに効果があります。

E-VOLUTION は、富士通テン株式会社の商標です。

1 E-VOLUTION にタッチし、On または Off にタッチ。



2 インジケータ にタッチし、On または Off にタッチ。

- On に設定している場合、再生している曲の補正レベルをインジケータで表示します。（例：E-VOL+2）
- 補正レベルは -5 ～ +5 の 11 段階です。



3 補正音量レベル にタッチし、Hi ・ Mid ・ Low のいずれかにタッチ。

● 補正する音量レベルを設定

Low ＜ Mid ＜ Hi
音量レベル小 ⟷ 音量レベル大

4 反応速度 にタッチし、Fast ・ Mid ・ Slow のいずれかにタッチ。

● 補正レベルを設定

Fast ＜ Mid ＜ Slow
楽曲の音量変化にあわせて素早く補正 ※1 ⟷ 楽曲の音量変化にあわせて緩やかに補正 ※2

※1 音量変化が小さい曲向け
※2 音量変化が大きい曲向け

知識

● E-VOLUTION は再生中に音量補正を行うため、楽曲や設定状況により、原曲のイメージと異なる場合があります。必要に応じて設定を調整してください。
● 本機能は曲の出だしで補正レベルを算出します。レベルを算出後は音量レベルを下げる方向に補正します。
● 音源や早送り／早戻しのタイミングによって、補正レベルを継続する場合があります。

■LOUDNESS の設定

オーディオを小音量で聞いているときなど、低音・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 LOUDNESS にタッチし、On または Off にタッチ。

知識

● AM ラジオおよび交通情報を聞いているときは、LOUDNESS を ON してしても音の変化はありません。

■ASL の設定

走行時の車速に応じて、音質や音量を自動で補正するレベルを設定することができます。

ASL は Automatic Sound Levelizer の略です。

1 ASL にタッチし、Hi ・ Mid ・ Low ・ Off のいずれかにタッチ。

バーチャルシアターの設定

車両に搭載されているスピーカーや車室内の状況により、低音や音の広がり感、音場定位を補正することができます。

1 各オーディオ操作画面（→ P.218）→ 音設定 → バーチャルシアター

2 バーチャルシアター にタッチし、On または Off にタッチ。



3 TWEETER にタッチし、Yes または No にタッチ。

- ツィーターありの場合は Yes に設定してください。

4 BASS にタッチし、Hi・Mid・Low のいずれかにタッチ。

- 低音レベルを設定

Low ＜ Mid ＜ Hi
低音レベル小 ⟷ 低音レベル大

5 FIELD にタッチし、Hi・Mid・Low のいずれかにタッチ。

- 音場レベルを設定

Low ＜ Mid ＜ Hi
音場レベル小 ⟷ 音場レベル大

知 識

- 走行中は操作できません。
- バーチャルシアターは SFC と同時に設定できません。

画面モードについて

DVD などの映像は、通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。

標準画モード（Normal）

入力映像をよこ 4：たて 3（デジタルテレビは、よこ 16：たて 9）の割合で表示します。



ワイド 1 画モード（Wide1 ／ Wide）

入力映像を左右方向に均等に拡大して表示します。HDMI の場合は、よこ 16：たて 9 の割合で表示します。テレビの場合は、ディスプレイのサイズに合わせて拡大表示します。



ワイド 2 画モード（Wide 2 ／ Full）

入力映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。

HDMI の場合は、ディスプレイのサイズに合わせて拡大表示します。



お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

画面モードを切り替える

各映像の画面モードの切り替え方法については、下記ページをご覧ください。

映像	ページ
DVD	244
デジタルテレビ	294
SD 動画	269
VTR	306
HDMI	309
USB ビデオ	318
iPod ビデオ	327

1. ラジオを操作する



(知 識)

- 走行中、受信状態は刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。
- 放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。

プリセットスイッチ

記憶されている放送局を受信します。

記憶したい周波数に切り替え、“ピー”と音がするまでタッチすると、その周波数を記憶します。

AUTO.P

“ピー”と音がするまでタッチすると、自動で受信可能な周波数を、一時的にプリセットスイッチに記憶します。再度タッチすると、解除されます。

- AUTO.P スイッチによりプリセットスイッチに放送局が記憶されているときは、画面に「AUTO.P」の表示が出ます。

エリア

ナビゲーションがエリアごとに記憶している放送局を表示します。(GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名と周波数がプリセットスイッチに表示されます。)再度タッチすると、解除されます。

- エリアスイッチによりプリセットスイッチに放送局が記憶されているときは、画面に「エリア .P」の表示が出ます。

< TUNE >

タッチするごとに周波数が切り替わります。

1 秒以上タッチすると、受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近い周波数を自動で選択します。再度タッチすると、止まります。

(知 識)

● AUTO.P スイッチについて

・ 自動で周波数を記憶させても、AUTO.P スイッチにタッチする前（「AUTO.P」の表示が出ていないとき）に記憶させたチャンネルは消去されません。

・ 受信感度の良い周波数を低い順に 6 局まで自動的に記憶します。受信周波数が 6 局未満のときは、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

・ 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。

・ 同じ放送局からの受信でも、< TUNE > スイッチで選択し、記憶させた周波数と AUTO.P スイッチで記憶させた周波数は一致しないことがあります。

・ AUTO.P スイッチによる周波数の記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶される周波数が異なることがあります。

● エリア スイッチについて

・ プリセットスイッチにタッチし続けても、周波数を記憶させることはできません。

・ AM 放送の場合、昼画表示（ライト消灯時）と夜画表示（ライト点灯時）で、表示される周波数・放送局名が異なることがあります。

● < TUNE > スイッチについて

・ ショートカット＋コントロール画面からも同様の操作ができます。（→ P.24）

・ 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で選局できないことがあります。

交通情報を受信する

交通情報放送を行っている地域で、あらかじめ記憶されている交通情報放送を受信することができます。

オーディオソース選択画面
(→ P.218)

1 交通情報 にタッチ。

- 解除するとき
  ➡ ソース選択 →オーディオソースの順にタッチ。

記憶されている周波数を変更する

1 AM放送で記憶したい周波数を選択する。(→ P.230)

2 オーディオソース選択画面(→ P.218)に切り替える。

3 交通情報 に 1 秒以上タッチし続ける。

知 識

- 初期設定では 1620kHz にセットしてあります。
- 交通情報受信中は、周波数の切り替えはできません。

1. はじめに

この項目では、以下の操作方法を説明しています。
- 音楽ディスク（音楽 CD、MP3/WMA/AAC ディスク）
- 映像ディスク（DVD ビデオ、DVD-VR で記録したディスク）

⚠ 警告

- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

（知 識）

- ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

2. ディスクの出し入れ

本機で使用できるディスクについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。

ディスクを入れる

1 メニュー画面（→ P.23）またはショートカット＋コントロール画面（→ P.24）→ TILT・EJECT

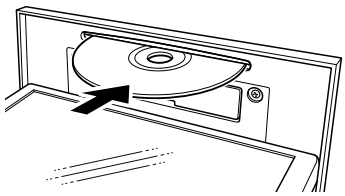
2 ⏏ DISC にタッチ。



- ディスプレイが開きます。

3 ラベル面を上にして、挿入口に挿入する。

- 途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、ディスプレイが閉じます。その後、自動的に再生が開始します。



ディスクを取り出す

1 メニュー画面（→ P.23）またはショートカット＋コントロール画面（→ P.24）→ TILT・EJECT

2 ⏏ DISC にタッチ。



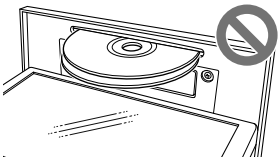
3 ディスクを取り出したあと、CLOSE にタッチ。

- ディスプレイが閉じます。
- 本体のいずれかのスイッチ（→ P.14）を押してもディスプレイは閉じます。

> ⚠ 注意
>
> - ディスクの差し込み途中に、CLOSE にタッチ、または本体のいずれかのスイッチを押さないでください。
> - ディスプレイ部の開閉時は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、ディスプレイの故障の原因となります。
> - ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをする恐れがあります。

注意

- ディスクを挿入するときは、2 枚以上重ねて挿入しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。



- 挿入口にディスク以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷する恐れがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷する恐れがあります。
- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。ディスクに傷がつき、音とびする恐れがあります。
- ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因となります。
- ディスクが押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、ディスクを傷つける恐れがあります。
- 熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、ディスクを挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。

知識

- ⏏ DISC にタッチしてもディスクが取り出せない場合は、 AUDIO を 5 秒以上押し続けた後、スイッチから手を放すと取り出すことができます。

3. 音楽再生中の操作

本機で使用できるディスクや MP3/WMA/AAC 音楽データについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。

▶音楽 CD 再生時



▶MP3/WMA/AAC ディスク再生時



知 識

● 再生している音楽 CD にアーティスト名などの情報が収録されていなくても、地図 SD のデータベースに該当する情報がある場合は表示されます。

＞（ファイル／トラック名）

タッチすると、次のファイル／トラックに切り替わります。

＜（ファイル／トラック名）

ファイル／トラックの頭出しをします。連続してタッチすると、前のファイル／トラックに切り替わります。

ファイル／トラック名

▶音楽 CD の場合
トラックリストを表示します。



- ページを切り替えると、リストの先頭にある曲が再生されます。

▶MP3/WMA/AAC ディスクの場合
ファイルリストを表示します。



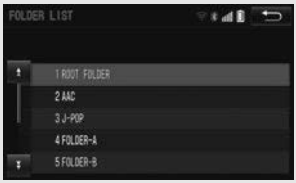
- ページを切り替えると、リストの先頭にあるファイルが再生されます。

＜ / ＞ （フォルダ名）（MP3/WMA/AAC ディスクのみ）

フォルダが切り替わります。

フォルダ名（MP3/WMA/AAC ディスクのみ）

フォルダリストを表示します。



- フォルダにタッチと、フォルダ内の先頭のファイルが再生されます。
- フォルダ選択後、再生したいファイルにタッチすると、タッチしたファイルが再生されます。**完了**にタッチすると、操作画面に戻ります。
- ページを切り替えると、リスト先頭にあるフォルダ内のファイルが再生されます。

録音開始（音楽 CD のみ）

Audio SD への録音を開始します。（→ P.263）

RAND（ランダム）

▶音楽 CD の場合
タッチするたびに、ランダム再生（RAND）→ランダム解除が切り替わります。

▶MP3/WMA/AAC ディスクの場合
タッチするたびに、フォルダ内でランダム再生（RAND）→全フォルダからランダム再生（FLD.RAND）→ランダム解除の順に切り替わります。

RPT（リピート）

▶音楽 CD の場合
タッチするたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→リピート解除が切り替わります。

▶MP3/WMA/AAC ディスクの場合
タッチするたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→再生中のフォルダをリピート再生（FLD.RPT）→リピート解除の順に切り替わります。

⏸（一時停止）／▶（再生）

再生を一時停止します。再度タッチすると、再生します。

◀◀／▶▶

タッチし続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

知 識

● ＜ / ＞ （ファイル名／トラック名）、◀◀ / ▶▶ スイッチについて
・ ショートカット＋コントロール画面（→ P.24）からも同様の操作ができます。

MP3/WMA/AAC の再生について

MP3/WMA/AAC ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA/AAC ファイルを再生します。

ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA/AAC ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

音楽データと MP3、WMA または AAC 形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみを再生します。

注意

- MP3/WMA/AAC 以外のファイルに“.mp3”/“.wma”/“.m4a”の拡張子をつけると、MP3/WMA/AAC ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA/AAC 以外のファイルに“.mp3”/“.wma”/“.m4a”の拡張子をつけないでください。

知 識

- 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1kHz のサンプリング周波数を推奨します。
- CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、シースルーディスクはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMA/AAC を作成・編集できる多くの機器・ソフトが存在するため、使用する機器・ソフトによっては、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、または再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3/WMA/AAC以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- CD-RW を消去して使用する場合、完全に消去したことを確認してから使用してください。（消去方法はライティングソフトで異なります。また、クイックおよび高速消去は使用できません。）
- パケットライト記録ディスクには対応していません。（例えば、DirectCD などで作成したディスクには対応していません。）
- MP3/WMA/AAC ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。（VBR の FAST UP/DOWN 動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。）

4. 映像再生中の操作

以下の映像を再生することができます。
- DVD ビデオ（ビデオフォーマットで記録した DVD-R/RW 含む）
- DVD-VR（ビデオレコーディングフォーマットで記録した DVD-R/RW）

詳しくは、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。

- 画面のスイッチにタッチしたとき、画面に⃠が表示されると、その操作を行うことはできません。

▶DVD ビデオ再生時



▶DVD-VR 再生時



⚠ 警告

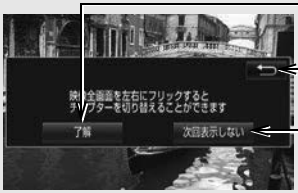
- DVD ビデオでは、迫力のある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクで、会話シーンのときに音量調整を行うと、効果音のシーンや DVD ビデオ以外のモードにしたとき、音量が大きすぎることがありますので、注意してください。
  音量が大きすぎると運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

(知 識)

- 再生する DVD ビデオにより、再生プロテクトを解除するために暗証番号を入力する必要があります。詳しくは「暗証番号入力画面が表示されたら」(→ P.251) をご覧ください。
- ディスクを挿入する、またはディスクが挿入されているときにディスクモードにすると、ディスク読込み中の画面が表示され、その後再生をはじめます。
- ディスクに傷がついていたり、内部が結露しているときは、画面の一部が表示されなくなることがあります。
- ディスクによっては読込み中の画面の表示時間が長い場合があります。
- メニュー項目の画面など音声が収録されていない場面があります。そのような場面では、音声が出力されない状態が継続されますので、一度、映像を確認して、再生などの操作を行ってください。

全画面／映像

本機の電源を入れたあと、初めて 全画面 または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。 了解 ・ 次回表示しない ・ ⮌ のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。



本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない

次回もこのメッセージを表示

次回からこのメッセージを表示しない

- 全画面表示中、画面を左右にフリック操作すると、チャプターが切り替わります。(→ P.21)

⏮／⏭

⏭ にタッチすると、次のチャプターに切り替わります。

⏮ にタッチすると、チャプターの頭出しをします。連続してタッチすると、前のチャプターに切り替わります。

タッチし続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

- 一時停止中は、⏭ にタッチし続けている間、スロー再生します。

⏸(一時停止) ／ ▶(再生)

映像を一時停止します。再度タッチすると、停止した位置から再生します。

■(停止) ／ ▶(再生)

映像を止めます。再度タッチすると、再生します。

TITLE ∧ ／ TITLE ∨（DVD-VR 再生時のみ）

プログラムまたはプレイリストが切り替わります。

各種切替

各種設定の切り替えをします。（→ P.244）

トップメニュー／メニュー（DVD ビデオ再生時）

ディスク特有のメニュー項目を操作できます。



- ディスクによっては、再生がはじまると、メニューが表示されます。
- メニュー画面を表示中に、操作スイッチが表示されていないとき
  ➡ 選択 にタッチ。
- ディスクによっては、メニュー項目を直接タッチして選択できるものもあります。

知 識

- ⏮ ／ ⏭ スイッチについて
  - ショートカット＋コントロール画面（→ P.24）からもチャプターの切り替えや早送り／早戻しの操作ができます。
  - ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。
- トップメニュー ／ メニュー スイッチについて
  - 表示されるメニュー項目や操作方法はディスクによって異なります。再生させているディスクに添付の取扱説明書をご覧ください。（表内の画面は一例です。）
- ■（停止）／ ▶（再生）スイッチについて
  - ディスクにより、停止位置から再生する機能（レジューム再生）に対応していない場合があります。
- TITLE ∧ ／ TITLE ∨ スイッチについて
  - プレイリスト／プログラムの切り替えは、ショートカット＋コントロール画面（→ P.24）で ⏮ または ⏭ を 1 秒以上タッチしても切り替えることもできます。

設定画面について

DVD に関する設定は、各種切替画面、初期設定画面から変更できます。

各種切替画面について

DVD 操作画面（→ P.241）

1 各種切替 にタッチ。

2 各項目を設定する。

▶DVD ビデオ再生時



▶DVD-VR 再生時



- 初期設定 にタッチすると、初期設定画面が表示されます。（→ P.248）

サーチ

タイトル番号を入力し 完了 にタッチすると、そのタイトル番号の映像を再生します。



リターン（DVD ビデオのみ）

ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生します。

ページ送り（DVD-VR のみ）

静止画が収録されているディスクの場合、タッチするごとに静止画が切り替わります。

音声

音声が複数収録されているディスクの場合、 音声切替 にタッチするごとに、音声が切り替わります。



- 現在選択中の音声は、DVD-VR 再生時には表示されません。

字幕

字幕が複数収録されているディスクの場合、 字幕切替 にタッチするごとに、字幕言語が切り替わります。



- **字幕消し** にタッチすると、字幕が消えます。再度タッチすると、表示されます。
- **字幕消し** および現在選択中の字幕は、DVD-VR 再生時には表示されません。

次のページに続く

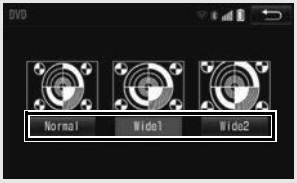
アングル（DVD ビデオのみ）

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、アングル切替 にタッチするごとに、アングルが切り替わります。複数のアングルが収録されているときは、マルチアングルマーク（→ P.249）が表示されます。



Wide

Normal ・Wide1 ・Wide2 のいずれかにタッチすると、画面モードが切り替わります。



- 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.229）をご覧ください。

画質調整

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整します。

- 画質の調整については「画面の調整・設定を変更する」（→ P.49）をご覧ください。

主 / 副（DVD-VR のみ）

音声多重で収録されているディスクを再生中、主／副 にタッチするごとに、主音声→副音声→主・副音声→主音声の順に切り替わります。



再生モード（DVD-VR のみ）

ディスク内にプレイリストやプログラムが作成されているときにプレイリストやプログラムを再生します。



- **プレイリスト** または **プログラム** にタッチします。

初期設定

プレーヤーをお好みの設定に変更します。（→ P.248）

知 識

● ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

初期設定画面について

各種切替画面で、**初期設定** にタッチすると表示されます。



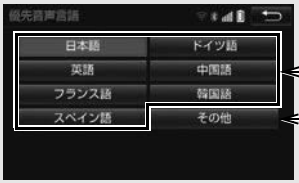
● 初期設定の状態に戻すとき

➡ **初期状態** にタッチ。

※ 視聴制限以外の項目が初期設定の状態に戻ります。

音声

優先して聞きたい音声の言語を設定します。

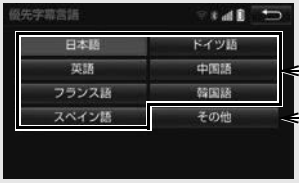


出力させる音声言語にタッチ

言語コード（→ P.250）を指定する場合は、**その他** → 言語コードを入力→ **完了** の順にタッチ

字幕

優先して表示したい字幕の言語を設定します。

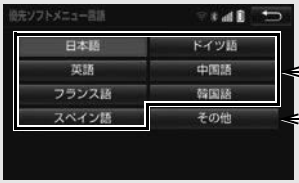


表示させる字幕言語にタッチ

言語コード（→ P.250）を指定する場合は、**その他** →言語コードを入力→ **完了** の順にタッチ

ソフトメニュー

ディスク独自のメニュー項目に表示される言語を設定します。



表示させるメニュー言語にタッチ

言語コード（→ P.250）を指定する場合は、**その他** →言語コードを入力→ **完了** の順にタッチ

マルチアングルマーク

マルチアングル（→ P.254）で記憶されているディスクを再生させているときに、マルチアングルマークを表示する／しないを選択できます。



視聴制限レベル

視聴制限レベル（→ P.254）を設定します。



- 暗証番号が未設定のとき（「ーーーー」が表示されているとき）は、入力した番号が暗証番号として登録されます。
- 暗証番号入力時、**修正** に連続して 10 回タッチすると、暗証番号を初期化（未設定の状態に）することができます。

オートスタート（DVD ビデオのみ）

メニュー画面表示中に走行を開始したとき、選択されているメニュー項目を自動的に再生する／しないを選択できます。

音声ダイナミックレンジ

音声の最大値と最小値の比を、MAX ・ STD ・ MIN の中から選択できます。

- **MAX** ：最大ダイナミックレンジ
- **STD** ：標準ダイナミックレンジ
- **MIN** ：最小ダイナミックレンジ

映像出力切替

DVD の再生画面に合わせて画面サイズを切り替えることができます。

- **16：9（ワイド）** ：通常のワイドサイズで表示されます。4：3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合、左右両端が黒表示または左右に伸びて表示されます。
- **4：3（レターボックス）** ：上下両端が黒く表示された映像です。4：3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合、画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。
- **4：3（パンスキャン）** ：左右両端がカットされた映像です。4：3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合、画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。

(知 識)

● オートスタート スイッチについて

・ ディスクにより自動的に再生できないことがあります。

■言語コード一覧

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0520	エストニア語	1214	リンガラ語	1911	スロバック語
0514	英語	0521	バスク語	1215	ラオス語	1912	スロベニア語
0618	フランス語	0601	ペルシア語	1220	リトアニア語	1913	サモア語
0405	ドイツ語	0609	フィンランド語	1222	ラトビア語	1914	ショナ語
0920	イタリア語	0610	フィジー語	1307	マダガスカル語	1915	ソマリ語
0519	スペイン語	0615	フェロー語	1309	マオリ語	1917	アルバニア語
1412	オランダ語	0625	フリジア語	1311	マケドニア語	1918	セルビア語
1821	ロシア語	0701	アイルランド語	1312	マラヤーラム語	1919	シスワティ語
2608	中国語	0704	スコットランドゲール語	1314	モンゴル語	1920	セストゥ語
1115	韓国語	0712	ガルシア語	1315	モルダビア語	1921	スンダ語
0512	ギリシャ語	0714	グアラニ語	1318	マラータ語	1922	スウェーデン語
0101	アファル語	0721	グジャラート語	1319	マライ語	1923	スワヒリ語
0102	アブハジア語	0801	ハウサ語	1320	マルタ語	2001	タミル語
0106	アフラカーンス語	0809	ヒンディー語	1325	ビルマ語	2005	テルグ語
0113	アムハラ語	0818	クロアチア語	1401	ナウル語	2007	タジク語
0118	アラビア語	0821	ハンガリー語	1405	ネパール語	2008	タイ語
0119	アッサム語	0825	アルメニア語	1415	ノルウェー語	2009	チグリス語
0125	アイマラ語	0901	国際語	1503	プロバンス語	2011	ツルキ語
0126	アゼルバイジャン語	0905	Interlingue	1513	オロモ語	2012	タガログ語
0201	バシキール語	0911	イヌピアック語	1518	オリヤー語	2014	セツワナ語
0205	ベラルーシ語	0914	インドネシア語	1601	パンジャブ語	2015	トンガ語
0207	ブルガリア語	0919	アイスランド語	1612	ポーランド語	2018	トルコ語
0208	ビハーリー語	0923	ヘブライ語	1619	アフガニスタン語	2019	ツォンガ語
0209	ビスラマ語	1009	イディッシュ語	1620	ポルトガル語	2020	タタール語
0214	ベンガル語	1023	ジャワ語	1721	ケチュア語	2023	トウィ語
0215	チベット語	1101	グルジア語	1813	レートロマン語	2111	ウクライナ語
0218	ブルトン語	1111	カザフ語	1814	キルンディ語	2118	ウルドゥー語
0301	カタロニア語	1112	グリーンランド語	1815	ルーマニア語	2126	ウズベク語
0315	コルシカ語	1113	カンボジア語	1823	キニヤルワンダ語	2209	ベトナム語
0319	チェコ語	1114	カンナダ語	1901	サンスクリット語	2215	ボラピュク語
0325	ウェールズ語	1119	カシミール語	1904	シンド語	2315	ウォルフ語
0401	デンマーク語	1121	クルド語	1907	サンド語	2408	コーサ語
0426	ブータン語	1125	キルギス語	1908	セルボアクロアチア語	2515	ユルバ語
0515	エスペラント語	1201	ラテン語	1909	セイロン語	2621	ズールー語

5. 知っておいていただきたいこと

DVD 再生中の操作について

DVD ではディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。この DVD プレーヤーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに添付の取扱説明書もあわせてご覧ください。

暗証番号入力画面が表示されたときは

▶DVD ビデオ

再生保護や視聴年齢制限が設定されているディスクは、挿入時や操作画面で 全画面 や 暗証番号入力 にタッチしたときに再生プロテクト解除画面が表示されます。

1 暗証番号を入力し、完了 にタッチ。



● 間違えたとき

➡ 修正 にタッチ。

DVD について

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

ディスクには、表示させることができるプレーヤーの地域（国）を表す地域番号が表示されているものがあります。

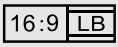
地域番号が表示されているディスクでは、その表示の中に「2」（日本を含む番号）が含まれていない、または「ALL」（全世界向け）と表示されていないディスクは、この DVD プレーヤーで再生させることができません。

このようなディスクを再生させようとしたときは、「リージョンコードエラー」というメッセージが画面に表示されます。

また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、この DVD プレーヤーで再生させることができないことがあります。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク		意味
NTSC/PAL		カラーテレビの方式。
		音声のトラック数。 • 数字が収録されている音声数。
		字幕の言語数。 • 数字が収録されている言語数。
		アングルの数。 • 数字が収録されているアングル数。
		選択することができる画面モード。 •「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面。
		再生可能な地域番号。 • ALL は全世界向け、数字は地域番号。

ディスクの構成について

ディスクに記憶されている映像や曲はいくつにも区切られています。

【例】

タイトル 1		タイトル 2			タイトル 3
チャプター 1	チャプター 2	チャプター 1	チャプター 2	チャプター 3	チャプター 1

■タイトル

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りの一番大きい単位。通常は、映像ソフトでは映画 1 作品、音楽ソフトでは、アルバム 1 枚（あるいは 1 曲）にあたります。それぞれのタイトルに順につけられた番号をいいます。

■チャプター

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位。1 つのタイトルは、複数のチャプターで構成され、それぞれのチャプターに順につけられた番号をいいます。

知 識

- ディスクによっては、再生中にタイトル番号、チャプター番号、再生時間が表示されないものもあります。

DVD プレーヤーの用語について

より正しく有効に DVD を利用していただくために、次の用語の説明をご一読ください。

■DVD ビデオ

動画の記憶されている DVD ビデオでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである「MPEG2」（エムペグ 2）が採用され、映像データが平均約 1/40 に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCM のほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。

さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

■視聴制限

「国ごとの規制レベルに合わせ、その国の視聴制限に対応し、ディスクの再生を制限する。」という DVD ビデオの機能の 1 つです。視聴制限は、ディスクによって異なり、全く再生されないことや、過激な場面を飛ばしたり、別の場面に差し替えて再生されることがあります。

DVD ビデオでは、1 から 8 のレベルで視聴制限を設定することができます。

- レベル 1: 子ども向けのディスクのみを再生させることができます。
  （一般向けと成人向けのディスクを再生させることはできません。）
- レベル 2 ～ 7: 子ども向けと一般向けのディスクのみを再生させることができます。
  （成人向けのディスクを再生させることはできません。）
- レベル 8: すべてのディスクを再生させることができます。

■マルチアングル

DVD ビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル（カメラの位置）で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

■マルチランゲージ（多言語）

DVD ビデオの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

■地域番号（リージョンコード）

DVD プレーヤーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンコード）が設けられています。

再生させるディスクに表示されている番号に、プレーヤーに設定されている地域番号が含まれていない場合は、ディスクを再生させることはできません。地域番号については、「再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について」をご覧ください。（→ P.251）

音声について

この DVD プレーヤーでは、ディスク再生時の音声は、リニア PCM・ドルビーデジタル・MPEG オーディオ・AAC に対応しており、ほかのデコード方式には対応していません。

■ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大 6ch に分解して記録、再生する（ウーハー ch は通常 0.1ch で表現するため、5.1ch）完全ディスクリート（分割）方式です。

Manufactured under license from Dolby Laboratories.

Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.



■サンプリング周波数、量子化ビット

アナログ信号をデジタル信号に変換する時、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法が取られています。

1 秒間に区切る回数を表わしたのが、サンプリング周波数でその時のデータ量の大きさが量子化ビット数です。

これらの数値が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

■リニア PCM

音楽 CD に用いられている信号記録方式です。

音楽 CD では 44.1kHz ／ 16bit で記録されているのに対し、DVD ビデオでは
48kHz ／ 16bit ～ 96kHz ／ 24bit で記録されているので、音楽 CD よりも高音質の再生が可能です。

■AAC（Advanced Audio Coding）

衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。CD 並みの音質データを約 1/12 まで圧縮できます。また、5.1 ch のサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。

リバース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。

Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

1. お使いになる前に

Audio SD について

Audio SD で次のファイルを再生することができます。

- パソコン／本機で記録した音楽ファイル
- 家庭用レコーダーなどで録画した動画ファイル

パソコンで記録した音楽ファイルの再生について

Audio SD に記録された音楽ファイル（MP3、WMA、AAC）を再生することができます。

本機で使用できる音楽ファイル（パソコンで記録した場合）については、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。

知 識

- 音楽ファイルを Audio SD に記録する場合、本機で音楽 CD を録音したときに作られる録音用フォルダ（.SDRIP）に記録すると、その音楽ファイルは再生することができません。

本機で記録した音楽ファイルの再生について

音楽 CD を Audio SD に録音することができます。また、録音したアルバムにアルバム名やアーティスト名などの情報が自動で付与されるので、聞きたいアルバムをアルバム名やアーティスト名などから簡単に探し出し再生することができます。

本機で使用できる Audio SD については、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。

知 識

- 録音のしくみについて
  - 本機は音楽 CD を AAC（Advanced Audio Coding）圧縮技術で圧縮して録音します。
- Audio SD に録音できるデータは、CD（アルバム /8 ㎝ディスクを除くシングルディスク）の音楽データのみです。
  ただし、次のディスクは録音できません。
  - オーディオ機器を使用して録音した CD-R や CD-RW、録音が禁止されている CD※1、※2
  - MP3・WMA・AAC を記録した CD-R や CD-RW
  - DTS-CD

※1 SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に対応しているため

※2 パソコンを使用して作成、または複製した CD-R や CD-RW は、ライティングソフトの仕様に依存されます。

知 識

● 録音できる曲数について

・ 最大 9999 曲まで録音できます。ただし、録音する Audio SD の容量や曲の長さによっては、最大 9999 曲まで録音することができません。

・ 録音すると、録音データ管理用として約 200MB が使用されます。そのため、実際の容量よりも録音可能なデータが少なくなることがあります。

● 録音したデータについて

・ 本機で音楽 CD を録音すると、Audio SD 内に録音用フォルダ（.SDRIP）ができます。録音用フォルダ（.SDRIP）内のデータをパソコンなどで編集すると、再生できなくなったり、データが破損する恐れがあります。

・ 録音された音楽データはパソコンに保存することができますが、暗号化されたデータであるため、パソコンや他の機器で再生することはできません。パソコンに保存した録音データを再生する場合、録音したときと異なる Audio SD にデータをコピーしないでください。録音したときと同じ Audio SD に同じフォルダ構成で保存してください。

家庭用レコーダーなどで録画した動画ファイルの再生について

家庭用レコーダーなどで Audio SD に録画した CPRM 対応の動画ファイルを再生することができます。また、パソコンなどで Audio SD に記録した動画ファイルを再生することも可能です。本機で使用できる動画ファイルについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。

⚠ 警告

● 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

2. Audio SD の出し入れ

本機で使用できる Audio SD については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。

Audio SD を入れる

1 メニュー画面（→ P.23）またはショートカット＋コントロール画面（→ P.24）→ TILT・EJECT

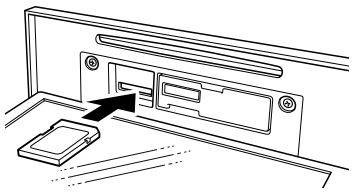
2 ▲ AudioSD にタッチ。



- ディスプレイが開きます。

3 挿入口に Audio SD を挿入する。

- ラベル面を上にして、挿入口にまっすぐ奥まで挿入します。



4 CLOSE にタッチ。

- ディスプレイが閉じます。
- 本体のいずれかのスイッチ（→ P.14）を押してもディスプレイは閉じます。

Audio SD を取り出す

1 メニュー画面（→ P.23）またはショートカット＋コントロール画面（→ P.24）→ TILT・EJECT

2 ▲ AudioSD にタッチ。



3 Audio SD を軽く押して取り出す。

4 CLOSE にタッチ。

- ディスプレイが閉じます。
- 本体のいずれかのスイッチ（→ P.14）を押してもディスプレイは閉じます。

⚠ 警告

- Audio SD を取り出している場合、カードを乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと窒息、またはけがの恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠ 注意

- Audio SD を本機の内部に落とした場合は、内部の金属部分に注意して探してください。指をけがする恐れがあります。
- Audio SD の差し込み途中に、CLOSE にタッチ、または本体のいずれかのスイッチを押さないでください。
- ディスプレイ部の開閉時は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、ディスプレイの故障の原因となります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをする恐れがあります。

注意

- Audio SD は ▶ マークを奥にして、“カチッ” と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
- 挿入口に Audio SD 以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷する恐れがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷する恐れがあります。

注意

- 本機から Audio SD 取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。Audio SD を破損する恐れがあります。
- ⏏ 地図 SD にタッチして、Audio SD を取り出すと、データが破損する恐れがあります。
- Audio SD を取り出すときは、TILT・EJECT 画面で ⏏ AudioSD にタッチして取り出してください。パソコンでの読み込みができなくなる恐れがあります。
- ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因となります。
- Audio SD が押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、Audio SD を傷つける恐れがあります。
- 熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、Audio SD を挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。

知 識

- 取り出し処理を行った Audio SD は、一度、挿入口から抜かないと使用できません。（抜いた後で再度挿入すると使用できるようになります。）

3. Audio SD に録音する

データベースについて

CD アルバムを再生または録音した場合、地図 SD に収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名を検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースを使用しています。

Gracenote® メディアデータベースについて

- 音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページ www.gracenote.com をご覧下さい。
- Gracenote, Inc. 提供のCD および音楽関連データ : copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS, Gracenote のロゴとロゴタイプ、および “Powered by Gracenote” ロゴは、米国および／またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。

gracenote

知 識

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote メディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

Gracenote® メディアデータベースのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

- 本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。

Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。

Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的なないかなる保証もしないものとします。

Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音されなかった録音内容、および消失した録音データについては保証できません。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 音楽作品は、著作権法により保護されています。
  したがって、本機で録音した SD メモリーカードを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「一般社団法人日本音楽著作権協会」（JASRAC）等権利者に直接お尋ねください。
- 車両のパワースイッチをアクセサリーモードにして録音する場合、パワースイッチを ON モードにすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップ CD（曲と曲の間の無音部分が無い CD）を録音する場合、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。
- 車両の補機バッテリーターミナルをはずし再度接続した場合、地図画面を表示してからすぐに録音できないことがあります。

録音の設定を変更する

CD の再生と同時に自動的に録音を開始する「自動録音」と、希望の曲を選んで録音する「選んで録音」の切り替えや録音音質を切り替えることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌜オーディオ⌟ → CD ⇒ SD 録音設定

2 録音音質、録音方法にタッチ。



- 録音音質を切り替えるとき
  ➡ 録音音質 にタッチし、高音質 または 普通 にタッチ。
- 自動録音を設定するとき
  ➡ 自動録音 にタッチし、する または しない にタッチ。
- 選んで録音を設定するとき
  ➡ 自動録音 にタッチし、しない にタッチ。選んで録音 にタッチし、する にタッチ。

知 識

- 走行中および録音中は、録音設定をすることができません。

録音する

1 Audio SD を挿入する。(→ P.258)

2 録音したい CD を挿入する。(→ P.235)

3 CD 操作画面を表示する。(→ P.237)

4 録音開始 にタッチ。



- 再生している CD の録音を開始します。

自動で録音する

CD を再生すると同時に、自動的に録音を開始することができます。

1 録音設定の自動録音を「する」に設定する。(→ P.262)

2 録音したい CD を挿入する。(→ P.235)

- 再生と同時に、自動的に録音を開始します。

曲を選んで録音する

希望の曲だけを選んで録音することができます。

1 録音設定の自動録音を「しない」、選んで録音を「する」に設定する。(→ P.262)

2 録音したい CD を挿入する。(→ P.235)

3 CD 操作画面を表示する。(→ P.237)

4 録音開始 にタッチ。

5 録音したい曲にタッチ。



- 走行中は曲を選択することはできません。
- 選択を解除するとき
  ➡ 選択されている曲にタッチ。

6 完了 にタッチ。

- 録音を開始します。

(知 識)

- 録音中は録音された音楽を時間差で再生するため、CD 再生時と異なって聞こえることがあります。
- 録音中に他のオーディオソースに切り替えることができます。オーディオソースを切り替えても録音は継続されます。

(知 識)

- 録音が完了した後、パワースイッチを OFF にしたり、他のオーディオに切り替えるなどお客様が操作しない限り、録音された音を継続して再生します。
- すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。
- 音飛びなどが発生した場合、録音をやり直します。
- 音飛びなどが原因で録音が完了していない場合、トラックリスト画面（→ P.266）に が表示されます。
- 録音の開始時や終了時は、約 10 秒間音楽が停止します。
- Audio SD の容量がなくなった場合、録音が中止され録音途中の曲は削除されます。
- 通常の速さで再生しながら、最大 4 倍の速さで録音するため、再生している曲と録音している曲は異なります。
- 録音中は、操作画面に「REC」と赤字で表示されます。
- 録音中は、RPT 、RAND 、トラック名の各スイッチは操作できません。また、早送り・早戻しもできません。
- 録音中の選曲は、録音済の曲のみ操作できます。
- CD 以外のモードに切り替えても、録音は継続されます。ただし以下のときは、録音を中止または中断し、録音途中の曲を削除します。
  - ・パワースイッチを OFF にしたとき
  - ・オーディオの電源を OFF にしたとき
  - ・CD を取り出したとき
  - ・録音した曲数が 9999 曲になったとき
  - ・Audio SD の容量がいっぱいになったとき
- CD を録音しながら再生しているときに、録音が終了すると、CD の再生が一瞬途切れる場合があります。

録音を中止する

1 CD 操作画面を表示する。（→ P.237）

2 録音停止 にタッチ。



4. 音楽ファイル再生中の操作

本機で使用できる音楽ファイル（パソコンで記録した場合）については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。

▶パソコンで記録した音楽再生時



▶本機で録音した音楽再生時



知識

- 本機で録音した CD の情報がデータベースにない場合、アーティスト名には「(NO DATA)」、アルバムタイトルには録音した日時、トラックタイトルには TRACK1、TRACK2… と表示されます。

＞（ファイル／トラック名）

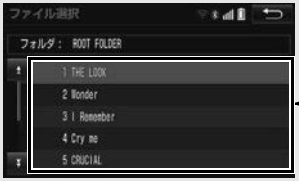
タッチすると、次のファイル／トラックに切り替わります。

＜（ファイル／トラック名）

ファイル／トラックの頭出しをします。連続してタッチすると、前のファイル／トラックに切り替わります。

ファイル／トラック名

ファイル／トラックリストを表示します。



← 再生したいファイル／トラックにタッチ

- ページを切り替えると、リストの先頭にあるファイル／トラックが再生されます。

＜ / ＞（フォルダ／アルバム名）

フォルダ／アルバムが切り替わります。

フォルダ／アルバム名（パソコンで記録した音楽再生時のみ）

フォルダ／アルバムリストを表示します。



← フォルダ／アーティスト／アルバムごとに分類して、並び替え

- フォルダ選択後、再生したいファイルにタッチすると、タッチしたファイル／トラックが再生されます。**完了** にタッチすると、操作画面に戻ります。
- ページを切り替えると、リスト先頭にあるフォルダやアルバム内のファイル／トラックが再生されます。

アルバム名（本機で録音した音楽再生時のみ）

アルバムリストを表示します。



←アーティスト／録音日時／ジャンル／マイベストごとに分類して、並び替え

- アルバム選択後、再生したいトラックにタッチすると、タッチしたトラックが再生されます。完了にタッチすると、操作画面に戻ります。
- ページを切り替えると、リスト先頭にあるアルバム内のトラックが再生されます。

RAND（ランダム）

タッチするたびにフォルダ／アルバム内でランダム再生（RAND）→全フォルダ／アルバムからランダム再生（FLD.RAND/ALB.RAND）→ランダム解除の順に切り替わります。

RPT（リピート）

タッチするたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→再生中のフォルダ／アルバムをリピート再生（FLD.RPT/ALB.RPT）→リピート解除の順に切り替わります。

ビデオ（パソコンで記録した音楽再生時のみ）

動画ファイルの再生に切り替わります。（→ P.269）

II（一時停止）／ ▶（再生）

再生を一時停止します。再度タッチすると、再生します。

◀◀／▶▶

タッチし続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

知 識

- ＜ / ＞（ファイル／トラック名）、◀◀ / ▶▶ スイッチについて
  - ショートカット+コントロール画面（→ P.24）からも同様の操作ができます。
- フォルダリストについて
  - 「アルバム」、「アーティスト」については、タグ情報（→ P.352）があるファイルのみ分類して表示されます。
- アルバムリストについて
  - 「マイベスト」は、オリジナルの楽曲集が作成されていないときは選べません。（→ P.274）
  - トラックはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストの表示方法（「アーティスト」、「録音日順」、「ジャンル」）を変更すると再生順が変わります。

MP3/WMA/AAC の再生について

Audio SD に MP3/WMA/AAC 以外のファイルを保存した場合、再生するまでに時間がかかったり、MP3/WMA/AAC ファイルを表示できないことがあります。

注意

- MP3/WMA/AAC 以外のファイルに“.mp3”/“.wma”/“.m4a”の拡張子をつけると、MP3/WMA/AAC ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA/AAC 以外のファイルに“.mp3”/“.wma”/“.m4a”の拡張子をつけないでください。

知 識

- 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1kHz のサンプリング周波数を推奨します。
- MP3/WMA/AAC を作成・編集できる多くの機器・ソフトが存在するため、使用する機器・ソフトによっては、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、または再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AAC ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。(VBR の FAST UP/DOWN 動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。)

5. 動画ファイル再生中の操作

この項目では、家庭用レコーダーなどで Audio SD に録画した CPRM 対応の動画ファイルやパソコンなどで Audio SD に記録した動画ファイルの操作方法を説明しています。

本機で使用できる SD メモリーカード・SD 動画データについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。

▶CPRM に非対応の動画ファイル再生時（AVCHD 以外）



▶CPRM に非対応の動画ファイル再生時（AVCHD）



▶CPRM に対応の動画ファイル再生時



＞（ファイル名／番組名／ AVCHD タイトル名）

タッチすると、次のファイル／番組／ AVCHD タイトルに切り替わります。

＜（ファイル名／番組名／ AVCHD タイトル名）

ファイル／番組／ AVCHD タイトルの頭出しをします。連続してタッチすると、前のファイル／番組／ AVCHD タイトルに切り替わります。

ファイル名／番組名／ AVCHD タイトル名

ファイル／番組リストを表示します。

▶CPRM に非対応の動画ファイル再生時（AVCHD 以外）



▶CPRM に非対応の動画ファイル再生時（AVCHD）



▶CPRM に対応の動画ファイル再生時



- ページを切り替えると、リスト先頭にあるファイル／番組が再生されます。

次のページに続く

全画面／映像

本機の電源を入れたあと、初めて 全画面 または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。 了解 ・ 次回表示しない ・ ⮌ のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。



- 全画面表示中、画面を左右にフリック操作すると、ファイル／番組が切り替わります。（→ P.21）

◀◀／▶▶

タッチし続けると、映像を早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

- 一時停止中は、▶▶ にタッチし続けている間、スロー再生します。

❚❚（一時停止）／ ▶（再生）

映像を一時停止します。再度タッチすると、再生します。

■（停止）

映像を止めます。

各種切替

各種設定の切り替えをします。（→ P.273）

詳細表示／番組情報表示

タイトル／番組（動画ファイル）の情報を表示します。



ミュージック

パソコンで記録した音楽ファイルの再生に切り替わります。（→ P.265）

知 識

- ＜ / ＞ （ファイル名／番組名／ AVCHD タイトル名）、◀◀ / ▶▶ スイッチについて
  - ショートカット＋コントロール画面（→ P.24）からも動画ファイル、番組の切り替えや早送り／早戻しの操作ができます。

各種切替画面の操作

操作画面で、 各種切替 にタッチすると表示されます。



二重音声（CPRM に対応した動画ファイル再生時）

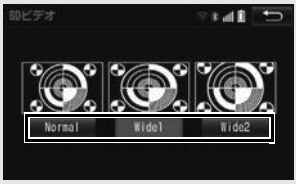
二重音声が収録されている場合、 二重音声 にタッチするごとに、主音声→副音声の順に切り替えます。

字幕（CPRM に対応した動画ファイル再生時）

字幕が複数収録されている場合、 字幕 にタッチすると、字幕を切り替えます。
字幕消し にタッチすると、字幕を消します。

Wide

Normal ・ Wide1 ・ Wide2 のいずれかにタッチすると、画面モードが切り替わります。



- Normal にタッチすると、再生する動画ファイルの縦横比に合わせて表示します。
- 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.229）をご覧ください。

画質調整

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整します。

- 画質の調整については「画面の調整・設定を変更する」（→ P.49）をご覧ください。

6. 本機で録音したデータを編集する

本機で Audio SD に音楽を録音すると、アーティスト名やジャンルなどの情報を自動で付与しグループ分けしますが、お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成することもできます。また、アルバム情報の編集などをすることができます。

サウンドライブラリ編集メニュー画面について

Audio SD の編集をするときは、サウンドライブラリ編集メニュー画面から行います。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オーディオ」 → サウンドライブラリ編集

2 各項目の編集・確認をする。



● サウンドライブラリ編集メニュー画面から次のことができます。

項目	ページ
マイベストの作成	274
マイベストの編集	275
・マイベストの名称修正	275
・トラックの追加	275
・トラックの並び替え	276
・トラックの削除	276
・マイベストの削除	277
アルバム情報の修正	277
・アルバムタイトル、アルバム読み修正	277
・アーティスト名、アーティスト読み修正	277 278
・ジャンル修正	278
・トラックタイトル、トラック読み修正	278
・タイトル情報の再取得	279
アルバムの削除	280
トラックの削除	280
SD 詳細情報の表示	281

知 識

● 走行中および録音中は、サウンドライブラリの編集をすることができません。

お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成する

作成した楽曲集は、アルバムリスト画面のマイベストから簡単に呼び出すことができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オーディオ」 → サウンドライブラリ編集 → マイベストの 新規作成

2 マイベストの名称を入力する。

3 完了 にタッチ。

4 登録したい曲の含まれているアルバムにタッチ。

● 「アーティスト」、「録音日順」、「ジャンル」、「マイベスト」から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

5 登録したい曲にタッチ。

● 選択を解除するとき
➡ 選択されている曲にタッチ。

6 登録 にタッチ。



7 完了 にタッチ。

● 続けて曲を追加するとき
➡ 追加 にタッチ。(手順 **4** へ)
・同様の手順で追加できます。

知 識

● 同じ名称は重複して登録できません。
● マイベストは 999 個作成できます。また、1 つのマイベストには 99 曲まで登録できます。

マイベストを編集する

作成したマイベストの修正や削除をすることができます。

マイベストの名称を修正する

1 MENU ▶ 設定・編集 →
「オーディオ」 →
サウンドライブラリ編集 →
マイベストの 名称修正 →
(修正したいマイベスト)

2 名称を入力する。



3 完了 にタッチ。

知 識

● 同じ名称は重複して登録できません。

曲を追加する

1 MENU ▶ 設定・編集 →
「オーディオ」 →
サウンドライブラリ編集 →
マイベストの 編集 →
(追加したいマイベスト) →
トラックを追加

2 追加したい曲が含まれているアルバムにタッチ。

● 「アーティスト」、「録音日順」、「ジャンル」、「マイベスト」から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 追加したい曲にタッチ。

● 選択を解除するとき
➡ 選択されている曲にタッチ。

4 登録 にタッチ。



5 完了 にタッチ。

● 続けて曲を追加するとき
➡ 追加 にタッチ。(手順 **2** へ)

● 同様の手順で追加できます。

(知 識)

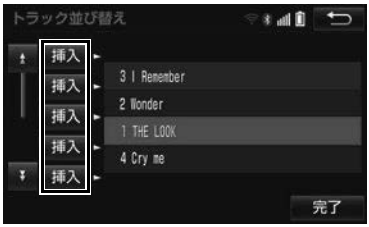
● 1つのマイベストには99曲まで登録できます。

曲を並べ替える

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オーディオ」 → サウンドライブラリ編集 → マイベストの 編集 → (並べ替えをしたいマイベスト) → トラックを並び替え

2 移動したい曲にタッチ。

3 移動したい場所の 挿入 にタッチ。



4 完了 にタッチ。

曲を削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オーディオ」 → サウンドライブラリ編集 → マイベストの 編集 → (消去したい曲の含まれているマイベスト) → トラックを削除

2 削除したい曲にタッチし、削除 にタッチ。



● 選択を解除するとき
➡ 選択されている曲にタッチ。

3 はい にタッチ。

マイベストを削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊オーディオ⌋ → サウンドライブラリ編集 → マイベストの 編集 → （消去したいマイベスト） → このマイベストを削除

2 はい にタッチ。

アルバム情報を編集する

アルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名などを変更することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊オーディオ⌋ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正

2 編集したいアルバムにタッチ。

- ⌊アーティスト⌋、⌊録音日順⌋、⌊ジャンル⌋ から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 各項目を編集する。



アルバムタイトル、アルバム読みを変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊オーディオ⌋ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → アルバム または アルバム読み

2 アルバムまたはアルバム読みを入力する。



3 完了 にタッチ。

知 識

- 読みは半角カタカナのみ入力できます。

アーティスト名を変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊オーディオ⌋ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → アルバムアーティスト

2 編集方法にタッチ。



■マニュアル入力するときは

1 マニュアル入力する にタッチ。

2 アーティスト名を入力する。

3 完了 にタッチ。

■リストから選ぶときは

1 リストから選択する にタッチ。

2 アーティスト名にタッチ。

知 識

● リストに表示されるアーティストはすでに登録されているアーティストのみです。

アーティスト読みを変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → アルバムアーティスト読み

2 アーティスト読みを入力する。



3 完了 にタッチ。

知 識

● 読みは半角カタカナのみ入力できます。

ジャンルを変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → ジャンル

2 ジャンルにタッチ。



3 完了 にタッチ。

トラックタイトル、トラック読みを変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → トラック名を修正 → (修正したいトラック) → トラック または トラック読み

2 トラックまたはトラック読みを入力する。

3 完了 にタッチ。

知 識

● 読みは半角カタカナのみ入力できます。

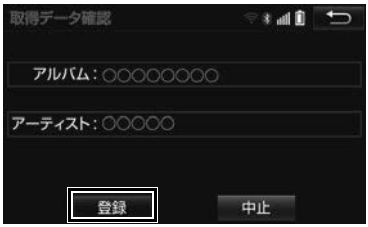
タイトル情報を再取得する

録音時に地図 SD のデータベースから付与されたタイトル情報が、録音に使用した CD のタイトル情報と違っているときには、再度、データベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オーディオ」 → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → SD で検索

- 複数候補があるとき
  ➡ タイトルにタッチ。

2 登録 にタッチ。



知 識

- TC で検索 は、T-Connect を利用されているときに使用することができます。T-Connect を利用すると、最新の CD タイトル情報をトヨタスマートセンター経由で Gracenote メディアデータベースから取得することができます。（→ P.581）
- 再生している曲の録音に使用したCDのタイトル情報とは、全く異なる候補が表示されることがあります。登録の前に、必ずタイトル情報を確認してください。

- CD タイトル検索画面は、CD タイトルを検索しているときに表示されます。



・検索が終わると自動的に画面が切り替わります。
・中止するとき
➡ 中止 にタッチ。

アルバムを削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌜オーディオ⌟ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 削除

2 削除したいアルバムにタッチ。

- ⌜アーティスト⌟、⌜録音日順⌟、⌜ジャンル⌟ から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 このアルバムを削除 にタッチ。



4 はい にタッチ。

知 識

- 削除するアルバム内の曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

トラックを削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌜オーディオ⌟ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 削除

2 削除したい曲の含まれているアルバムにタッチ。

- ⌜アーティスト⌟、⌜録音日順⌟、⌜ジャンル⌟ から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 トラックを削除 にタッチ。



4 削除したい曲にタッチ。

- 選択を解除するとき
  ➡ 選択されている曲にタッチ。

5 削除 にタッチ。

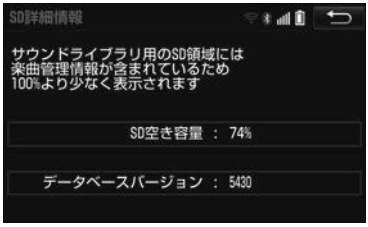
6 はい にタッチ。

知 識

- 削除する曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

Audio SD の空き容量を確認する（詳細情報の表示）

データベースのバージョン情報や Audio SD の空き容量を確認することができます。



1 MENU ▶ 設定・編集 →
「オーディオ」 →
サウンドライブラリ編集 →
SD 詳細情報

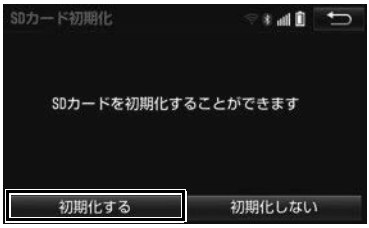
7. Audio SD の初期化について

Audio SD を初期化する

Audio SD を初期化することができます。初期化すると、Audio SD 内のデータがすべて削除されます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → SD カード初期化

2 初期化する にタッチ。



3 はい にタッチ。

1. 地上デジタルテレビの操作について

地上デジタルテレビの操作は、おもに操作画面と TV 局リスト画面から行います。
目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

⚠ 警告

- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

⚠ 注意

- miniB-CAS カードを本機の内部に落とした場合は、内部の金属部分に注意して探してください。指をけがするおそれがあります。

注意

- 本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。リバース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。
  著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

知 識

- デジタルテレビの画面表示などは、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

miniB-CAS カードについて

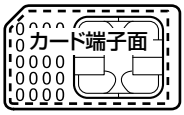
miniB-CAS カードは、デジタル放送番組の著作権保護などに利用するカードです。地上デジタルテレビ放送を受信するときは、必ず miniB-CAS カードを本機に挿入してください。（→ P.284）

- miniB-CAS カードの動作確認について
  ➡「TV メニュー画面について」（→ P.294）

取り扱いについての注意

より詳しい情報は、B-CAS 社のホームページ（http://www.b-cas.co.jp）をご覧ください。

- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを本機に正しく挿入してください。
- miniB-CAS カードの説明書をよくお読みのうえ、お使いください。
- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、お使いください。
- miniB-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送を視聴することができません。（ワンセグ放送は視聴することができます。）
- 重いものをのせないでください。
- 水をかけたり、濡れた手で触らないでください。
- カード端子面には手を触れないでください。



- カード端子面を手で触れた場合、手に付着している目に見えない異物が端子面に付着し、カードの読み取り不良が発生する恐れがあります。

- 端子面に触れてしまい、カードの読み取り不良が発生した場合には、工業用アルコール（純度の高いエタノール）を染み込ませた綿棒で、端子面全体を直線でなぞるように、まんべんなく拭き取ってください。拭き取り後も同様の症状が発生する場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 分解、改造はしないでください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 高温になるところにカードを放置しないでください。
- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。

miniB-CAS カードの交換・廃棄について

miniB-CAS カードの所有権は株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。

カードの故障や本機の廃棄などにより miniB-CAS カードの交換、廃棄が必要になったときは株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターに連絡して交換、返却の手続きをしてください。

電話番号　0570ー 000ー 250

受付時間　AM10:00 ～ PM8:00（年中無休）

miniB-CAS カードの出し入れ

miniB-CAS カードの入れかた

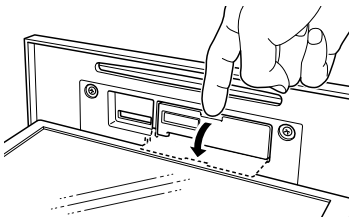
1 メニュー画面（→ P.23）またはショートカット＋コントロール画面（→ P.24）→ TILT・EJECT

2 ⏏ AudioSD にタッチ。



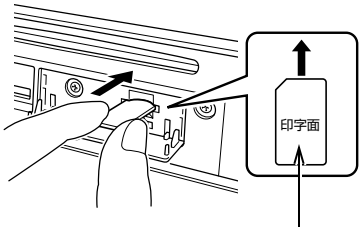
- ディスプレイが開きます。
- すでに Audio SD が挿入されている場合は、Audio SD 再認識のため Audio SD を抜き差ししてください。

3 フタを開ける。



4 miniB-CAS カードスロットに miniB-CAS カードを挿入する。

- miniB-CAS カードを差し込むときはカード側面を挟むように持って端子面に指が被らないように注意してください。
- miniB-CAS カードは “カチッ” と音がするまで差し込んでください。



miniB-CAS カードは印字面を上、端子面を下にしてください。

5 フタを閉めて、CLOSE にタッチ。

- miniB-CAS カードを挿入した後、正常に動作しているか必ず確認してください。（→ P.294）

miniB-CAS カードの取り出しかた

1 メニュー画面（→ P.23）またはショートカット + コントロール画面（→ P.24）→ TILT・EJECT

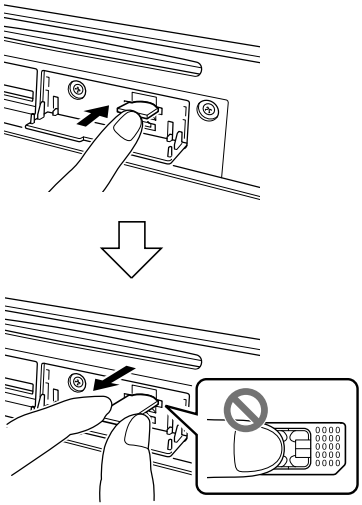
2 ⏏ AudioSD にタッチ。



- ディスプレイが開きます。
- すでに Audio SD が挿入されている場合は、Audio SD 再認識のため Audio SD を抜き差ししてください。

3 フタを開ける。

4 miniB-CAS カードを軽く押して（1 回）、ゆっくりと miniB-CAS カードを引き出す。



- miniB-CAS カードは水平方向に引き出してください。
- miniB-CAS カードを取り出すときは、端子面に指が被らないようにつまみ、半分まで引き出してください。その後、カード側面を挟むように持って引き出してください。

5 フタを閉める。

6 CLOSE → ディスプレイを Close する の順にタッチ。

⚠ 警告

- miniB-CAS カードを取り出している場合、カードを乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと窒息、またはけがの恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠ 注意

- miniB-CAS カードの出し入れの途中に、CLOSE にタッチ、または本体のいずれかのスイッチを押さないでください。
- ディスプレイ部の開閉時は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、ディスプレイの故障の原因となります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをする恐れがあります。

注意

- miniB-CAS カードは、“カチッ”と音がするまで差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、受信不良などの原因になります。
- miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や損傷の原因となります。
- miniB-CAS カードを抜き差しするときなどに、落として紛失しないように注意してください。
- miniB-CAS カードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから miniB-CAS カードの動作確認を行ってください。
- ご使用中は miniB-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷する恐れがあります。

注意

- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷する恐れがあります。
- 本機から miniB-CAS カードを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。miniB-CAS カードを破損する恐れがあります。
- ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因となります。
- miniB-CAS カードが押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、miniB-CAS カードを傷つける恐れがあります。
- 熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、miniB-CAS カードを挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。

初回起動時の設定

地上デジタルテレビの機能を初めて使用する場合は、プリセットスイッチにチャンネルを記憶します。

オーディオソース選択画面
(→ P.218)

1 TV にタッチ。

2 初期設定 にタッチ。

3 郵便番号を入力し、次へ にタッチ。



- 間違えたとき
  ➡ 修正 にタッチ。

4 地域にタッチ。



- 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの方
  ➡ 沖縄地方・その他 にタッチ。

5 都道府県にタッチし、次へ にタッチ。



6 地域にタッチ。



7 都道府県にタッチし、スキャン にタッチ。



- ホームプリセット設定画面が表示され、自動で放送局の受信が始まります。



- 受信を中止したいとき
  ➡ 中止 にタッチ。

● 最大 12 局まで受信し、受信した放送局をプリセットスイッチに表示します。

8 次へ にタッチ。

9 カードテスト にタッチ。

● miniB-CAS カードの動作確認が始まります。



10 OK にタッチ。

11 完了 にタッチ。

知 識

● プリセットスイッチに表示されなかった放送局を記憶したい、またはプリセットスイッチの順番を変更したい場合は、プリセットスイッチの内容を変更することができます。(→ P.300)
● 受信する地域により、放送局を表示するまで約 5 分程度かかる場合があります。
● 引越しなどでお住まいの地域や都道府県が変わった場合は、再度設定することができます。(→ P.300)

2. テレビの操作



知 識

- 本機での地上デジタルテレビ放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
  - ・ 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
  - ・ ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
  - ・ 電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなることがあります。
  - ・ トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - ・ 一部の地域において、テレビやラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- 地上デジタルテレビ放送では、5.1ch を AAC 方式で圧縮した番組（AAC5.1ch 放送）を放送していることがあります。本機は AAC5.1ch 放送には対応していません。AAC5.1ch 放送を受信した場合、2ch 再生となります。
- 本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。また、双方向通信には対応していません。

プリセットスイッチ

記憶されているチャンネル放送局を受信します。

全画面／映像

本機の電源を入れたあと、初めて 全画面 または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。了解 ・ 次回表示しない ・ ⮌ のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。



本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない

次回もこのメッセージを表示

次回からこのメッセージを表示しない

- 全画面表示中、画面を左右にフリック操作すると、プリセットスイッチに記憶されている順にチャンネルが切り替わります。（→ P.21）

TV 局リスト

TV 局リスト画面を表示します。



サービスリスト画面から、見たい番組→ 全画面 の順にタッチ

EPG（電子番組表）を見る（→ P.291）

見たいチャンネルにタッチ

メニュー

TV メニュー画面を表示します。（→ P.294）

各種切替

各種切替画面を表示します。（→ P.301）

知 識

- プリセットスイッチについて
  - すべてのプリセットスイッチにチャンネル番号が表示されていない場合、チャンネル設定が行われていません。初期スキャンを行ってください。（→ P.299）
- ワンセグ放送のサービス番号は、611 ～ 728 に割り当てられています。
- ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送をおこなっていない場合、ワンセグ放送に切り替えることができません。
- 地デジ・ワンセグ受信設定が自動切替の場合は、通常の地上デジタルテレビ放送が受信可能なとき、ワンセグ放送に切り替えても自動で通常の地上デジタルテレビ放送に戻ります。（→ P.294）
- 地上デジタルテレビ放送では 1 つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。
  違うチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。
- 1 つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。
- ショートカット+コントロール画面（→ P.24）で ⏮ または ⏭ にタッチしてもチャンネルを切り替えることができます。

EPG(電子番組表) を見る

EPG とは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で番組をさがすことができます。



1 デジタルテレビ操作画面（→ P.289）→ TV 局リスト → 番組表

知 識

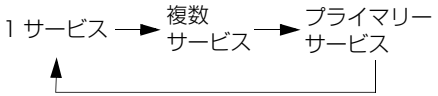
- TV 番組表画面から次の操作が可能です。
  - DTV 映像画面の表示：全画面 にタッチ。
  - チャンネルの切り替え：放送局名 にタッチ。
- TV番組表画面は現在から最大7日分表示することができますが、放送局の番組数によっては7日分表示されないことがあります。

見たい番組を探す（別のサービスの番組表に切り替える）

1 デジタルテレビ操作画面（→ P.289）→ TV 局リスト → 番組表

1 表示切替 にタッチ。

● タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。



・1 サービスは、1 チャンネルの 1 番組を表示します。
・複数サービスは、1 チャンネルの全番組を表示します。
・プライマリーサービスは、3 チャンネルを 1 番組ずつ表示します。

● 番組の情報を見たいとき
➡ 番組にタッチ。

知 識

● 同じ時間帯に 3 番組以上あるときは、⬇ が表示されます。その番組名にタッチすると、その時間帯の番組がリスト表示されます。リストから番組にタッチすると、番組の情報を見ることができます。

■前後の時間帯の番組表に切り替える

1 ∧ または ∨ にタッチ。

● 前の放送時間帯の番組を表示するとき
➡ ∧ にタッチ。
● 次の放送時間帯の番組を表示するとき
➡ ∨ にタッチ。

■他のチャンネルの番組表に切り替える

1 「ｃｈ」の ＜ または ＞ にタッチ。

● チャンネルを大きい方へ選択するとき
➡ ＞ にタッチ。
● チャンネルを小さい方へ選択するとき
➡ ＜ にタッチ。

■前後の日付の番組表に切り替える

1 前日 または 翌日 にタッチ。

緊急警報放送（EWS）の受信

緊急警報放送 (EWS:Emergency Warning System) は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送を受信した場合、メッセージが表示されます。OK または 視聴する にタッチすると、緊急警報放送を見ることができます。放送が終了すると、自動的にもとの番組に戻ります。

知 識

- 緊急警報放送（EWS）は、TV 以外のオーディオソース選択中でも受信可能です。
- 使用している機能によって緊急警報放送（EWS）は表示されません。機能を終了すると表示されます。
  以下は代表的な機能例です。
  - DSSS（→ P.85）
  - 安全、快適走行の案内（→ P.161）
  - 音声操作システム（→ P.360）
  - ETC システム（→ P.434）
  - ヘルプネット（→ P.525）
  - エージェント（→ P.568）
  - 本機起動時の地図 SD 読み込み中およびスタートアップ画像表示中

3. TV メニュー画面について

TV メニュー画面について

テレビの受信に関する設定やデータ放送の操作などをすることができます。

1 デジタルテレビ操作画面（→ P.289）→ メニュー

2 各項目を設定する。



地デジ・ワンセグ受信設定

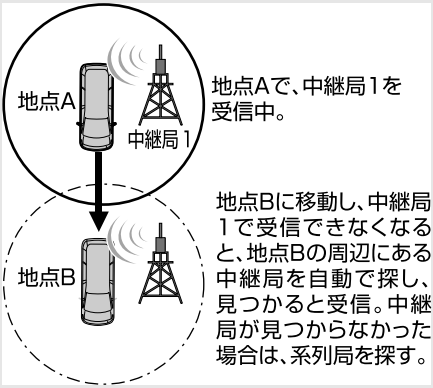
地上デジタルテレビ放送／ワンセグ放送を切り替えます。

- 自動切替 ：地上デジタルテレビ放送が受信できなくなった場合、自動でワンセグ放送に切り替えます。地上デジタルテレビが受信可能になると、ワンセグ放送から自動で切り替わります。
- 地デジ ：地上デジタルテレビ放送に固定します。
- ワンセグ ：ワンセグ放送に固定します。

放送局サーチ

走行中に、地上デジタルテレビ放送の受信状態が不安定になった場合、より受信感度が良い中継局や系列局を自動的にサーチして受信することができます。

- 系列局＋中継局 ：受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局をサーチします。中継局が見つからない場合は、系列局をサーチします。受信するとプリセットスイッチにチャンネルが更新されます。
- 中継局 ：受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局をサーチします。受信するとプリセットスイッチにチャンネルが更新されます。
- OFF ：放送局のサーチを行いません。



プリセットモード設定

プリセットモード（ホーム／トラベル／エリア）を切り替えます。

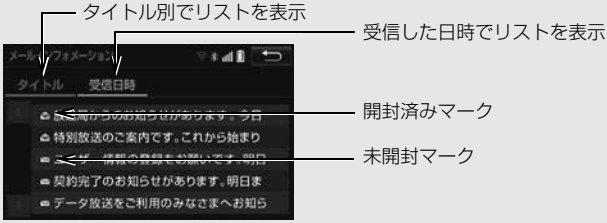
- **ホーム** ：ホームプリセットで記憶したチャンネル（→ P.287、P.299）が表示されます。普段ご覧になるときは、このモードを使用します。
- **トラベル** ：旅先などでこのモードを使用すると、ホームとは別にプリセットスイッチにチャンネルを記憶することができます。自宅周辺に帰ってきたときは、ホームに戻すことができます。トラベルに設定した後、"ピーッ" と音がするまで **トラベルスキャン** にタッチし続けると、選局を開始します。
- **エリア** ：自分がいる地域の放送局が分からなくなったとき、このモードを使用すると、その地域で放送されているチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。

データ放送操作

データ放送操作画面を表示します。（→ P.297）

メールインフォメーション

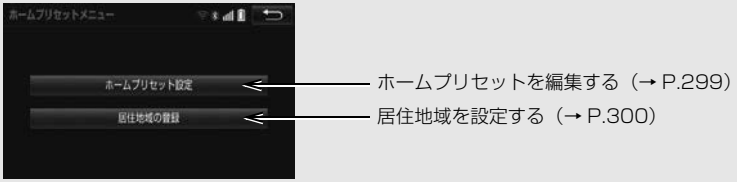
放送局から受信したメールを確認できます。



- 見たいメールにタッチすると、メール詳細画面が表示されます。

ホームプリセットメニュー

ホームプリセットの設定をします。



次のページに続く

IC カード情報

miniB-CAS カードの情報を見たり、miniB-CAS カードの動作を確認できます。



← mini-B-CAS カードの動作確認をする

- miniB-CAS カードの動作確認をするときは、**カードテスト** にタッチします。
- 動作確認後、**OK** にタッチします。
- 異常を検出したときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

(知 識)

● **地デジ・ワンセグ受信設定** スイッチについて

- ワンセグ放送を受信しているときは、画面左上に「ワンセグ」と表示されます。
- 放送が切り替わるとき、一時的に画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- 自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、ワンセグ自動切替を ON（する）にしていても、ワンセグ放送に切り替わりません。

● **放送局サーチ** スイッチについて

- 放送局サーチ中は、映像および音声が出力されず、「放送局サーチ中です」のメッセージが表示されます。
- 系列局を受信した場合、自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- プリセットモードで「エリア」を選択しているときは、放送局サーチでチャンネルが切り替わってもプリセットスイッチは更新されません。

データ放送の操作について

データ放送とはデジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組の内容と関係ないニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。

データ放送を操作する

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタン、カーソル、10 キー（テンキー）などで操作します。
操作方法は受信したデータ放送により異なります。



デジタルテレビ操作画面（→ P.289）

1 メニュー にタッチ。

2 データ放送操作 にタッチ。

3 d にタッチ。

- データ放送が表示されます。
- データ放送画面を解除するとき
  ➡ 再度 d にタッチ。

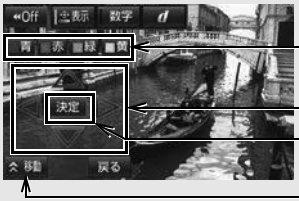
Off

スイッチの表示を消します。

- On にタッチすると、スイッチが表示されます。

表示

色ボタンとカーソルでデータ放送を操作します。



色ボタン

カーソル

カーソルを操作して選択した項目を実行

色ボタン・カーソルの表示位置を左下または右上に移動

数字

10 キー（テンキー）で数字を入力し、データ放送を操作します。



数字を入力

入力した数字を決定

10 キーの表示位置を左下または右上に移動

戻る

データ放送操作画面を、ひとつ前に表示させていた画面に戻します。

知 識

- 本機はワンセグ放送のデータ放送には対応していません。
- データ放送を受信可能な場合、デジタルテレビ操作画面に d が表示されます。
- データ放送の操作は、画面に表示される指示の順におこなってください。

ホームプリセット設定について

プリセットスイッチに記憶しているチャンネルを編集したり、居住地域を変更することができます。

ホームプリセットの設定

ご使用になる地域で受信できる放送局（チャンネル）を自動で受信して、プリセットスイッチに記憶させることができます。ホームプリセットの設定には、新たに記憶させる初期スキャンと、現在記憶されているプリセットスイッチに新たに受信できる放送局（チャンネル）を追加させる追加スキャンの 2 種類があります。

(知 識)

- 最大 12 局まで受信し、受信した放送局をプリセットスイッチに表示します。

■チャンネルをスキャンをする

1 デジタルテレビ操作画面（→ P.289）
→ メニュー →
ホームプリセットメニュー →
ホームプリセット設定

2 初期スキャン にタッチまたは 追加スキャン に “ピッ” と音がするまでタッチし続ける。



- 初期スキャン にタッチしたとき
  ➡ 地域→都道府県→ スキャン の順にタッチ。
- 初期スキャン中画面または追加スキャン中画面が表示され、自動で放送局の受信が始まります。
- 受信を中止したいとき
  ➡ 中止 にタッチ。

3 完了 にタッチ。

■プリセットスイッチの内容を変更する

1 デジタルテレビ操作画面（→ P.289）→ メニュー → ホームプリセットメニュー → ホームプリセット設定

2 変更したいプリセットスイッチにタッチ。



3 記憶したい放送局にタッチし、完了 にタッチ。

- 後ろの放送局を選択するとき
  ➡ ＞ にタッチ。
- 前の放送局を選択するとき
  ➡ ＜ にタッチ。

居住地域を設定する

データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。引越したときは必ず設定してください。

1 デジタルテレビ操作画面表示中（→ P.289）→ メニュー → ホームプリセットメニュー → 居住地域の登録

2 県域設定 または 郵便番号設定 にタッチ。

- 県域設定 にタッチしたとき
  ➡ 地域→都道府県の順にタッチ。
  ・東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの場合は、沖縄地方・その他 にタッチします。
- 郵便番号設定 にタッチしたとき
  ➡ 郵便番号を入力し、完了 にタッチ。

4. 各種切替画面について

各種切替画面について

映像や音声に関する設定をすることができます。

1 デジタルテレビ操作画面表示（→ P.289）→ 各種切替

2 各項目を設定する。



● 映像を全画面表示するとき

➡ 全画面 または映像にタッチ。

映像

地上デジタルテレビ放送では、マルチビュー放送で複数の映像を提供する場合があります。
タッチするごとに、映像が切り替わります。

音声

地上デジタルテレビ放送では、複数の音声を提供している場合があります。
タッチするごとに、音声が切り替わります。

主／副

タッチするごとに、主音声→副音声→主／副音声の順に切り替わります。

文字スーパー

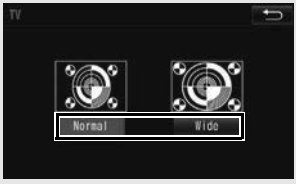
地上デジタルテレビ放送では、放送と独立して文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）を行っています。
タッチするごとに、日本語→英語→ OFF の順に文字スーパーが切り替わります。

字幕

地上デジタルテレビ放送では、複数の字幕を提供している場合があります。
タッチするごとに、日本語→英語→字幕 OFF の順に字幕が切り替わります。

Wide

Normal または Wide にタッチすると、画面モードが切り替わります。



• 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.229）をご覧ください。

次のページに続く

画質調整

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整します。

• 画質の調整については「画面の調整・設定を変更する」（→ P.49）をご覧ください。

知 識

● 映像 スイッチについて

・ 映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。

● 主／副 スイッチについて

・ 副音声または主／副音声を選択している場合、受信状態によって主音声・副音声が頻繁に切り替わることがあります。

5. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原　因	処　置
正常に動作しませんでした 正しく装着されていないか、故障しています 販売店へお問い合わせください	miniB-CAS カードの動作確認（→ P.294）で、異常を検出したため。カードの読み取り不良が考えられます。	miniB-CAS カードの抜き差しを行ってください。抜き差しにて読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
B-CAS カードが読めませんでした カードをお確かめください	miniB-CAS カードとの通信で異常を検出したため。 カードの読み取り不良が考えられます。	miniB-CAS カードの動作確認を行ってください。（→ P.294） 異常を検出したときは、miniB-CAS カードの抜き差しを行ってください。抜き差しにて読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	miniB-CAS カードを挿入していないため。	miniB-CAS カードを挿入してください。
	使用できない miniB-CAS カードが挿入されているため。（エラーコード : A1FF、A102）	
	miniB-CAS カードを交換する必要があるため。（エラーコード :6400）	miniB-CAS カードを交換してください。
	miniB-CAS カード内のセキュリティ情報が改ざんされているおそれがあるため。（エラーコード :A104）	
	有効な条件を満たしていない miniB-CAS カードが挿入されているため。（エラーコード : EC01、EC02）	
放送を受信できません	デジタルテレビの受信エリア外にいるため。	デジタルテレビを受信できるエリアに移動してください。
	チャンネルを記憶した地域と異なる場所にいるため。	初期スキャン（→ P.299）、またはプリセットモードの切り替え（→ P.294）をしてください。

1. VTR の操作

販売店装着オプションの iPod 対応 USB ／ VTR アダプターに接続した VTR 機器を再生することができます。

VTR 機器の接続・取り外しの詳細については、販売店装着オプションの iPod 対応 USB ／ VTR アダプターに同梱の取扱書を参照してください。

- 接続後、接続した機器の電源を入れてください。



⚠ 警告

- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

知 識

- VTR モード中にミニプラグを抜いたり、接続する機器側の VTR ケーブルを抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- 接続する VTR 機器や再生するメディアによっては、映像が正しく表示されなかったり、音声が聞き取りにくくなったりする場合があります。

☆印はオプションです。

全画面／映像

操作画面を解除し、映像を全画面表示します。

VTR1

販売店装着オプションの iPod 対応 USB ／ VTR アダプターに接続された VTR 機器の映像を表示します。

VTR2

本機は使用できません。

各種切替

各種設定の切り替えをします。（→ P.306）

各種切替画面について

操作画面で、 各種切替 にタッチすると表示されます。



Wide

Normal ・ Wide1 ・ Wide2 のいずれかにタッチすると、画面モードが切り替わります。



- 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.229）をご覧ください。

画質調整

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整します。

- 画質の調整については「画面の調整・設定を変更する」（→ P.49）をご覧ください。

1. HDMI の操作

販売店装着オプションのUSB/HDMI入力端子に接続したHDMI対応機器を再生することができます。

HDMI 対応機器の接続・取り外しの詳細については、販売店装着オプションのUSB/HDMI 入力端子に同梱の取扱書を参照してください。

HDMI、HDMI ロゴ、および High - Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

本機で使用できる HDMI 機器については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。

- 接続後、接続した機器の電源を入れてください。



☆印はオプションです。

⚠ 警告

- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

知 識

- HDMI モード中に HDMI ケーブルを抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- 接続する HDMI 対応機器や再生するメディアによっては、映像が正しく表示されなかったり、音声が聞き取りにくくなったりする場合があります。

全画面／映像

操作画面を解除し、映像を全画面表示します。

各種切替

各種設定の切り替えをします。（→ P.309）

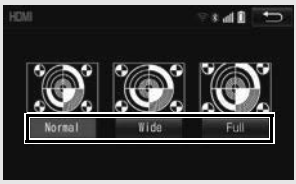
各種切替画面について

操作画面で、 各種切替 にタッチすると表示されます。



Wide

Normal ・ Wide ・ Full のいずれかにタッチすると、画面モードが切り替わります。



- 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.229）をご覧ください。

画質調整

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整します。

- 画質の調整については「画面の調整・設定を変更する」（→ P.49）をご覧ください。

1. はじめに

USB メモリについて

販売店装着オプションの iPod 対応 USB ／ VTR アダプターまたは USB/HDMI 入力端子に接続した USB メモリ内のデータを再生することができます。

本機で使用できる USB メモリや USB メモリに記録できるデータについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。

USB メモリの接続・取り外しの詳細については、販売店装着オプションの iPod 対応 USB ／ VTR アダプターまたは USB/HDMI 入力端子に同梱の取扱書を参照してください。

「USB メモリについて」（→ P.348）に該当していても、ご利用の USB メモリによっては、本機で再生できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

知 識

- 使用できる USB メモリや、販売店装着オプションの iPod 対応 USB ／ VTR アダプターに同梱されている USB メモリ接続用ケーブル以外のケーブルを使用すると、正しく認識できない、または正しく再生できない場合があります。

音楽ファイルの再生について

USB メモリに記録された音楽ファイル（MP3、WMA、AAC）を再生することができます。再生可能な音楽ファイルについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。

動画ファイルの再生について

拡張子 MP4（H.264/MPEG-4 AVC）などで記録した動画を再生することができます。再生可能な動画ファイルについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。

知 識

- 再生中に USB メモリを抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- 同じ USB メモリ（内容が変更されていないもの）が再び差し込まれたときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- USB メモリまたは iPod を接続しているときに本機が過電流を検知すると、「異常検知で USB 停止中です」(USB 接続時)、「iPod が接続できませんでした」(iPod 接続時) のメッセージが表示され、オーディオの電源が OFF になります。再度 USB メモリまたは iPod を再生するときは、一度パワースイッチを OFF にし、再度パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにしてください。

☆印はオプションです。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中に USB メモリを操作しないでください。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

注意

- USB メモリを車室内に放置しないでください。
  炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB メモリが接続されているときに、USB メモリの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。
- USB メモリ端末の差込口に USB メモリ端末以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

2. 音楽ファイル再生中の操作

この項目では、USB メモリに記録した音楽ファイルの操作方法を説明しています。本機で使用できる USB メモリや USB メモリに記録できる音楽データについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.345）をご覧ください。



＞（ファイル／トラック名）

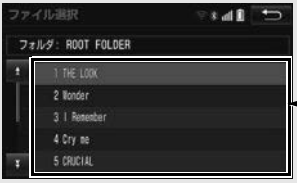
タッチすると、次のファイル／トラックに切り替わります。

＜（ファイル／トラック名）

ファイル／トラックの頭出しをします。連続してタッチすると、前のファイル／トラックに切り替わります。

ファイル／トラック名

ファイル／トラックリストを表示します。



- ページを切り替えると、リストの先頭にある曲が再生されます。

＜ / ＞（フォルダ／アルバム名）

フォルダ／アルバムが切り替わります。

フォルダ／アルバム名

フォルダ／アルバムリストを表示します。



フォルダ／アーティスト／アルバムごとに分類して、並び替え

- フォルダ選択後、再生したいファイルにタッチすると、タッチしたファイルが再生されます。完了 にタッチすると、操作画面に戻ります。
- ページを切り替えると、リスト先頭にあるフォルダやアルバム内のファイルが再生されます。

RAND（ランダム）

タッチするたびに、フォルダ／アルバム内でランダム再生（RAND）→全フォルダ／アルバムからランダム再生（FLD.RAND/ALB.RAND）→ランダム解除の順に切り替わります。

RPT（リピート）

タッチするたびに、再生中のファイルをリピート再生（RPT）→再生中のフォルダ／アルバムをリピート再生（FLD.RPT/ALB.RPT）→リピート解除の順に切り替わります。

⏸（一時停止）／▶（再生）

再生を一時停止します。再度タッチすると、再生します。

◀◀／▶▶

タッチし続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

ビデオ

USB メモリ内の動画ファイルの再生に切り替わります。（→ P.315）

知 識

- ＜ / ＞（ファイル名／トラック名）、◀◀ / ▶▶ スイッチについて
  - ショートカット＋コントロール画面（→ P.24）からも同様の操作ができます。
- フォルダリストについて
  - 「アルバム」、「アーティスト」については、タグ情報（→ P.352）があるファイルのみ分類して表示されます。

MP3/WMA/AAC の再生について

MP3/WMA/AAC ファイルが収録されている USB メモリを接続すると、最初に USB メモリ内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA/AAC ファイルを再生します。

USB メモリ内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA/AAC ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

注意

- MP3/WMA/AAC 以外のファイルに“.mp3”/“.wma”/“.m4a”の拡張子をつけると、MP3/WMA/AAC ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA/AAC 以外のファイルに“.mp3”/“.wma”/“.m4a”の拡張子をつけないでください。

(知 識)

- 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1kHz のサンプリング周波数を推奨します。
- MP3/WMA/AAC を作成・編集できる多くの機器・ソフトが存在するため、使用する機器・ソフトによっては、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、または再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AAC ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。(VBR の FAST UP/DOWN 動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。)

3. 動画ファイル再生中の操作

この項目では、USB メモリに記録した動画ファイルの操作方法を説明しています。

本機で使用できる USB メモリや USB メモリに記録できる動画ファイルについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.345）をご覧ください。



＞（ファイル名）

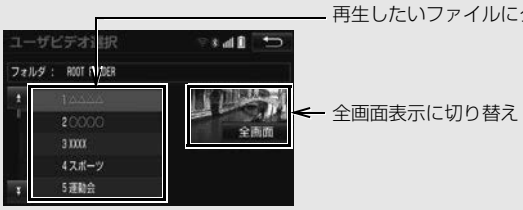
タッチすると、次のファイルに切り替わります。

＜（ファイル名）

ファイルの頭出しをします。連続してタッチすると、前のファイルに切り替わります。

ファイル名

ファイルリストを表示します。



- ページを切り替えると、リスト先頭にあるファイルが再生されます。

全画面／映像

本機の電源を入れたあと、初めて 全画面 または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。了解 ・ 次回表示しない ・ ⮌ のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。



- 全画面表示中、画面を左右にフリック操作すると、ファイルが切り替わります。（→ P.21）

◀◀／▶▶

タッチし続けると、映像を早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

- 一時停止中は、▶▶ にタッチし続けている間、スロー再生します。

⏸（一時停止）／▶（再生）

映像を一時停止します。再度タッチすると、再生します。

■（停止）

映像を止めます。

各種切替

各種設定の切り替えをします。（→ P.318）

詳細表示

タイトル（動画ファイル）の情報を表示します。



ミュージック

USB メモリ内の音楽ファイルの再生に切り替わります。（→ P.312）

知 識

● ＜ / ＞（ファイル名）、◀◀ / ▶▶ スイッチについて

・ ショートカット＋コントロール画面（→ P.24）からも動画ファイルの切り替えや早送り／早戻しの操作ができます。

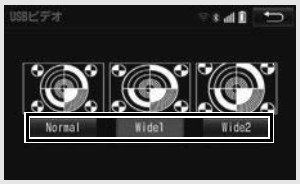
各種切替画面についての操作

操作画面で、 各種切替 にタッチすると表示されます。



Wide

Normal ・ Wide1 ・ Wide2 のいずれかにタッチすると、画面モードが切り替わります。



- Normal にタッチすると、再生する動画ファイルの縦横比に合わせて表示します。
- 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.229）をご覧ください。

画質調整

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整します。

- 画質の調整については「画面の調整・設定を変更する」（→ P.49）をご覧ください。

1. はじめに

販売店装着オプションの iPod 対応 USB ／ VTR アダプターまたは USB/HDMI 入力端子に接続した iPod を再生することができます。

iPod の接続・取り外しの詳細については、販売店装着オプションの iPod 対応 USB ／ VTR アダプターまたは USB/HDMI 入力端子に同梱の取扱書を参照してください。

本機で使用できる iPod については、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中に iPod を操作しないでください。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

注意

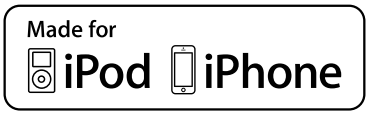
- iPod を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPod が接続されているときに、iPod の上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。
- iPod端末の差込口にiPod端末以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

知 識

- iPod モード中に iPod 端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- iPod が接続されている状態で、他モードより iPod モードに切り替えたときや iPod を再接続したときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- 販売店装着オプションの USB/HDMI 入力端子の場合、iPod ビデオは音声のみ再生されます。映像は表示されません。
- 販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターまたは USB/HDMI 入力端子に iPod 機器（iPod/iPhone）を接続しているときは、スマートフォンナビ連携は使用できません。
- Lightning コネクタを使用する場合は、Apple 純正ケーブルを使用してください。
- iPod を販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターまたは USB/HDMI 入力端子に接続している場合、iPod 機器（iPod/iPhone）によっては操作できない場合があります。
- iPod を本機に接続する前と取り外した後では、シャッフルやリピートなどの設定が変わることがあります。
- サンプルレートが 44.1kHz 以外の曲の場合、iPod の種類によっては正しく再生されないことがあります。

☆印はオプションです。

商標・設計認証情報



- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.The trademark "iPhone" is used with a license from Aiphone K.K.
  Lightning is a trademark of Apple Inc.
- The Lightning connector works with iPhone 5, iPod touch (5th generation), and iPod nano (7th generation).
- The 30-pin connector works with iPhone 4S, iPhone 4, iPhone 3GS, iPhone 3G, iPhone, iPod touch (1st through 4th generation), iPod classic, and iPod nano (1st through 6th generation).

- iPod および iTunes は、著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

2. 音楽ファイル再生中の操作

この項目では、販売店装着オプションの iPod 対応 USB ／ VTR アダプターまたは USB/HDMI 入力端子に接続した iPod（ミュージック）の操作方法を説明しています。

本機で使用できる iPod については、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。



＞（ファイル名）

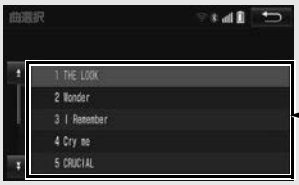
タッチすると、次のファイルに切り替わります。

＜（ファイル名）

ファイルの頭出しをします。連続してタッチすると、前のファイルに切り替わります。

ファイル名

ファイルリストを表示します。

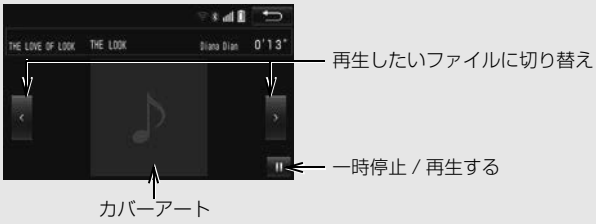


- ページを切り替えると、リストの先頭にある曲が再生されます。

次のページに続く

カバーアート

拡大表示画面を表示します。



選曲

選曲リストを表示します。



- リスト選択後、再生したいファイルにタッチすると、タッチしたファイルが再生されます。
  完了 にタッチすると、操作画面に戻ります。
- ページを切り替えると、リスト先頭にあるプレイモード内のファイルが再生されます。

RAND（ランダム）

タッチするたびに、アルバム内でランダム再生（RAND）→全アルバムからランダム再生（ALB.RAND）→ランダム解除の順に切り替わります。

RPT（リピート）

タッチするたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→リピート解除が切り替わります。

⏸（一時停止）／▶（再生）

再生を一時停止します。再度タッチすると、再生します。

◀◀／▶▶

タッチし続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

ビデオ

iPod ビデオの再生に切り替わります。（→ P.324）

知 識

● ＜ / ＞ （ファイル名）、◀◀ / ▶▶ スイッチについて

・ ショートカット＋コントロール画面（→ P.24）からも同様の操作ができます。

● 選曲 スイッチについて

・ ファイルはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストのプレイモードを（「プレイリスト」、「アーティスト」、「アルバム」、「曲」、「Podcasts」、「オーディオブック」、「ジャンル」、「作曲者」）を変更すると再生順が変わります。

● カバーアートについて

・ カバーアートのデータによっては、拡大表示画面にすると画像が粗くなることがあります。

3. 動画ファイルを再生する

この項目では、販売店装着オプションの iPod 対応 USB ／ VTR アダプターまたは USB/HDMI 入力端子に接続した iPod(ビデオ) の操作方法を説明しています。

本機で使用できる iPod については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。



知 識

- 販売店装着オプションの USB/HDMI 入力端子の場合、音声のみ再生されます。映像は表示されません。
- 映像を表示するには、ビデオ音声入力（→ P.328）を「VTR」に設定する必要があります。

＞（ビデオ名）

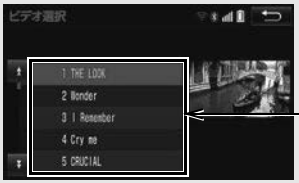
タッチすると、次のビデオに切り替わります。

＜（ビデオ名）

ビデオの頭出しをします。連続してタッチすると、前のビデオに切り替わります。

ビデオ名

ビデオリストを表示します。



再生したいビデオをにタッチ

- ページを切り替えると、リスト先頭にあるビデオファイルが再生されます。

アルバム名

ビデオ選択リストを表示します。



- リスト選択後、再生したいビデオにタッチすると、タッチしたビデオが再生されます。
  完了 にタッチすると、操作画面に戻ります。
- ページを切り替えると、リスト先頭にあるビデオファイルが再生されます。

全画面／映像

本機の電源を入れたあと、初めて 全画面 または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。 了解 ・ 次回表示しない ・ ⮌ のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。



本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない

次回からこのメッセージを表示しない

- 全画面表示中、画面を左右にフリック操作すると、ビデオが切り替わります。（→ P.21）

次のページに続く

◀◀／▶▶
タッチし続けると、映像を早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。
❚❚（一時停止）／ ▶（再生）
映像を一時停止します。再度タッチすると、再生します。
ミュージック
iPod ミュージックの再生に切り替わります。（→ P.321）
各種切替
各種設定の切り替えをします。（→ P.327）

知 識

● ＜ / ＞ （ビデオ名）、◀◀ （早戻し）／ ▶▶ （早送り）スイッチについて

・ ショートカット＋コントロール画面（→ P.24）からも同様の操作ができます。

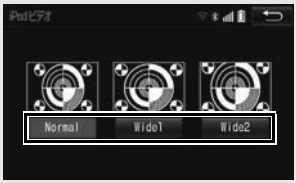
各種切替画面の操作

操作画面で、 各種切替 にタッチすると表示されます。 全画面 にタッチすると映像を全画面で表示します。



Wide

Normal ・ Wide1 ・ Wide2 のいずれかにタッチすると、画面モードが切り替わります。



- 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.229）をご覧ください。

画質調整

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整します。

- 画質の調整については「画面の調整・設定を変更する」（→ P.49）をご覧ください。

4. iPod の設定をする

iPod カバーアートを表示する

iPod カバーアート表示のする／しないを設定できます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オーディオ」 → iPod 設定 → カバーアート表示

2 する にタッチ。



(知 識)

- カバーアートは、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより表示できない場合があります。
- カバーアートの表示には時間がかかることがあり、その間操作はできません。
- JPEG 形式で保存されたカバーアートのみ表示できます。

iPod ビデオ音声入力の設定を変更する

iPod ビデオ再生時の音声入力を「VTR」または「USB」に変更することができます。映像を表示したいときは、設定を「VTR」にする必要があります。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オーディオ」 → iPod 設定 → ビデオ音声入力

2 USB または VTR にタッチ。



1. はじめに

Bluetooth オーディオについて

動作確認済の Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤー※（以下「ポータブル機」）を本機に接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。

本システムに接続するポータブル機が対応していなければならない仕様については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.345）をご覧ください。ただし、ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 携帯電話のオーディオプレーヤーを含む。Bluetooth オーディオ対応のアダプターについては、動作確認を実施していません。本機で動作確認済みの携帯電話の機種については、お買い上げの販売店または http://toyota.jp/ でご確認ください。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG,inc が所有する登録商標であり、富士通テン株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。

注意

- ポータブル機は車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- ポータブル機を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

知 識

- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。

各種表示について

電池残量表示について



表示	
残量	無　少　←→　多

知 識

- 接続した機器によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 電池残量表示はポータブル機の表示と一致しないことがあります。
- 外部電源が接続されているときは残量表示は [ ] で表示されます。
- Bluetooth 接続により、ポータブル機の電池が早く消耗します。

Bluetooth 接続状態表示について



表示	接続状態
 (青色)	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態でご使用ください。
 (青色)	この状態では再生時に音質が劣化することがあります。赤い斜線が表示されなくなるまで、ポータブル機を移動してご使用ください。
 (灰色)	Bluetooth 接続されていない状態を示しています。この状態では使用できませんので、再度、ポータブル機の選択をご確認ください。(→ P.337) ポータブル機の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。(→ P.47)

知 識

- Bluetooth 通信用のアンテナが本機内に内蔵されています。
  次のような場所や状態でポータブル機を使用すると、Bluetooth 接続状態表示が灰色になることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。
  - ポータブル機がディスプレイから隠れる場所にあるとき（シートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
  - ポータブル機が金属製のものに接したり、覆われているとき

  ポータブル機を使用するときは、青色の表示が出るように、ポータブル機の場所を移動させてください。

Bluetooth 機器使用上の注意事項について

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  （上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
  この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。
  変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
  想定与干渉距離は 10m 以下です。
  この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

(知 識)

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。
  シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

- Bluetooth 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。
  植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器およびそれ以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

ハンズフリーと同時に使用するとき

- Bluetooth オーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 対応機器（携帯電話）を使用するときは、次のようになります。
  - ポータブル機の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
  - ポータブル機の再生音声にノイズが発生することがあります。
  - ポータブル機の動作が遅くなることがあります。
- 再生中にハンズフリーで使用する通信機器の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。
- ハンズフリーの電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されることがあります。
  この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時に接続できない場合があります。

2. Bluetooth オーディオ再生中の操作

ポータブル機を接続したときに、接続した機器を再生することができます。
Bluetooth オーディオを使用するためには、まず本機にポータブル機を登録することが必要です。(→ P.47)



知 識

- 接続した機器によっては、アーティスト名、アルバム名、トラック名、電池残量などの表示やALBUM の ＜ ・ ＞ などのスイッチが表示されなかったり、アルバム名・トラック名からリストが表示できないことがあります。
- 接続した機器によっては、次のような場合があります。
  - 本機で操作できない。
  - 動作や音量が異なる。
  - 本機とポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
  - 再生を停止すると、接続が切断される。この場合、手動で接続してください。(→ P.335)
  - 音飛びするときは、Wi-Fi® 設定を OFF にすることで音飛びが解消される場合があります。(→ P.593)

＜（トラック名）

タッチすると、次のトラックに切り替わります。

＞（トラック名）

トラックの頭出しをします。連続してタッチすると、前のトラックに切り替わります。

トラック名

トラックリストを表示します。



← 再生したいトラックにタッチ

- ページを切り替えると、リストの先頭にある曲が再生されます。

＜ / ＞ （アルバム名）

アルバムが切り替わります。

アルバム名

アルバムリストを表示します。



- アルバム選択後、再生したいトラックにタッチすると、タッチしたトラックが再生されます。

接続

ポータブル機が Bluetooth 接続されてないときに接続します。（→ P.335）

RAND（ランダム）

タッチするたびに、アルバム内でランダム再生（RAND）→ 全アルバムからランダム再生（ALB.RAND）→ ランダム解除の順に切り替わります。

RPT（リピート）

タッチするたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→再生中のフォルダ／ アルバムをリピート再生（ALB.RPT）→ リピート解除の順に切り替わります。

次のページに続く

▶（再生）

一時停止しているときにタッチすると、再生します。

- 接続した機器によっては、再生中に ▶ にタッチすることで、一時停止する場合があります。

⏸（一時停止）

再生を一時停止します。

- 接続した機器によっては、一時停止時に ⏸ にタッチすることで、再生する場合があります。

◀◀／▶▶

接続した機器によっては、タッチし続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

知 識

● ＜ / ＞ （トラック名）、◀◀ / ▶▶ スイッチについて

・ ショートカット＋コントロール画面（→P.24）からも同様の操作ができます。

3. Bluetooth オーディオを設定する

ポータブル機を接続する

ポータブル機の本機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

(知 識)

- ポータブル機側の操作については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

自動で接続する

ACC ON 時の自動接続が「する」に設定されているとき（→ P.339）、パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたは ON モードにするたびに、本機は登録（選択）したポータブル機と自動的に Bluetooth 接続します。

- ポータブル機の接続確認表示が「する」に設定されているとき（→ P.339）、Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示させることができます。
  使用するときは、この表示をご確認ください。



- ポータブル機は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。

(知 識)

- Bluetooth 接続状態は、Bluetooth オーディオ操作画面でも確認できます。(→ P.330)
- 接続完了の表示は、パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたは ON モードにした後、初めて Bluetooth 接続完了したときに 1 回のみ表示されます。
- ポータブル機の機種によっては、次のような場合があります。
  - 自動接続しない。
    この場合、手動で接続してください。
    (→ P.335)
  - パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのときに表示部の照明がついたままになる。
    この場合、ポータブル機本体で照明を OFF に設定してください。
    (設定については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。)
  - 「外部からの接続」、「ポータブル機からの接続」などの切り替え設定がある場合があります。ポータブル機の設定をご確認ください。

■自動接続できなかった場合

自動接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。
(→ P.335)

手動で接続する

自動接続が失敗したときや ACC ON 時の自動接続を「しない」に設定しているとき（→ P.339）、Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中
(→ P.332)

1 ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にする。

2 接続 にタッチ。

3 接続したいポータブル機にタッチ。



● にタッチするとポータブル機の接続を開始します。

4 全接続 または ポータブル機の接続 にタッチ。

● Bluetooth 接続状態表示を確認します。良好な状態であれば使用できます。

知 識

● ポータブル機の状態によっては、一度で接続できないことがあります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

ポータブル機から接続するとき

ポータブル機側から Bluetooth 接続をするように設定しているとき（→ P.338）は、ポータブル機を操作して接続します。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.332）

1 ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にする。

2 接続 にタッチ。

3 接続したいポータブル機にタッチ。



● にタッチするとポータブル機の接続を開始します。

4 全接続 または ポータブル機の接続 にタッチ。

5 ポータブル機を操作して、接続する。



● ポータブル機側の接続操作は、必ずこの Bluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。

Bluetooth 接続の再接続について

パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。

- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→ P.335)
  ポータブル機の機種によっては、自動的に再接続しない場合があります。

■Bluetooth 接続が意図的に切断された場合

ポータブル機側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

- 再接続は次のいずれかの方法で行ってください。
  - 手動で接続する（→ P.335）
  - 改めてポータブル機を選択する（→ P.337）

使用するポータブル機を選択する

一番新しく登録したポータブル機が本機で使用する機器として選択されます。
複数のポータブル機を使用するときは、必要に応じて機器を選択します。

(知 識)

- ポータブル機は本機に最大 5 台まで登録することができますが、本機で使用できるのはポータブル機選択で選択された機器のみです。

1 Bluetooth オーディオ操作画面（→ P.332）→ 接続

または

MENU 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 ポータブル機を Bluetooth 接続可能状態にする。

3 使用するポータブル機にタッチ。



- にタッチするとポータブル機の接続を開始します。

4 全接続 または ポータブル機の接続 にタッチ。

- Bluetooth 接続中の機器がある場合は、確認のメッセージが表示されます。
  切断してよければ、はい にタッチします。

ポータブル機の詳細情報を表示する

本機に登録されているポータブル機に関する情報の表示と機器名称や、本機との接続方法を変更することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → （詳細情報を表示したいポータブル機）→ 機器詳細情報

2 各項目を確認／変更する。



- 機器詳細情報画面から次の項目の確認／変更ができます。

機器名称

本機に表示されるポータブル機の名称です。任意の名称に変更することができます。



- 文字入力画面で入力します。
- 本機で機器名称を変更しても、ポータブル機に登録されている機器名称は変更されません。

接続方法

ポータブル機と本機の接続を、本機側から接続する方法（車載機から）、またはポータブル機側から接続する方法（ポータブル機から）に切り替えることができます。

- 「車載機から」か「ポータブル機から」のどちらで接続すればいいかは、接続するポータブル機により異なります。接続方法についてはポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 接続方法を「ポータブル機から」に設定した場合、「自動接続」（→ P.339）を「する」にしていても自動接続は行いません。

機器アドレス

機器固有のアドレスで、変更することはできません。

スマートフォン連携

スマートフォンナビ連携を有効にする／しないを選択することができます。（→ P.203）

対応プロファイル

ポータブル機が対応しているプロファイルを表示しており、変更することはできません。

本機の Bluetooth 設定を変更する

Bluetooth 設定は、本機に関する Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → Bluetooth 詳細設定

2 各項目を確認／変更する。

- 初期設定の状態に戻すとき

  ➡ 初期状態 → はい の順にタッチ。



- Bluetooth 詳細設定画面から次の項目の確認／変更ができます。

ACC ON 時の自動接続

する にタッチすると、パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたは ON モードにするたびに、本機は登録（選択）したポータブル機と自動的に Bluetooth 接続します。

- 通常は自動接続「する」の状態で使用してください。

機器名称

Bluetooth ネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。



- 文字入力画面で入力します。
- 機器名称を変更した場合、ハンズフリーの Bluetooth 設定の機器名称も同時に変更されます。

PIN コード

ポータブル機を本機に登録する際のパスワードです。4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。



次のページに続く

機器アドレス

本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称や PIN コードを他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。

ポータブル機の接続確認表示

する にタッチすると、Bluetooth 接続されたとき、接続完了の表示を画面上部に表示することができます。

対応プロファイル

ポータブル機が対応しているプロファイルを表示しており、変更することはできません。

ポータブル機の接続を切る

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 接続を切るポータブル機にタッチ。



3 全切断 または ポータブル機の切断 にタッチ。

ポータブル機の登録を削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → 削除

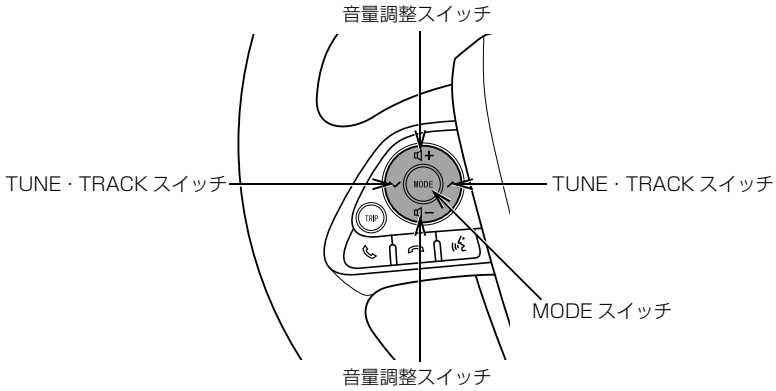
2 削除するポータブル機にタッチ。



3 はい にタッチ。

1. ステアリングスイッチで操作する

手元にあるステアリングスイッチで、各オーディオの操作をすることができます。



スイッチ	モード	機能
音量調整スイッチ －・＋	全モード	＋：音量が大きくなります。 －：音量が小さくなります。 • 1 秒以上押し続けると、連続して調整できます。
TUNE・TRACK スイッチ ∨・∧	ラジオ（AM・FM）	プリセットスイッチに登録されている周波数が順番に切り替わります。
		“ピッ” と音がするまで押すと、受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近い周波数を選択します。再度押すと、選択を停止します。
	デジタルテレビ	プリセットスイッチに登録されているチャンネルが順番に切り替わります。
	DVD プレーヤー SDREC Bluetooth オーディオ	ファイル・トラック・チャプターが切り替わります。
		“ピッ” と音がするまで押すと、フォルダ・アルバムが切り替わります。 • フォルダ・アルバムが作成されている場合のみ切り替わります。
	SD USB	ファイル・トラックが切り替わります。
		“ピッ” と音がするまで押すと、フォルダ・アルバムが切り替わります。（音楽再生時のみ） • フォルダ・アルバムが作成されている場合のみ切り替わります。
	iPod	ファイルが切り替わります。

次のページに続く

スイッチ	モード	機能
MODE MODE	全モード	押すと次の順番でオーディオソースが切り替わります。 「FM →（DVD プレーヤー）→（SDREC）→（SD）→デジタルテレビ→ Bluetooth オーディオ→（HDMI）→（USB/iPod）→（VTR）→ AM → FM」 ※ （ ）内のモードは、ディスクが挿入されていないなど再生することができないときは選択できません。 • オーディオソース選択画面のスイッチの配置を変更（→ P.221）すると、切り替わる順番も変わります。
	ラジオ（交通情報） デジタルテレビ VTR HDMI	1 秒以上押し続けると、消音します。再度、1 秒以上押し続けると、解除されます。
	DVD プレーヤー SDREC SD USB iPod Bluetooth オーディオ	1 秒以上押し続けると、再生を一時停止します。再度、1 秒以上押し続けると、解除されます。

⚠ 警告

● 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

知 識

● ∨・∧ スイッチについて
- 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数／チャンネルの受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。
- ディスクや接続している機器により、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

● 他のステアリングスイッチ機能について
- 音声操作システム（→ P.361）
- ハンズフリー（→ P.494）
- ヘルプネット（→ P.525）
- エージェント（→ P.569）

1. SD Photo を操作する

SD Photo とは、Audio SD に記録されている写真を本機で表示する機能です。

本機で使用できる SD メモリーカード、画像データについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／ データについて」（→ P.345）をご覧ください。

写真を見る

1 Audio SD を挿入（→ P.258）→ MENU ▶ 情報 → Photo

- Audio SD 再生時、 Photo にタッチすると、オーディオは OFF になります。（CD 録音再生中、または本機で録音した音楽再生時（→ P.265）は Photo にタッチできません。）

2 見たい写真にタッチ。



- Photo 操作画面が表示されます。表示された画像を操作することができます。（→ P.344）
- サムネイル上に見たい写真がないとき
  ➡ ＜ または ＞ にタッチ。
- リストから写真を選びたいとき
  ➡ リスト →見たいファイル名→見たい画像の順にタッチ。

知 識

- SD メモリーカードの状態（使用容量）により、 Photo にタッチできるようになるまで時間がかかる場合があります。

スライドショーを再生する

Photo サムネイル選択画面（→ P.343）

1 スライドショー にタッチ。

- スライドショーを解除するとき
  ➡ 画像にタッチ。

スライドショーの間隔を設定する

Photo サムネイル選択画面（→ P.343）

1 設定 にタッチ。

2 スライドショー間隔 にタッチし、早い（5 秒）・ やや早い（10 秒）・ 標準（15 秒）・ やや遅い（30 秒）・ 遅い（60 秒）のいずれかにタッチ。

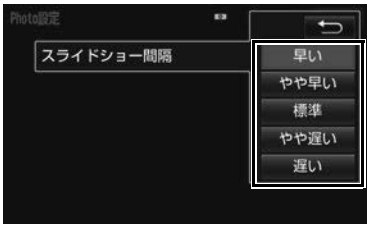


Photo 操作画面を操作する

全画面やスライドショーなどの表示ができます。



全画面

タッチすると、画面全体に写真が表示されます。

< / >

写真が切り替わります。

回転

タッチするごとに、右に 90° ずつ回転します。

詳細表示

タッチすると、表示している写真の情報が表示されます。



1. オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて

メディアについて

使用できるディスク、SD メモリーカードなどの仕様は、下記の通りです。

ディスクについて

次のマークが表示されているディスクが使用できます。

	市販ディスク	記録されたディスク
CD	音楽 CD	CD-R/RW
DVD	DVD ビデオ	DVD-R/RW/R DL
		DVD+R/RW/R DL

- DVD VIDEO is a trademark of DVD Format / Logo Licensing Corporation.
- ビデオモード（ビデオフォーマット）および VR モード（ビデオレコーディングフォーマット）で記憶された DVD±R/RW/R DL の再生に対応しています。また、CPRM 対応の DVD-R/RW/R DL の再生にも対応しています。
- コピーコントロール CD などの正式な CD 規格に準拠していない特殊ディスクには対応していません。
- CD-R/RW、DVD ± R/RW/R DL は、記録状態、記録方法やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。
- CD-R、CD-RW は通常の音楽 CD に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部の CD-R、CD-RW は再生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷をつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。
- 一部の CD-R、CD-RW は長時間の車内環境において劣化するものがあります。なお、CD-R、CD-RW は紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。
- 8cm ディスクには対応していません。

■DVD ビデオについて

- NTSC カラーテレビ方式に対応しています。NTSC 方式以外のカラーテレビ方式（PAL・SECAM）対応のディスクは再生することができません。
- ドルビーは 2ch 対応です。

SD メモリーカードについて

次の SD メモリーカードが使用できます。

使用できる SD メモリーカード	容量	SD スピードクラス
SD 	8MB ～ 2GB	Class 2 ～ 10 （Class 4 以上を推奨）
SDHC 	4GB ～ 32GB	

- SD Logo is a trademark of SD-3C,LLC.
  miniSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  microSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  SDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  miniSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  microSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
- FAT ファイルシステム（SD:FAT16/SDHC:FAT32）のみ対応しています。NTFS ファイルシステムには対応していません。
- 本機で音楽を録音する場合、上記容量の SD メモリーカードをご使用ください。上記以外の SD メモリーカードには録音できません。
- 転送速度が遅いなど SD スピードクラスによっては、画像の表示時間が異なったり、録音した音楽が音飛びすることがあります。
- miniSD カード、miniSDHC カード、microSD カード、microSDHC カードを使用する場合は、専用のアダプターをご使用ください。
- 地図 SD には録音できません。

■SD メモリーカードのフォーマットについて

SD メモリーカードをフォーマット（初期化）する場合は、本機の Audio SD 挿入口に SD メモリーカードを挿入し、SD メモリーカードの初期化を実施して下さい。（→ P.282）

知 識

- SD メモリーカードを初期化した場合、SD メモリーカード内のデータがすべて削除されます。

iPod について

本機は下記の iPod®、iPod nano®、iPod classic®、iPod touch®、iPhone® を使用することができます。

- iPod touch（5th generation）※
- iPod touch（4th generation）
- iPod touch（3rd generation）
- iPod touch（2nd generation）
- iPod touch（1st generation）
- iPod classic
- iPod with video
- iPod nano（7th generation）※
- iPod nano（6th generation）※
- iPod nano（5th generation）
- iPod nano（4th generation）
- iPod nano（3rd generation）
- iPod nano（2nd generation）
- iPod nano（1st generation）
- iPhone 5s※
- iPhone 5c※
- iPhone 5※
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

※ ビデオは再生できません。

知 識

- 使用できるモデルに該当していても、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより使用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- iPod のソフトウェアバージョンは、iPod 本体で確認することができます。詳しくは iPod の取扱説明書をご覧ください。
- iPod のソフトウェアは、アップル社の Web サイトからバージョンアップすることができます。

USB メモリについて

使用できる USB メモリのフォーマット、規格ならびに制限事項は次のとおりです。

ファイルフォーマット	FAT 16/32
通信クラス	Mass storage class

知 識

- 上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- 本機は市販の USB ハブやマルチカードリーダ、外付けのハードディスク、USB 端子付ポータブルオーディオプレーヤーには対応していません。
- USB メモリ以外（USB 扇風機や USB クリーナーなど）は接続しないでください。接続して使用すると、ノイズなどが発生する場合があります。

HDMI 機器について

使用できる HDMI 機器の映像および音声信号の規格は次のとおりです。

映像信号	525p（480p）55.94Hz ／ 60Hz
音声信号	種類：リニア PCM サンプリング周波数（kHz）：32、44.1、48

知 識

- 本機は、解像度 525p(480p) にのみ対応しています。それ以外の規格の HDMI 機器を接続すると、映像が表示されない場合やメッセージが表示される場合があります。
- HDMI CEC（Consumer Electronics Control）には、対応していません。

データの仕様について

使用できる音楽データの仕様は、次の通りです。

MP3/WMA/AAC について

MP3（MPEG Audio Layer3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA（Windows Media Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

AAC（Advanced Audio Coding）は MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機では、MPEG4 で作成された AAC ファイルを再生できます。

使用できる MP3/WMA/AAC ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA/AAC ファイルを書き込むときには次のことに注意してください。

Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

■MP3 ファイルの規格

対応規格	MP3（MPEG1 Layer3、MPEG2 LSF Layer3）
対応サンプリング周波数（kHz）	MPEG1 Layer3：32、44.1、48 MPEG2 LSF Layer3：16、22.05 、24
対応ビットレート（kbps）	MPEG1 Layer3：32 ～ 320 MPEG2 LSF Layer3：8 ～ 160 ※VBR（可変ビットレート：Variable Bit Rate）に対応しています。
対応チャンネルモード	ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル
ID3 タグ	ID3 Ver.1.0、1.1、2.2、2.3（文字数は各 Ver. に準拠）

■WMA ファイルの規格

対応規格	WMA Ver.7、8、9 （9.1、9.2） ※DRM ファイルには対応していません。
対応サンプリング周波数（kHz）	32、44.1、48
対応ビットレート（kbps）	Ver.7、8：CBR（Constant Bit Rate）48 ～ 192 Ver.9（9.1、9.2）：CBR（Constant Bit Rate）48 ～ 320 ※VBR（可変ビットレート：Variable Bit Rate）に対応しています。 ※2ch 再生のみに対応しています。

■AAC ファイルの規格

対応規格	MPEG4 AAC-LC、MPEG2/AAC-LC ※DRM ファイルには対応していません。
対応サンプリング周波数（kHz）	16、22.05、24、32、44.1、48
対応ビットレート（kbps）	16 ～ 320 ※VBR（可変ビットレート：Variable Bit Rate）に対応しています。
対応チャンネルモード	1ch、2ch ※デュアルチャンネルには対応していません。

■ディスク に記録する場合のフォーマット

ファイルフォーマット	ISO9660: LEVEL1、LEVEL2	拡張フォーマット：ROMEO 形式、JOLIET 形式	UDF2.01
最大フォルダ名（最大文字数）	LEVEL1: 半角 8 文字 LEVEL2: 半角 31 文字	半角 32 文字	半角 32 文字
最大ファイル名（最大文字数）	LEVEL1: 半角 8+3 文字 LEVEL2: 半角 31 文字	半角 32 文字	半角 32 文字
文字コード	英数字（ASCII コード）	ROMEO 形式：英数字（ASCII コード）日本語（S-JIS コード） JOLIET 形式：英数字（ASCII コード）日本語（unicode）	英数字（ASCII コード） 日本語（Unicode）
ディスクフォーマット	CD-ROM Mode1、CD-ROM Mode2、CD-ROM XA Mode2 Form1、DVD-ROM		
最大ディレクトリ階層	8 階層		
最大書き込みフォルダ数	256（ルート含む）		
最大書き込みファイル数	999		

■Audio SD/USB メモリに記録する場合のフォーマット

ファイルフォーマット	ISO9660: LEVEL1、LEVEL2	拡張フォーマット：ROMEO 形式、JOLIET 形式	UDF2.01
最大フォルダ名（最大文字数）	半角 256 文字		
最大ファイル名（最大文字数）	半角 256 文字（+ 拡張子含む）		
最大ディレクトリ階層	8 階層（Root 含む）		
最大フォルダ数	3000（Root 含む）		
最大ファイル数	9999 （1 フォルダにつき、最大 255 ファイル）		

■ファイル名について

MP3/WMA/AAC と認識し再生するファイルは MP3/WMA/AAC の拡張子 “.mp3” / “.wma” / “.m4a” がついたものだけです。MP3/WMA/AAC ファイルには、 “.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけて保存してください。

■ID3 タグ /WMA タグ /AAC タグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。

AAC ファイルには、AAC タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト、アルバム名を保存することができます。

■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMA/AAC ファイルを追記した CD-R および CD-RW の再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生します。

Audio SD ／ USB メモリから再生できる動画データについて

本機は、家庭用のレコーダーなどで Audio SD に録画した動画ファイルについては、SD-Video 規格 (ISDB-T Mobile Video Profile/H.264 Mobile Video Profile) に準拠した動画ファイルに対応しています。

ビデオカメラやパソコンなどで記録した動画ファイルについては、次のフォーマットに対応しています。

フォーマット	コーデック
AVCHD	• 動画コーデック：H.264/MPEG-4 AVC • オーディオコーデック：ドルビーデジタル（AC-3）方式
MPEG4 拡張子：.mp4/.m4v	• 動画コーデック：MPEG-4 Visual、H.264/MPEG-4 AVC • オーディオコーデック： AAC
AVI コンテナ 拡張子：.avi	• 動画コーデック：MPEG-4 Visual、H.264/MPEG-4 AVC、WMV9 • オーディオコーデック：AAC
Windows Media Video 拡張子：.wmv	• 動画コーデック：WMV9、WMV9 Advanced Profile • オーディオコーデック： WMA9.2(7、8、9.1、9.2)
MPEG2 拡張子：.mpg	• 動画コーデック：MPEG-2 Video • オーディオコーデック：MPEG-1 レイヤ 2、ドルビーデジタル (AC-3)

- 対応画像サイズは、最大 1920 X 1080 ピクセルです。
- 再生可能なファイルサイズの上限は 2GB です。
- 対応フレームレートは最大 60i ／ 30p です。
- 録画機器の種類や記録条件、使用する SD メモリーカードや USB メモリによっては、再生できない場合があります。
- AVCHD は Audio SD のみ対応しています。



“AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

画像データについて

スタートアップ画像や SD Photo に使用できる画像データは次のとおりです。

ファイル拡張子	.jpg、.jpeg
画像容量	10MB 以下
画像サイズ	横 5120 X 縦 3840
フォルダ名／ファイル名文字数（全角・半角）	最大 32 文字／ 32 文字
取り込み対象となる画像データ	最大 8 階層
最大読み込みフォルダ数	3000
最大読み込みファイル数	9999

Bluetooth について

使用できる Bluetooth の仕様およびプロファイルは次のとおりです。

対応 Bluetooth 仕様	Bluetooth Specification Ver.1.1 以上
	Ver.3.0+EDR を推奨
対応 Profile	• A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）：Ver.1.0 以上（Ver. 1.2 を推奨） • AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）：Ver.1.0、Ver.1.3（Ver.1.4 を推奨）

1. 故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

オーディオ共通

症状	考えられること	処置
音がでない。	音量が 0 になっている。	音量を上げてください。
	AUDIO OFF になっている。	AUDIO OFF を解除してください。
映像がでない。	パーキングブレーキを引いていない。	パーキングブレーキを引いてください。
	画面消しスイッチで画面を消している。	画面消しを解除してください。（→ P.51）
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスが適切でない。	音量バランスを調整してください。（→ P.221）
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスが適切でない。	音量バランスを調整してください。（→ P.221）
勝手に音量ボリューム値が下がる。	車両連動オートボリューム機能（ASL: Automatic Sound Levelizer）が動作しているため。	ASL を「OFF」に設定すると、音量ボリューム値は変化しません。（→ P.227）
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象です。	故障ではありません。 そのままご使用ください。

AM ／ FM

症状	考えられること	処置
受信感度が悪い。	移動により、受信状態が悪くなったため。	受信状態の安定した場所に移動してください。

ディスク（音楽 CD ／ MP3 ／ WMA ／ AAC）

症状	考えられること	処置
ディスクを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
	ファイルが対応していないため。	対応しているファイルをご確認ください。（→ P.349）
「DISC をお確かめください」というメッセージが表示される。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクにキズやそりがある。	キズやそりのないディスクに交換してください。
	ディスクの裏表を逆にして挿入している。	ディスクのラベル面を上にして挿入してください。
	本機で再生できないディスクを挿入している。	再生できるディスクをご確認ください。（→ P.345）

テレビ

症状	考えられること	処置
画面が止まっている。	受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
画面がガクガクして映る、コマ落ちしている。		
画面に正方形のノイズが映る。		
地上デジタル放送の受信が悪い。	地デジ・ワンセグ受信設定が「地デジ」に設定させているため。	地デジ・ワンセグ受信設定を「ワンセグ自動切替」に設定してください。（→ P.294）

次のページに続く

症状	考えられること	処置
受信できない。「受信できません」というメッセージが表示される。	チャンネルスキャンをしていないため。	チャンネルスキャンをしてください。(→ P.299)
	放送局（チャンネル）が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わったため。	
	移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなったため。	放送局サーチの設定を「系列局＋中継局」または「中継局」に設定すると、自動で系列局や中継局を探して受信することができます。(→ P.294)
	受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
突然、放送番組が変わった。	電波状態が変化し、地デジチューナーが　地上デジタル放送⇔ワンセグ放送　と切り替わった際、地上デジタル放送とワンセグ放送の放送内容が異なっている（非サイマル放送）場合は、放送番組が変わったように見えます。	地上デジタル放送とワンセグ放送で、放送番組内容が変わる場合があります。故障ではありません。

iPod

症状	考えられること	処置
iPod ビデオ画像が乱れる。	iPod との接続が不十分なため。	iPod との接続をご確認ください。
iPod ビデオ音声しか出ない。(黒画)		

Audio SD

症状	考えられること	処置
MP3/WMA/AAC ファイルを再生できない。	ファイルが対応していないため。	対応しているファイルをご確認ください。(→ P.349)
パソコンで作成した Audio SD の曲を認識しない。	ファイルが対応していないため。	対応しているファイルをご確認ください。(→ P.349)
Audio SD に入れた動画が再生できない。	ファイルが対応していないため。	対応しているファイルをご確認ください。(→ P.352)

症状	考えられること	処置
Audio SD に録音した曲が音飛びする。	CD の中にはライブ盤のように途切れることなく次の曲が再生されるものがあります。これを SD に録音再生した時は自動的に曲間に無音部を設けて再生しますので、音飛びしているように感じることもあります。	-
CD 録音時、**録音開始** がトーンダウンして Audio SD に録音できない。	録音済みの CD が挿入されているため。	録音していない CD で録音を開始してください。
	対応していない SD メモリーカードを使用したため。	対応している SD メモリーカードをご確認ください。 (→ P.346)
Audio SD に記録している画像データの読み込みができない。	対応していない SD メモリーカードや画像データを使用しているため。	対応している SD メモリーカードや画像データをご確認ください。 (→ P346、P.353)

4

音声操作システム☆

1 音声操作システムを使う前に

1. はじめに.....360
音声操作システムについて.....360

2. 各部の名称.....361
音声認識用マイク.....361
音声認識スイッチ.....361
音声操作画面について.....361

2 基本操作について

1. 基本操作を覚える.....362
メニュー画面の種類について.....362
音声認識モードを開始する.....363
音声認識モードを中止する.....364

3 代表的な音声操作

1. 音声操作の使用例.....365
使用例の見方.....365
自宅を目的地に設定する.....365
色々な方法で目的地を設定する.....366
その他の方法で検索する.....368
My リクエストを使う.....371
サウンドライブラリの楽曲を検索する.....372
メモリ地点を使う.....373
電話をかける.....374

4 音声認識コマンド一覧

1. 音声認識コマンド一覧.....376
音声認識コマンド一覧について.....376
音声認識コマンド一覧.....376

5 知っておいていただきたいこと

1. 故障とお考えになる前に.....379

販売店装着オプションの音声操作システム（音声認識用マイク＆スイッチ）を取り付けたときに使用することができます。

1. はじめに

音声操作システムについて

販売店装着オプションの音声操作システム（音声認識用マイク＆スイッチ）を使用することにより、音声認識コマンドを発声して、ナビゲーションやオーディオなどの操作を行うことができます。

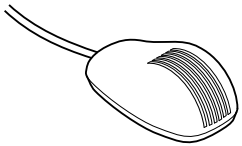
- 音声操作システムは、正しく発声しないと認識されないことがありますので、以下の点にご留意の上、ご使用ください。
  - ・音声操作を開始するときは、必ず音声認識スイッチを短く押してください。
  - ・“ピッ”という音の後にお話しください。“ピッ”という音の前または同時に発声した場合は、正しく認識されません。
  - ・ハッキリと発声してください。
  - ・声色によっては、認識されづらいこともあります。
  - ・騒音（風切り音・外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、発声するときは、できるだけ窓を閉めておいてください。また、エアコン送風の音が大きいときも、正しく認識されないことがあります。
  - ・方言や言い方の違いには対応していません。必ず指定された読みで発声してください。
  - ・地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず正式名称の読みで発声してください。

※ エージェント機能については、エージェント（→ P.568）を参照してください。

2. 各部の名称

音声認識用マイク

音声認識コマンドを発声するときに使用します。



音声認識スイッチ

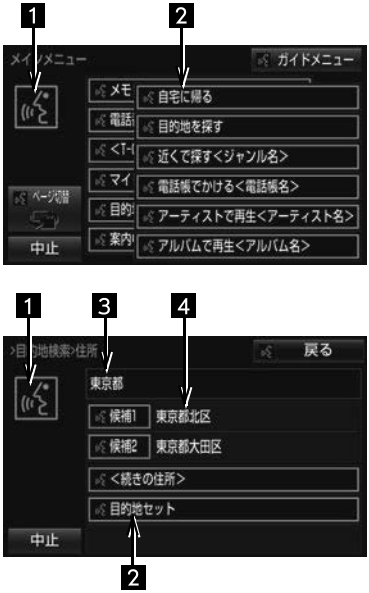
スイッチを操作することにより、音声認識モードの開始／中止ができます。



知 識

- T-Connect を使用した場合、音声認識スイッチを長押しすると、エージェント画面（→ P.572）が表示されます。
- ステアリングスイッチのトークスイッチでも同様に操作できます。（トークスイッチ装着車のみ）

音声操作画面について



番号	名称	内容
1	認識中アイコン	音声認識中になると点灯する。
2	コマンドリスト	発声可能なコマンドが、認識中アイコンと同じ色で表示される。
3	認識結果	認識結果が表示される。
4	候補	認識結果に他の候補がある場合に表示される。

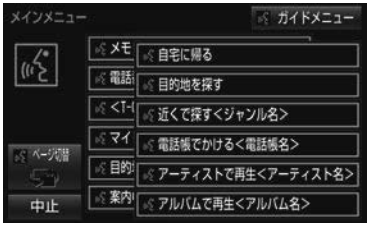
1. 基本操作を覚える

メニュー画面の種類について

メニュー画面には、メインメニュー画面とガイドメニュー画面があります。

メインメニュー画面について

音声認識スイッチを押すと最初に表示される画面です。よく使われるコマンドが表示されます。ここに表示されないコマンドは、ガイドメニューから操作してください。



- コマンドの表示を切り替えたいとき
  ➡「ページ切替」と発声する、または **ページ切替** にタッチ。
- ガイドメニュー画面を表示したいとき
  ➡「ガイドメニュー」と発声する、または **ガイドメニュー** にタッチ。

(知 識)

- 表示が隠れているコマンドを発声しても認識されます。ページを切り替える必要はありません。
- T-Connect のデータ受信ができないなど、使用できないコマンドは表示されないことがあります。

ガイドメニュー画面について

希望のコマンドがメインメニュー画面にない場合、ガイドメニュー画面に表示されたコマンドから操作してください。操作できるコマンドは、音声認識コマンド一覧（→ P.376）にあるコマンドです。



(知 識)

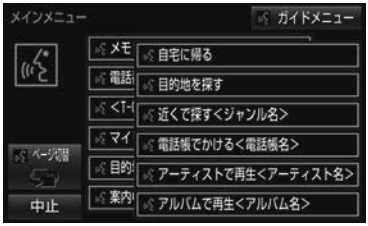
- T-Connect のデータ受信ができないなど、使用できないコマンドは表示されないことがあります。

音声認識モードを開始する

基本的な操作の流れを見ながら、音声操作を開始する方法と、音声認識モード中の基本操作を覚えましょう。

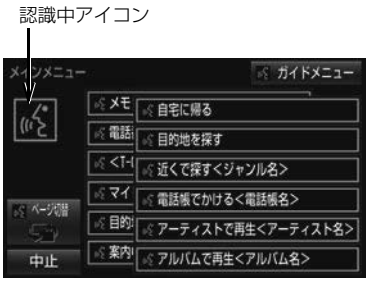
1 音声認識スイッチを押し、すぐにスイッチから指を離す。

- 音声操作画面に切り替わり、「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」という音声ガイドのあと、<ピッ>と音がします。



2 認識中アイコンが点灯したら、希望のコマンドを発声する。

- <ピッ>と音がしてから5～6秒以内に発声してください。



- コマンドが認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。

(知 識)

- 音声認識スイッチを押した後の音声ガイドは、記載と異なる音声ガイドが出力されることがあります。
- コマンドの< XXXX >は、システムに登録されている施設名称や、ユーザで登録した電話帳名称などを任意に発声できます。(→P.375)
  例)「電話帳でかける　自宅」「近くで探すコンビニ」
  ・< XXXX >を発声することで、操作手順が短縮されます。
  ・< XXXX >を省略しても認識されます。

認識結果が違うとき

表示された画面により、次の操作をします。

- 発声したコマンドと異なる認識結果のとき
  ➡「いいえ」と発声し、「音声認識モードを開始する」(→P.363) 手順 **2** へ。
- 候補に希望の結果が表示されているとき
  ➡「候補 1」または「候補 2」と発声する。
- 候補に希望の結果が表示されていないとき、候補が表示されないとき
  ➡「戻る」と発声する、または 戻る にタッチし、「音声認識モードを開始する」(→P.363) 手順 **2** へ。
  ➡ 戻るスイッチを押し、「音声認識モードを開始する」(→P.363) 手順 **2** へ。

連続して音声操作をする

目的地検索など、連続して音声操作をする場合があります。(→ P.366)

音声操作を再開する

次のような場合は、音声認識モードを中断します。

- コマンドを2回連続で認識できなかったとき。

この場合、音声認識スイッチを押すと再開できます。

ヘルプ機能を使用する

音声ガイドによる詳しい操作方法を聞くことができます。

- コマンドの読み方や発声例を知りたいとき。
  ➡「ヘルプ」と発声する。

音声ガイドを省略する

音声ガイド出力時に音声認識スイッチを押すと、音声ガイドが途中でも次の動作に移ることができます。

音声認識モードを中止する

次のいずれかの操作をします。

- 音声認識スイッチを押し続ける。
- 中止 にタッチ。

1. 音声操作の使用例

使用例の見方

ここでは、音声操作の具体的な使い方を説明します。
例にしたがって、同じように操作してみてください。
ここで紹介するのは、主にメインメニュー画面から連続して音声操作をする場合の例です。

● 文中の表記は次のようになっています。

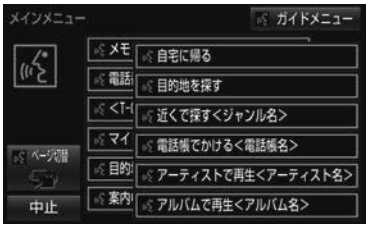
(○○○) : スイッチの操作
「○○○」: 本機から出力される音声ガイド
＜○○○＞ : 本機から出力される操作音
「○○○」: 発声するコマンド

● 説明にないコマンドの使い方は、「音声認識コマンド一覧」(→ P.376) をご覧ください。

自宅を目的地に設定する

自宅を目的地に設定して、ルートを探索してみましょう。

お客様：(音声認識スイッチを押す)
本機： 「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「自宅に帰る」



本機： 「自宅に帰る」
本機： 「よろしければ、はいとお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「はい」
本機： 「はい」

● 以上で、自宅を目的地に設定して、ルートが探索されます。

(知 識)

● 自宅が登録されていない場合は、使用することができません。自宅を登録してから使用してください。(→ P.40)

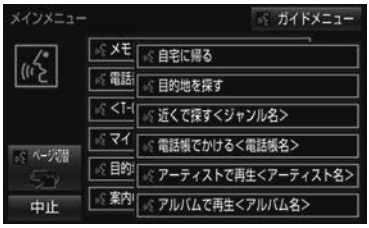
色々な方法で目的地を設定する

目的地を設定するときは、色々な検索方法を使うことができます。
ここでは代表して、「住所で探す」から設定する場合を説明します。

● 検索できる住所は、画面操作の住所検索（→ P.99）から検索できる住所です。

例）「東京都文京区後楽一丁目 1ー 2」を目的地に設定します。

お客様：（音声認識スイッチを押す）
本機：「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「目的地を探す」



本機：「目的地を探す」
本機：「検索方法をお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「住所で探す」
本機：「住所で探す」
本機：「住所を都道府県からお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「東京都」
本機：「東京都」
本機：「続きの住所をお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「文京区」
本機：「文京区」
本機：「続きの住所をお話しください」
＜ピッ＞

お客様：「後楽」
本機：　「後楽」
本機：　「続きの住所をお話しください」
　　＜ピッ＞
お客様：「一丁目」
本機：　「一丁目」
本機：　「続きの住所をお話しください」
　　＜ピッ＞
お客様：「1－2」
本機：　「1－2」
本機：　「よろしければ、目的地セットとお話しください」
　　＜ピッ＞
お客様：「目的地セット」
本機：　「目的地セット」
本機：　「よろしければ、はいとお話しください」
　　＜ピッ＞
お客様：「はい」
本機：　「はい」

● 以上で、この住所を目的地に設定して、ルートが探索されます。

複数の候補が表示されたとき

● 番地を発声した後、「よろしければ、目的地セットとお話しください」「＜ピッ＞」と出力されます。選択したい候補の番号、または「目的地セット」と発声してください。

知 識

● コマンドを発声するときは、次の点に注意して発声してください。
　・ 住所は、すべての地名を一度に発声しても、途中で区切って発声してもかまいません。
　・ 郡・大字・字・番地・号は省略して発声してください。
　・「－」は「の」または「はいふん」と発声してください。

コマンドを言いなおす

直前に発声した内容によって言いなおす範囲が異なります。

例）住所検索で、東京都文京区を検索したとき

● 都道府県名と市区町村名を一度に発声した場合
　➡「東京都文京区」と都道府県名から言いなおす。
● 都道府県名と市区町村名を分けて発声し、直前に発声したのが市区町村名の場合
　➡「文京区」と市区町村名のみ言いなおす。

目的地設定について

設定した件数や場所により、設定する条件が異なります。

(知 識)

- 音声操作・スイッチのどちらでも操作できます。

■すでに目的地が設定されているとき

- 設定している目的地の数が 4 件以下であれば、検索結果は一番手前の目的地として追加されます。
- 目的地を 5 件以上設定しているときに、目的地削除の案内に「はい」と発声すると、既に設定している目的地はすべて削除され、新規に目的地が設定されます。

■高速道路などの付近を目的地に設定したとき

はい : 高速道路などを目的地に設定する
いいえ : 他の道路を目的地に設定する

その他の方法で検索する

「住所で探す」から目的地を設定するほかに、以下の方法があります。ここでは、それぞれの検索方法を使用するときの注意点を説明します。

検索方法 コマンド	機能
施設名で探す 「施設で探す」	施設名から目的地を検索する（→ P.369）
電話番号で探す 「電話番号で探す」	電話番号から目的地を検索する（→ P.370）
メモリ地点で探す 「メモリ地点で探す」	メモリ地点から目的地を検索する（→ P.373）
最寄の施設で探す 「近くで探す」	最寄の施設から目的地を検索する（→ P.370）

施設名で探す

- 検索できる施設は、画面操作の施設検索（→ P.100）から検索できる施設です。
- 原則として「都道府県名＋施設名」を発声します。
  - ・都道府県名と施設名は、都道府県名・施設名の順に続けて発声しても、都道府県名だけ発声して、次の音声ガイドの後に施設名を発声するというように分けて発声してもかまいません。
- 次の施設は、都道府県名が分からないとき、他の名称で指定することもできます。

▶販売店、レンタリース、ジェームス※

系列名＋店名

例）トヨタ＋△△店

※ ジェームスの場合、系列名は「ジェームス」になります。

▶駅

鉄道会社名＋路線名＋駅名

例）JR　東海道新幹線　東京駅

▶高速 IC・SA・PA、有料 IC

道路名＋施設名

例）東名高速道路　東京インター

(知 識)

- 現在地の都道府県の施設を認識させるときは、都道府県名を発声する必要はありません。また、立体ランドマークが表示される施設を認識させるときも、都道府県名を発声する必要はありません。
- 都道府県名・政令指定都市名で開始される施設名は、施設名のみで認識されます。また、施設名の最初の名称と実際に存在する都道府県（政令指定都市）名が一致しなくても、認識されます。
  例)千葉県にある東京ディズニーランドは、「東京ディズニーランド」と発声すれば認識され、“千葉県”を発声する必要はありません。
- 音声操作で検索できる施設は、次の操作で表示することができる施設になります。
  - ・ナビ詳細設定画面（地図表示設定）の立体ランドマーク表示（→ P.148）
  - ・「施設で地図を検索する」（→ P.100）
- 発声する施設名は、上記方法で表示される施設名をそのまま発声してください。

電話番号で探す

数字は一度にすべて発声しても、分けて発声してもかまいません。
発声するときは、以下の例を参照の上、局番単位の区切る位置に注意して発声してください。

- 例)「03 − 1234 − 5678」を発声する場合
  - ・一度にすべて発声するとき
    「ゼロ、サン、イチ、ニ、サン、ヨン、ゴ、ロク、ナナ、ハチ」
  - ・分けて発声するとき
    「ゼロ、サン」＋「イチ、ニ、サン、ヨン」＋「ゴ、ロク、ナナ、ハチ」
- 市内局番については、桁読みで発声することができます。
  - ・例)「03 − 1234 − 5678」の市内局番を桁読みで発声する場合
    「センニヒャクサンジュウヨン」

(知 識)

- 「−」は「の」または「はいふん」と発声しても、省略してもかまいません。

最寄の施設を目的地に設定する

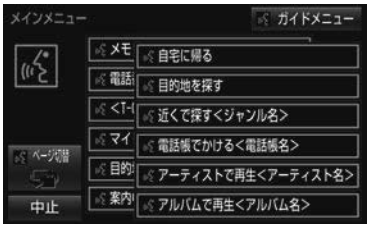
さまざまなジャンルから検索した施設を目的地に設定できます。

- ジャンルを選択するときは、「ジャンル名」を発声します。

例）最寄の「コンビニエンスストア」を目的地に設定します。

- ここでは「近くで探す」と「<ジャンル名>」を発声する場合で説明します。

お客様：(音声認識スイッチを押す)
本機：「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」
<ピッ>
お客様：「近くで探す」



本機：「近くで探す」
本機：「ジャンル名をお話しください」
<ピッ>
お客様：「コンビニ」
本機：「コンビニエンスストア」
本機：「施設の番号を選択してお話しください」、「またはルート沿いで探すとお話しください」
<ピッ>
お客様：「2」
本機：「2」
本機：「よろしければ、はいとお話しください」
<ピッ>
お客様：「はい」
本機：「はい」

- 以上で、最寄のコンビニエンスストアを目的地に設定して、ルートが探索されます。

■「近くで探す」と「<ジャンル名>」を続けて発声する

- 「近くで探す “○○○<ジャンル名>”」と発声すると、簡単に検索を始めることができます。
  例)「近くで探す　コンビニ」

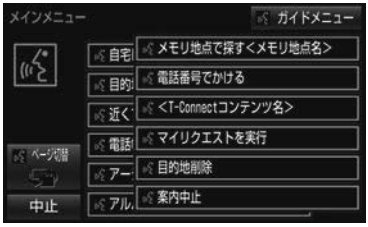
My リクエストを使う

My リクエストに登録されているコンテンツをリクエストできます。

● コンテンツを選択するときは、「コンテンツ名」を発声します。

例)「道路交通情報：一般道」をリクエストします。

お客様：(音声認識スイッチを押す)
本機：「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」
<ピッ>
お客様：「マイリクエストを実行」



本機：「マイリクエストを実行」
本機：「表示されているコンテンツ名をお話しください」
<ピッ>
お客様：「道路交通情報一般道」
本機：「交通情報一般」

(知 識)

● 表示が隠れているコマンドを発声しても認識されます。ページを切り替える必要はありません。

他のページのコンテンツをリクエストする

他のページに登録してあるコンテンツをリクエストしたいときは、次の操作を行います。

1 ▲▲ または ▼▼ にタッチ。

2 音声認識スイッチを押し、「コンテンツ名」を発声する。

サウンドライブラリの楽曲を検索する

サウンドライブラリ内の楽曲を、音声認識で検索して再生できます。

- アーティスト名とアルバム名は、サウンドライブラリ画面で表示される読みを発声します。
  - ・アーティスト名：アーティスト読み
  - ・アルバム名：アルバム読み

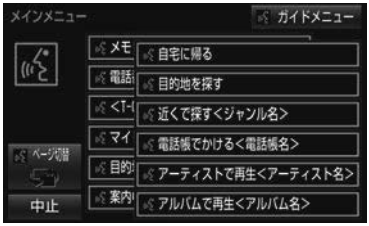
例） ○○○（アーティスト名）の曲を再生します。

ここでは「アーティストで再生」と「<アーティスト名>」を発声する場合で説明します。

お客様：（音声認識スイッチを押す）

本機： 「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」
<ピッ>

お客様：「アーティストで再生」



本機： 「アーティストで再生」

本機： 「アーティスト名をお話しください」<ピッ>

お客様：「○○○<アーティスト名>」

本機： 「○○○<アーティスト名>」

本機： 「よろしければ、はいとお話しください」
<ピッ>

お客様：「はい」

本機： 「はい」

以上で、選択したアーティストの曲が再生されます。

「アーティストで再生」と「<アーティスト名>」を続けて発声する

- 「アーティストで再生 “○○○<アーティスト名>”」と発声すると、簡単に再生できます。

複数の候補が表示されたとき

- アーティスト名を発声した後、「再生、とお話しください」と出力されます。「候補1」、「候補 2」、または「再生」と発声してください。

(知 識)

- アーティスト読み（アーティスト名）、アルバム読み（アルバム名）が付与されなかったり、表示用のアーティスト、アルバムの名称と読みが異なることがあります。
  この場合、サウンドライブラリ画面で表示されるアーティスト名、アルバム名を発声しても読みが異なるため、音声操作で楽曲の検索ができません。
  サウンドライブラリ画面で、それぞれの読みをご確認ください。
- サウンドライブラリ画面を確認し、ご希望のアーティスト読み（アーティスト名）、アルバム読み（アルバム名）でない場合は、次のいずれかの操作をしてください。
  - ・「タイトル情報を再取得する」（→ P.279）の操作で、再度、該当する情報を付与し、情報が更新されないか確認する。
  - ・「アルバムタイトル、アルバム読みを変更する」（→ P.277）、「アーティスト読みを変更する」（→ P.278）の操作で、希望の読みに変更する。
- 認識対象となるアーティスト名、またはアルバム名が 1500 件を超えると、音声操作で楽曲の検索ができません。SDREC 操作画面から操作してください。（→ P.265）
- 楽曲の検索ができない場合、「曲を探す」と表示されます。

メモリ地点を使う

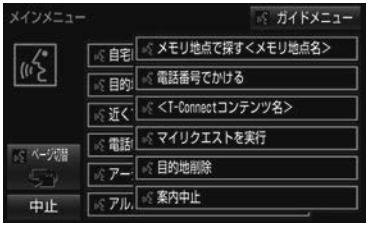
メモリ地点に登録した施設を目的地に設定できます。（→ P.136）

- メモリ地点を指定するときは、「メモリ地点名」を発声します。

例） ○○○（メモリ地点名）を目的地に設定します。

ここでは「メモリ地点で探す」と「<メモリ地点名>」を発声する場合で説明します。

お客様：（音声認識スイッチを押す）
本機： 「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」
<ピッ>
お客様：「メモリ地点で探す」



本機： 「メモリ地点で探す」
本機： 「選択したいメモリ地点登録名称をお話しください」<ピッ>
お客様：「○○○<メモリ地点名>」
本機： 「○○○<メモリ地点名>」
本機： 「よろしければ、はいとお話しください」
<ピッ>
お客様：「はい」
本機： 「はい」

以上で、メモリ地点を目的地に設定し、ルートが検索されます。

「メモリ地点で探す」と「<メモリ地点名>」を続けて発声する

●「メモリ地点で探す “○○○<メモリ地点名>”」と発声すると、簡単に検索を始めることができます。

複数の候補が表示されたとき

● メモリ地点名を発声した後、「よろしければ、目的地セットとお話しください」「<ピッ>」と出力されます。選択したい候補の番号、または「目的地セット」と発声してください。

(知 識)

● メモリ地点の名称読みを登録すると、音声操作で認識させることができます。(→P.141)
● 表示が隠れているコマンドを発声しても認識されます。ページを切り替える必要はありません。

電話をかける

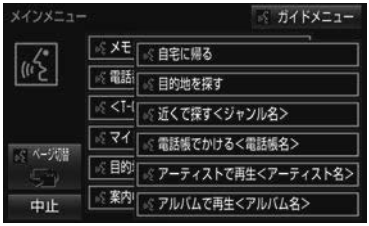
電話帳に登録した名称や電話番号を発声して、電話をかけることができます。

電話番号でかける

● 電話番号を発声するときの注意点については、「電話番号で探す」(→P.370)と同様です。

例)「03ー 1234ー 5678」に電話をかけます。

お客様:(音声認識スイッチを押す)
本機: 「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」
<ピッ>
お客様:「電話番号でかける」



本機: 「電話番号でかける」
本機: 「電話番号を市外局番からお話しください」
<ピッ>
お客様:「03 − 1234 − 5678」
本機: 「03 − 1234 − 5678」
本機: 「続きの番号、または発信とお話しください」
<ピッ>
お客様:「発信」
本機: 「発信」

(知 識)

● 表示が隠れているコマンドを発声しても認識されます。ページを切り替える必要はありません。

電話帳でかける

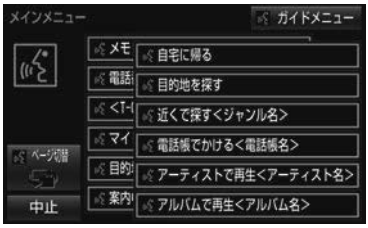
● 発信できる電話番号は、電話帳（→ P.480）に登録してある電話番号です。

例） ○○○（電話帳名）に電話をかけます。

お客様：（音声認識スイッチを押す）

本機： 「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」
＜ピッ＞

お客様：「電話帳でかける」



本機： 「電話帳でかける」

本機： 「電話帳に登録されている名称をお話しください」
＜ピッ＞

お客様：「○○○＜電話帳名＞」

本機： 「○○○＜電話帳名＞」

本機： 「発信とお話しください」
＜ピッ＞

お客様：「発信」

本機： 「発信」

以上で、選択した電話帳名の電話番号に発信します。

「電話帳でかける」と「＜電話帳名＞」を続けて発声する

●「電話帳でかける “○○○＜電話帳名＞”」と発声すると、簡単に発信できます。

複数の候補が表示されたとき

● 電話帳名を発声した後、「よろしければ、はいとお話しください」と出力されます。発信したい候補の番号、または「はい」と発声してください。

知識

● 音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。

● データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

1. 音声認識コマンド一覧

音声認識コマンド一覧について

音声認識モードで表示されるコマンドについて、発声する認識語とそのときの動作をまとめています。

●「音声認識モードを開始する」（→ P.363）の手順で、コマンドを発声します。

知 識

- 表ではすべてのコマンドを紹介しています。
- 次のようなコマンドは、コマンドリストに表示されない場合があります。
  - ・ 車両に装着されていない機器のコマンド
  - ・ 現在利用できないコマンド

  例）メモリ地点で探すコマンドは、メモリ地点の名称読みを登録していないと表示されません。
- メインメニュー画面に表示されないコマンドを認識させるには、まずガイドメニュー画面の表示コマンドを発声し、希望のコマンドを表示させてください。

音声認識コマンド一覧

メインメニュー画面の表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する
目的地を探す	もくてきちをさがす	ルート検索コマンドを表示する
近くで探す＋（ジャンル名）	ちかくでさがす 例）「近くで探す　コンビニ」「近くの　コンビニ」	希望の（ジャンル名）のうち、より近いところを探す
電話帳でかける＋（電話帳名）	でんわちょうでかける 例）「電話帳でかける XXX※1」「電話帳 XXX※1」	（電話帳名）の電話をかける
アーティストで再生＋（アーティスト名）※2	あーてぃすとでさいせい 例）「アーティストで再生　XXX※3」「アーティスト　XXX※3」	（アーティスト名）から音楽を再生する
アルバムで再生＋（アルバム名）※4	あるばむでさいせい 例）「アルバムで再生 XXX※3」「アルバム XXX※3」	（アルバム名）から音楽を再生する

コマンド名称	認識語	動作
メモリ地点で探す＋（メモリ地点名）	めもりちてんでさがす 例）「メモリ地点で探すXXX※5」「メモリ地点XXX※5」	（メモリ地点名）へのルートを表示する
電話番号でかける	でんわばんごうでかける	電話番号から電話をかける
（T-Connect コンテンツ名）※6	例）「オペレータサービス※7」など	T-Connect サービスの（コンテンツ名）を実行する
マイリクエストを実行	まいりくえすとをじっこう	マイリクエストを実行する
（次の／最終／全ての）目的地削除	もくてきちさくじょ 例）「次の目的地削除」「最終目的地削除」「全ての目的地削除」	設定した目的地を削除する
案内中止※8	あんないちゅうし	ルート案内を中止する
案内再開※9	あんないさいかい	中止したルート案内を再開する

※1 任意の電話帳名を発声してください。
※2 アーティスト読み（→ P.278）を設定していない場合は「曲を探す」と表示されます。
※3 任意のアーティスト名、またはアルバム名を発声してください。
※4 アルバム読み（→ P.277）を設定していない場合は「曲を探す」と表示されます。
※5 登録したメモリ地点名称を発声してください。（→ P.136）
※6 T-Connect（→ P.502）通信を行っていない場合は「T-Connect を実行」と表示されます。
※7 トヨタスマートセンターから設定されたコンテンツを利用できます。
※8 ルート案内中のみ操作できます。
※9 ルート案内中止したときのみ操作できます。

ガイドメニュー画面の表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する
目的地を探す	もくてきちをさがす	ルート検索コマンドを表示する
曲を探す	きょくをさがす	オーディオ操作コマンドを表示する
電話をかける	でんわをかける	通話コマンドを表示する
T-Connect を使う	てぃーこねくとをつかう	T-Connect コマンドを表示する

▶ルート検索コマンド

コマンド名称	認識語	動作
住所で探す	じゅうしょでさがす	住所から目的地を設定し、ルートを表示する
電話番号で探す	でんわばんごうでさがす	電話番号から目的地を設定し、ルートを表示する
施設で探す	しせつでさがす	施設名から目的地を設定し、ルートを表示する
近くで探す	ちかくでさがす	近くの施設を目的地に設定し、ルートを表示する
メモリ地点で探す	めもりちてんでさがす	登録したメモリ地点を目的地に設定し、ルートを表示する

▶オーディオ操作コマンド

コマンド名称	認識語	動作
アルバムで再生	あるばむでさいせい	アルバム名から音楽を再生する
アーティストで再生	あーてぃすとでさいせい	アーティスト名から音楽を再生する

▶通話コマンド

コマンド名称	認識語	動作
電話帳でかける	でんわちょうでかける	電話帳から電話をかける
電話番号でかける	でんわばんごうでかける	電話番号から電話をかける

▶T-Connect コマンド

コマンド名称	認識語	動作
T-Connect を実行	てぃーこねくとをじっこう	T-Connect サービスのコンテンツを実行する ※1
マイリクエストを実行	まいりくえすとをじっこう	マイリクエストを実行する

※1 トヨタスマートセンターから設定されたコンテンツを利用できます。

1. 故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
音声操作による電話発信ができない	電話帳の名称読みが入力されていない。	電話帳の名称読みを入力してください。（→ P.484）

5

情報

1 情報について

1. 情報画面について 382
情報画面を表示する.....382
スイッチの配置を変更する 383

2. 交通ナビ関連情報について.....384
交通ナビ関連情報を表示する 384

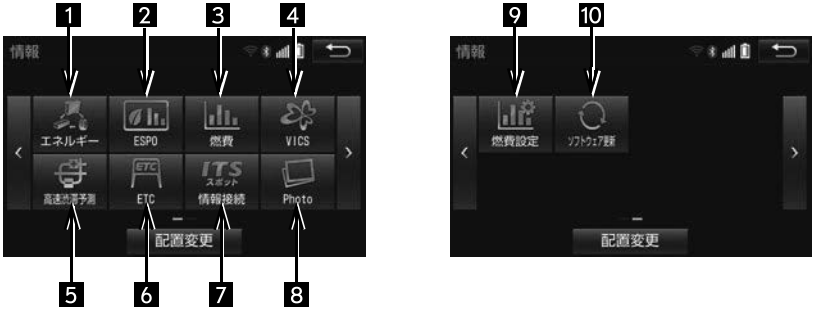
3. ソフトウェア更新について.....385
CD-R または Audio SD を使って更新する 386
本機の通信機能（DCM または Bluetooth 携帯電話）を使って更新する 387
ソフトウェア更新の設定を変更する...389

1. 情報画面について

情報画面を表示する

1 MENU を押す。

2 情報 にタッチ。



- 装備の違いにより、実際の画面と異なることがあります。
- 情報画面から次の操作を行うことができます。

番号	スイッチ	機能	ページ
1	エネルギー	エネルギーモニター画面の表示	170
2	ESPO	ESPO 画面の表示	171
3	燃費	燃費情報画面の表示	166
4	VICS	VICS 図形情報、文字情報の表示	187
		割込情報（VICS/ITS スポット）の表示 ※3	188
5	高速渋滞予測 ※1	渋滞予測情報の表示	564
6	ETC※2	ETC 画面の表示	438
7	情報接続 ※3	ITS スポットを利用したインターネット情報の表示	445
8	Photo	SD Photo 画面の表示	343
9	燃費設定	燃費設定画面の表示	167
10	ソフトウェア更新	ソフトウェア更新画面の表示	385

※1 T-Connect サービスを利用されているときに操作することができます。

※2 販売店装着オプションのナビ連動 ETC システムを取り付けたときのみ表示されます。ETC システムを取り付けていないときは、表示順序が繰り上がって表示されます。

※3 販売店装着オプションの ITS スポット対応 DSRC ユニットを装着したときに操作することができます。

スイッチの配置を変更する

1 MENU ▶ 情報 → 配置変更

2 移動したいスイッチにタッチ。



3 移動先のスイッチにタッチ。

4 にタッチ。

2. 交通ナビ関連情報について

交通ナビ関連情報を表示する

JAF や道路交通情報センターなどの電話番号を表示することができます。また、登録されているメモリ地点（→ P.134）や設定されている目的地（→ P.107）に電話番号が入力されていれば、その地点の電話番号を表示することができます。

1 MENU ▶ 電話

2 交通ナビ にタッチ。



3 項目にタッチ。

4 選択した項目により、次のいずれかの操作をする。

JAF または道路交通情報センターの情報を表示する

1 都道府県名、施設名称の順にタッチ。

メモリ地点の情報を表示する

1 メモリ地点にタッチ。

- 地図を表示するとき
  ➡ 地図 にタッチ。
- リストの並べ方をかえるとき
  ➡「メモリ地点を修正する」（→ P.137）手順 **2** へ。

目的地の情報を表示する

1 目的地にタッチ。

- 目的地が 1 カ所のみ設定されているとき
  ➡ 目的地 にタッチすると、名称と電話番号を表示する。
- 目的地が複数設定されているときは、リスト画面が表示されます。

3. ソフトウェア更新について

より快適にナビゲーションシステムをご利用いただくため、購入後のナビゲーションシステムの機能・操作性向上を目的にソフトウェアの更新を行っています。

● 更新対象
- ナビゲーションシステムの性能改善
- ナビゲーションシステムの操作性向上

※ 地図データ、CD タイトル情報（CDDB）は本サービスの更新対象ではありません。

ソフトウェア更新は、次のいずれかの方法で行います。

(1) CD-R または Audio SD を使って更新する
（CD-R または SD メモリーカードが必要です）

(2) 本機の通信機能（DCM または Bluetooth 携帯電話）を使って更新する

(3) Wi-Fi® 通信を使って更新する

※ ご不明点についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

注意

- CD-RまたはAudio SDを使ってソフトウェア更新をする場合、インターネットに接続できる環境のパソコンと、CD-R または SD メモリーカードが必要となります。お客様のパソコンの環境によっては通信料金が高額となりますのでご注意ください。
- ソフトウェア更新はお客様の責任において実行してください。
- ソフトウェア更新を行うと、前のバージョンに戻すことはできません。
- ソフトウェア更新で適用されるソフトは本機専用です。その他の機器で使用しないでください。
- ソフトウェア更新の内容によっては一部の設定が初期化されることがあります。その場合はソフトウェア更新後、再度設定を行ってください。
- ソフトウェア更新後、自動的にトヨタ自動車の配信サーバに更新が完了したことを通知します。なお、トヨタ自動車は送信された情報をソフトウェア更新以外の目的には使用いたしません。また、お客様のご契約形態によっては通信料が発生する場合があります。
- ソフトウェア更新の内容によっては、本機の通信機能（DCM または Bluetooth 携帯電話）を使った更新ができない場合があります。この場合は、CD-R または Audio SD を使った更新を行ってください。

CD-R または Audio SD を使って更新する

更新データを準備する

1 MENU ▶ 情報 → ソフトウェア更新

2 「機種識別 ID」を確認する。



3 パソコンで専用サイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）にアクセスし、ソフトウェア更新メニューから、「機種識別 ID」に対応した更新ソフトがあることを確認する。

- 機種識別 ID に対応した更新ソフトが見つからない場合は、対象のナビゲーションシステムには現在更新ソフトは提供されていません。なお、更新ソフトは随時配信されます。

4 更新ソフトをパソコンにダウンロードする。

5 パソコンにダウンロードした更新ソフトを CD-R または Audio SD にコピーする。

- 更新ソフトは、CD-R または Audio SD 内の最上位階層に保存してください。作成したフォルダ内に更新ソフトを保存すると、更新ソフトを読み込むことができません。

ソフトウェアを更新する

1 MENU ▶ 情報 → ソフトウェア更新

2 OPEN/CLOSE にタッチ。

3 CD-R または Audio SD を挿入する。（→ P.235、P.258）

4 更新を実施する にタッチ。

5 はい にタッチ。

6 データがインストールされ、ソフトウェア更新準備が開始される。

- 更新ソフトがインストールされます。
- インストールが完了したとき
  ➡ 更新準備完了画面が表示される。

7 パワースイッチを OFF にした後、再度アクセサリーモードまたは ON モードにする。

8 データがコピーされ、ソフトウェア更新が開始される。

- ソフトウェア更新が完了すると、画面が自動的に、最後に表示していた画面、または TILT・EJECT 画面に切り替わります。
- ソフトウェアの情報を確認するとき
  ➡ ソフトウェア更新画面で、更新情報 にタッチ。
- ソフトウェアの更新履歴を確認するとき
  ➡ ソフトウェア更新画面で、更新履歴 にタッチ。

注意

● ソフトウェア更新中は、CD-R または Audio SD を抜いたり、パワースイッチを OFF にしないでください。

本機の通信機能（DCM または Bluetooth 携帯電話）を使って更新する

※車が通信可能な場所にあることが必要です。

※通信モジュール（DCM）が装着されていない場合、DCM から更新することができません。

本機の通信機能（DCM または Bluetooth 携帯電話）を使ったソフトウェア更新は、ソフトウェア更新設定内容によって一部手順が異なります。

納車時の設定やソフトウェア更新設定の変更については、「ソフトウェア更新の設定を変更する」（→ P.389）をご確認ください。

※ ソフトウェア更新の内容によっては、本機の通信機能（DCM または Bluetooth 携帯電話）を使った更新ができない場合があります。この場合は、CD-R または Audio SD を使って更新を行ってください。

ソフトウェア更新設定の自動確認「する」のときの更新

1 配信サーバに新しい更新ソフトがある場合、メッセージが表示される。

● 更新ソフトウェアの自動確認が「する」のとき、本機は定期的に配信サーバーへアクセスして更新ソフトウェアの有無を確認します。

2 はい にタッチ。

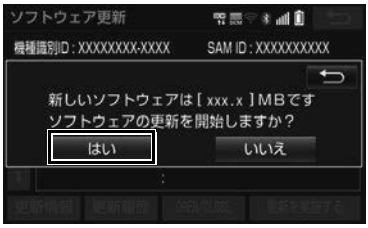


● いいえ にタッチすると、次回確認時に再度通知します。

3 更新を実施する にタッチ。



4 はい にタッチ。



● 更新ソフトのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、インストールが開始されます。

● ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にパワースイッチを OFF にしたときは、次回パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにした時にインストールを再開します。

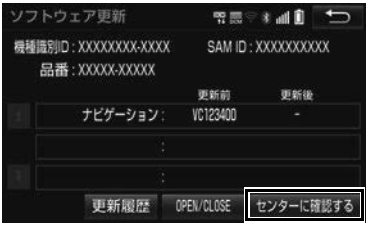
5 パワースイッチを OFF にした後、再度アクセサリーモードまたは ON モードにする。

- ソフトウェアの情報を確認するとき
  - ➡ ソフトウェア更新画面で 更新情報 にタッチ。
- ソフトウェアの更新履歴を確認するとき
  - ➡ ソフトウェア更新画面で 更新履歴 にタッチ。

ソフトウェア更新設定の自動確認「しない」のときの更新

1 MENU ▶ 情報 → ソフトウェア更新

2 センターに確認する にタッチ。

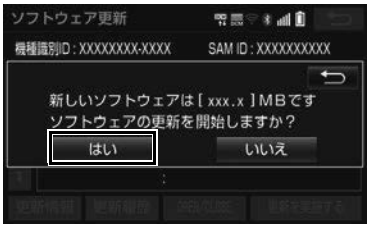


- 新しい更新ソフトが見つかると、センターに確認する が 更新を実施する に変わります。
- 新しい更新ソフトがない場合は、次の配信までお待ちください。

3 更新を実施する にタッチ。



4 はい にタッチ。



- 更新ソフトのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、インストールが開始されます。
- ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にパワースイッチを OFF にしたときは、次回パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにした時にインストールを再開します。

5 パワースイッチを OFF にした後、再度アクセサリーモードまたは ON モードにする。

- ソフトウェアの情報を確認するとき
  - ➡ ソフトウェア更新画面で 更新情報 にタッチ。
- ソフトウェアの更新履歴を確認するとき
  - ➡ ソフトウェア更新画面で 更新履歴 にタッチ。

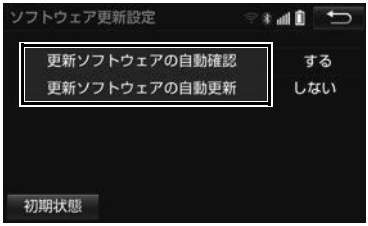
ソフトウェア更新の設定を変更する

ソフトウェア更新の設定を変更することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定

2 ソフトウェア更新設定 にタッチ。

3 更新ソフトウェアの自動確認 または 更新ソフトウェアの自動更新 にタッチし、「する／しない」を設定。



- 初期設定は、更新ソフトウェアの自動確認が「する」、更新ソフトウェアの自動更新が「しない」となっています。

6

周辺監視

1 バックガイドモニター

1. バックガイドモニターについて 392
運転時の注意について 392

2. ガイド画面の出し方 393
ガイド画面の出し方 393

3. ガイド方法の選び方 394
並列駐車（車庫入れ）時に使用するとき 394
縦列駐車時に使用するとき 395

4. 並列駐車のしかた（進路表示モード） 396
画面の見方 396
操作のしかた 397

5. 並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード） 399
画面の見方 399
操作のしかた 399

6. 縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード） 401
車の動きと画面・音声案内の流れ 401
操作のしかた 403

7. 縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード） 409
画面の見方 409
操作のしかた 409

8. バックガイドモニターの設定.....411
バックガイドモニター設定画面の表示 411
縦列ガイドの音量設定 411
はじめのコツの表示設定.....411

9. バックガイドモニターについての注意点.....412
画面に映る範囲 412
カメラについて 413
画面と実際の路面との誤差について 414
立体物が近くにあるとき.....415
補機バッテリーの脱着後やシステム初期化中画面がでたときは 416
補機バッテリーの脱着後や本機の載せ替えをしたときは.....417

10.知っておいていただきたいこと.....418
故障とお考えになる前に.....418

2 マルチビューバックガイドモニター

1. マルチビューバックガイドモニターとは.....419

2. カメラの視点切替方法.....420
画面の見方 420
視点の切り替え方.....421

3. マルチビューバックガイドモニターについての注意点 422
運転時の注意 422
画面に映る範囲 423
カメラ.....425

3 ブラインドコーナーモニター

1. ブラインドコーナーモニターとは.....426

2. 操作のしかた.....427
画面の出し方 427

3. ブラインドコーナーモニターについての注意点.....428
運転時の注意 428
画面に映る範囲 429
カメラ.....430

1. バックガイドモニターについて

車両後方の映像をモニター画面に映し出し、駐車時などの後退操作を補助する装置です。
縦列駐車時は音声でも案内します。
バックガイドモニターは、以下の 2 通りの後退操作について補助します。
(1)並列駐車（車庫入れ等）
(2)縦列駐車（路側駐車等）

(知 識)

- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

運転時の注意について

バックガイドモニターを使用するときは以下のことをお守りください。

⚠ 警告

- バックガイドモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。
  お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
  画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。

⚠ 警告

- 後退するときは、ブレーキペダルを踏んで速度調整しながら、ゆっくり後退してください。
- 駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。十分理解したうえで、バックガイドモニターをご使用ください。
- 駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから後退してください。
- 以下のような状況では、バックガイドモニターを使用しないでください。
  - 雪道、凍結した道などのすべりやすい路面
  - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - バックドアが完全に閉まっていないとき
  - カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れたりすることがあります。とくに動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあります。
- タイヤサイズを変更した場合、画面に表示されるガイド線の位置に誤差が生じることがあります。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。(→ P.414)
- 本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、舵角センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
- 本機能は、各車種ごとの設定が必要です。したがってお車の買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け替えるときは必ずお買い上げの販売店でバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください。(そのままでは本機能をご使用になれない車種があります)

☆印はオプションです。

2. ガイド画面の出し方

ガイド画面の出し方

1 パワースイッチが ON モードのとき、シフトレバーを Ⓡ にする。

● 解除するとき
➡ シフトレバーを Ⓡ 以外にする。

知 識

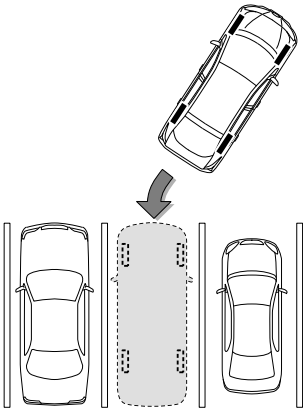
● シフトレバーを Ⓡ にしていても、

現在地 ・ AUDIO など各モードのスイッチを押すと、押したスイッチのモード画面に切り替わります。

3. ガイド方法の選び方

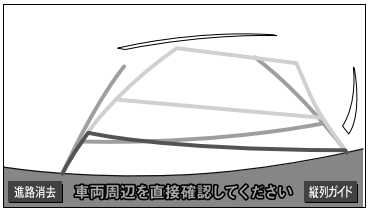
並列駐車（車庫入れ）時に使用するとき

車庫入れなど並列駐車をするときは、次のいずれかのモードを使用します。



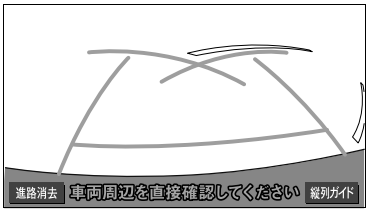
▶進路表示モード（→ P.396）

ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されるモードです。



▶駐車ガイド線表示モード（→ P.399）

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。



- 車両感覚に慣れた方（進路表示モードを必要とせずに駐車できる方）はご使用ください。

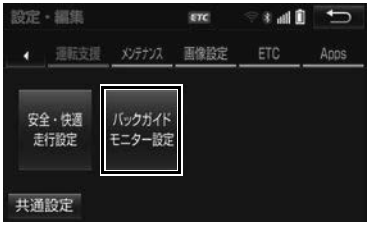
モードの切り替え方

1 MENU を押す。

2 設定・編集 にタッチ。

3 「運転支援」 にタッチ。

4 バックガイドモニター設定 にタッチ。



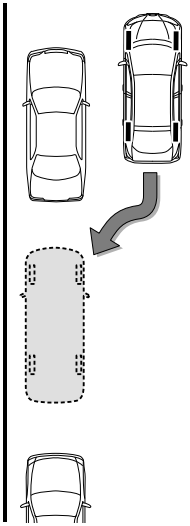
5 駐車ガイド線表示 にタッチ。

6 する または しない にタッチ。

- 駐車ガイド線表示モードに切り替えるとき
  ➡ する にタッチ。
- 進路表示モードに切り替えるとき
  ➡ しない にタッチ。

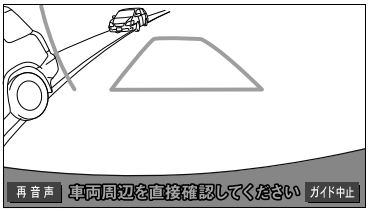
縦列駐車時に使用するとき

縦列駐車をするときは、次のいずれかのモードを使用します。



▶縦列ガイドモード（→ P.401）

画面表示と音声案内により、縦列駐車を補助するモードです。

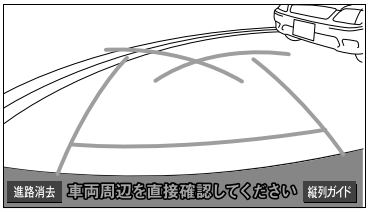


知 識

- ガイドを中止したいときは、**ガイド中止** にタッチすると、最初（シフトレバーを R にしたとき）の画面にもどります。
- 音声案内をもう一度聞きたいときは、**再音声** にタッチします。

▶駐車ガイド線表示モード（→ P.409）

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。



- 縦列ガイドモードを必要とせずに駐車のできる方や、縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

モードの切り替え方

■縦列ガイドモードへの切り替え

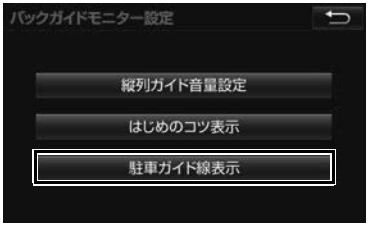
1 シフトレバーを R にする。

2 **縦列ガイド** にタッチ。

■駐車ガイド線表示モードへの切り替え

1 **MENU** ▶ **設定・編集** → 「**運転支援**」 → **バックガイドモニター設定**

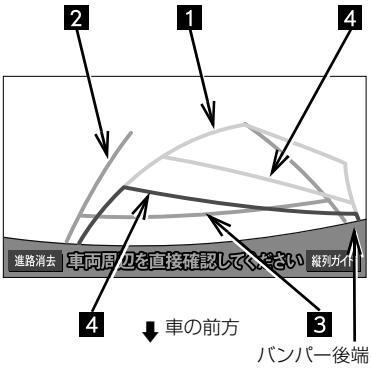
2 **駐車ガイド線表示** にタッチ。



3 **する** にタッチ。

4. 並列駐車のしかた（進路表示モード）

画面の見方



1 予想進路線（黄色）

車が後退していく進路の目安を示す。
- ハンドル操作と連動します。

2 車幅延長線（緑色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。
- 実際の車幅より広く表示しています。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっているときは、予想進路線と重なります。

3 距離目安線（緑色 約 0.5m 先）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。
- 約 0.5m 先を示します。

4 距離目安線（赤色 約 0.5m 先）（黄色 約 1m 先）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。
- ハンドル操作と連動します。予想進路線とともに動きます。
- それぞれの中心位置で、約 0.5m 先（赤色）・約 1m 先（黄色）を示します。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっていないときは誤差が生じます。
  上の画面では、距離目安線が示す実際の距離（赤色：約 0.5m 先、黄色：約 1m 先）より、右側は近くの位置に、左側は遠くの位置に表示されます。

⚠ 警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲り角・カーブ等がなく、渋滞の少ない道路を前進で約 5 分間以上走行してください。それでもなおらない場合は、お買い上げの販売店で点検を受けてください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

知識

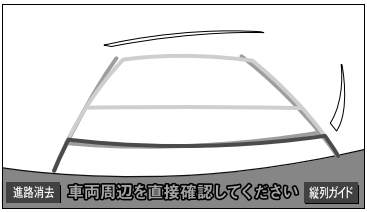
- 進路消去 にタッチすると、予想進路線や車幅延長線を消すことができます。この場合、距離目安線はハンドル操作と連動しません。もとに戻すときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

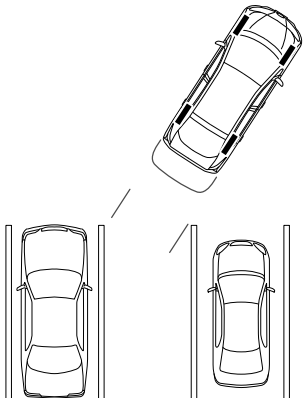
操作のしかた

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

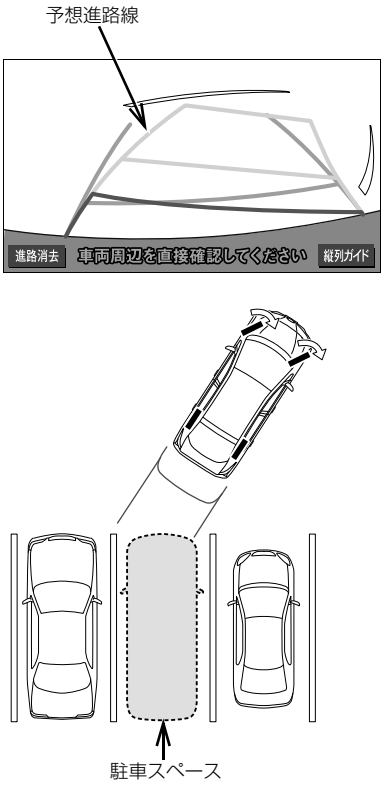
1 進路表示モードにする。(→ P.394)

2 シフトレバーを Ⓡ にする。

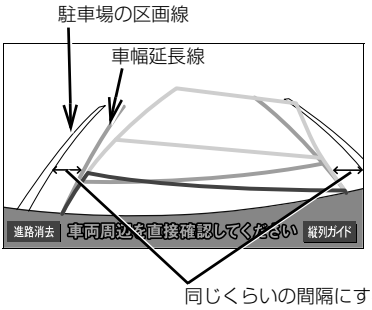


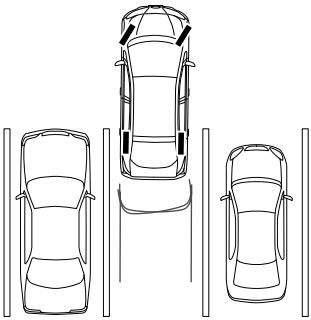


3 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する。



4 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区画線との間隔が、車の近くの位置で同じくらいになるようにハンドルを操作する。

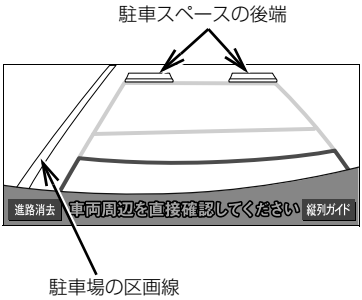




5 車幅延長線と駐車場の区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、車が駐車スペースに全部入るまで、ゆっくり後退する。

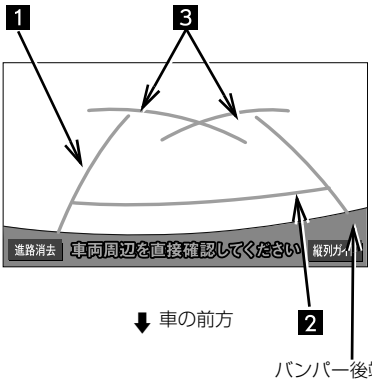
知 識

- 駐車するときは、画面の映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず直接確認してください。
  - ・ 距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。
  - ・ 駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。



5. 並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方



1 車幅延長線表示（緑色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。
- 実際の車幅より広く表示しています。

2 距離目安線表示 約 0.5m 先（緑色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。
- 約 0.5m 先を示します。

3 駐車ガイド線表示（緑色）

ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示す。
- 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

⚠ 警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

（知 識）

- 進路消去 にタッチすると、車幅延長線を消すことができます。もとに戻すときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

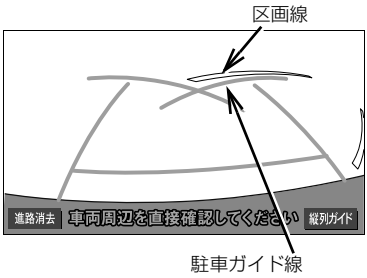
操作のしかた

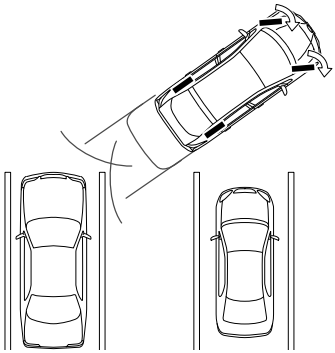
以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 駐車ガイド線表示モードにする。（→ P.394）

2 シフトレバーを Ⓡ にする。

3 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まる。





知 識

● 画面のように駐車ガイド線と区画線に合わせて後退すると、駐車スペースの幅が約2.2mの場合にほぼ中央に進入します。駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。

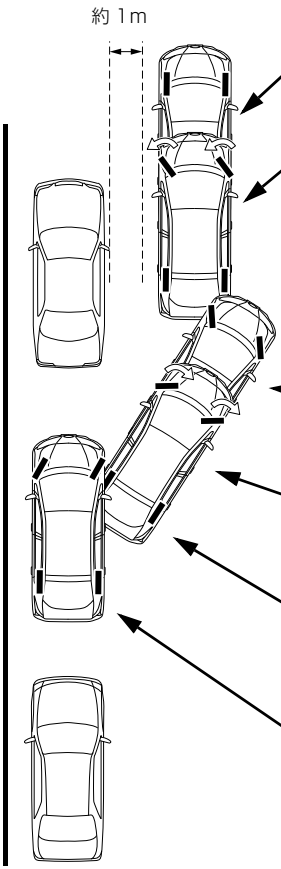
4 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。

5 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終える。

6. 縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）

車の動きと画面・音声案内の流れ

〈車の動き〉



〈操作内容〉

道路と平行で、駐車している車との間隔が約 1m の位置で止まる。

緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合うまで後退したら止まる。
（画面①）

車を止めたままハンドルを操作し、緑の枠を駐車したい場所に合わせたら、ハンドルをそのままにして後退する。
（画面②）

緑の曲線が表示されて、緑の曲線が駐車したい位置の左端に合うまでハンドルをそのままにして後退する。**（画面③）**

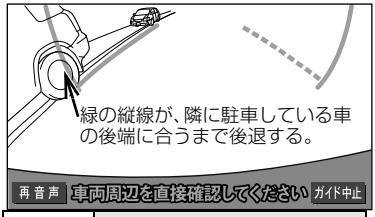
駐車したい位置の左端に合ったら止まり、ハンドルを逆方向にいっぱいまで操作する。**（画面④）**

ハンドルをそのままにして、距離目安線などを参考に目視やミラーで周辺を確認し後退する。**（画面⑤）**

車がほぼまっすぐになったら、縦列ガイドモードが終了する。**（画面⑥）**

■画面・音声案内の流れ

画面①



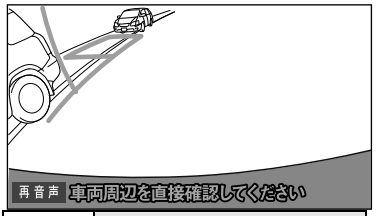
音声案内	「緑の縦線が隣の車のうしろに合うまでバックして止まります。」



画面②

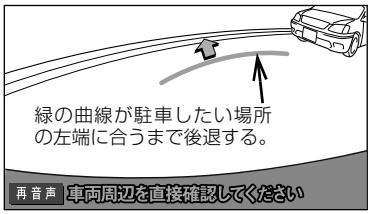


音声案内	「止まったままハンドルをまわして、緑の枠を駐車スペースに合わせます。」

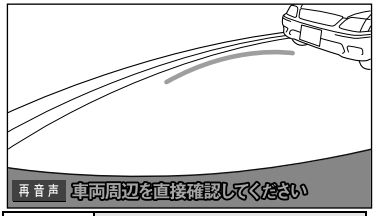


音声案内	「枠を合わせたらハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

画面③

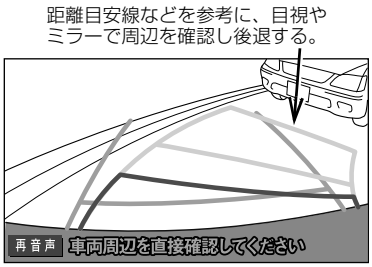


画面④



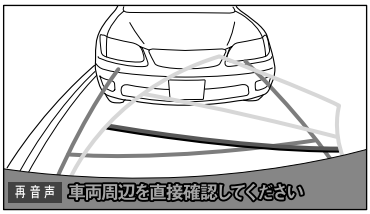
音声案内	「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」

画面⑤



音声案内	「ハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

画面⑥



音声案内	「縦列ガイドを終了します。」

⚠ 警告

- カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路では正しく表示されないため、使わないでください。
- ハンドル操作は、必ず車を止めた状態で行ってください。

(知 識)

- ガイドを中止したいときは、**ガイド中止** にタッチすると、最初（シフトレバーを Ⓡ にしたとき）の画面にもどります。
- 音声案内をもう一度聞きたいときは、**再音声** にタッチします。
- 音声案内は運転席側スピーカーより出力されます。

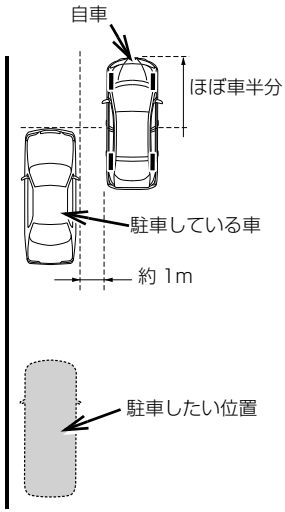
操作のしかた

以下の手順は、左側の駐車スペースに駐車するときの例を示しています。
右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作などがすべて左右逆になります。

- マルチビューバックガイドモニターを接続しているとき
  ➡ カメラの視点を標準画面に切り替えます。（→ P.420）

1 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約 1m の位置に止まり、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。

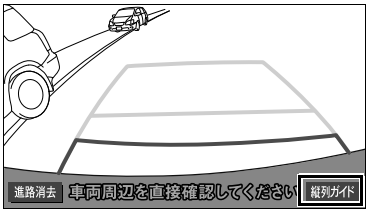
- 前後の位置は、駐車している車より車半分ほど前の位置にします。



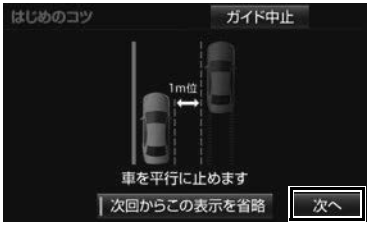
2 シフトレバーを Ⓡ にする。

3 車の位置を確認し、縦列ガイド にタッチ。

● 画面で、駐車している車のリヤタイヤよりうしろの部分が映っていることを確認してください。
映っていないときは、車を正しい位置まで前進させ、操作をやりなおします。

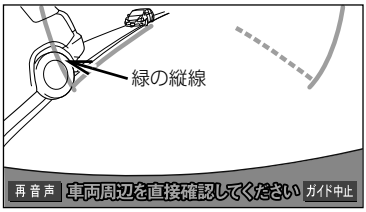


4 表示された画面と同じ位置に車が止まっていることを確認し、次へ にタッチ。



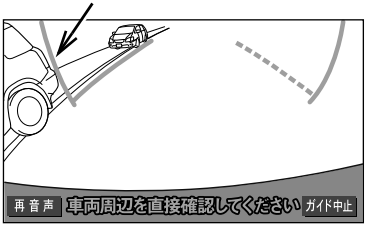
● 前の画面に戻るとき
➡ ガイド中止 にタッチ。
● この画面を表示させないようにするとき
➡ 次回からこの表示を省略 にタッチ。
● この画面を再度表示させるとき
➡「バックガイドモニターの設定」（→ P.411）

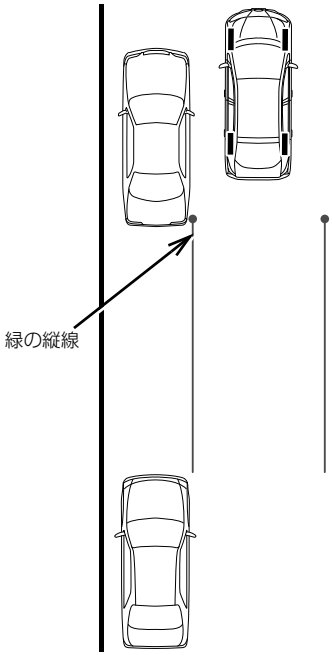
5 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしたまま、緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し、止まる。



音声案内	「緑の縦線が隣の車のうしろに合うまでバックして止まります。」

車をここまで後退させる

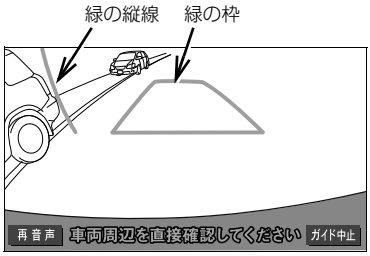




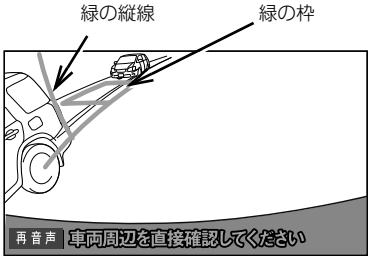
知 識

- ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。
  その場合は、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やりなおしてください。
- シフトレバーを Ⓡ 以外にしても、約 10 秒以内に Ⓡ にもどせば、この画面にもどります。

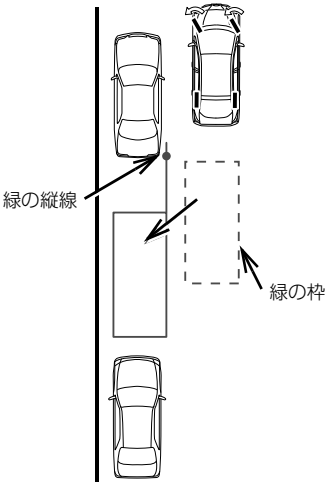
6 音声で案内され、緑の枠が表示される。止まったままハンドルを左にまわして、緑の枠を駐車したい位置に合わせる。



音声案内	「止まったままハンドルをまわして、緑の枠を駐車スペースに合わせます。」

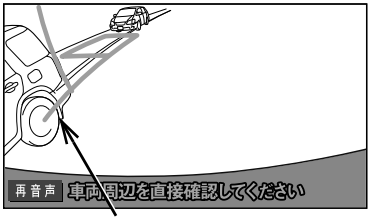




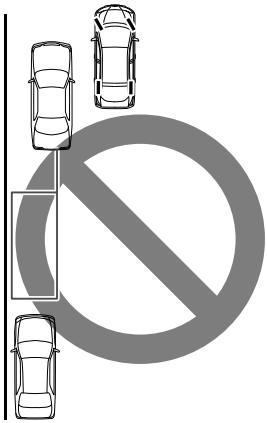


⚠ 警告

- 緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードを使用することはできません。
- 緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に延びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。

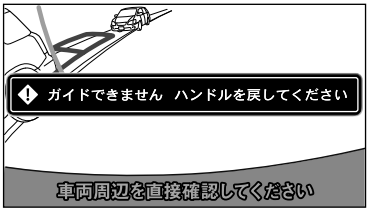


延長線がタイヤにかかっている



知 識

● 枠が赤くなって、下のようなメッセージが表示されたら、ガイドすることができませんので、ハンドルをもどしてください。



● 枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、下のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩から離れすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔（約 1m）を確認してください。



7 緑の枠を合わせ、音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。

音声案内	「枠を合わせたらハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

⚠ 警告

● 車の右前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。

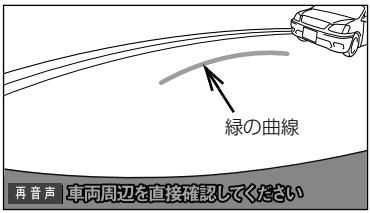
知 識

● 後退中にハンドルを操作してしまうと、ガイドされなくなります。
その場合は、シフトレバーを Ⓡ 以外にしてから、再度 Ⓡ にして最初からやりなおしてください。

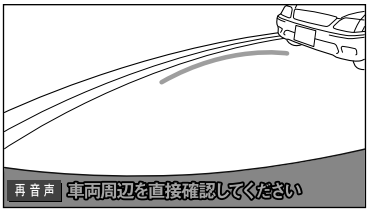


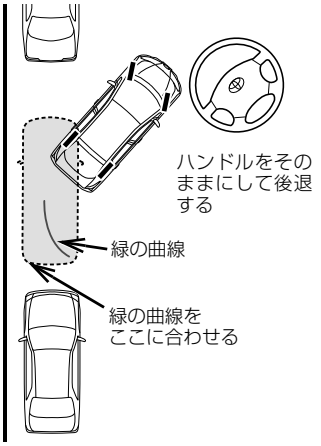
● ごく低速で後退すると、次の案内が行われないことがあります。
● 後退を開始すると、ガイド線が表示されなくなります。
必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

8 音声で案内され緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。
緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まる。



音声案内	「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」





知識

- 後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

9 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいまでまわす。

- 必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。

10 画面が切り替わり音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。

音声案内	「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

⚠ 警告

- 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

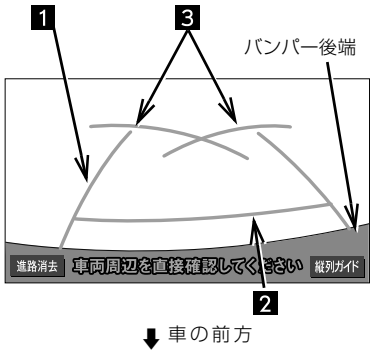
11 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にもどす。
距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認して、ゆっくり後退し止まる。

- 車がほぼまっすぐになったら、音声で案内され、縦列ガイドモードが終了します。

音声案内	「縦列ガイドを終了します。」

7. 縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方



1 車幅延長線（緑色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。

- 実際の車幅より広く表示しています。

2 距離目安線 約 0.5m 先（緑色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。

- 約 0.5m 先を示します。

3 駐車ガイド線（緑色）

ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示す。

- 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

⚠ 警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

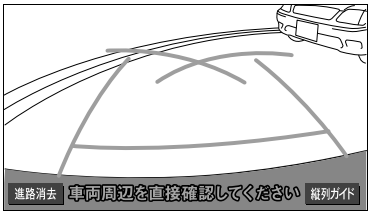
操作のしかた

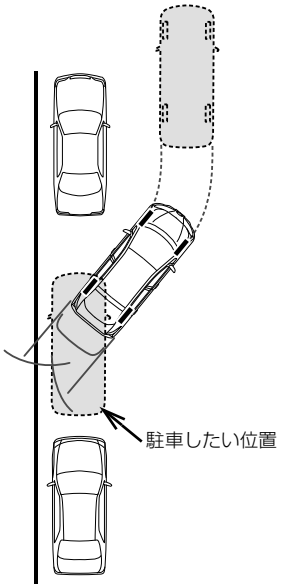
以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 駐車ガイド線表示モードにする。（→P.394）

2 シフトレバーを Ⓡ にする。

3 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まる。



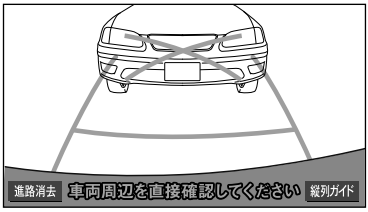


4 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。

⚠ 警告

● 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

5 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。
画面を参考に必ず目視やミラーで車の前後を確認し、最適な位置まで後退して、駐車を終える。



8. バックガイドモニターの設定

バックガイドモニター設定画面の表示

1 MENU を押す。

2 設定・編集 にタッチ。

3 運転支援 にタッチ。

4 バックガイドモニター設定 にタッチ。



5 設定する項目を選択する。

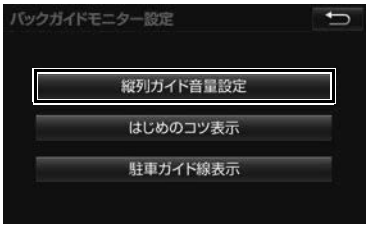
● 次の項目を設定できます。

項目	ページ
縦列ガイド音量設定	411
はじめのコツ表示	411
駐車ガイド線表示	394、395

縦列ガイドの音量設定

1 MENU ▶ 設定・編集 → 運転支援 → バックガイドモニター設定

2 縦列ガイド音量設定 にタッチ。



3 設定したい音量にタッチ。

● 音声を OFF にするとき

➡ 消音 にタッチ。

はじめのコツの表示設定

縦列ガイドモード（→ P.401）に「はじめのコツ」を表示することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 運転支援 → バックガイドモニター設定

2 はじめのコツ表示 にタッチ。

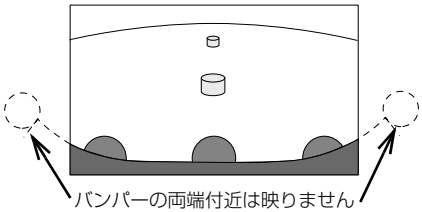
3 する または しない にタッチ。

9. バックガイドモニターについての注意点

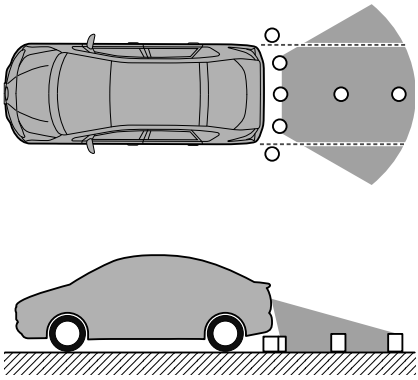
画面に映る範囲

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

■画面



■映る範囲



● バックガイドモニターの画質は、ショートカット＋コントロール画面（→ P.24）で 画質・消 にタッチすると、調整できます。（→ P.49）

知 識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- バックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- カメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映りこむことがあります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき

カメラについて

車両の後方に取りつけられています。

カメラのお手入れについて

カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像を見ることができません。水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤で洗い流してください。

注意

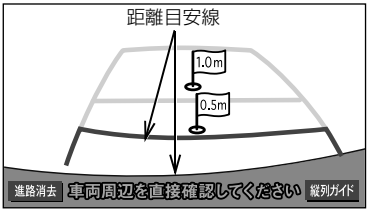
- バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
  - ・ カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
  - ・ カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
  - ・ カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  - ・ カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - ・ 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
  - ・ 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

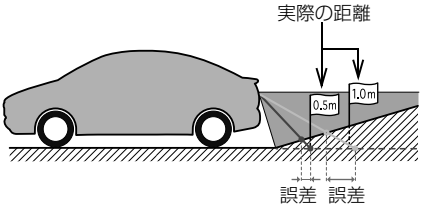
画面と実際の路面との誤差について

- 距離目安線や車幅延長線と駐車スペースの区画線が画面では平行に見えても、実際は平行ではないことがあります。必ず直接確かめてください。
- 車幅延長線と駐車スペース左右の区画線の間隔が画面では左右均等に見えても、実際は左右均等ではないことがあります。必ず直接確かめてください。
- 距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

急な上り坂が後方にあるとき

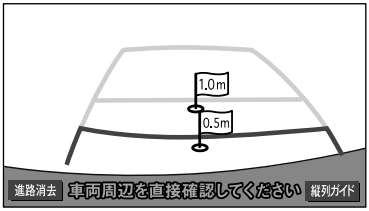
実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

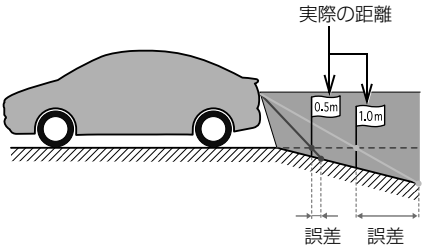




急な下り坂が後方にあるとき

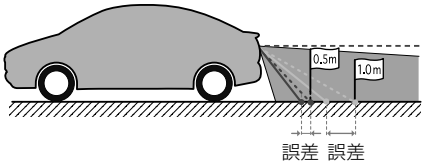
実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。





車が傾いているとき

乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

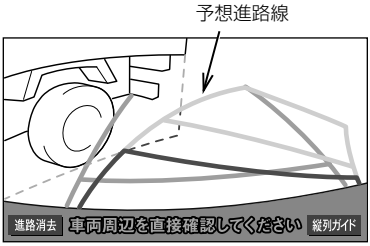


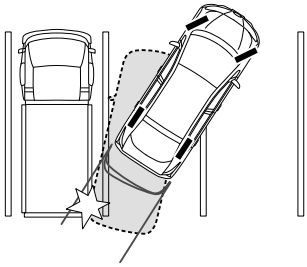
立体物が近くにあるとき

予想進路線・距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことにご注意ください。

予想進路線について

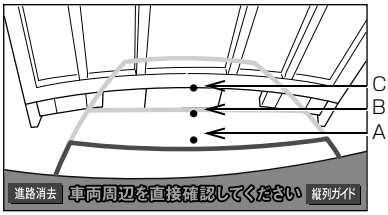
後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。



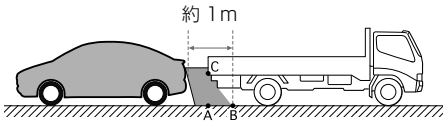


距離目安線について

後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、距離目安線によりBの位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはAとCより遠い距離にあります。



A、B、Cの位置

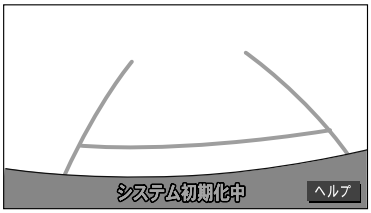


補機バッテリーの脱着後やシステム初期化中画面がでたときは

以下の場合には、必ず初期化作業を行ってください。

- 補機バッテリーを脱着したとき
- シフトレバーを Ⓡ にして、システム初期化中画面が表示されたとき（補機バッテリー能力の低下など）

▶システム初期化中画面



■初期化作業

次のいずれかの操作をします。

- 車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいにまわしたあと、右いっぱいにまわします。（左右どちらが先でも可）
- できるだけ曲り角・カーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約 5 分間以上走行します。

通常の画面にもどれば、設定終了です。

注意
● 上記操作を行っても、画面が切り替わらないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

知 識

- システム初期化中画面で、ヘルプ にタッチすると、操作方法を表示させることができます。



画面に表示された操作をして、通常の画面にもどれば設定終了です。

システム初期化中画面、またはヘルプ画面が表示されたままのときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

OK にタッチすると、もとの画面にもどります。

補機バッテリーの脱着後や本機の載せ替えをしたときは

補機バッテリーの脱着や本機を載せ替えた場合、確認画面が表示されます。本機を載せ替えた場合、必ずお買い上げの販売店でバックガイドモニターの設定を行ってください。

1 はい または いいえ にタッチ。



- 本機を載せ替えたとき
  ➡ はい にタッチ。
- 本機を載せ替えていないとき
  ➡ いいえ にタッチ。
- はい にタッチしたとき
  ➡ 次に表示される画面で OK にタッチ。

10. 知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

下記のような症状で気になったりお困りになった時は、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。
処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症状	考えられる原因	処置
予想進路線が表示されない。	「駐車ガイド線表示モード」になっていませんか。	進路表示モードに切り替えてください。（→ P.394）

1. マルチビューバックガイドモニターとは

マルチビューバックガイドモニターはバックガイドモニターの機能を使用できる他、カメラの映像を次の3つの視点で表示することができます。

- 標準画面 … バックガイドモニターと同じ視点です。ハンドル操作に連動したガイド線が表示されます。縦列駐車への切り替えや、ガイド線を消すことができます。
- ワイドビュー … 標準画面と比べ、左右に広い範囲の映像を表示することができます。車両後退時の左右安全確認をサポートする視点です。
- ワイドビュー＋トップビュー … ワイドビューの映像と、上方から見下ろした映像（トップビュー）を同時に表示することができます。車両後退時の安全運転をよりいっそうサポートする視点です。

基本的な操作方法や注意点については「バックガイドモニター」（→P.392 ～ P.418）をご覧ください。

知 識

- ワイドビューおよびワイドビュー＋トップビューで表示している場合、車幅延長線などのガイド線を消すことができません。また、ハンドル操作に連動した予想進路線などのガイド線は表示されません。（→P.396）

⚠ 警告

- マルチビューバックガイドモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。（→P.422）
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。（→P.414）

知 識

- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

☆印はオプションです。

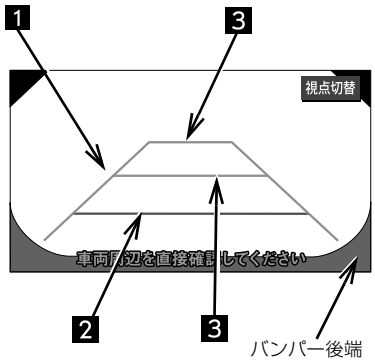
2. カメラの視点切替方法

画面の見方

▶標準画面

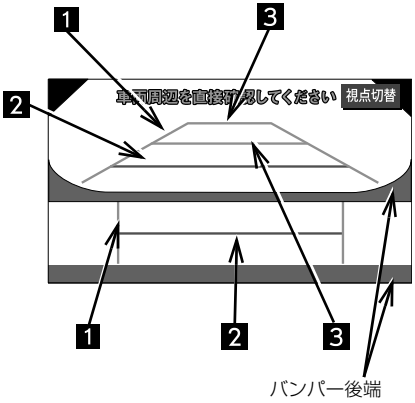
バックガイドモニターの「画面の見方」（→ P.396、P.399）をご覧ください。

▶ワイドビュー



⬇車の前方

▶ワイドビュー＋トップビュー



⬇車の前方

1 車幅延長線（緑色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。

- 実際の車幅より広く表示しています。

2 距離目安線 約 0.5m 先（赤色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。

- 約 0.5m 先を示します。

3 駐車ガイド線 （緑色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。

- 約 1m 先（1 本目）·約 2.7m 先（2 本目）を示します。

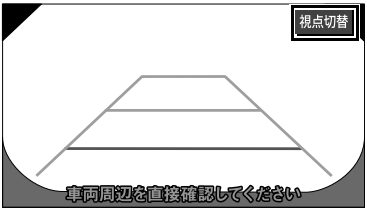
⚠ 警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

視点の切り替え方

1 シフトレバーを Ⓡ にする。

2 視点切替 にタッチ。



- タッチするごとに、標準画面→ワイドビュー→ワイドビュー＋トップビューと切り替わります。

知 識

- 縦列ガイドモード中は視点を切り替えることができません。

3. マルチビューバックガイドモニターについての注意点

運転時の注意

⚠ 警告

- マルチビューバックガイドモニターを過信しないでください。
- 一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
- 画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では、使用しないでください。車の進路が予想進路線から大きく外れる可能性があります。
  - ・ 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - ・ タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - ・ バックドアが完全に閉まっていないとき
  - ・ 坂道など平坦でない道路
- マルチビューバックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、マルチビューバックガイドモニターをご使用ください。
  また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作をおこなってください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。
- 本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、舵角センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
- 本機能は、各車種ごとの設定が必要です。したがってお車の買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け替えるときは必ずお買い上げの販売店でマルチビューバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください。（そのままでは本機能をご使用になれない車種があります）

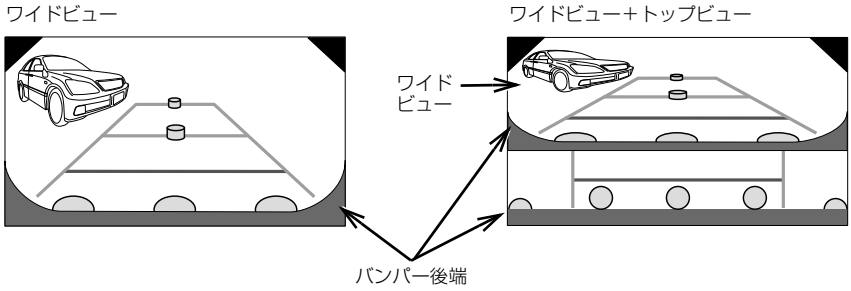
画面に映る範囲

▶標準画面

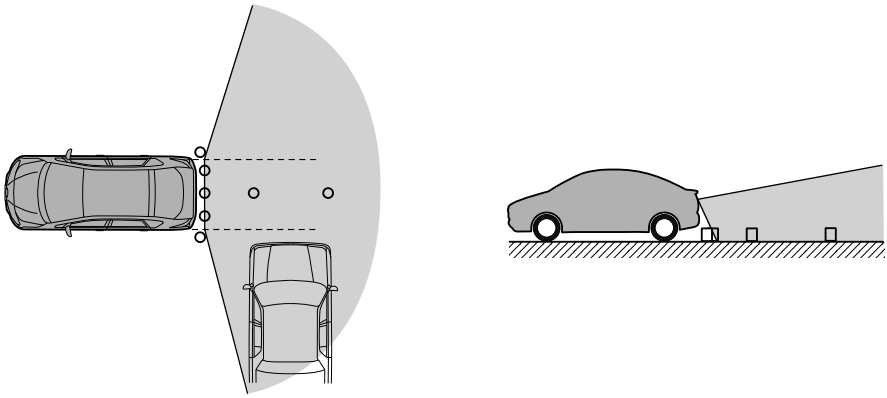
バックガイドモニターの「画面に映る範囲」（→ P.412）をご覧ください。

▶ワイドビュー

■画面

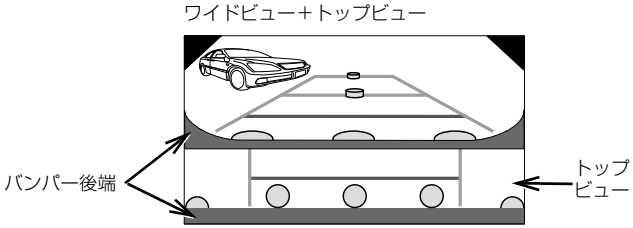


■映る範囲



▶トップビュー

■画面



■映る範囲



● マルチビューバックガイドモニターの画質は、ショートカット＋コントロール画面（→P.24）で 画質・消 にタッチすると、調整できます。（→P.49）

知 識

● 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
● マルチビューバックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
● 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  ・暗いところ（夜間など）
  ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  ・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  ・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
  ・バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき

カメラ

車両の後方に取りつけられています。

注意

● マルチビューバックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
- 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

知識

● カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。
水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

1. ブラインドコーナーモニターとは

ブラインドコーナーモニターは車両前方直下、または見通しの悪い交差点やＴ字路などで、車両の左右前方の映像をモニター画面に映し出すことができます。

⚠ 警告

- 必ず車の前方や左右の安全を直接確認しながら運転してください。（→ P.428）
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

（知 識）

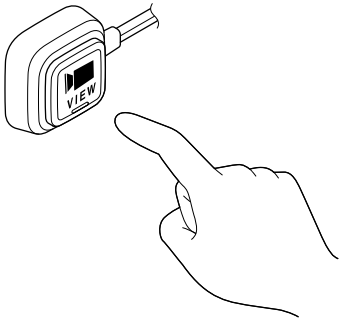
- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

☆印はオプションです。

2. 操作のしかた

画面の出し方

1 パワースイッチがONモードで車速が約 12km/h 未満のとき、カメラ映像呼び出しボタンを押す。



画面の解除

次の場合は、映像が解除されます。

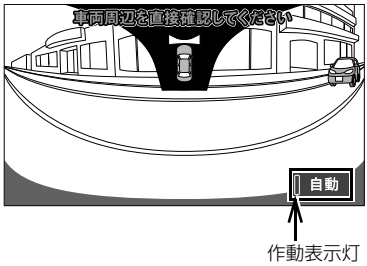
- 走行を開始し、車速が約 12km/h 以上になったとき
- カメラ映像呼び出しボタンを押したとき
- シフトレバーを Ⓡ にしたとき
- 現在地 など各モードのスイッチを押したとき

自動表示設定

車速が 10km/h 以下になったときやパワースイッチを ON モードにしたときに、自動的にカメラ映像の画面に切り替わるように設定することができます。

周辺の映像表示中（→ P.427）

1 自動 にタッチ。



作動表示灯

- タッチするごとに、自動で表示する条件が切り替わり、条件によって作動表示灯の色が変わります。

作動表示灯	表示条件
黄色	減速して 10km/h 以下になったとき
橙色	パワースイッチを ON モードにしたとき
無灯	自動表示しない

知 識

- シフトレバーが Ⓡ のとき、ブラインドコーナーモニターの映像を表示することができません。

3. ブラインドコーナーモニターについての注意点

運転時の注意

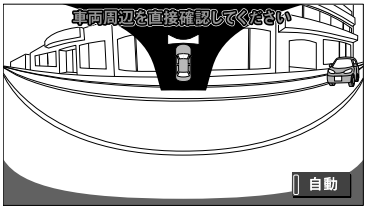
⚠ 警告

- ブラインドコーナーモニターを過信しないでください。
  運転は一般の車と同様、慎重に行ってください。
- 画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。
  画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て走行すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。走行するときは、必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認してください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。とくに動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

画面に映る範囲

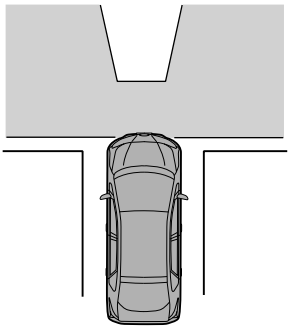
車両の左右前方が映ります。

■画面

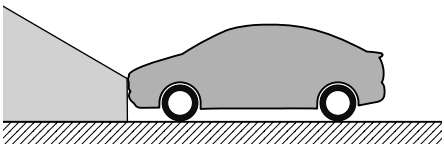


■映る範囲

左右方向



上下方向



● ブラインドコーナーモニターの画質は、ショートカット＋コントロール画面（→ P.24）で 画質・消 にタッチすると、調整できます。（→ P.49）

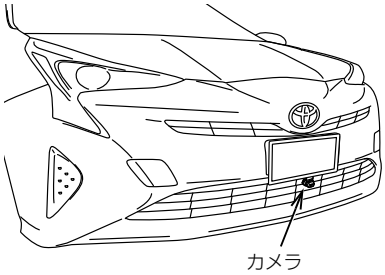
知 識

● 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
● 画面に車両の一部（バンパーやグリル、ライセンスプレートなど）が映ることがあります。
● ブラインドコーナーモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
● 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  ・ 暗いところ（夜間など）
  ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  ・ カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  ・ 太陽やヘッドランプの光りが直接カメラのレンズに当たったとき
● 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下でカメラ撮影を行うと、照明および照明の照らされている部分がちらついているように見えることがあります。（フリッカー現象）
● ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり見づらくなることがあります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

(知 識)

● 次のようなときは故障ではありません。
- 雨の日など湿度が高いときは、カメラが曇ることがあります。
- 夜間走行のときなどに、前方の車のランプや建物などの灯りが映像に映り込むことがあります。
- 夜間など暗い場所では、ノイズを目立たなくするために、白黒映像のように見えたり、実際とは異なった色で見えます。
- 画面の中央や四隅は映像の鮮明度が低下することがありますが、故障ではありません。

カメラ



注意

● ブラインドコーナーモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、レンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。

注意

・ カメラのレンズはプラスチックですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
・ 寒いときにお湯をかけるなどして、急激な温度変化を与えないでください。
・ 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
・ カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
・ スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。
・ カメラの表面に飛び石などで傷がつくことがあります。

知識

● カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。
水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

7

ETC システム／ ITS スポットサービス（DSRC）

1 ETCシステム

1. ETCシステムについて.....434
ETC システムの概要.....434
ETC を利用する前に.....434

2. ETC 画面の操作.....438
ETC 画面を表示する.....438
ETC 割込表示について.....438
ETC マーク表示について.....438
履歴を表示する.....439
統一エラーコードを表示する.....439
ETC 登録情報を表示する.....439
ETC の通知設定をする.....439

3. エラーコードについて.....441
統一エラーコード一覧について.....441

4. 知っておいていただきたいこと.....443
故障とお考えになる前に.....443

2 ITSスポットサービス（DSRC）

1. ITSスポット 対応DSRCユニット（ETC・VICS機能付）について.....444
ご利用の前に.....444
ITS スポットサービス（DSRC）で提供されるサービス内容について....444
ITS スポット画面の操作.....444

2. インターネット接続サービスについて.....445
インターネット接続サービスの利用方法について.....445

3. フルブラウザ.....448
フルブラウザ画面で操作する.....448

販売店装着オプションのナビ連動 ETC システムまたは ITS スポット対応 DSRC ユニットを取り付けたときに使用することができます。
本書では、販売店装着オプションのナビ連動 ETC システムまたは ITS スポット対応 DSRC ユニットが装着された車両の画面での操作のみを説明しています。ETC 車載器や ITS スポット対応 DSRC ユニット本体の操作については、ETC 車載器または ITS スポット対応 DSRC ユニットに添付の取扱書をご覧ください。

1. ETC システムについて

ETC システムの概要

ETC（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。
路側無線装置と車両の ETC ユニットまたは DSRC ユニットとの間で通信を行い、料金はお客様が登録された ETC カードの引き落とし口座から後日引き落とされます。

ETC を利用する前に

ETC サービスを利用する際には、次の点に注意してください。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は走行中に ETC カードの抜き差し、および ETC ユニットまたは DSRC ユニットの操作を極力しないでください。
  走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。

注意

- その他、ETC ユニットまたは DSRC ユニットを用いたサービス（スマート IC 等）には、様々な制約があります。
  サービス提供者が案内する利用方法をご確認ください。

ETC カードを挿入する前

⚠ 警告

- ETC カードの有効期限切れにご注意ください。
  ETC カードの有効期限が切れていると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。お手持ちの ETC カードに記載された有効期限を、あらかじめ確認してください。

注意

- ETC カードは必ずハイブリッドシステム始動後に挿入してください。ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。

☆印はオプションです。

ETC カードを挿入した後

⚠ 警告

● ETC を利用する際は、あらかじめ ETC カードが確実に ETC ユニットまたは DSRC ユニットに挿入されていることと、ETC ユニットまたは DSRC ユニットが正常に作動していることを確認してください。開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

● ETCユニットまたはDSRCユニットがETCカードを認証するまでには数秒かかりますので、料金所手前での ETC カードの挿入はエラーの原因となる場合があります。
● ETC カード接点に手の脂や化粧品等の汚れが付着していると、ETC ユニットまたは DSRC ユニットが ETC カードを認証できない場合があります。ETC カード接点のクリーニング方法についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

料金所を通過するときは

⚠ 警告

● ETC レーンに設置されている開閉バーは、ETC ユニットまたは DSRC ユニットと路側無線装置の間の通信、あるいは ETC ユニットまたは DSRC ユニットと ETC カードとの通信が正常に行われなかった場合は、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
● 通行料金の請求を受ける料金所で、ETC 車線が閉鎖されている場合は、係員のいる車線（一般車線または混在車線）で ETC カードでの支払いが可能です。無理な車線変更は危険ですので、おやめください。

※ETC 車線の機器の点検等により、ETC 車線を閉鎖している場合がありますのでご注意ください。

● ETC レーンの進入は、十分な車間距離をとり、約 20km/h 以下の安全な速度で進入してください。
● ETC レーンを通行するときは、前車との車間距離を保持した上で、開閉バーの手前で安全に停止できるように十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認してから通行してください。
● ETC レーンで、開閉バーが開かない等の理由で停止された場合には、危険ですので絶対に車をバックさせないでください。料金所での案内、または係員へ知らせた後、その案内にしたがってください。

注意

- ETCカードをETCユニットまたはDSRCユニットに挿入し忘れて ETC 車線を通過された場合などは、速やかに、当該道路を管理する道路事業者（高速道路会社など）に通行の状況を連絡してください。
- 入口料金所の ETC 車線で通信エラー等により、通行券を受け取られた場合には、出口料金所での料金のお支払いは、係員のいる車線（一般車線または混在車線）で、一旦停車して、ETC カードと通行券を係員にお渡しください。
- 料金をお支払いいただく料金所で異常が発生した場合は、料金所での案内、または係員へ知らせた後、その案内にしたがってください。
- 入口料金所を ETC で通行した場合、出口料金所で ETC 車線がご利用できないとき、あるいは設置されていないときは、係員のいる一般車線で一旦停止して、ETC カードを係員にお渡しください。
- 有料道路の利用開始から利用終了までは、同一の ETC カードを継続してご使用ください。
  料金所以外にも路側アンテナが設置されている箇所があり、ETC カードには走行中、通行料金の計算に必要な情報が記録されます。途中でカードを入れかえると正しく料金が計算されない場合があります。
- ETC 無線通信ができなかった際に、再度無線通信を行うためのリカバリーアンテナが設置されている料金所があります。対応方法については、料金所係員の指示にしたがってください。

知 識

- 領収書はその場では発行されません。通行時、その場で証明が必要な場合は係員のいる車線（一般車線または混在車線）で一旦停止の上、ETC カードで料金清算し通常の利用明細書をもらってください。
  現在、ETC で無線走行されたときの利用証明書を、インターネットによりお客様のプリンタから印刷できます。詳細は道路事業者にお問い合わせください。
- 均一料金制の有料道路では、出口部に設置された路側無線装置（フリーフローシステム）との通信により料金が払い戻される場合があるため、出口通過まで ETC ユニットまたは DSRC ユニットに ETC カードを挿入しておく必要があります。

スマート IC について

⚠ 警告

- スマート ＩＣ は、ETC 専用インターチェンジです。
  所定の方法で車両に取り付け・セットアップされた ETC ユニットまたは DSRC ユニットに、有効な ETC カードを確実に挿入し、ETC システムをご利用可能な場合に通行することができます。
- 運営時間、出入方向および対象車種等に制約がありますのでご注意ください。
- スマート ＩＣ では、車が停止した状態で通信のやりとりが行われ、開閉バーが開くシステムとなっておりますので、必ず開閉バーの手前で一旦停止してください。なお、一旦停止してもバーが開かない場合には、車線に設置された通信開始ボタンを押してください。
- 開閉バーが開かない場合は、開閉バーの手前で停車してインターホン等で係員を呼び、案内にしたがってください。

注意

● 通行止めなどが実施された場合や道路を管理するうえで必要な場合、やむを得ず、予告なく出入口が閉鎖されることがあります。この場合、最寄りの ＩＣ をご利用ください。

ETC カードの有効期限案内について

ETC カードの有効期限が当月、または切れている場合、音声と画面表示で案内されます。

● ETC カードを挿入する、または挿入した状態で車両のパワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにすると、「ETC カードの有効期限が切れています」などと案内されます。

⚠ 警告

● 本機能は、ETC カードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。ETC を使用する前は、必ず ETC カードに記載されている有効期限を確認してください。

知 識

● 通知設定画面の ETC 音声案内（→ P.440）を「しない」に設定していても、ETC カードの有効期限は案内されます。

2. ETC 画面の操作

ETC 画面を表示する

1 MENU ▶ 情報 → ETC

2 ETC 画面が表示される。



ETC カードメッセージについて

現在の ETC ユニットまたは DSRC ユニットの状態が表示されます。

メッセージ	状態
ETC カード確認中	ETC カードを読み込んでいます。
ETC カード挿入済み	ETC カードが挿入されていることを確認しました。
システム異常	ETC ユニットまたは DSRC ユニットに何らかの異常が発生しています。
ETC カード異常	ETC カードを読み込むことができませんでした。
ETC カード未挿入	ETC カードが挿入されていません。
未セットアップ	ETC ユニットまたは DSRC ユニットがセットアップされていません。
セットアップ完了	ETC ユニットまたは DSRC ユニットがセットアップされました。
カード挿入済み ETC レーン通行不可	ETC カード以外のカードが挿入されています。
メッセージ	状態
DSRC 通信中※	DSRC 通信中です。ETC レーンは通行できません。

※ 販売店装着オプションの ITS スポット対応 DSRC ユニットを接続した場合のみ表示されます。

ETC 割込表示について

有料道路にある ETC ゲートを通ったときや、エラーが発生したときに表示されます。

知 識

- 表示される通行料金は道路事業者の割り引きなどにより実際と異なる場合があります。また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の割込表示・音声による案内は行われない場合があります。

ETC マーク表示について

ETC カードを挿入すると、画面上部のステータスバーに ETC マークが表示されます。

ETC マーク表示



- ETC マーク表示はカード挿入状態を表しており、必ずしも ETC ゲートを通過できることを表してはいません。
- ETC カードの有効期限が切れている場合は、ETC マークは表示されません。

履歴を表示する

1 MENU ▶ 情報 → ETC

2 履歴情報表示 にタッチ。

3 履歴表示を切り替える。

最新 ：最新の履歴に戻る

詳細 ：利用区間を表示する

⚠ 警告

- ETC ゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができなくなるなど、ETC レーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

(知 識)

- 表示させることができる履歴は、ETC カードに記録されるため、記録件数は使用する ETC カードにより異なります。(最大 100 件)
- 道路事業者の設定する料金所情報に追加・変更があった場合、利用区間が正しく表示されないことがあります。

統一エラーコードを表示する

最後に発生した統一エラーコードが確認できます。

1 MENU ▶ 情報 → ETC

2 エラー発生時、登録情報表示 にタッチ。

ETC 登録情報を表示する

お客様の車の ETC ユニットまたは DSRC ユニットに登録された情報が表示されます。

1 MENU ▶ 情報 → ETC

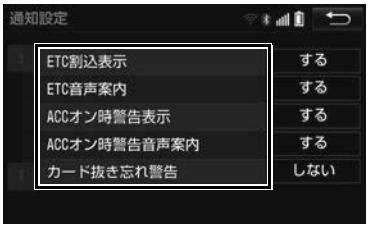
2 登録情報表示 にタッチ。

- エラー発生時は、最後に発生した統一エラーコードも表示されます。

ETC の通知設定をする

1 MENU ▶ 設定・編集 → ETC → 通知設定

2 設定したい項目にタッチ。



3 する または しない にタッチ。

次の設定を変更することができます。

項目	内容
ETC 割込表示	「ETC 割込表示」（→ P.438）
ETC 音声案内	ETC ユニットまたは DSRC ユニットを利用するときに、音声を出力します。
ACC オン時警告表示	パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたは ON モードにしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを画面に表示して警告します。
ACC オン時警告音声案内	パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたは ON モードにしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを音声で警告します。
カード抜き忘れ警告	ETC カードが挿入されている状態で、パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードから OFF にしたとき、カードの抜き忘れを ETC ユニットまたは DSRC ユニットからの音声で警告します。

知 識

- 通知設定画面で ETC 割込表示を「しない」に設定すると、エラー発生時に統一エラーコードが画面表示されません。
  ETC 画面の 登録情報表示 で確認してください。（→ P.439）

3. エラーコードについて

統一エラーコード一覧について

エラーが発生すると、統一エラーコードが画面に表示されます。
この場合は、次の表にもとづき、処置をしてください。

（例）エラー 01 が発生したときは、次のように音声で案内されると同時に、統一エラーコードが画面に表示されます。
音声案内：「ポーン ETC カードが挿入されていません」
画面表示：「ETC カードが挿入されていませんコード〔01〕」

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処置
01	ETC カード挿入異常	• ETC カードが通信時に挿入されていない • ETC カードの挿入状態が悪い	ETC カードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。
02	データ処理異常	• ETC カードへの読出し、書込みエラー • ETC カードと ETC ユニットまたは DSRC ユニットの接点不良（ETC カードアクセス中の瞬断） • 読出し中、書込み中カードのイジェクト	**[ETC カード挿入時]** 挿入された ETC カードのデータが読み出せませんでした。再度挿入してください。それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。 **[ETC ゲート通過前]** 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。 車両停止後、料金所係員の指示にしたがってください。 **[ETC ゲート通過後]** 次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。料金所係員のいる一般レーン（ETC/ 一般 共用レーンを含む）へ進入してください。
03	ETC カード異常	• ETC カードが故障している • ETC カード以外のカードが挿入され、通信しない • ETC カードの誤挿入（裏面、挿入方向違い）	挿入されたカードが ETC カードであることを認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などをご確認のうえ、再度挿入してください。 それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
04	ETC ユニットまたは DSRC ユニット故障	自己診断結果により、ETC ユニットまたは DSRC ユニットが故障している	再度ハイブリッドシステムを始動してみてください。それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

次のページに続く

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処置
05	ETC カード情報の異常	• ETC カードとの認証エラー • ETC カード以外の IC カードが挿入 • 認証中 ETC カードのイジェクト • 未セットアップ状態での ETC カードの挿入	挿入されたカードが ETC カードであることを認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などをご確認のうえ、再度挿入してください。 それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
06	ETC ユニットまたは DSRC ユニット情報の異常	路側無線装置との認証エラー	ETC ユニットまたは DSRC ユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。料金所係員の指示にしたがってください。
07	通信異常	路側無線装置との通信が途中で終了	
	ETC アンテナ接続異常	ETC アンテナの結線が外れている場合	カードを抜くと異常警告が止まります。ETC の利用を中止して、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

(知 識)

- 以下の設定にした場合は、エラーが発生しても音声案内は出力されません。ETC ユニットまたは DSRC ユニットからブザー音のみが出力されます。
  - ・ 通知設定画面で、ETC 音声案内（→ P.439）を「しない」に設定したとき
  - ・ ナビゲーションの音量設定画面（→ P.41）で、「消音」に設定したとき
- ETC カード未挿入お知らせアンテナなどと通信した際に、統一エラーコード〔07〕と通知されることがありますが、ETC ユニットまたは DSRC ユニットの故障ではありません。
- ETC ユニットまたは DSRC ユニットの無線通信を利用して、駐車場管理システムが運用されています。有料道路の料金支払いと異なる通信を行った場合、画面表示・登録情報表示で確認できる統一エラーコードが〔01〕もしくは〔07〕と表示されることがありますが、ETC ユニットまたは DSRC ユニットの故障ではありません。
- ETC ゲート通過後にエラーが発生した場合、ETC カードを抜くとエラー音が停止します。
  この場合、再度 ETC カードを挿入すると、「ポーン ETC カードが挿入されました」の音声と同時に緑ランプが点灯しますが、次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。

4. 知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

ETC の操作でお困りの際は、まず以下の表にもとづき確認してください。
処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
ETC の料金を音声案内しない。	ETC の通知設定で ETC 割込表示 を しない、ETC 音声案内 を しない の設定にしていませんか。	ETC の通知設定で ETC 割込表示 を する、ETC 音声案内 を する にしてください。
ETC 履歴情報を表示できない。	ETC カードは挿入されていますか。	ETC カードを挿入してください。

1. ITS スポット 対応 DSRC ユニット（ETC・VICS 機能付）について

ご利用の前に

各サービスをご利用される前に、ITS スポット対応 DSRC ユニットのセットアップ手続きが必要です。セットアップ手続きについては、お買い上げの販売店にご相談ください。（セットアップ手続きには別途費用が発生します。）

ITS スポットサービス（DSRC）で提供されるサービス内容について

ITS スポットサービス（DSRC）の概要、取り扱いについては、各ページを参照してください。

なお、今後サービスが追加された場合は、新しいサービスに対応できないことがあります。

提供サービス		主なサービス内容	ページ
ITS スポットサービス（DSRC）	ETC	自動料金支払い機能	434
	安全運転支援情報	前方障害物情報提供（音声、図形表示）	188
	道路交通情報	前方状況情報提供（音声、図形表示、画像表示）	189
		施設情報提供	189
		ハイウェイラジオ情報読上げ	189
		ITS スポット走行情報のアップリンク	192
	インターネット接続	インターネット接続機能	445

- VICS サービス（FM 多重放送、光ビーコン）については、「VICS・交通情報を活用する」（→ P.187）を参照してください。

ITS スポット画面の操作

- 表示される画面の使い方などについては、「ETC 画面の操作」（→ P.438）をご覧ください。

☆印はオプションです。

2. インターネット接続サービスについて

ITS スポットサービス (DSRC) のインターネット接続サービス提供エリア内では、施設から提供される様々な情報をナビ画面に表示し、利用することができます。

インターネット接続サービスの利用方法について

1 SA・PA、道の駅内の ITS スポットサービス（DSRC）駐車エリアに駐車し、シフトレバーを Ⓟ にした後、パーキングブレーキをかける。

知 識

- 利用可能な駐車エリアについては、以下のホームページをご覧ください。
  http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html

2 現在地 を押す。

3 利用可能な場合は、以下の割込み画面が表示され、画面左上に ITS スポットアイコンが表示される。



ITS スポットアイコン

4 MENU を押す。

5 情報 にタッチ。

6 情報接続 にタッチ。

- フルブラウザ画面が表示されます。フルブラウザ画面については、「フルブラウザ画面で操作する」（→ P.448）をご覧ください。
- フルブラウザ画面を終了するとき

  ➡ 現在地 を押す。

注意

- フィッシング詐欺、ウイルス感染のおそれがあるため、閲覧するサイトについては十分注意してください。

知 識

- インターネット接続サービスは、ETC カード挿入の有無に関わらず提供されます。
- 走行中は使用することができません。
- ITS スポットサービス（DSRC）エリア外では使用できません。

故障とお考えになる前に

症状	考えられること	処置
ITS スポットアイコンが出ない。	地図画面以外を表示していませんか。	現在地画面を表示させてください。（→ P.72）
	DSRC 路側無線装置の通信エリア外ではありませんか。	ITS スポットサービス（DSRC）の駐車枠内に車両を移動してください。
	車両と DSRC 路側無線装置間の障害物により、電波が遮蔽されて通信に失敗していることが考えられます。	ITS スポットサービス（DSRC）の駐車枠内での車両の移動により、症状が解消される場合があります。
	DSRC 路側無線装置が稼動していないことが考えられます。	VICS センターに路側無線装置の稼動状況を確認してください。
「ITS スポット情報接続サービスをご利用できません　ご利用可能なエリアについては取扱説明書または販売店にご確認ください」が表示される。	ITS スポットアイコンが表示されない状態で、情報接続 にタッチしていませんか。	ITS スポットアイコンを確認してから 情報接続 にタッチしてください。
「ITS スポットに接続できませんでした」が表示される。	車両と DSRC 路側無線装置間の障害物により、電波が遮蔽されて通信に失敗していることが考えられます。	パワースイッチを OFF/ アクセサリーモードまたは ON モードする、または ITS スポットサービス（DSRC）の駐車枠内で車両の移動をして、フルブラウザ画面で ↻ にタッチすることにより症状が解消される場合があります。
	ITS スポットのフルブラウザコンテンツを閲覧中に、T-Connect コンテンツを閲覧し、再度 情報接続 にタッチしていませんか。	パワースイッチを OFF/ アクセサリーモードまたは ON モードすることにより、症状が解消される場合があります。
フルブラウザのコンテンツ上にエラーメッセージが出る。 例：404 Not Found	DSRC 路側無線装置からエラーの通知が送られてきています。	VICS センターに路側無線装置の稼動状況を確認してください。

症状	考えられること	処置
同じコンテンツでも表示時間にばらつきがある。	複数のユーザーが ITS スポットサービスを利用していることが考えられます。	他のユーザーの利用状況により、症状が改善される場合があります。
	車両と DSRC 路側無線装置間の障害物により、電波が遮蔽され通信時間がかかることが考えられます。	ITS スポットサービス（DSRC）の駐車枠内で車両の移動をして、フルブラウザ画面で ↻ にタッチすることにより症状が改善される場合があります。
フルブラウザのコンテンツ上に「メモリーオーバー」が表示される。	コンテンツサイズが大きいことが考えられます。	他のコンテンツを閲覧してください。
コンテンツの表示に数分以上の時間がかかる。		
フルブラウザ上の表示が変わらない。	車両と DSRC 路側無線装置間の障害物により、電波が遮蔽されて通信に失敗していることが考えられます。	ITS スポットサービス（DSRC）の駐車枠内で車両の移動をして、フルブラウザ画面で ↻ にタッチすることにより症状が解消される場合があります。
フルブラウザのコンテンツ上に「走行中はご利用できません」と表示される。	フルブラウザ画面を表示したまま車両を走行させませんでしたか。	ITS スポットサービス（DSRC）の駐車枠内に駐車し、シフトレバーを P にした後、パーキングブレーキをかけてください。
フルブラウザのコンテンツ上に「ITS スポット通信が切断されました 「現在地」ボタンからブラウザを終了してください」が表示される。	フルブラウザ画面を表示したまま ITS スポットサービス（DSRC）の通信エリア外に出ませんでしたか。	フルブラウザ画面を終了した後に、車両を ITS スポットの通信エリア外に移動してから、再度駐車枠に戻って操作してください。
	車両と DSRC 路側無線装置間の障害物により、電波が遮蔽されて通信に失敗していることが考えられます。	ITS スポットサービス（DSRC）の駐車枠内での車両の移動後、情報接続 にタッチすると、症状が解消される場合があります。
フルブラウザの特定のコンテンツが表示できない。 エラーが表示される。	フルブラウザがコンテンツに対応していないことが考えられます。	本書の「フルブラウザ画面で操作する」（→ P.448）を参照してください。

3. フルブラウザ

フルブラウザ画面で操作する

フルブラウザは、ITS スポット (DSRC) のサービスエリア内の施設から提供される様々な情報の表示や操作を行います。

閲覧中に操作する

コンテンツの閲覧中は、次の操作ができます。



番号	スイッチ	機能	ページ
1	更新／中止 ※	↻ : コンテンツの再読み込みをして画面を更新する（コンテンツの読み込みが完了または中断しているときに表示） × : コンテンツの読み込みを中止する（コンテンツの読み込み中に表示）	—
2	戻る／進む	ページを切り替える。	—
3	プレビュー	同時に表示しているコンテンツの一覧を表示する。	449
4	ブックマーク	登録したブックマークからコンテンツを選択する。	450
		表示中のページをブックマークに登録する。	
		登録したブックマークを編集する。	
		コンテンツの閲覧履歴を表示する。	
5	メニュー	表示中のコンテンツ内で文字検索する。	451
		各種項目を設定する。	

※ コンテンツの読み込み中に × にタッチしたり通信が切断された場合、コンテンツが表示されずに背景のみとなったり、読み込み中のコンテンツが乱れて表示されることがあります。この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。

・ ↻ にタッチして、コンテンツを再取得する。

・ ↩ にタッチしていったん前のページを表示し、コンテンツを取得しなおす。

プレビュー画面を操作する



番号	スイッチ／表示	機能
1	×	コンテンツの表示を終了する。
2	プレビュー画像	選択したコンテンツに切り替える。
3	新規ページ	新たなプレビュー画像（空白ページ）を表示する。

ブックマーク画面を操作する



番号	スイッチ／表示	機能
1	追加	**表示中のページをブックマークに登録できます。** 
2	編集	**登録したブックマークを編集できます。** 
3	閲覧履歴	**閲覧履歴からコンテンツを選択できます。** 
4	登録コンテンツ名	**コンテンツを表示します。**
5	フォルダ名	**登録したコンテンツ一覧／フォルダー一覧を表示します。**

メニュー画面を操作する



番号	スイッチ	機能
1	コンテンツ検索	コンテンツ内の文字を検索する。
2	ブラウザオプション	ブラウザに関する項目を設定する。

■設定項目一覧

項目	機能
フォントサイズ	コンテンツの表示サイズを設定できます。
表示方法	コンテンツの表示を、PC（パソコン用のコンテンツ）またはモバイル（スマートフォン用のコンテンツ）に設定できます。
Cookie の受け入れ	Cookie の機能について設定できます。 • ON（常に）：すべての Cookie 機能を受け入れる • ON（訪問先）：閲覧したサイトの Cookie 機能のみ受け入れる • OFF：すべての Cookie を受け入れない
閲覧履歴の記録	閲覧したコンテンツの記録を、履歴に残す（ON) または残さない（OFF) に設定できます。
JavaScript の実行	JavaScript を実行する（ON) または実行しない（OFF) に設定できます。
ポップアップブロックの実行	ポップアップをブロックする（ON) またはブロックしない（OFF) に設定できます。
画像の自動読込	画像を自動で読み込む（ON) または読み込まない（OFF）に設定できます。
現在地の取得	現在地情報の取得について設定できます。 • ON（警告なし）：警告を表示しないで現在地を取得する • ON（警告あり）：警告を表示してから現在地を取得する • OFF：現在地を取得しない
閲覧履歴の削除	閲覧履歴をすべて削除できます。
Cookie の削除	Cookie をすべて削除できます。
キャッシュの機能	キャッシュをすべて削除できます。

8

ハンズフリー

1 お使いになる前に

1. ハンズフリーについて.....456
Bluetooth 携帯電話について.....457
ハンズフリーが使用できないとき.....457
お車を手放すとき.....458
音声について.....458
受信レベル表示について.....459
電池残量表示について.....460
Bluetooth 接続状態表示について.....460

2. Bluetooth機器使用上の注意事項について.....461
Bluetooth オーディオと同時に使用するとき.....461

2 ハンズフリーの基本操作

1. ハンズフリーの準備をする.....462
ハンズフリーの設定をする.....462
携帯電話を登録する.....462
携帯電話を接続する.....462
Bluetooth 接続の再接続について.....465

2. 電話をかける／受ける.....466
ダイヤル発信する.....466
電話を切る.....467
電話を受ける.....467

3 ハンズフリーの便利な使い方

1. 色々な方法で電話をかける.....468
電話画面を表示する.....468
電話帳から発信する.....469
履歴から発信する.....470
ワンタッチ発信する.....470
音声認識で発信する.....471
ナビ画面から発信する.....471
携帯電話本体から発信する.....472

2. 着信中画面の操作.....473
電話を保留する（応答保留）.....473
着信を拒否する.....473

3. 通話中の操作.....474
受話音量を調整する.....474
送話音量を調整する.....474
送話音をミュート（消音）する.....474
通話を転送する.....475
割込通話の操作.....475
10 キー入力する.....476

4. 簡易画面について.....477

4 ハンズフリーの設定を変更する

1. 設定・編集画面を表示する.....478
電話の設定・編集をする.....478
Bluetooth の設定・編集をする.....478

2. 音量の設定をする 479
音設定画面を表示する 479

3. 電話帳を編集する 480
電話帳について 480
電話帳設定画面を表示する.....480
携帯電話の電話帳データを転送する.....481
電話帳に新規データを追加する.....483
電話帳のデータを修正する.....484
電話帳のデータを削除する.....485
ワンタッチダイヤルを登録する.....485
ワンタッチダイヤルを削除する.....486
履歴データを削除する 486

4. ハンズフリーの詳細設定を変更する 488

5. Bluetooth設定をする 489
Bluetooth 電話機の登録を削除する 489
使用する通信機器を選択する 489
電話機詳細情報を確認する 490
電話機詳細情報を表示する 490
本機の Bluetooth 情報を編集する 492

5 ステアリングスイッチの操作

1. ステアリングスイッチで操作する 494

6 こんなときは

1. 故障とお考えになる前に.....495

本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をお買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト (http://toyota.jp/dop/navi/update/) でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1. ハンズフリーについて

動作確認済の Bluetooth 携帯電話※（以下「携帯電話」）を本機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。

※ 本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト (http://toyota.jp/dop/navi/update/) でご確認ください。

本システムに接続する携帯電話は、次の仕様に対応した携帯電話である必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■対応 Bluetooth 仕様

- Bluetooth Specification Ver.1.1 以上（Ver.3.0+EDR を推奨）

■対応 Profile

- HFP（Hands Free Profile）：Ver.1.0 以上（Ver.1.6 を推奨）
- OPP（Object Push Profile）：Ver.1.1 を推奨
- PBAP（Phone Book Access Profile）：Ver.1.1 を推奨

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。
- 安全な場所に停車して電話をかけてください。運転中に電話がかかってきたときは、安全運転に留意し、通話は手短にしてください。

注意

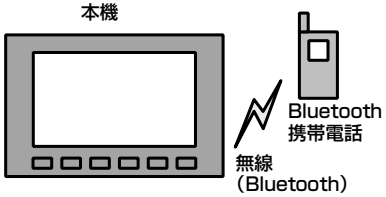
- 携帯電話は車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

Bluetooth 携帯電話について

Bluetooth 携帯電話は、本機と携帯電話との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

従来の携帯電話では、ハンズフリーを利用するために、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth 携帯電話では、どこにも接続することなく、ハンズフリーを利用することができます。

例えば、ポケットなどに携帯電話をいれたままでも、そのままの状態でハンズフリーがご利用いただけます。



※ 本システムでは、有線（ケーブル）接続の携帯電話はご利用になれません。

注意

- Bluetooth 携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

知 識

- Bluetooth 携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth 携帯電話は、Bluetooth 接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG,inc が所有する登録商標であり、富士通テン株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

ハンズフリーが使用できないとき

- 次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。
  - 通話エリア外のとき
  - 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
  - 緊急通報中のとき
  - 携帯電話から電話帳データを転送中のとき
  - 携帯電話がダイヤルロックされているとき
  - データ通信中など、携帯電話が使用中のとき
  - 携帯電話が故障しているとき
  - 携帯電話が本機に接続されていないとき
  - 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
  - 携帯電話の電源が OFF のとき
  - 携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
  - 本機側でデータ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき（切り替え中は本機の Bluetooth 接続状態表示が表示されません。）
  - その他、携帯電話自体が使えないとき

知 識

- 三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で三者通話を解除してからお使いください。
- ヘルプネットをご利用の場合は、次のような制限があります。
  - ・ ヘルプネット動作中はハンズフリーを使用できません。
    また、ヘルプネット動作中は電話を切る操作による回線切断ができません。ただし、呼び返し待機中は、ハンズフリーで発信できます。
  - ・ 着信中、応答保留中または通話中画面表示中にヘルプネットが起動すると、ハンズフリーは強制終了されて、ハンズフリー画面が解除されます。

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（→ P.52）

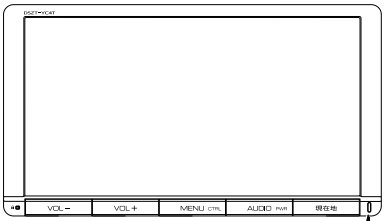
なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態に戻すことはできません。

間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

- ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。
  - ・ 電話帳データ
  - ・ 画像データ
  - ・ 発信または着信の履歴データ
  - ・ ワンタッチダイヤル
  - ・ Bluetooth 電話機の登録情報
  - ・ ハンズフリー関連の設定・編集項目

音声について

- 発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。



- 着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。
- ハンズフリーで音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声などはミュート（消音）されます。ただし、ハンズフリーより優先される音声（ナビ案内など）は、ミュート（消音）されません。

知 識

- 販売店装着オプションの音声認識マイクを接続した場合は、内蔵されているマイクを使用せずに、音声認識マイクを使用します。（→ P.361）

知 識

- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。（故障ではありません。）
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。音量が大きい場合、次のようになることがあります。
  - ・ 通話相手の音声が車外にもれる。
  - ・ 通話相手側にエコーが聞こえる。
- 音声は大きくはっきりとお話しください。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  - ・ 悪路走行時
  - ・ 高速走行時
  - ・ 窓を開けているとき
  - ・ エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
  - ・ エアコン送風の音が大きいとき
  - ・ 携帯電話をマイクに近づけたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 他の Bluetooth 対応機器（ポータブル機、スマートフォン）が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

受信レベル表示について

電波の受信レベルの目安を表示します。



表示	圏外
レベル	圏外　弱 ◀——▶ 強

知 識

- 「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
- 受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。
- 機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。

電池残量表示について

携帯電話の電池残量の目安を表示します。



表示	
残量	無　少　多

知 識

- 電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 本システムには携帯電話の充電機能はありません。

Bluetooth 接続状態表示について

携帯電話の Bluetooth 接続状態を表示します。



表示	接続状態
（青色）	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。
（灰色）	この状態では通話時に音質が劣化することがあります。表示が青色になるまで、携帯電話を移動してご使用ください。
	携帯電話が Bluetooth 接続されていない状態を示しています。この状態では携帯電話でのハンズフリーは使用できませんので、再度、携帯電話の選択をご確認ください。（→ P.489） 携帯電話の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。（→ P.47）

知 識

- Bluetooth 通信用のアンテナが本機内に内蔵されています。
  次のような場所や状態で Bluetooth 携帯電話を使用すると、Bluetooth 接続状態表示が灰色になることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。
  - 携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき
    （携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
  - 携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき

  Bluetooth 携帯電話を使用するときは、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。
- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth 接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

2. Bluetooth 機器使用上の注意事項について

● この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

● この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。
変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
想定与干渉距離は 10m 以下です。
この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

● Bluetooth 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。
植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器およびそれ以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

（知 識）

● 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。

● 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

Bluetooth オーディオと同時に使用するとき

● Bluetooth オーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 対応機器（携帯電話）を同時に使用するときは、次のようになります。
- 携帯電話の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
- ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
- ハンズフリーの動作が遅くなることがあります。

● Bluetooth オーディオを再生中にハンズフリーで使用する通信機器の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。

● 電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されることがあります。
この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

● ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。

● 本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店、またはトヨタのパソコンサイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）でご確認ください。

1. ハンズフリーの準備をする

ハンズフリーの設定をする

ここでは、ハンズフリーを使用するための基本的な操作について説明しています。

初めてハンズフリーを使われる方やすぐにハンズフリーを使いたいという方は、まずこの章をご覧の上、操作してください。

ハンズフリーを使用する前に、まず使用する通信機器の設定をします。（→ P.462）

携帯電話を登録する

Bluetooth 携帯電話を使用するためには、携帯電話を本機に初期登録する必要があります。（→ P.47）

携帯電話を接続する

Bluetooth 携帯電話の本機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

（知 識）

- 携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth オーディオの再生中に接続動作を行った場合、オーディオの再生が停止します。
- Bluetooth オーディオの操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中に Bluetooth オーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。

携帯電話を自動で接続する

Bluetooth 詳細設定の ACC ON 時の自動接続（→ P.493）を「する」に設定すると、自動で Bluetooth 接続できます。

パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたは ON モードにするたびに、本機は過去の接続履歴順に Bluetooth 接続します。

■Bluetooth 接続確認案内

Bluetooth 詳細設定の電話機の接続確認案内（→ P.493）で「する」を選択しているときは、電話機が Bluetooth 接続されると、接続完了の案内が画面上部に表示されます。

ハンズフリーを使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth 接続確認案内



- Bluetooth 接続状態表示でも確認できます。（→ P.460）

知 識

- 接続完了の案内は、パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたは ON モードにした後、携帯電話と Bluetooth 接続完了したときに表示されます。
（ヘルプネット動作後に再接続した場合は表示されません。）
- 携帯電話の機種によってはパワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明を OFF に設定してください。
（設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。）
- 電話帳／履歴自動転送（→ P.488）を「する」に設定しているときに PBAP に対応している携帯電話を接続すると、電話帳、発着信履歴は自動で同期を取ります。

■自動接続できなかった場合

接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→ P.463）

携帯電話を手動で接続する

携帯電話の自動接続が失敗したときや自動接続 OFF 状態にしているときに Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

電話画面表示中（→ P.468）→ 接続

または

MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

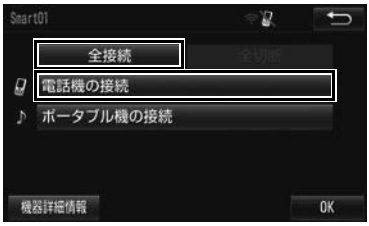
1 携帯電話を Bluetooth 接続可能な状態にする。

2 使用する携帯電話にタッチ。



- または にタッチすると携帯電話の接続を開始します。

3 全接続 または 電話機の接続 にタッチ。



4 Bluetooth 接続画面が表示される。



- 他の機器を Bluetooth 接続しているときは、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。
- 接続完了のメッセージが表示されたら、携帯電話が使用できます。

(知 識)

- 携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

携帯電話の接続を切る

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

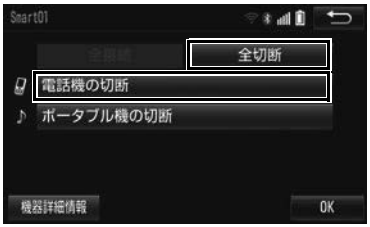
または

MENU → 電話 → 接続

2 接続を切る携帯電話にタッチ。



3 全切断 または 電話機の切断 にタッチ。



Bluetooth 接続の再接続について

パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、再接続処理を自動的に行います。

(知 識)

- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→ P.463)

Bluetooth 接続が意図的に切断された場合

携帯電話側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

- 次のいずれかの方法で再接続してください。

項目	ページ
手動で接続する	463
改めて携帯電話を選択する	489

2. 電話をかける／受ける

ダイヤル発信する

電話番号を入力して電話をかけることができます。

1 停車中に MENU を押す。

2 電話 にタッチ。

- 携帯電話が登録されていないときはメッセージが表示されます。
  はい にタッチすると、携帯電話の登録（→ P.47）を開始します。

3 電話番号を入力する。



4 にタッチ。

- 発信できたとき
  ➡ 発信画面が表示される。
  ・発信音が出力された後、呼び出し音が出力されます。
- 相手が電話に出たとき
  ➡ 通話中画面が表示され、通話を開始する。

- その他の電話のかけ方について
  ➡「色々な方法で電話をかける」（→ P.468）

知 識

- 電話画面を表示しているときに走行を開始すると、メッセージが表示され 10 キーが操作できなくなります。
- Bluetooth 携帯電話は、本機に携帯電話を登録して Bluetooth 接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。（→ P.47）
- 携帯電話は Bluetooth 機能を使用できる状態にしてご使用ください。
  携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth 接続状態表示が切断表示の場合は、ハンズフリーはご使用になれません。
- 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
  ・ 発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
  ・ 通信事業者のサービスにより発信中画面で 10 キー入力する必要がある場合、10 キー入力をしてもトーン信号を送れないことがあります。10 キー入力については、「10 キー入力する」（→ P.476）をご覧ください。
- Bluetooth オーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。
- 携帯電話の機種により、発信操作後に携帯電話の操作が必要になる場合があります。

電話を切る

1 次のいずれかの操作をする。

・発信中または通話中画面で にタッチ。
・携帯電話本体で電話を切る。
（携帯電話接続時）

知 識

● 電話が切れると 1 つ前の画面に戻ります。

電話を受ける

着信があると、表示中の画面に関わらず着信画面と着信音で着信を知らせます。着信画面は、着信割り込み表示の設定（→ P.488）により表示画面が異なります。ここでは、「全画面」に設定したときの画面で説明します。

簡易画面については、「簡易画面について」（→ P.477）をご覧ください。

着信音については、「着信音設定」（→ P.479）をご覧ください。

▶着信中の全画面表示



1 にタッチ。

知 識

● 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声（ナビ案内など）は、ミュートされません。
● ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。
携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
・ ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
・ 着信音については、
①車両のスピーカーから聞こえる
②車両のスピーカーおよび携帯電話から聞こえる
など、機種によって異なります。
・ 機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
・ 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
・ 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、機種によっては、本機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
・ Bluetooth オーディオ再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。
● PBAP に対応している携帯電話で、電話帳の画像データが転送された場合、着信時の画像表示（→ P.488）が「する」に設定されていると、電話番号と共に画像が表示されます。

1. 色々な方法で電話をかける

ここでは、ダイヤル発信以外の電話のかけ方について説明します。

電話画面を表示する

1 停車中に MENU を押す。

2 電話 にタッチ。



- この画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

発信方法	内容	ページ
ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかける	466
電話帳発信	本機の電話帳から電話をかける	469
履歴発信	発信または着信の履歴から電話をかける	470
ワンタッチ発信	ワンタッチダイヤルから電話をかける	470

- その他、次の方法で電話をかけることもできます。

発信方法	内容	ページ
音声認識発信	音声認識で電話をかける	374、471
ナビからの発信	ナビに登録しているデータ、またはT-Connectで検索したデータから電話をかける	471

電話帳から発信する

電話番号を本機に登録（→ P.480）しておくと、電話帳から電話をかけることができます。

電話画面（→ P.468）

1 電話帳 にタッチ。

- 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。
  - ・PBAP に対応していない携帯電話の場合、編集 にタッチすると、電話帳名称変更画面（→ P.483）が表示されます。
    転送 にタッチすると、電話帳更新画面（→ P.481）が表示されます。
  - ・PBAP に対応している携帯電話を接続すると、電話帳、発着信履歴は自動で同期を取ります。
  - ・PBAP に対応している携帯電話で電話帳／履歴自動転送（→ P.488）が「しない」に設定されている場合、メッセージが表示されます。はい 、または 以降は確認せずに転送 にタッチすると転送を行います。以降は確認せずに転送 にタッチした場合は、電話帳／履歴自動転送（→ P.488）が「する」に変わります。

2 希望の通話相手にタッチ。



ショートカットスイッチ

- 接続されている携帯電話に対応した電話帳のみ表示されます。
- 次のいずれかにタッチすると、ショートカットスイッチが切り替わります。
  その他 ：英数字ショートカット
  50 音 ：50 音ショートカット
- 英数字ショートカットを表示しているときは、アルファベットのショートカットスイッチのみ任意のアルファベットが選択できます。
  （例）ABC に 2 回タッチすると、B で始まるデータのリストが先頭に表示されます。

3 希望の電話番号または  にタッチ。

- PBAP に対応している携帯電話で画像表示設定（→ P.488）を「する」に設定している場合、携帯電話から画像情報が表示されると、電話番号と共に画像が表示されます。（携帯電話によっては、PBAP に対応していても画像表示ができない場合があります。）

履歴から発信する

発信または着信の履歴として登録されている電話番号から電話をかけることができます。
最新の履歴 30 件を表示できます。

1 電話画面（→ P.468）→ 履歴

2 希望の通話相手にタッチ。



発信／着信／不在着信アイコン

● にタッチすると、発信します。

3 希望の電話番号にタッチ。

知 識

● 履歴が 30 件を超えると、古い履歴から自動で削除されます。
● 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  ・ 本機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像も登録されます。
  ・ 同一電話番号に発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。

知 識

● 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  ・ 本機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像も登録されます。
  ・ 同一電話番号から着信した場合は、すべて登録されます。
  ・ 着信拒否も登録されます。
  ・ 相手先電話番号の情報がない場合は、「通知不可」と登録されます。

ワンタッチ発信する

よくかける電話番号をワンタッチダイヤルとして登録（→ P.485）しておくと簡単な操作で電話をかけることができます。
ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。

電話画面（→ P.468）

1 ワンタッチダイヤル にタッチ。

2 発信したい電話番号にタッチ。

● ページを切り替えるとき
  ➡ ワンタッチ 1 ・ ワンタッチ2 ・ ワンタッチ3 のいずれかにタッチ。



音声認識で発信する

● 音声認識発信のしかたについて
➡「電話をかける」（→ P.374）

音声認識発信を中止する

「音声認識モードを中止する」（→ P.364）の方法で、音声認識発信を中止できます。

知 識

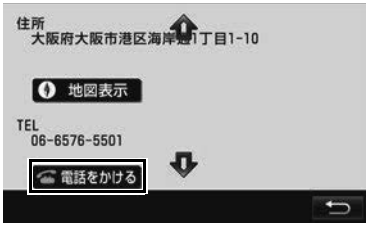
● 販売店装着オプションの音声操作システム（音声認識用マイク＆スイッチ）を装着したときに使用することができます。
● 音声認識中に着信した場合やハンズフリー以外の画面に切り替えた場合は、認識動作を中止します。
● 音声認識発信は走行中でも使用できます。
● 音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。この場合、切り替え中は現在地画面が表示されますので、電話画面に切り替わるまではナビの操作をしないでお待ちください。
● データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

ナビ画面から発信する

ナビ画面で または 電話をかける が表示されているときは、ナビに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。

1 または 電話をかける にタッチ。





電話画面の 交通ナビ の操作

● 電話画面で 交通ナビ にタッチすると、ナビの交通ナビ関連画面が表示され、ここからも電話をかけることができます。（→ P.384）



携帯電話本体から発信する

本機に Bluetooth 接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。携帯電話本体から発信しても、Bluetooth 接続中であれば、ハンズフリー画面が表示されます。

● 携帯電話での通話中は、ハンズフリー通話以外のスイッチは、操作できません。

● 画面スイッチを使用したいとき
➡ 通話を転送する。（→ P.475）

⚠ 警告

● 安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

知 識

● 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

2. 着信中画面の操作

ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。

電話を保留する（応答保留）

1 着信中 にタッチ。



- 応答保留を解除して通話するとき
  ➡ にタッチ。
- 応答保留中に電話を切るとき
  ➡ にタッチ。

知 識

- 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- 携帯電話の機種によっては、本機側の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。

着信を拒否する

携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。

1 にタッチし続ける。

- 着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

3. 通話中の操作

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。
(1)受話音量の調整
(2)送話音量の調整
(3)送話音のミュート
(4)通話の転送
(5)割込通話
(6)10 キーの入力

▶通話中画面



作動表示灯

(知 識)

● ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。
携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
・ 単独で通話中の携帯電話が本機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのままで通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
・ ハンズフリーで通話中にパワースイッチを操作すると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。
なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードであれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。(→ P.475)

受話音量を調整する

1 − または ＋ にタッチ。

送話音量を調整する

1 送話音量 にタッチ。

2 調整する音量にタッチ。

● 初期設定の状態に戻すとき
➡ 初期状態 にタッチ。

(知 識)

● 送話音量の設定を変更すると、音質が悪くなることがあります。

送話音をミュート（消音）する

通話中の発話を相手に聞こえないようにすることができます。このとき相手の発話は聞くことはできます。

1 ミュート にタッチ。

● ミュート状態のときは、作動表示灯が点灯します。
● ミュートを解除するとき
➡ 再度 ミュート にタッチ。

通話を転送する

Bluetooth 携帯電話では、本機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。

ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

携帯電話に通話転送する

1 通話中画面で、**ハンズフリー通話** にタッチ。

- 携帯電話での通話中は、**ハンズフリー通話** 以外のスイッチは操作できません。
- 携帯電話での通話のときは、作動表示灯は消灯します。

(知 識)

- 走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

本機に通話転送する

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。

- 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、画面のスイッチでの操作ができます。

1 通話中画面で、**ハンズフリー通話** にタッチ。

- ハンズフリー通話のときは、作動表示灯が点灯します。

(知 識)

- 携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。また、転送できない機種もあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
- 応答保留中の携帯電話本体の通話をハンズフリー通話に切り替えると、携帯電話は応答保留中のままで本機には通話中画面が表示されます。

割込通話の操作

通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話で両者と通話することができます。

(知 識)

- 電話会社と割込通話の契約をしている必要があります。

割込着信があったとき

通話中に第三者から着信が入ったとき、画面表示で割込着信中であることを知らせます。

1 にタッチ。



● 着信相手と通話でき、通話していた相手は保留中になります。

割込着信を拒否する

1 にタッチ。

知 識

● 携帯電話の機種により、両者とも通話が切れる場合があります。携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

10 キー入力する

通話中に 10 キー入力が必要な場合は、10 キーを表示させます。

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、10 キーを表示できません。(→ P.477)

ハンズフリー通話中

1 0-9 にタッチ。

2 スイッチにタッチして入力する。

● にタッチすると、電話が切れます。

知 識

● 走行中は安全上の配慮から10キーは操作できません。

4. 簡易画面について

状況に応じて次のような画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。

(知 識)

- 電話が切れる、または電話を切ると、オンスクリーン表示や TEL 音声画面は解除されます。

簡易表示画面について

電話詳細設定の着信割り込み表示（→ P.488）で「簡易」を選択しているときに表示されます。

▶電話着信時



- MENU を押し、電話 → の順にタッチすると、着信中の電話と通話することができます。
- また、ステアリングスイッチの ボタンを押しても、着信中の電話と通話することができます。（電話スイッチ装着車のみ）

TEL 音声画面について

電話がつながっているときにオーディオ画面に切り替えた場合に表示されます。



1. 設定・編集画面を表示する

電話の設定・編集をする

設定・編集画面から、電話の各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話

2 各設定をする。



- 設定・編集画面から、次の項目を設定できます。

項目／内容	ページ
音設定 ハンズフリー各音の音量調整・設定	479
電話帳設定 電話帳の転送・登録・編集・削除 ワンタッチダイヤルの登録・削除 履歴データの削除	480
電話詳細設定 ハンズフリー画面の設定	488

Bluetooth の設定・編集をする

設定・編集画面から、Bluetooth の各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth

2 各設定をする。



- 設定・編集画面から、次の項目を設定できます。

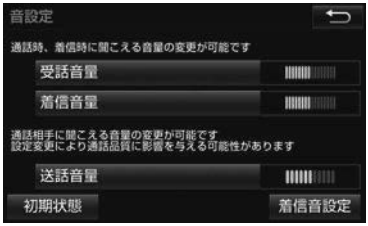
項目／内容	ページ
機器登録・接続 携帯電話／ポータブル機の登録・削除、使用する携帯電話／ポータブル機の選択、詳細設定	47 489
Bluetooth 詳細設定 Bluetooth 自動接続の設定 Bluetooth の詳細設定	492

2. 音量の設定をする

音設定画面を表示する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 音設定

2 各設定をする。



- 初期設定の状態に戻すとき
  ➡ 初期状態 にタッチ。
- 設定・編集画面から、次の項目を設定できます。

受話音量

＋ 、－ にタッチすると、受話音量を調整できます。

着信音量

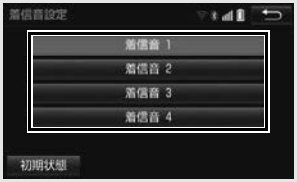
＋ 、－ にタッチすると、ハンズフリーの着信音量を調整できます。

送話音量

＋ 、－ にタッチすると、送話音量を調整できます。

着信音設定

着信音 1 ・着信音 2 ・着信音 3 ・着信音 4 のいずれかにタッチすると、ハンズフリーの着信音が切り替わります。



3. 電話帳を編集する

電話帳について

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

(1)携帯電話に登録してある電話帳を本機の電話帳に転送する。（→ P.481）

(2)本機の電話帳に新規登録する。（→ P.483）

(3)履歴データから登録する。（→ P.483）

また、登録したデータは、本機で編集することができます。

(知 識)

- 電話帳は接続された携帯電話 1 台につき、2500 名分のデータを登録することができます。接続されている携帯電話に対応した電話帳のみ表示することができます。
- この電話帳は、1 名につき最大 4 件の電話番号が登録できます。
- 低温時は、登録、編集または転送した電話帳データが保存されないことがあります。
- 接続された電話機ごとに電話帳は管理されます。

電話帳設定画面を表示する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳設定

2 電話帳の設定をする。



- 電話帳設定画面から、次の項目を設定できます。

機能	ページ
電話帳データの転送	481
電話帳データの新規追加	483
電話帳データの修正	484
電話帳データの削除	485
ワンタッチダイヤルの登録	485
ワンタッチダイヤルの削除	486
履歴データの削除	486

携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。

● **この機能は、OPP か PBAP のどちらかに対応している携帯電話で使用できます。**また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。詳しくは、携帯電話に添付の取扱説明書を併せてご覧ください。

▶PBAP に対応している携帯電話で、「電話帳／履歴自動転送」を「する」に設定しているとき（→ P.488）

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳設定 → 電話帳編集

または

電話画面（→ P.468）→ 電話帳 → 機能

2 転送 にタッチ。



3 電話帳更新画面が表示されます。

● 携帯電話の機種によっては、携帯電話の操作が必要な場合があります。



● 携帯電話側の転送操作は、必ず上の画面を表示させた状態で行ってください。

4 転送が終了したとき、メッセージが表示され転送が完了します。

知 識

● 携帯電話の初回登録後（→ P.47）に電話画面（→ P.466）で 電話帳 にタッチしたとき、電話帳更新画面が表示されることがあります。電話帳データの転送が終わるまで、お待ちください。

▶OPP に対応している携帯電話、またはOPPとPBAPに対応している携帯電話で「電話帳／履歴自動転送」を「しない」に設定しているとき（→ P.488）

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳設定 → 電話帳編集

または

電話画面（→ P.468）→ 電話帳 → 機能

2 転送 にタッチ。

● OPP に対応している携帯電話の場合、携帯電話を操作して電話帳データを転送します。
・ 電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法を選択します。
上書き ：現在のデータに上書きする
追加 ：現在のデータに追加する



・ 携帯電話側の転送操作は、必ず上の画面を表示させた状態で行ってください。

● OPPとPBAPに対応している携帯電話で「電話帳／履歴自動転送」（→ P.488）を「しない」に設定している場合、転送 にタッチし、上書き または 追加 にタッチすると、電話帳転送が行われます。
・ 上書き ：現在のデータに上書きする
追加 ：現在のデータに追加する

▶OPP に対応している携帯電話のみ

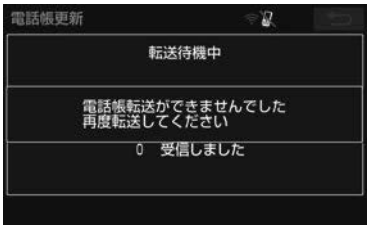
3 完了 にタッチ。

知 識

● 転送するときは、ハイブリッドシステムを始動した状態で行ってください。
● 電話帳データ転送時、携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。

転送失敗画面が表示されたとき

転送操作を最初からやり直してください。



知 識

● 電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
・ 携帯電話の電話帳で 1 つの名称に 5 件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
・ 電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
・ 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。（携帯電話の仕様により可能な場合もあります。）
・ 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
・ 本機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
・ 電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。

知 識

● 一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
  ・ 転送には 10 分程度かかる場合があります。
  ・ 電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。
● 電話帳データ転送中は、次のように対応します。
  ・ 電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。
  着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
  ・ 電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。
  ・ 電話帳データ転送中にパワースイッチを OFF にした場合、転送は中止されます。この場合は、ハイブリッドシステムを始動して、再度転送操作をやり直してください。
● 次の場合、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。
  ・ 本機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき。
  ・ 何らかの原因で転送が中断されたとき。
● 本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。
● 電話帳データ転送中は、Bluetooth オーディオの接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

電話帳に新規データを追加する

本機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。

電話帳には、1 名のデータにつき、次の項目が登録できます。

名称、名称読み、電話番号（最大 4 件）、アイコン（各電話番号にそれぞれ 1 つ）

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「電話」 → 電話帳設定 → 電話帳編集 → 新規追加

または

電話画面（→ P.468） → 電話帳 → 機能 → 新規追加

2 各項目を編集する。（→ P.484）



● 履歴画面（→ P.470）で （履歴の名称） → 新規登録 の順にタッチしても、電話帳編集画面を呼び出して新規データを追加することができます。

知 識

● PBAP のみに対応している携帯電話では、電話帳の追加・修正をすることができません。追加・修正する場合は、「電話帳／履歴自動転送」（→ P.488）を「しない」にしてから操作を行ってください。

名称、名称読み、電話番号、アイコンの編集をする

電話帳は 1 名につき最大 4 件の電話番号を登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

1 文字入力画面で名称を入力し、完了 にタッチ。

2 名称読みを入力し、完了 にタッチ。

3 電話番号を入力し、完了 にタッチ。

4 登録したいアイコンにタッチ。

▶電話番号を追加する場合

5 はい にタッチ。

➡ 手順 **3** へ。

▶編集を終了する場合

5 いいえ にタッチ。

電話帳のデータを修正する

登録済みの電話帳データを修正することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳設定 → 電話帳編集 → 編集

または

電話画面（→ P.468）→ 電話帳 → 機能 → 編集

2 修正したいデータにタッチ。

3 各項目のスイッチにタッチして編集する。



4 完了 にタッチ。

● 電話帳画面（→ P.469）で、（電話帳の名称）→ 電話帳編集 の順にタッチしても電話帳編集画面を呼び出して修正することができます。

知 識

● PBAP に対応している携帯電話で「電話帳／履歴自動転送」（→ P.488）が「する」に設定されている場合、電話帳データを修正することはできません。修正する場合は、「電話帳／履歴自動転送」を「しない」にしてから操作を行ってください。

名称、名称読みの編集をする

1 編集する項目の ✎ にタッチ。

2 文字入力画面で入力し、完了 にタッチ。

電話番号を編集する

1 名につき最大 4 件登録できます。
また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

1 電話番号の ✎ にタッチ。

2 電話番号を入力し、完了 にタッチ。

3 登録したいアイコンにタッチ。

電話帳のデータを削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳設定 → 電話帳編集 → 削除

または

電話画面（→ P.468）→ 電話帳 → 機能 → 削除

2 削除したいデータにタッチ。



3 削除 にタッチ。

4 はい にタッチ。

● 電話帳画面（→ P.469）で、（電話帳の名称）→ 電話帳削除 の順にタッチしても削除することができます。

知 識

● PBAP に対応している携帯電話で「電話帳／履歴自動転送」（→ P.488）が「する」に設定されている場合、電話帳データを削除することはできません。削除する場合は、「電話帳／履歴自動転送」を「しない」にしてから操作を行ってください。

ワンタッチダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルは走行中でも使用できるため、よく利用する電話番号を登録しておくと便利です。

ワンタッチダイヤルは、電話帳に登録してある電話番号から選んで登録します。登録は 15 件までです。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳設定 → ワンタッチダイヤル

または

電話画面（→ P.468）→ ワンタッチダイヤル → 機能

2 登録 にタッチ。



3 登録したいデータにタッチ。

4 登録したい電話番号にタッチ。

5 登録したいスイッチにタッチ。

● ページを切り替えるとき

➡ 「ワンタッチ 1」・「ワンタッチ2」・「ワンタッチ3」のいずれかにタッチ。

● 登録済みのスイッチにタッチしたとき

➡ 置き換えてもよいときは はい にタッチ。

● ワンタッチダイヤル画面（→ P.470）で 未登録 にタッチしても登録することができます。

● 電話帳画面（→ P.469）で、（電話帳名称）→ ワンタッチダイヤル →（電話番号）→ 未登録 にタッチしても登録することができます。

ワンタッチダイヤルを削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「電話」→ 電話帳設定 → ワンタッチダイヤル → 削除

または

電話画面（→ P.468）→ ワンタッチダイヤル → 機能 → 削除

2 削除したいワンタッチダイヤルにタッチ。

3 削除 にタッチ。

4 はい にタッチ。

履歴データを削除する

設定・編集画面から削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「電話」→ 電話帳設定 → 履歴削除

2 全履歴削除 ・ 不在着信履歴削除 ・ 着信履歴削除 ・ 発信履歴削除 のいずれかにタッチ。

3 削除したいデータにタッチ。



4 削除 にタッチ。

5 はい にタッチ。

知 識

● PBAPに対応している携帯電話で「電話帳／履歴自動転送」（→ P.488）が「する」に設定されている場合、履歴データを削除することはできません。削除する場合は、「電話帳／履歴自動転送」を「しない」にしてから行ってください。

電話画面から削除する

1 電話画面（→ P.468）→ 履歴

2 「全履歴」・「不在履歴」・「着信履歴」・「発信履歴」のいずれかにタッチ。

3 削除 にタッチ。

4 削除したいデータにタッチ。



5 削除 にタッチ。

6 はい にタッチ。

知 識

- PBAPに対応している携帯電話で「電話帳／履歴自動転送」（→ P.488）が「する」に設定されている場合、履歴データを削除することはできません。削除する場合は、「電話帳／履歴自動転送」を「しない」にしてから操作を行ってください。

4. ハンズフリーの詳細設定を変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「電話」 → 電話詳細設定

2 各設定をする。



- 詳しくは、次の表をご覧ください。
- 初期設定の状態に戻すとき
  ➡ 初期状態 にタッチ。

着信割り込み表示

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を 全画面 または 簡易 から選択できます。

- 全画面 :着信中、通話中および応答保留中に各画面が表示され、画面のスイッチで操作ができます。
- 簡易 : 着信中にオンスクリーンで表示されます。ステアリングスイッチで操作ができます。（電話スイッチ装着車のみ）（→ P.477）

電話帳／履歴転送確認表示

PBAP に対応している携帯電話と Bluetooth 接続後、電話帳データや履歴データの自動転送が完了したときに、完了表示を画面に表示する／しないを選択できます。

電話帳／履歴自動転送

PBAP に対応している携帯電話と Bluetooth 接続時に携帯電話の電話帳データや履歴データの自動転送をする／しないを選択できます。

- 携帯電話の電話帳や履歴が更新されている場合、本機の電話帳や履歴も更新されます。
- 自動転送は、パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにし、初めて携帯電話が Bluetooth 接続されたときや使用する携帯電話を切り替えて、Bluetooth 接続されたときに行われます

名称表示順

電話帳に登録してある名称の表示を「姓→名」の順／「名→姓」の順に変更できます。

着信時の画像表示

PBAP に対応している携帯電話で電話帳データに画像が転送された場合に、着信時に画像を表示する／しないを選択できます。

5. Bluetooth 設定をする

ここでは、携帯電話と Bluetooth に関する次の設定の説明をしています。

項目	ページ
携帯電話の登録・削除	47 489
通信機器の選択	489
ポータブル機の選択	337
本機の Bluetooth 設定の変更	492

Bluetooth 電話機の登録を削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → 削除

2 削除したい携帯電話にタッチ。



3 はい にタッチ。

知 識

- 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、携帯電話の登録を削除することはできません。

使用する通信機器を選択する

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。
複数の携帯電話を使用するときは、必要に応じて通信機器を選択します。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 携帯電話を Bluetooth 接続可能状態にする。

3 使用する携帯電話にタッチ。



- または にタッチすると、携帯電話の接続を開始します。

4 全接続 または 電話機の接続 にタッチ。

- 他の携帯電話が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、はい にタッチします。
- 接続完了のメッセージが表示されたら、携帯電話が使用できます。

● 携帯電話の登録について
➡「Bluetooth 機器を初期登録する」（→ P.47）

知 識

● 携帯電話はポータブル機も含めて本機に最大５台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機選択で選択された携帯電話のみです。
● Bluetooth オーディオ再生中に電話機選択をした場合、音声が途切れることがあります。
● 携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。

知 識

● 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、通信機器を選択することはできません。

電話機詳細情報を確認する

本機に登録されている携帯電話を確認することができます。

● 次の項目を確認することができます。

項目	内容
機器名称	本機に表示される携帯電話の名称です。任意の名称に変更することができます。
機器アドレス	機器固有のアドレスで、変更することはできません。
自局電話番号	携帯電話の電話番号です。
対応プロファイル	携帯電話で対応しているプロファイルで、変更することはできません。

電話機詳細情報を表示する

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 詳細情報を表示したい携帯電話にタッチ。

3 機器詳細情報 にタッチ。

4 各項目の設定・確認をする。



・機器名称の変更（携帯電話、Bluetooth オーディオ使用時）
・Bluetooth オーディオとの接続方法（Bluetooth オーディオ使用時）
・スマートフォン連携の設定（→ P.208）

● 初期設定の状態に戻すとき
➡ 初期状態 にタッチ。

知 識

● 自局電話番号は携帯電話の機種によっては、表示されない場合があります。

携帯電話の名称を変更する

本機に表示される携帯電話の名称を変更することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → (名称変更したい電話機) → 機器詳細情報 → 機器名称

2 文字入力画面で名称を入力する。(→ P.33)

知 識

- 本機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

Bluetooth オーディオとの接続方法を設定する

Bluetooth オーディオと本機の接続を、どちら側からするか選ぶことができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → (接続したい Bluetooth オーディオ) → 機器詳細情報

2 接続方法 にタッチし、車載機から または ポータブル機から にタッチ。

- 本機側から接続するとき
  ➡ 車載機から にタッチ。
- Bluetooth オーディオから接続するとき
  ➡ ポータブル機から にタッチ。

本機の Bluetooth 情報を編集する

Bluetooth 設定は、本機に関する Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

- Bluetooth 設定画面で、次の情報を確認できます。

項目	内容
機器名称	Bluetooth ネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。
PIN コード	携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。
機器アドレス	本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称や PIN コードを他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。
対応プロファイル	本機で対応しているプロファイルで、変更することはできません。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → Bluetooth 詳細設定

2 各項目の設定・確認をする。



- この画面で、次の操作を行うことができます。
- 初期設定の状態に戻すとき
  ➡ 初期状態 にタッチ。

項目	ページ
ACC ON 時の自動接続の設定	493
機器名称の変更	493
PIN コードの変更	493
電話機の接続確認案内の設定	493
Bluetooth オーディオ接続確認表示の設定	339

自動で携帯電話を接続する

パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたは ON モードにするたびに、選択した携帯電話と自動的に Bluetooth 接続します。

1 ACC ON 時の自動接続 にタッチし、する にタッチ。

- 通常はこの状態で使用してください。
- 携帯電話は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。
- 解除するとき
  ➡ しない にタッチ。

知 識

- 携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。

本機の名称を変更する

Bluetooth ネットワーク内での本機の名称を変更することができます。

1 機器名称 にタッチ。

2 文字入力画面で入力し、完了 にタッチ。

知 識

- 機器名称を変更した場合、Bluetooth オーディオ設定の機器名称（→ P.339）も同時に変更されます。

PIN コードを変更する

PIN コードは 4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。

1 PIN コード にタッチ。

2 4～8桁の範囲で任意の数字を入力し、完了 にタッチ。

- 修正するとき
  ➡ 修正 にタッチ。

電話機の Bluetooth 接続確認案内を設定する

パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたは ON モードにして、携帯電話と自動的に Bluetooth 接続したときに、接続確認の案内を画面上部に表示するかしないかを選択できます。

Bluetooth 接続確認案内

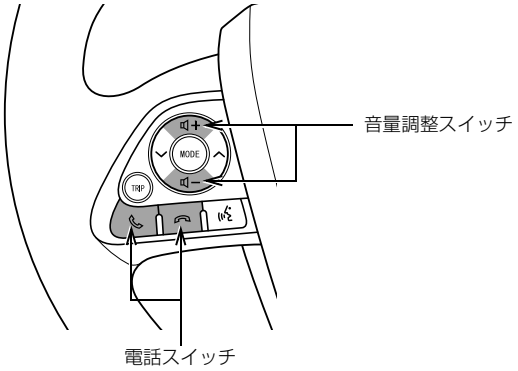


1 電話機の接続確認案内 にタッチし、する にタッチ。

- 表示しないとき
  ➡ しない にタッチ。

1. ステアリングスイッチで操作する

電話の主な操作は、ステアリングスイッチでも操作することができます。



スイッチ	使用状況	機能
音量調整スイッチ －・＋	着信時 ハンズフリー会話時	＋：受話音量・着信音量が大きくなります。 －：受話音量・着信音量が小さくなります。 • 押し続けても連続して調整できません。
電話スイッチ※	着信時 応答保留時	電話をとることができます。
	が画面に表示されているとき	電話をかけることができます。
	ハンズフリー以外の画面が表示されているとき	ハンズフリー画面に切り替わります。
電話スイッチ※	着信時	応答保留することができます。
		約２秒間長押しすると、着信拒否することができます。
	割込着信時	割込着信を拒否することができます。 約２秒間長押しすると、通話を終了します。
	応答保留時	通話を終了することができます。
	発信中 通話中	電話を切ることができます。 • 音声操作で電話をかけている場合、操作が中止されます。

※ 電話スイッチ装着車でご利用いただけます。

1. 故障とお考えになる前に

ハンズフリー /Bluetooth でお困りの際は、まず以下の表を確認してください。

▶ハンズフリー /Bluetooth を使う

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
ハンズフリー / Bluetooth を使うことができない	携帯電話が Bluetooth 非対応機種である。	本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）でご確認ください。	※	−
	携帯電話のバージョンが Bluetooth に適合していない。	Bluetooth Specification Ver1.1 以上（Ver.3.0+EDR を推奨）の携帯電話を使用してください。	※	456

▶携帯電話の登録と接続

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
携帯電話が登録できない	携帯電話に入力した PIN コードが間違っている。	携帯電話に正しい PIN コードを入力してください。	※	−
	携帯電話の登録操作が完了していない。	携帯電話に承認ボタンが表示されているときは承認ボタンを選択して、登録操作を継続してください。	※	−
	本機、携帯電話どちらか一方の登録情報が残っている。	本機の登録処理を中止し、再度登録操作を行ってください。	※	47
		本機、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行なってください。	※	47 489

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
Bluetooth 接続ができない	お使いになる携帯電話以外がすでに Bluetooth 接続状態にある。	お使いになる携帯電話を本機から手動で Bluetooth 接続してください。	–	463
	携帯電話の Bluetooth 機能が有効状態でない。	携帯電話の Bluetooth 機能を有効にしてください。	※	–
	本機の Bluetooth 自動接続が OFF になっている。	本機の Bluetooth 自動接続を ON にしてください。	–	493
	携帯電話の登録情報が削除されている。	本機、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行なってください。	※	47 489

▶着信と発信

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
電話をかける、受けるができない	圏外である。	「圏外」表示が消えるところまで移動してください。	–	–
	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）が ON になっている。	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）を OFF にしてください。	※	–

▶電話帳

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
電話帳データの転送 / 自動転送ができない	携帯電話の Profile が電話帳データ転送に対応していない。	本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）でご確認ください。	※	−
	本機の自動転送設定が OFF になっている。	本機の電話帳自動転送の設定を ON にしてください。	−	488
	携帯電話の PIN コードを入力していない。	携帯電話で PIN コードを求められているとき、PIN コードを入力してください。PIN コードは ”1234” です。	※	−
	携帯電話が電話帳転送の承認待ちになっている。	携帯電話で電話帳転送承認ボタンを選択してください。	※	−
携帯電話に「承認」の確認画面が表示される	承認時に「常に許可」が選択されていない。	携帯電話で「常に許可」を選択し承認してください。	※	−
電話帳データが「その他」のフォルダに登録される	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながない。	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながあるか確認してください。	※	−
	携帯電話の電話帳にデータが登録されていない。	携帯電話に電話帳を登録してください。	※	−
電話帳データの編集ができない	電話帳自動転送の設定が ON になっている。	自動転送の設定を OFF にしてください。	−	488

▶その他の状況

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
パワースイッチをアクセサリーモードまたはONモードにするたび、画面上部にBluetooth接続状態が表示される	本機の接続確認案内の設定が「する」になっている。	接続状態を表示させたくないときは、本機の接続確認案内の設定を「しない」にしてください。	–	493
考えられる処置をしても、症状が改善されないとき	携帯電話と本機の距離が離れすぎている。	携帯電話と本機の距離を近づけてください。	–	–
	電波干渉が発生している。	Wi-Fi® 機器など電波を発生する機器の電源をOFFにしてください。	–	–
	携帯電話に要因がある。	携帯電話の電源をOFFにして、電池パックを取り出してください。	※	–
		携帯電話のBluetooth接続をOFFからONにしてください。	※	–
		携帯電話のWi-Fi® 接続をOFFにしてください。	※	–
		携帯電話のセキュリティソフト、または常駐アプリを停止してください。	※	–
		携帯電話にインストールしたアプリケーションは、提供元および動作状況について十分ご確認の上ご利用ください。	※	–

※ 詳細は携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

9

T-Connect

※T-Connect を利用するには、別途利用手続きをしていただく必要があります。

1 はじめに

1. ご利用の前に知っておいていただきたいこと.....502
   - 安全にご利用するため注意すること 502
   - 掲載画面について 502
   - 通信機器について 502
   - データ通信時の留意事項..... 503

2. T-Connectについて.....508
   - T-Connect について 508
   - T-Connect の通信方法について..... 509
   - サービス内容について 510

2 各種手続きをする

1. 利用手続きをする 511
   - 利用手続きの手順 511
   - 利用開始操作をする 512
   - 利用契約の継続方法を変更する 514
   - 解約手続きについて 515
   - 解約手続きをする 516
   - お車を手放す際にすること..... 516

3 T-Connectトップ画面

1. T-Connectトップ画面について 517
   - T-Connect 画面の使い方 517

4 地点情報を登録する（Gメモリ）

1. Gメモリ 519
   - G メモリについて 519
   - G メモリを登録する..... 519
   - G メモリを表示する..... 519

5 情報画面の使い方

1. T-Connect Viewer 520
   - T-Connect Viewer 画面で操作する 520

2. TC情報マーク 523
   - TC 情報マークを表示する 523
   - 施設の情報を表示する..... 523
   - TC 情報マークを非表示にする..... 523

6 T-Connectをスマートフォンや携帯電話・パソコンで利用する

1. T-Connectをスマートフォンや携帯電話・パソコンで利用する 524
   - スマートフォンアプリをダウンロードする..... 524
   - ID 発行・ログイン 524

7 サービスの使い方

1. ヘルプネット.....525
ヘルプネットについて 525
各部の名称とはたらき 527
安全のために..... 527
サービス開始操作をする 530
緊急通報をする..... 531
保守点検について 534
自動保守点検について 534
手動保守点検について 535
利用登録の更新..... 538
緊急通報できない場合について..... 539

2. マイカー Security.....541
マイカー Security について..... 541
初期設定の確認・変更 542
アラーム作動を通知する 543
エンジン始動を通知する 544
うっかり通知を通知する 544
リモート確認をする 545
車両の位置を追跡する 546
警備員を派遣する 546

3. リモートメンテナンス サービス 547
リモートメンテナンス サービスについて 547
リモートメンテナンスメール..... 547
ウォーニング通知..... 547

4. マップオンデマンド（地図差分更新）.....548
マップオンデマンドとは 548
地図を更新する..... 555

5. Tルート探索（プローブ情報付）.....559
T ルート探索をする（プローブ情報付）..... 559

6. オペレーターサービス.....561
オペレーターサービスについて 561
オペレーターサービスを使う 562
手動で情報を取得する..... 563

7. 渋滞予測.....564
渋滞予測情報を表示する..... 564

8. WEB検索 567
WEB 検索で目的地を設定する 567

9. エージェント 568
エージェントのサービス内容について 568
エージェントを開始する..... 569
エージェント画面の使い方..... 572
エージェント（地図）画面の使い方..... 573
音声対話を中断する..... 574
音声対話を再開する..... 574
最初に戻る 574
ヘルプ機能を使用する..... 574
音声ガイドを省略する..... 574
エージェントを終了する..... 575

10.T-Connect Apps.....576
T-Connect Apps について..... 576
アプリを購入する 576
Apps 画面の使い方..... 578
マイアプリ管理について..... 579

11.CDタイトル情報取得 581
タイトル情報を取得する 581

8 各種登録・設定

1. オンライン詳細設定 582
オンライン詳細設定を変更する 582
サポートアドレスについて 582

2. プライバシー設定 584
設定・編集画面を表示する 584
プライバシー設定を変更する 584
通信ロックを使う 585
暗証番号を変更する 586

3. 通信設定 588
通信設定を登録・変更する 588

4. Wi-Fi® 設定 592
Wi-Fi® について 592
Wi-Fi® 通信設定をする 593
Wi-Fi® を ON ／ OFF する 593
利用できるネットワークから Wi-Fi® 接続する 593
簡単設定から Wi-Fi® 接続する 594
Wi-Fi® テザリング対応スマートフォンで Wi-Fi® 接続を行う場合 594
Wi-Fi® 詳細設定を変更する 595

9 知っておいていただきたいこと

1. こんなメッセージが表示されたときは 597

2. 故障とお考えになる前に 600

本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書で使用している画面はサンプル表示であり、実際の画面と異なる場合があります。

1. ご利用の前に知っておいていただきたいこと

安全にご利用するため注意すること

T-Connect をご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。
  走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。
  なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

走行中の操作、表示規制について

- 走行中に T-Connect をご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによっては T-Connect Viewer のコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。
  このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

掲載画面について

本書で使用している画面の表示内容は、サンプル表示となっております。

通信機器について

T-Connect は、Bluetooth 携帯電話、Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／ Wi-Fi® ルーター等）または通信モジュール（DCM）を利用して、データ通信を行います。

※本機で動作確認済みの機種については、トヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）でご確認ください。

Bluetooth 携帯電話を接続する場合、次の仕様に対応した携帯電話である必要があります。

■対応 Bluetooth 仕様

- Bluetooth Specification Ver.1.1 以上（Ver.3.0+EDR を推奨）

■対応 Profile

- HFP（Hands Free Profile）：Ver.1.0 以上（Ver.1.6 を推奨）
- DUN（Dial-up Networking Profile）：Ver.1.1 を推奨

データ通信時の留意事項

Bluetooth 携帯電話を利用するときの留意事項

● Bluetooth 携帯電話を使用してデータ通信するときは、次の点をご理解の上、正しくお使いください。
・Bluetooth 携帯電話でデータ通信を行うときは、あらかじめ本機に携帯電話を登録しておかないと使用できません。Bluetooth 携帯電話を使用するときは、まず最初に、ご使用になる携帯電話の登録を行ってください。(→ P.47)
・Bluetooth 携帯電話の機種によっては、受信レベル表示を行うことができないことがあります。
・Bluetooth 携帯電話でデータ通信を利用される場合、携帯電話の割込着信の設定または契約を「割込着信する」で利用していると、携帯電話の機種によっては、データ通信を行っている最中とデータ通信終了後の約 1 分間は、電話を受けることや応答保留などができないにもかかわらず、発信元では呼び出し中の状態が続くことになります。各種設定や契約変更については、ご利用の携帯電話の取扱説明書などでご確認ください。
・Bluetooth 携帯電話でデータ通信する場合は、操作しない状態が一定時間継続すると、トヨタスマートセンターとのデータ通信を自動で切断します。自動で切断するまでの時間は、携帯電話の機種によって異なります。
・Bluetooth 携帯電話の機種や状態によっては、ハイブリッドシステム始動後にデータ通信を行うことができる状態になるまでに時間がかかることがあります。この場合は、しばらく待ってから再度操作を行ってください。
・Bluetooth 携帯電話の機種によっては、携帯電話が待ち受け状態でないとデータ通信ができないことがあります。
・通信にはお手持ちの携帯電話の電波を使用します。通信可能なエリアについては、携帯電話各社のサービスエリア図などを参照ください。
・お手持ちの携帯電話の取扱説明書の注意事項もよくお読みください。
・通信料金はお客様のご負担になります。
・データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態、接続している携帯電話の機種によって異なります。
・T-Connect を利用中に携帯電話と本機の接続を切断すると、機種によってはデータ通信や音声通話を継続したままになることがあります。
T-Connect 利用後に携帯電話と本機の接続を切断したら、携帯電話の状態を必ず確認してください。
・T-Connect を利用中に、ハイブリッドシステムを始動しなおすなどのパワースイッチの操作を行うと、接続している携帯電話の機種によっては、ハンズフリーの着信中画面になることがあります。
この場合は、電話スイッチを操作するなどして、通話を終了する操作を行ってください。(→ P.467)

通信モジュール（DCM）を利用するときの留意事項

通信モジュール（DCM）は通信アンテナを使用しています。

通信アンテナは、ルーフ後端、インストルメントパネルに内蔵されています。

- 通信方式は、KDDI 株式会社の LTE 方式です。
  LTE サービスエリアでは、最大 75Mbps（理論値）のデータ通信サービスがご利用いただけます。サービスエリアは、同社サービスエリア図をご参照ください。
  なお、通信状況は様々な要因で変動します。必ずしもサービスエリア内にいれば、常に通信が可能というわけではありません。
- 次のような通信環境では、データ通信できません。
  ・トンネルの中にいるとき
  ・地下駐車場にいるとき
  ・山奥などの通信圏外にいるとき
  ・回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
- T-Connect サービスはデータ取得に通信を利用するため、通信環境の整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。
- この先、通信事業者にて通信に使用する電波が変更もしくは打ち切りになった場合、T-Connect サービスが使用できなくなります。
  （その場合には事前にご連絡します。）

（知 識）

- データ通信に関する通信料金は T-Connect 利用料金に含まれています。
- データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。
- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

■ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

データ通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

- 植え込み型心臓ペースメーカーや植え込み型除細動器をお使いの方は、通信アンテナから 22cm 以内にこれらの医療用電気機器が近づくような姿勢をとらないようにしてください。上記以外の医療用電気機器をお使いの方は、T-Connect サービスをお使いになる前に、医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。
  データ通信に伴う電波により、医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。

Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／ Wi-Fi® ルーター等）を利用するときの留意事項

■Wi-Fi® テザリング対応機器使用上の注意事項について

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  （上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
  この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。
  変調方式として DS-SS 変調方式、OFDM 変調方式を採用しています。
  想定与干渉距離は 40m 以下です。
  この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

■ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Wi-Fi® 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

- Wi-Fi® 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。
  植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器およびそれ以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

（知 識）

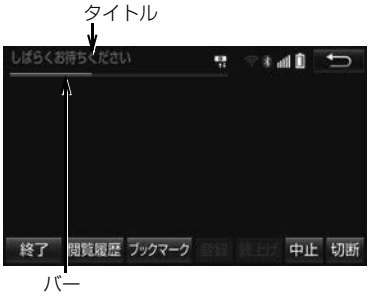
- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

■Wi-Fi® と Bluetooth を同時に使用するとき

- ハンズフリーと Wi-Fi® 、Bluetooth Audio と Wi-Fi® など、Bluetooth 機能と Wi-Fi® を同時に利用すると動作が遅くなることがあります。

通信機器共通留意事項

- ヘルプネットでの緊急通報中は、トヨタスマートセンターに接続できません。
- 画面上部（タイトル）に、ネットワーク接続中は**「接続中」**、コンテンツ読み込み中は**「しばらくお待ちください」**が表示されます。
  また、コンテンツ読み込み中は、タイトルの下に読み込み状況がバーで表示されます。バーの表示が消えて、コンテンツのタイトルが表示されたら、画面の操作を行ってください。
  ・走行中のためにコンテンツの表示が制限されている場合は、コンテンツの読み込みが終了すると、“ピッ”という音でもお知らせします。



- 通信中は、ネットワーク接続中であることをお知らせするため、通信中マークが表示されます。



知 識

- データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。
- GPS 信号を長い間（数カ月間）受信していないとき、または補機バッテリーとの接続が断たれたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所（→P.173）に車を移動し、現在地 を押して地図画面上に GPS マークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。



受信レベルについて

画面右上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。



▶通信モジュール（DCM）使用時

表示	圏外 DCM DCM DCM DCM DCM DCM DCM
レベル	圏外　弱 ◀――――▶ 強

▶Bluetooth 携帯電話使用時

表示	圏外
レベル	圏外　弱 ◀――――▶ 強

- 使用する携帯電話が Bluetooth 接続されていないときは、  が表示されます。
- 携帯電話接続時の表示は、携帯電話本体の受信レベル表示と一致しないことがあります。

▶Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／ Wi-Fi® ルーター等）使用時

表示	
レベル	圏外／未接続　弱 ◀――――▶ 強

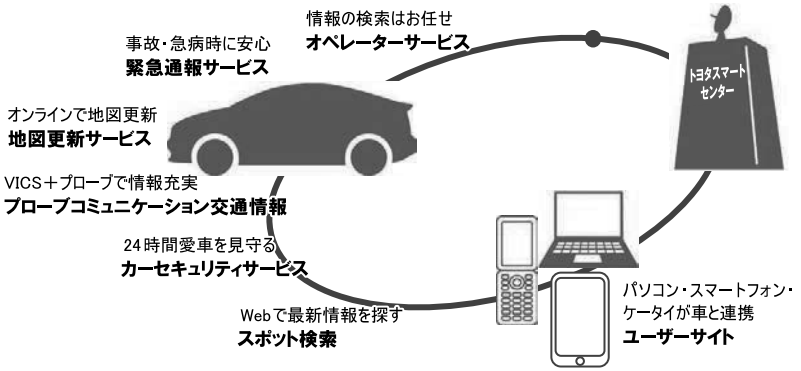
知 識

- 受信レベル表示が「圏外」の場合でも、本機はデータ取得動作を行いますが、一定時間経過してもデータ取得できない場合は、自動的に中止します。中止までの時間は本機の通信状態によって異なります。

2. T-Connect について

T-Connect について

「安心・快適・便利」な車向け情報サービスを提供します。
本機では、以下の通信機器を接続することにより、ご利用いただけます。
（1）お客様がお持ちの通信端末（Bluetooth 携帯電話／ Wi-Fi® テザリング対応スマートフォン／ Wi-Fi® ルーター等）で利用
：T-Connect
（2）通信モジュール (DCM) で利用
：T-Connect DCM パッケージ



T-Connect の通信方法について

T-Connect の通信方法は次の種類があります。

通信方法	内　容
お客様がお持ちの通信端末（Bluetooth 携帯電話／ Wi-Fi® テザリング対応スマートフォン／ Wi-Fi® ルーター等）	ご利用には T-Connect 利用申し込みが必要です。 ●「動作確認済み携帯電話」を T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）でご確認ください。 ● 通信費はお客様負担です。 **▶Bluetooth 通信を利用して接続する場合** ● カーナビ向け通信が定額になる料金プラン※ をご契約の場合、地図更新を自動で行う設定ができます。 ※ カーナビ通信料定額プラン ・ au：カーナビ用料金オプション ・ Softbank：カーナビプラン ・ docomo には、2015 年 8 月現在、カーナビ通信料定額プランはありません。 最新の情報は、各通信事業者にお問い合わせください。 **▶Wi-Fi® 通信を利用して接続する場合** ● お客様のスマートフォンが Wi-Fi® テザリングに対応しているかをご確認ください。 詳しくは、ご契約されている通信事業者にご確認ください。
通信モジュール（DCM）	車両に装着した通信モジュール（DCM）で通信を行います。 ご利用には T-Connect 利用申し込みが必要です。 ● 通信費は T-Connect DCM パッケージ 利用料金に含まれます。利用料金は、トヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）でご確認ください。

サービス内容について

主なサービス / ご利用形態	通信機器	
	Bluetooth 携帯電話、Wi-Fi® テザリング対応スマートフォン／Wi-Fi® ルーター等 ※1	通信モジュール（DCM）
緊急通報サービス **ヘルプネット**	○ ※2	○
カーセキュリティサービス **マイカー Security**	×	○
地図更新サービス **マップオンデマンド**	○	○
最適ルートの探索 **T ルート探索（プローブ情報付）**	○	○
ナビ操作をサポート **オペレーターサービス**	○	○
利用料金	基本料無料	初年度無料 ※4 2 年目以降有料 ※3
必要な手続き	店頭にて T-Connect 利用申込書ご提出	

※1 通信にかかる費用はお客様のご負担となります。
※2 ヘルプネットサービス開始操作後ご利用いただけます。なお、ご利用には 2 年ごとに登録情報の更新が必要です。
※3 利用料金は、トヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）でご確認ください。
※4 無料期間：T-Connect 利用開始日から 12ヵ月後の末日までとなります。
無料期間内に一旦解約した場合、次回契約時には有料となります。
利用料金は、トヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）でご確認ください。

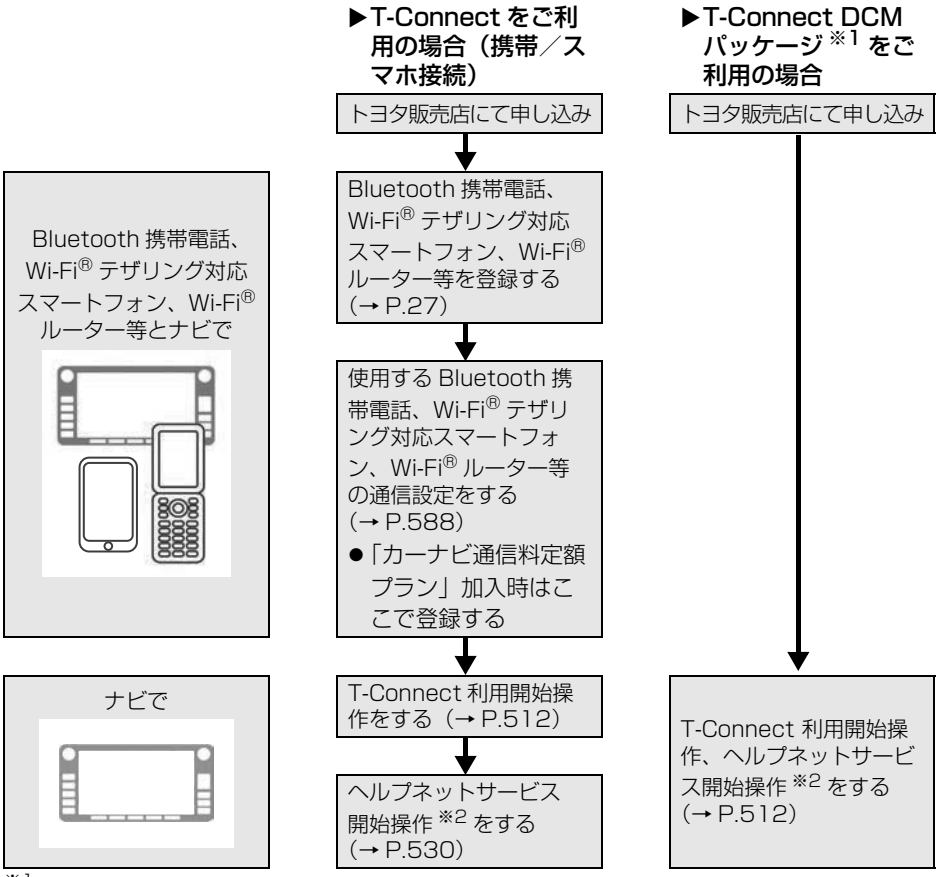
- 掲載の情報は、2015 年 8 月現在のサービスです。サービス内容は変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

- 最新のサービスは、T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）でご確認ください。

1. 利用手続きをする

利用手続きの手順

利用手続きや各種設定は、ご利用になるサービスにより異なります。下図にしたがって、手続きを行ってください。



※1無料期間：T-Connect 利用開始日から 12ヵ月後の末日までとなります。
無料期間内に一旦解約した場合、次回契約時には有料となります。
利用料金は、トヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）でご確認ください。

※2ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

販売店店頭にお越しになれないお客様は、T-Connect のホームページからもお申込みいただけます。

- URL：http://tconnect.jp

＜用意するもの＞
- 車検証
- メールアドレス（パソコン、スマートフォン、携帯電話のもの）
- ナビの端末 ID

利用開始操作をする

利用開始操作は、ご利用のサービスにより操作手順が異なります。
該当のページをご覧の上、手続きを行ってください。

- 利用開始操作は、可能な限り見晴らしの良い場所で行ってください。

T-Connect の場合
（携帯／スマホ接続）　→P.512

T-Connect DCM パッケージの場合
→P.513

T-Connect の場合

1 MENU ▶ T-Connect →（オンライン）

2 利用開始 にタッチ。



3 契約 ID 照会画面が表示される。
ID とパスワードを入力し、決定 にタッチ。

- ID およびパスワードの入力は、それぞれの入力枠を選択してから入力します。

4 登録内容を確認し、画面の指示にしたがって操作する。

5 T-Connect 利用手続き完了画面が表示される。

- 「続けてヘルプネットのサービス開始操作を実施してください」の表示を確認し、はい にタッチし、ヘルプネットのサービス開始操作※（→P.530）を行います。
- サービス開始操作※が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

知 識

- T-Connect画面に HELPNET が表示されていれば、ヘルプネットのサービス開始※は正常に完了しています。



※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

T-Connect DCM パッケージの場合

1 MENU ▶ T-Connect →（「オンライン」）

2 利用開始 にタッチ。



- 画面が上記と異なる場合は、前ユーザーの解約手続きが完了していません。T-Connect サポートセンターにご連絡ください。

> T-Connect サポートセンター
> 全国共通・フリーダイヤル
> 0800ー 500ー 6200
> 受付時間　9:00 ～ 18:00
> （年中無休）

- 中古車の場合、利用開始 にタッチしたあとに、通信初期設定画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示にしたがって操作してください。

3 利用開始する（お申込み済みの方） にタッチした後に、申し込み方法により、次の画面が表示される。

- 申込書で申し込みの方
  ➡ 本人確認の画面が表示される。画面の指示にしたがって、確認・操作する。契約 ID 照会画面が表示された場合は、ID とパスワードを入力し、決定 にタッチ。

4 サービス内容などを確認し、画面の指示にしたがって操作する。

- T-Connect 暗証番号の設定をしていない方
  ➡ T-Connect 暗証番号の設定が表示される。画面の指示にしたがって、確認・操作する。

5 T-Connect 利用手続き完了後、ヘルプネットのサービス開始案内が表示されたら、はい にタッチし、ヘルプネットのサービス開始操作※（→ P.530）を行う。

- ヘルプネットセンターの音声案内にしたがい、現在地とマイク音声を確認する。

6 T-Connect 利用手続き完了画面が表示される。

- サービス開始操作※ が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

（知 識）

- 「T-Connect 暗証番号」は、お客様情報の確認・変更やマイカー Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく 4 桁の番号です。
- T-Connect画面に HELPNET が表示されていれば、ヘルプネットのサービス開始操作※ は完了しています。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

利用契約の継続方法を変更する

▶T-Connect DCM パッケージ利用時

T-Connect DCM パッケージは、年単位で契約更新となります。
契約の更新日が近づくと、トヨタメディアサービス（株）より案内を送付します。
次の手順で、本機から契約の継続／停止の手続きができます。

1 MENU ▶ T-Connect →（「オンライン」）→ ユーザー設定

2 会員情報／利用契約変更・解約 にタッチ。



3 利用契約の確認・変更 にタッチ。

4 利用契約内容の変更 にタッチ。

5 T-Connect 暗証番号入力画面が表示される。
T-Connect 暗証番号を入力し、決定 にタッチ。

- T-Connect 暗証番号が未設定の場合、契約 ID とパスワードを入力して T-Connect 暗証番号を設定してください。

6 利用契約の変更画面が表示される。

- 自動継続に変更したい場合
  ➡ 利用継続の手続き（T-Connect オンライン）にタッチ。
- 自動継続を停止したい場合
  ➡ T-Connect 自動継続停止 にタッチ。

7 T-Connect 利用契約の確認画面が表示される。
内容を確認し、決定 にタッチ。

（知 識）

- 「T-Connect 暗証番号」は、お客様情報の確認・変更やマイカー Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく 4 桁の番号です。
- 自動継続に設定すると、次年度の契約を自動で更新できます。
  契約の更新をし忘れて、ヘルプネットなどが解除されてしまうのを防ぐことができます。
- 利用契約の継続／停止は T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）からも手続きができます。

解約手続きについて

お車を手放すときなど、T-Connect を解約するときは、状況に応じて、次の手続きを行ってください。

＜本機で解約する場合＞
解約手続きをする→ P.516

↓

＜お車を手放す場合＞
個人情報の初期化をする→ P.52、P.53

解約しないで車を手放したときなど

↓

T-Connect サポートセンターに連絡して解約する
T-Connect サポートセンター
全国共通・フリーダイヤル
0800ー 500ー 6200
受付時間 9:00 ～ 18:00
（年中無休）

⚠ 注意

- 本機に保存した情報は、本機で解約したときのみ消去できます。
- お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、本機で解約手続きおよび初期化を必ず行ってください。

解約手続きをする

T-Connect の利用登録を解除するときは、次の手順で実施してください。

1 MENU を押す。

2 設定・編集 にタッチ。

3 「オンライン」にタッチ。

4 オンライン詳細設定 にタッチ。



5 T-Connect オンライン契約解除 にタッチ。

6 画面の指示にしたがって操作する。

- ユーザー画面からでも解約手続きができます。

知 識

- 解約手続きには、T-Connect 暗証番号が必要です。

お車を手放す際にすること

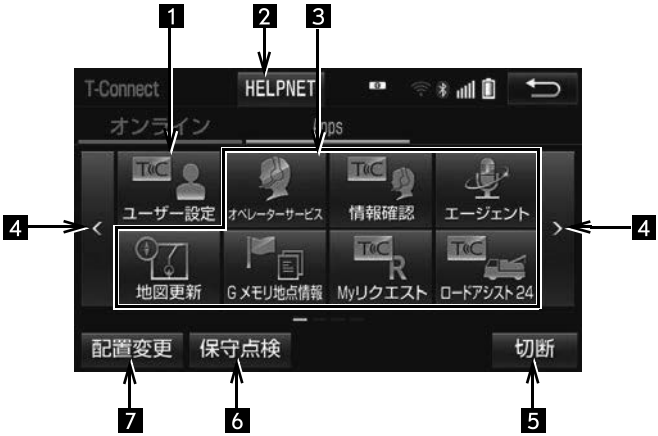
- 解約手続きをしただけでは、本機に保存したお客様の情報は消去されません。お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際は必ず、解約手続きおよび個人情報の初期化（→ P.52、P.53）を必ず実施してください。

1. T-Connect トップ画面について

T-Connect 画面の使い方

T-Connect 画面から、T-Connect の各コンテンツを起動することができます。

1 MENU ▶ T-Connect



● この画面から、次の操作をすることができます。

番号	スイッチ	機　能
1	ユーザー設定	トヨタスマートセンターに接続し、ユーザー設定画面を表示する。
2	HELPNET	ヘルプネットの緊急通報（→ P.531）を行う。 • ヘルプネットサービス開始操作後に表示されます。（→ P.530）
3	各種コンテンツ	選択すると該当のコンテンツを起動する。 • ご利用のサービス・車種により、表示コンテンツは異なります。
4	ページ切り替え	ページを切り替える。
5	▶ T-Connect 利用時※ 切断	トヨタスマートセンターとのデータ通信を切断する。 （切断時：灰色）
6	保守点検	ヘルプネットの手動保守点検を実施する。（→ P.535）

※ Bluetooth 携帯電話利用時のみ表示されます。

次のページに続く

番号	スイッチ	機　能
7	配置変更	スイッチの表示位置の入れ替えや、削除をする。 • スイッチを入れ替えたいときは、入れ替えたいスイッチにタッチし、入れ替え先のスイッチにタッチします。 • スイッチを削除したいときは、削除したいスイッチにタッチ後、表示された 削除 にタッチします。 • 一部のスイッチは、削除することができません。

知 識

- T-Connect（Bluetooth 携帯電話接続）利用時、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

1. G メモリ

G メモリについて

本機で検索した地点情報を、本機の G メモリに登録できます。

一度 G メモリに登録すると、トヨタスマートセンターに接続しなくても、該当の地点情報を呼び出すことができます。

G メモリを登録する

1 本機で T-Connect コンテンツを表示し、詳細情報が表示されている画面で G メモリ にタッチ。



- T-Connect のパソコンサイトおよび本機の G メモリに地点情報が登録されます。

G メモリを表示する

G メモリとして登録した地点情報は、T-Connect 画面から呼び出すことができます。

1 MENU ▶ T-Connect →（オンライン）

2 G メモリ地点情報 にタッチ。



3 G メモリ地点名称にタッチ。

4 T-Connect Viewer 画面に切り替わる。

- T-Connect コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

- G メモリは、ナビゲーションのメモリ地点と同様に、メモリ地点が呼び出せるナビゲーションの画面からも呼び出すことができます。また、名称読みが登録してあれば、音声認識を使用することもできます。
- G メモリは、同じ内容がナビゲーションのメモリ地点にも保存されます。
  修正や消去をしたいときは、ナビゲーションのメモリ地点画面で行ってください。
  詳しくは、「地点の登録について」をご覧ください。（→ P.134）

知 識

- 同一の G メモリは、上書き登録されます。ただし、音声認識で使用する名称読みが登録してある場合、その情報は保持されます。

1. T-Connect Viewer

T-Connect Viewer 画面で操作する

T-Connect Viewer は、T-Connect の各種コンテンツの表示や操作を行います。

閲覧中に操作する

コンテンツの閲覧中は、次の操作ができます。



番号	スイッチ	機　能
1	終了	終了 : T-Connect Viewer 画面を終了して T-Connect Viewer 表示前の画面にもどる
2	閲覧履歴	閲覧履歴画面を表示する。
3	ブックマーク	ブックマーク画面を表示する。
4	登録	表示中のページをブックマークに登録する。
5	読上げ	読み上げを開始する。（読み上げ情報なし：灰色） • 読み上げ情報があるコンテンツを表示したときに、自動で読み上げをするかしないかを設定できます。(→ P.522)
6	更新／中止 ※1	更新 : コンテンツの再読み込みをして画面を更新する 中止 : コンテンツの読み込みを中止する
7	▶ T-Connect 利用時 ※2 切断	トヨタスマートセンターとのデータ通信を切断する。 （切断時：灰色）

※1 コンテンツの読み込み中に 中止 にタッチしたり通信が切断された場合、コンテンツが表示されずに背景のみとなったり、読み込み中のコンテンツが乱れて表示されることがあります。この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。

・ 更新 にタッチして、コンテンツを再取得する。

・ ⮌ を選択していったん前のページを表示し、コンテンツを取得しなおす。

※2 Bluetooth 携帯電話利用時のみ表示されます。

(知 識)

- 各スイッチは T-Connect Viewer 表示前の画面により、スイッチの表示・非表示およびスイッチ名称に違いがあることがあります。
- T-Connect 利用時、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

読み上げ中に操作する

読み上げ情報があるコンテンツは、読み上げ中に次の操作ができます。



番号	スイッチ	機　能
1	終了	T-Connect Viewer 画面を終了して T-Connect Viewer 表示前の画面にもどる。
2	音量調整	コンテンツを読み上げるときの音量を調整する。
3	前項目／次項目	読み上げの開始位置を変更する。 ⏮ : 読み上げ中の項目の先頭からはじめる ⏭ : 次の項目の先頭からはじめる • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ⏮ を選択してから約 1 秒以内に再度選択。
4	停止	コンテンツの読み上げを停止する。
5	ポーズ／再開	⏸ : コンテンツの読み上げを一時停止する ▶ : 読み上げていた項目の頭から読み上げを再開する
6	▶ T-Connect 利用時 ※ 切断	トヨタスマートセンターとのデータ通信を切断する。 （切断時：灰色）

※ Bluetooth 携帯電話利用時のみ表示されます。

(知 識)

- T-Connect 利用時、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

T-Connect Viewer の自動読み上げを設定する

T-Connect Viewer で読み上げ情報があるコンテンツを表示したとき、自動で読み上げをすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン → オンライン詳細設定

2 Viewer 自動読上げ にタッチ。



3 する にタッチ。

- 解除するとき
  ➡ しない にタッチ。

2. TC 情報マーク

TC 情報マークを表示する

TC 情報マークは、T-Connect コンテンツが提供する地点情報です。

情報を取得すると自動で TC 情報マークが地図に表示されます。



TC情報マーク

施設の情報を表示する

地図上に TC 情報マークが表示されているときは、その施設の情報を見ることができます。

1 TC 情報マークにタッチ。



2 情報 にタッチ。



3 T-Connect Viewer 画面に切り替わります。

- T-Connect コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

TC 情報マークを非表示にする

TC 情報マークを消したいときは、次の手順で非表示にすることができます。

地図表示中

1 表示変更 にタッチ。



2 周辺施設 にタッチ。

3 TC 情報マーク表示 にタッチ。

- 地図上のTC情報マークが非表示になります。
- TC 情報マーク表示が設定されているときはスイッチの作動表示灯が点灯します。
  ・TC 情報マーク表示を解除するとき
  ➡ 再度 TC 情報マーク表示 にタッチ。

1. T-Connect をスマートフォンや携帯電話・パソコンで利用する

スマートフォンアプリをダウンロードする

T-Connect はスマートフォンやパソコンからも情報確認や各種設定ができます。

T-Connect アプリ（無料）を下記 URL からダウンロードします。

- URL：http://tconnect.jp/spappdl/
- QR コード：

- App Store または Google Play™ で「T-Connect」と検索すると表示されます。

■携帯電話サイト

URL：http://mo.tconnect.jp

■パソコンサイト

URL：http://tconnect.jp

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

- T-Connect アプリの機能紹介などの詳細説明については、次のサイトをご覧ください。
  URL：http://tconnect.jp

ID 発行・ログイン

初めてご利用いただく際は、T-Connect（スマートフォンアプリ）起動後に表示されるログイン画面で、ID を発行してください。

- ID は、パソコンサイトログイン時にもご利用いただけます。
- smart G-BOOKアプリをご利用いただいていた方は、ID・パスワードを引き続きご利用いただけます。

1. ヘルプネット

ヘルプネットについて

ヘルプネットは、急病などの緊急事態発生時に、ヘルプネットスイッチを選択するだけでヘルプネットセンターに接続し、車内からの通報を補助するシステムです。

ヘルプネットセンターに電話が接続されるとオペレーターが応答し、ドライバーや他の乗員から状況を確認して、通報位置に適した警察または消防にお客様の状況を通報します。

- 通信機器を Wi-Fi® に選択したお客様は、ハンズフリー設定のため、Bluetooth 携帯電話の登録・接続が必要です。

ヘルプネットは警察や消防への緊急通報サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行いません。

- 本システムは、パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのときに作動します。

サービスのご利用について

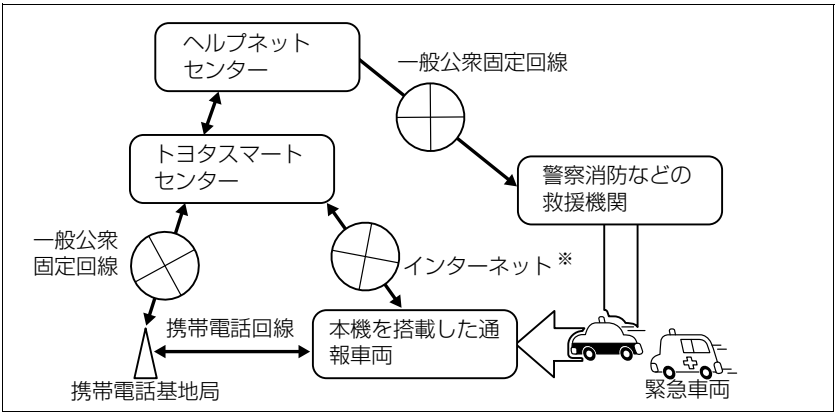
- ヘルプネットは、本機で T-Connect を利用開始の上、サービス開始操作※が完了すると利用することができます。（→ P.530）

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

- サービス開始操作後は、2 年ごとに本機または T-Connect サイトでの登録情報の更新が必要です。

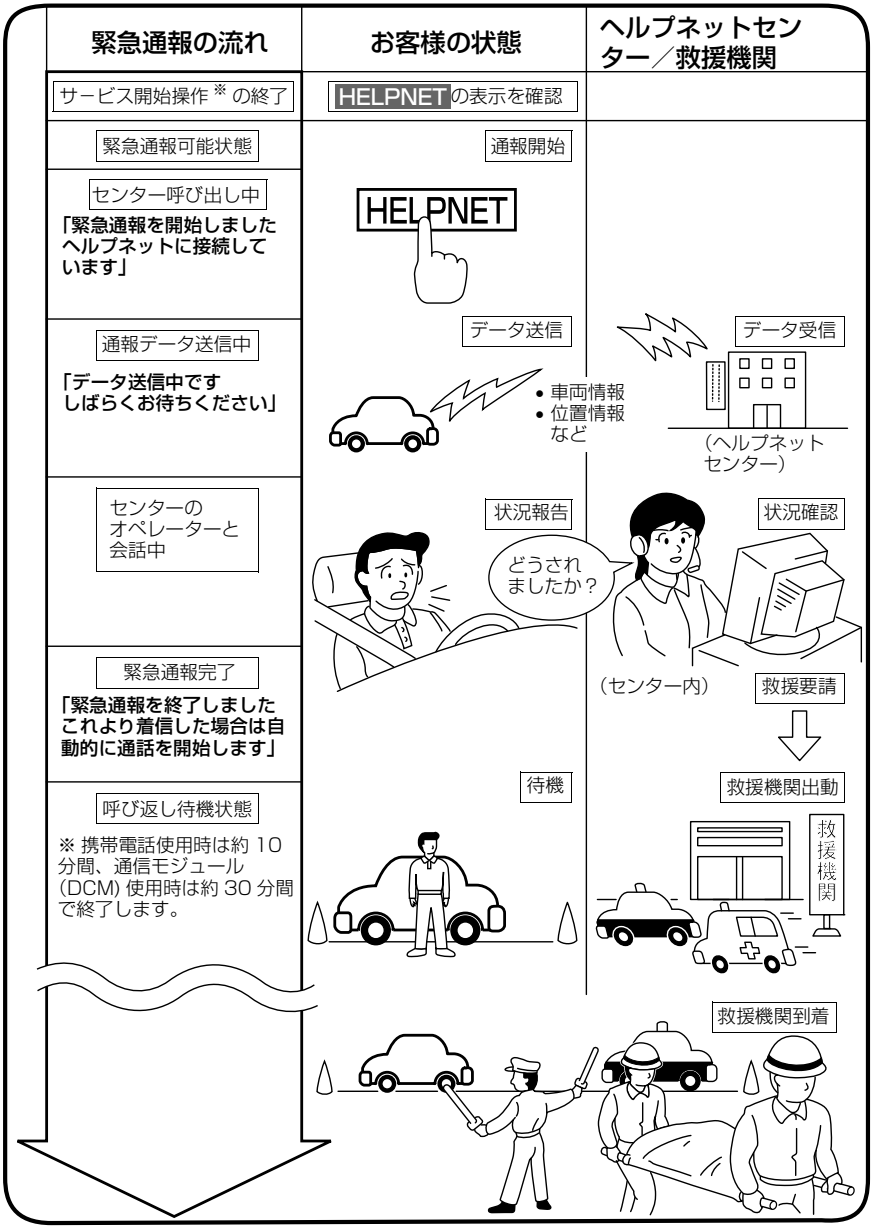
緊急通報のしくみ

- 本機の T-Connect 画面に表示される HELPNET を選択すると、ヘルプネットセンターに通報し、専門のオペレーターが応答します。



※Wi-Fi® 接続（インターネット回線）のみではご利用いただけません。あわせて、ハンズフリーの設定が必要です。設定方法は「ハンズフリーの準備をする」（→ P.462）をご覧ください。

緊急通報の主な流れ



※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

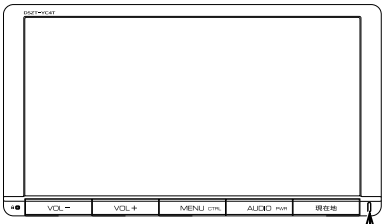
各部の名称とはたらき

本機

緊急通報時や手動保守点検時に使用します。

マイク

本機に内蔵されています。
緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に使用します。



マイク

⚠ 注意

- 本機が故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。本機に液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
  本機が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。

安全のために

⚠ 警告

- 安全運転を心がけてください。本機は、交通事故や急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
- 緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
- 緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じるときは、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。
- サービス開始操作※を行い、T-Connect 画面に HELPNET が表示されていることを必ず確認してください。
- 本機は衝撃などによって、作動しなくなることがあります。このようなときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 補機バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットセンターと通信できないことがあります。
- 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠ 警告

- 次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - ・携帯電話サービスエリア外でご使用の場合
  - ・Wi-Fi® 接続時にインターネットへ接続できない場合
  - ・機器（本機、携帯電話回線に接続する機器、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線）に異常または損傷があり、故障している場合
  - ・T-Connect の利用契約がされてない、または解除されている場合
  - ・ヘルプネットの利用登録がされていない、または利用登録が更新されていない場合
  - ・サービス開始操作 ※ を実施していないため、本機が緊急通報可能状態になっていない場合
- ヘルプネットを携帯電話で使用するとき、次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - ・携帯電話と本機が Bluetooth・Wi-Fi® 接続されていない場合
  - ・携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している場合
  - ・携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない場合
  - ・携帯電話が故障している場合
  - ・携帯電話の料金を滞納している場合
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。
  通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。

⚠ 警告

- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。
  「携帯電話の設定について」をご覧ください。（→ P.539）
- 緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。
  基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
  なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機の Bluetooth・Wi-Fi® 接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源が OFF になってしまった場合は、携帯電話の電源を ON にし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth 接続の切断により、通話も切断されることがあります。
- 安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。
- ヘルプネットはエアバッグと連動していないため、エアバッグが作動しても通報されません。HELPNET にタッチして緊急通報をしてください。
- T-Connect を解約しても、T-Connect 画面に、HELPNET が表示されているときは、トヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 警告

- ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。
- 煙が出る、異臭がするなど異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してトヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- 本機内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがあるときには、すぐにトヨタ販売店にご相談ください。
- 関連機器などの取り外しを行うと、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなる可能性があります。取り外しが必要な場合には、トヨタ販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話ができません。これらの機器が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- 本機の動作温度範囲（→ P.611）以外では、緊急通報が正常に動作しない場合があります。また携帯電話などの通信機器については、製品の取扱説明書などで、ご確認ください。
  通信できないときは、最寄りの公衆電話を使用してください。
- 実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物は、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。

⚠ 注意

- 呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合および車外に避難するときは、パーキングブレーキを確実に作動させ、パワースイッチを OFF にしてください。
  この場合、パワースイッチを OFF にした時点で、緊急通報は終了します。
  なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機の Bluetooth 接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源が OFF になってしまった場合は、携帯電話の電源を ON にし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth 接続の切断により、通話も切断されることがあります。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、電話料金を滞納していると、緊急通報できません。電話料金の滞納にはくれぐれもご注意ください。

知 識

- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、ヘルプネットによる緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信の通信料金や通話時の通話料は、お客様のご負担となります。
- いたずらなどが原因で救急車両などの出動が起きた場合、該当費用に関しての請求や関連法規により処罰されることがあります。

サービス開始操作をする

ヘルプネットは、サービス開始操作※を完了してはじめて利用できるようになります。
利用開始操作完了後、次の手順でサービス開始操作※をして本機が正常に動作するか確認してください。この確認が行われないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

1 できるだけ見晴らしの良い場所に車を移動する。

- ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。

2 手動保守点検を行い、以下の点を確かめる。（→ P.535）

- 通信が正常に始まる。
- 通話ができる。
- 通報位置が正しい。（ヘルプネットセンターとの通話で確認）

3 手動保守点検後、T-Connect 画面に HELPNET が表示される。

- T-Connect画面に HELPNET が表示されない場合は、再度、手動保守点検を実施してください。
- 手動保守点検が正常に終了しなくても HELPNET が表示される場合があります。この場合、緊急通報できないことがあるため、トヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 警告

- 通話が正常に終了したか否かの確認画面で いいえ にタッチする、または 現在地 などを押して他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作※を行い、本機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- 次のように、本機が正常に動作しない場合、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。
  - ・ 発呼しない。
  - ・ 通報位置とヘルプネットセンターでの位置表示が間違っている。
  - ・ 通話できない。
- サービス開始操作※は途中で中断せず、最後まで完了してください。
  途中で中断した場合は、基本的に HELPNET は表示されませんが、HELPNET が表示された場合はトヨタ販売店にご相談ください。
- サービス開始操作※時の手動保守点検が正常に動作しなかった場合は、緊急通報できないことがあり危険です。手動保守点検時に本機が正常に動作しない場合や、HELPNET は表示されたが通話できない場合には、トヨタ販売店にご相談ください。
- 手動保守点検後、HELPNET が表示されない場合、緊急通報は動作しません。
  HELPNET の表示が正常に行われない場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠ 警告

- ヘルプネットで使用する携帯電話は、次の点に注意してください。
  - 本システムで動作確認済みの携帯電話を使用してください。動作確認済みでない携帯電話をご使用になられると、緊急通報が動作しないおそれがあり危険です。また、携帯電話本体の破損など故障の原因となる場合があります。
  - ヘルプネットを使用する前に、携帯電話の登録（→ P.47）および使用する携帯電話の設定（→ P.590）を行ってください。
  - 本機に携帯電話を Bluetooth 接続する際は、必ず携帯電話の電池残量を確認してください。携帯電話の電池が空になると携帯電話が動作しないため、緊急通報も動作しません。なお、本機には携帯電話の充電機能はありません。
  - 電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。「携帯電話の設定について」をご覧ください。
    （→ P.539）
  - 携帯電話と本機が Bluetooth 接続されていることを確認してください。接続されていないと、緊急通報は動作しません。

（知 識）

- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー通話などが利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。
- パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話の照明を OFF に設定してください。
  （設定については携帯電話の取扱説明書をご参照ください。）

緊急通報をする

急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターへ通報するときにボタン操作をすることで緊急通報ができます。

パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのとき、T-Connect 画面で HELPNET にタッチすると緊急通報を開始します。あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがってください。

⚠ 警告

- 次の場合は緊急通報できません。緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話サービスエリア外では緊急通報動作が開始しても、緊急通報できません。
  - 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。
  通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。

⚠ 警告

- ヘルプネットセンターへ接続中に、パワースイッチを OFF にしないでください。緊急通報が中止されます。パワースイッチを OFF にしてしまった場合、緊急通報はできていないので、再度パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにして通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ヘルプネットを使用する場合は、携帯電話と本機を Bluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

1 MENU ▶ T-Connect

2 HELPNET にタッチ。



3 ヘルプネットセンターへ接続を開始し、緊急通報が開始される。



- メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
- 緊急通報を中止するとき
  ➡ 中止 にタッチ。

4 ヘルプネットセンターにデータ通信を行い、車両の位置などが送信される。



5 データ通信完了後、通話モードになる。



- マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話することができます。

6 オペレーターと通話する。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの症状、警察または消防への通報の要・不要を伝える。



● 通話音量を調整するとき

➡ − または ＋ にタッチ。

知 識

● 緊急通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の応答が取れたときに関係機関に通報します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。
● ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、通話中にパワースイッチを OFF にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。

7 警察または消防への通報が必要なときはヘルプネットセンターが警察または消防に接続する。

8 通話が終了すると、ヘルプネットセンターが電話回線の切断をする。



9 通話終了後、しばらくの間（携帯電話使用時は約 10 分間、通信モジュール（DCM）使用時は約 30 分間）は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になる。この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながる。



⚠ 警告

● 呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。
基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては携帯電話と本機の Bluetooth 接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源が OFF になってしまった場合は、携帯電話の電源を ON にし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth 接続の切断により、通話も切断されることがあります。
● 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

(知 識)

- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、呼び返し待機中に携帯電話本体で電話を受けると、その時点で自動通話になります。

10 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネット画面は解除される。



(知 識)

- 緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く T-Connect サービスなどは利用できません。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。

保守点検について

保守点検は、自動または手動で車内からヘルプネットセンターに接続し、動作確認や契約状態の確認などを行うときに使用します。

- 保守点検は、次の 2 種類があります。
  - ・自動保守点検：（→ P.534）
  - ・手動保守点検：（→ P.535）

自動保守点検について

自動保守点検は、本機が定期的に自動で実施する保守点検です。お客様が利用登録されているかの確認を、ヘルプネットセンターがするために実施されます。

- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機を Bluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

⚠ 注意

- 自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断されてしまったときは、次にパワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたは ON モードにしたときに、再び自動保守点検を開始します。何度も正常に終了しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

(知 識)

- 自動保守点検を行うための特別な操作は、必要ありません。
  - ・点検時期：（株）日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。
  - ・点検時間：開始後 1 ～ 2 分で終了します。

手動保守点検について

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。

- 使用する携帯電話を追加・変更したときは、必ず手動保守点検と動作確認を行ってください。
- 手動保守点検は、以下の保守点検を実施します。
  - ・本機の保守点検（本機修理点検や車両修理後の保守点検）
  - ・ヘルプネットセンターに利用登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機を Bluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

⚠ 警告

- 手動保守点検の途中で、パワースイッチを OFF にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。パワースイッチを OFF にしてしまったときは、再度手動保守点検をやり直してください。

- 手動保守点検を実施する前に、現在地画面で GPS の受信（GPS マークが表示されること）を確認してください。



GPS マーク

1 MENU ▶ T-Connect →（オンライン）

2 保守点検 を約 10 秒以上タッチし続ける。



3 ヘルプネットセンターに接続を開始します。



- メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
- 中止するとき
  ➡ 中止 にタッチ。

4 ヘルプネットセンターに接続すると、最初に以下のデータ通信を行います。

- 車両の現在地
- 手動保守点検をしていること
- ヘルプネットセンターに利用登録されていること



5 データ通信完了後、通話モードになります。



6 マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話する。



- ヘルプネットセンターの応対は、自動音声で行われます。自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。「ピー」と鳴ったら、お客様の名前を話してください。自動音声で名前を繰り返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。
- 通話音量を調整したいとき
  ➡ 次のいずれかの操作をする。
  ・ステアリングスイッチの音量調整スイッチで調整する。
  ・－ または ＋ にタッチ。

7 サービス開始操作※時は、通話が正常に終了したら はい にタッチ。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠ 警告

- ここで表示された画面で いいえ にタッチする、または 現在地 などを押して他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作※を行い、本機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

8 メッセージが表示され、保守点検を終了する。

9 T-Connect 画面に HELPNET が表示されていることを確認する。



⚠ 警告

- 手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。
  途中で中断したときは、手動保守点検が失敗となるため HELPNET は表示されません。それでも HELPNET が表示されたときは緊急通報ができない可能性があるため、トヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- 手動保守点検は見晴らしのよい場所で行ってください。
  - 手動保守点検は、正確に位置情報を送ることができることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPS を受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。
  - 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、パワースイッチを一度 OFF にし、手動保守点検をやり直してください。携帯電話サービスエリア内でやり直しても接続されない場合には、トヨタ販売店にご相談ください。

知 識

- 手動保守点検開始から通話終了までの間は、本機などの音声が自動的にミュート（消音）されます。

利用登録の更新

ヘルプネットサービス利用開始日から 2 年ごとに利用登録の更新手続きが必要です。

更新期限が近づくと、ナビ画面にて期限と更新方法をお知らせします。

ナビ画面または T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）のユーザーサイトにて更新または変更してください。

利用登録の更新操作について

1 MENU ▶ T-Connect →（┌オンライン┘）→ ユーザー設定

2 ヘルプネット にタッチ。



3 利用登録の更新手続き にタッチ。

4 T-Connect 暗証番号を入力する。

5 決定 にタッチ。

6 ヘルプネット登録情報画面の内容を確認する。

7 更新 にタッチ。

- 登録情報に変更がある場合、変更 にタッチし、画面に沿って情報を変更してください。

8 ヘルプネット登録情報の更新完了メッセージが表示される。

（知 識）

- 「T-Connect 暗証番号」は、お客様の情報の確認・変更やマイカー Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく 4 桁の番号です。

携帯電話の設定について

⚠ 警告

- 緊急通報の妨げになる電話機能は利用しないでください。（機能を解除する方法については、携帯電話の取扱説明書をご参照ください。）
  （1）ダイヤルロック
  （2）発信を制限もしくは禁止する機能
  （3）ドライブモード
  （4）着信拒否、着信制限
  （5）着信転送
  （6）留守番電話
  （7）発信者電話番号非通知
  （8）着信を制限もしくは禁止する機能
  ※（1）（2）の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターに電話をかけることができないため、緊急通報が動作せず、危険です。
  （3）～（8）の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターからの呼び返しができず、救援困難となる可能性があり危険です。
  また、各通信事業者が独自に設定している付加サービス（割込通話、三者通話、セレクフォン、マルチナンバーなど）によっては、緊急通報が正常に動作しない場合があり危険です。
- ヘルプネットはT-Connectの通信設定を利用します。
  ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話を追加したときは、必ず使用する携帯電話の設定（→ P.590）を行ってから、手動保守点検を実施して正常に動作することを確認してください。

知 識

- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の通信機能はヘルプネットに優先的に使用されます。このため、次のような場合は携帯電話は使用できません。
  - 携帯電話を使用中の場合でも、緊急通報が開始されると携帯電話の使用を中止します。
  - 緊急通報中は、携帯電話は使用できません。
  - 自動保守点検、手動保守点検のいずれかが先行して通信機能を使用している場合、携帯電話は使用できません。

緊急通報できない場合について

以下のようなときには、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障が出ることがあります。

T-Connect 利用契約の不成立または消滅

- 未登録の場合
- 利用契約を解除した場合

ヘルプネット利用登録の不成立

- サービス開始操作※を完了していない場合
- 登録情報が更新されていない場合

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

本機または車両関連機器の異常による通信不能

- 本機（車載ユニット、通信モジュール（DCM）、マイク、スピーカー、接続電気回路など）の故障
- 補機バッテリーの電圧低下など、車両関連機器の故障・消耗など
- 車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、本機または車両関連機器の損傷

緊急通報センターシステムの位置評定エラー

- GPS のシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などで GPS での位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きいとき

(知 識)

- ヘルプネットは、本機本体の GPS から位置情報を取得しています。(→ P.173)

ヘルプネットセンター／トヨタスマートセンターシステムの異常による通信不能

- センターシステムが故障や損傷したとき

緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止

- センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要があるとき
- 大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中したとき

ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両”が位置するとき
- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑しているなど、通話利用もしくは通話時間が制限され、結果としてヘルプネットによる通信ができないとき
- 本サービスに使用する通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止されたとき

その他

- ヘルプネットを携帯電話で使用するとき、次のような理由で携帯電話が使用できない場合
  - ・携帯電話と本機が Bluetooth 接続されていない
  - ・携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している
  - ・携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない
  - ・携帯電話が故障している
  - ・携帯電話の料金を滞納しているなど
- 緊急通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができないとき（手動通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

2. マイカー Security

▶T-Connect DCM パッケージ利用時

マイカー Security について

マイカー Security は、ドアのこじ開けなどオートアラームの作動を検知した場合、異常をメールや電話でお知らせします。また、車両盗難時はお客様の要請により、車両の位置を追跡し、警備員を現場に派遣します。

マイカー Security のご利用に際して

マイカー Security を利用するには、次の機器の装着が必要です。

- 本機
- 通信モジュール（DCM）

上記の必要機器を車両に装着された上で、T-Connect DCM パッケージに申し込みいただくと、次のようなサービスをご利用いただけます。

■アラーム通知（→ P.543）

お車のオートアラーム作動を検知した場合、お客様へメールと電話でお知らせします。

■エンジン始動通知（→ P.544）

ハイブリッドシステムの始動を検知し、メールでお知らせします。

■うっかり通知（→ P.544）

ドアロック忘れやウインドウ（ドアガラス）の閉め忘れ、ハザードランプ（非常点滅灯）の消し忘れを、メールでお知らせします。

■リモート確認（→ P.545）

ドア・バックドア・ボンネット・ウインドウ（ドアガラス）の開閉やロックの状態、ハザードランプ（非常点滅灯）の点滅状態、電子キーの車内への置き忘れなどを携帯電話・スマホで確認できます。

■車両の位置追跡（→ P.546）

お客様の要請により、盗難車の位置を追跡します。

■警備員の派遣（→ P.546）

車両盗難や車上荒らしの際、お客様の要請により、警備員を派遣します。

詳しくは、T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）をご覧ください。

（知 識）

- マイカー Security では、車両の異常を検知した場合、サポートアドレスに登録されている電話番号やメールアドレスに通知します。サポートアドレスに登録されていない場合、通知できませんので、必ずご登録ください。また、連絡先に変更があった場合は変更手続きを行ってください。（→ P.583）
- 携帯電話で迷惑メールの拒否設定などをされている場合は、以下の発信元メールを受信できるようにご登録ください。
  ［登録する発信元メールアドレス］
  t-connect.info@mail.tconnect.jp
- メールによる通知には遅延が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。
- アラーム通知される番号は発信専用番号となっています。ご連絡の際はオペレーターサービスへご連絡ください。（→ P.562）
  また、指定着信許可・拒否などの設定をされている場合は、以下の番号を着信できるようご登録ください。
  ［通知番号］0570-024-111
- マイカー Security では車両の位置情報を使用します。本機が起動していない状態で車両が移動された場合、または電波の届かない場所に車両が移動された場合は、位置情報の変化を確認できません。
- T-Connect 利用契約を解除した場合、メールや電話による通知は送信されません。

初期設定の確認・変更

アラーム通知、エンジン始動通知、うっかり通知の設定の確認・変更について説明します。

■通知設定の一覧

＊ 初期設定

サービス名	通知方法	設定	
アラーム通知	電話	設定中＊	解除中
	Eメール	設定中＊	解除中
エンジン始動通知	Eメール	設定中	解除中＊
うっかり通知	Eメール	設定中＊	一時停止中

設定中.....通知します。

解除中.....通知されません。

一時停止中....通知を 2 時間停止します。

一時停止後、2 時間経過すると自動的に設定中に切り替わります。

- ご利用にはサポートアドレスの登録が必要です。（→ P.583）

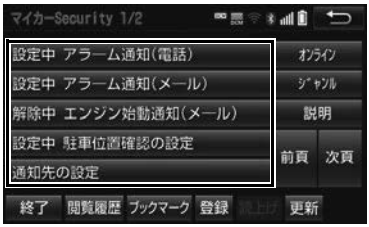
□ 解除中→設定中へ切り替える

1 MENU ▶ T-Connect →（「オンライン」）

2 マイカー Security にタッチ。



3 設定したい項目にタッチ。



- 設定の説明画面が表示されているときは内容に従い、操作してください。
- スイッチが「設定中」にかわり、通知設定が切り替わります。

設定中→解除中または一時停止中へ切り替える

● 一時停止は「うっかり通知」のみの設定です。

1 MENU ▶ T-Connect →（┌オンライン┘）

2 マイカー Security にタッチ。

3 解除または一時停止したい項目にタッチ。

4 エンジン始動通知を解除するとき
➡ 解除 にタッチ。
● アラーム通知を解除するとき
➡ 手順 **5** へ

5 T-Connect 暗証番号またはパスワードを入力する。
● T-Connect 暗証番号を登録していないとき
➡ パスワード表示窓スイッチを選択。

6 解除 または 停止 にタッチ。
● 停止 は手順 **3** で「うっかり通知」を選択すると表示されます。

7 確認 にタッチ。
● 設定が「解除中」にかわり、通知設定が切り替わります。

(知 識)
● 「T-Connect 暗証番号」は、お客様情報の確認・変更やマイカー Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく 4 桁の番号です。
● マイカー Security の設定・変更は T-Connect のパソコンサイトや携帯サイトから行うこともできます。

アラーム作動を通知する

ドアのこじ開けなどのオートアラーム作動を検知した場合、サポートアドレスに登録してある E メールアドレスや電話番号に通知します。

アラーム通知の設定・解除を行うことができます。(→ P.542)

● 車外に出たあと、ドア・バックドア・ボンネットを閉め、全てのドアをロックしたあと、30 秒以上経過すると自動的にオートアラームが設定されます。
● アラーム通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置追跡／警備員の派遣サービスをご利用ください。(→ P.546)
● 補機バッテリーがあがった場合、アラーム通知は行われません。
● 車両の室内温度が非常に高いとき、アラーム通知の送信が行われないことがあります。
● 通信環境が整わない状況等によりアラーム通知の送信が行われない場合、送信が完了するまで継続されます。
● アラーム通知が未送信状態で、アラームが複数回作動した場合は、最新のアラームを通知します。
● ヘルプネット通報中は、通報が終わるまで、アラーム通知は行われません。
● T-Connect 利用契約を解除した場合、アラーム通知は送信されません。

エンジン始動を通知する

ハイブリッドシステム始動を検知し、サポートアドレスに登録してあるメールアドレスに通知します。
お車から離れていても第三者によるハイブリッドシステム始動がわかります。

エンジン始動通知の設定・解除を行うことができます。(→ P.542)

- エンジン始動通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置追跡／警備員の派遣サービスをご利用ください。(→ P.546)
- オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けたあと、パワースイッチが OFF になったことを検知し、通知させることができます。
- オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けたあと、10 分間隔で通知させることができます。(24 時間経過後、自動解除されます。)

うっかり通知を通知する

ドアロック忘れやハザードランプ(非常点滅灯)の消し忘れ、ウインドウ(ドアガラス)の閉め忘れを、サポートアドレスに登録してあるメールアドレスに通知します。

うっかり通知の設定・解除を行うことができます。(→ P.542)

- パワースイッチを OFF にして数分後、以下の条件をすべて満たすとうっかり通知メールが配信されます。
  - ・ドア・バックドア・ボンネットがすべて閉まっている
  - ・電子キーが車内未検知
  - ・ドアロックやウインドウ(ドアガラス)が閉まっていない、ハザードランプ(非常点滅灯)が点滅している
  - ・お車を駐車した場所やお客様の携帯電話が電波状態の悪い所にあるときは、配信されなかったり、配信が遅れたりすることがあります。
- うっかり通知メールはサポートアドレスに配信されます。
- 補機バッテリー脱着後はパワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにしないと、うっかり通知メールが配信されません。
- 電子キーが車外にあっても、以下のような場合では車内と判断されることがあります。その際には、うっかり通知メールが配信されない場合があります。
  - ・ドアガラスに近い位置、またはルーフ上に電子キーがある場合。
  - ・スマートエントリー&スタートシステムの設定が非作動になっているときに、ウインドウ(ドアガラス)やムーンルーフ、バックドアから車内にある電子キーを車外に出した場合。

- 電子キーが車内にあっても、以下のような場合では車外と判断されることがあります。その際には、うっかり通知メールが配信される場合があります。
  - ・窓またはムーンルーフ、バックドアから電子キーを車内に入れた場合。
  - ・電子キーの置き場所（インストルメントパネル上など）、状況（電池切れ、金属製ケースなどの中）、また周囲の電波環境によってスマートエントリー&スタートシステムが正常に働かないおそれがある場合。※

※ 詳しくは、別冊プリウス取扱説明書をご覧ください。

うっかり通知メールについて

- 携帯電話本体の操作方法は、機種によって異なります。
- 画面の内容は変更することがあります。
- 表示画面は、携帯電話の機種により異なります。



- リモート確認については（→ P.545）

リモート確認をする

ドア・バックドア・ボンネット・ウインドウ（ドアガラス）の開閉やロックの状態、ハザードランプ（非常点滅灯）の点滅状態、電子キーの車内への置き忘れなどを T-Connect スマホアプリで確認できます。

- T-Connect スマホアプリでご覧いただける、リモート確認画面での情報は、センターの最新値で、アクセス時点での状態ではありません。お車が電波状態の悪い所に駐車してあるときなどは情報が更新できず、前回の情報が表示されることがあります。
  - ・各車両の状態はパワースイッチ OFF 後、ドアの開閉などが一定時間なかったときに、また、お車の状態の項目は状態に変化が発生するごとに更新されます。
- 補機バッテリー脱着後は、パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにしないと、リモート確認画面での情報は更新されません。
- スマートエントリー&スタートシステムの設定が非作動になっている場合、電子キーが車内にあっても、車外と判断されることがあります。

リモート確認をするには

App Store または Google Play から T-Connect で検索して、T-Connect スマホアプリをインストールしてください。

車両の位置を追跡する

お客様の要請により、オペレーターが盗難車両の位置を追跡します。

ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。(→ P.562)

オペレーターサービス専用電話番号
0561 − 57 − 6818
（365 日 24 時間対応）

警備員を派遣する

お車が盗難にあったり、オートアラーム作動を検知した場合にお客様の要請により、警備員を現場に派遣します。

ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。(→ P.562)

オペレーターサービス専用電話番号
0561 − 57 − 6818
（365 日 24 時間対応）

- 警備員が出動してから 1 時間以内は無料です。1 時間を超える場合は、オペレーターから延長するかどうかの確認を行います。延長した場合の利用料金は、トヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）でご確認ください。
- 警備員は盗難車両の確保はいたしません。追跡調査のみ行います。

3. リモートメンテナンスサービス

リモートメンテナンスサービスについて

リモートメンテナンスサービスは、点検・メンテナンスの案内を「リモートメンテナンスメール」でお知らせするサービスです。

リモートメンテナンスメール

走行距離や使用期間に応じて定期点検やオイル交換・タイヤ交換などのメンテナンス内容をお車にメールでご連絡します。

また、電話やナビ画面から、その場でトヨタ販売店への入庫予約を行うことができます。

ウォーニング通知 ※

ハイブリッドシステム・ブレーキ関係・オイルなどの項目について、メーター内の警告灯が点灯し、トヨタスマートセンターが異常を検知すると、その内容を本機にてお客様にご連絡します。

また、電話やナビ画面から、レッカー車の手配やトヨタ販売店への入庫予約を行うことができます。

- すべての警告灯の点灯に対し、ウォーニング通知を送信するわけではありません。

※ T-Connect DCM パッケージ利用時

ウォーニング通知受信時の操作

1 内容表示 を選択し、ウォーニング内容表示画面を表示させる。

▶電話をかけるとき

2 TEL を選択し、連絡先選択画面を表示する。

3 連絡先を選び、ハンズフリー通話する。

▶ナビ画面から予約するとき

2 予約 を選択し、ネット予約画面を表示する。

3 車検・点検・メンテナンス入庫予約 を選択し、入庫予約を行う。

4. マップオンデマンド（地図差分更新）

マップオンデマンドとは

トヨタスマートセンターでは、新しい道路情報が準備でき次第、順次地図データを更新しています。

マップオンデマンドは、通信モジュール（DCM）・Bluetooth 携帯電話の通信・Wi-Fi® の通信・パソコン（インターネット）を経由して新しい道路情報をダウンロードし、地図を更新するサービスです。

マップオンデマンド（地図差分更新）と全更新

地図更新は、新しい道路データ（差分）を Bluetooth 携帯電話、Wi-Fi®、通信モジュール（DCM）、パソコンで更新していく「マップオンデマンド（地図差分更新）」と、「最新版地図ソフト」を購入いただきすべての地図データを更新する「全更新」があります。

更新にかかる費用

更新方法により、更新時に次の費用がかかります。

[通信で更新]

▶Bluetooth 携帯電話利用時
・携帯電話のパケット通信費

▶Wi-Fi® 利用時
・Wi-Fi® テザリング契約料
・Wi-Fi® 通信費

▶通信モジュール（DCM）利用時
・T-Connect DCM パッケージ基本利用料に含む

[パソコンで更新]※
・パソコンのインターネット通信費
・CD-R/DVD-R 代

[地図更新 DVD を注文して更新]
・ 地図更新 DVD は有料です。料金については、トヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）をご確認ください。

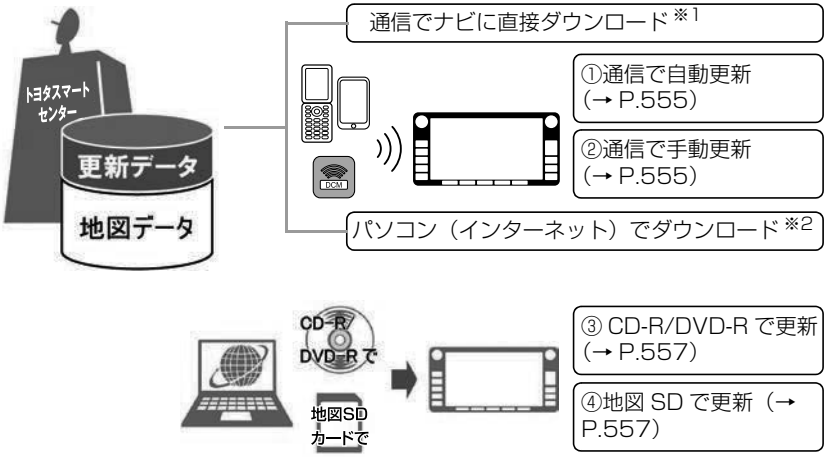
※ T-Connect サービスを利用していないお客様もご利用いただけます。

サービス期間

マップオンデマンドは、ナビ購入日をサービス利用開始日とし、利用開始日より 3 年間ご利用いただけます。

また、「全更新（最新版地図ソフトを販売店でご購入いただき更新）」することで「全更新」を実施した日から 2 年間ご利用いただけます。（なお、利用開始日より 3 年未満に「全更新」された場合であっても、ご利用期間は「全更新」の実施日から 2 年間となりますので、ご注意ください。ただし、登録初年度に「全更新」された場合のみ利用開始日より 3 年間はご利用いただけます。）

更新方法



※1 T-Connect（Bluetooth 携帯電話を利用）の場合、自動更新には「カーナビ通信料定額プラン」（→ P.509）の契約が必要です。
※2 T-Connect サービスを利用していないお客様もご利用いただけます。

■通信で更新

- 自動更新 ※

  下記のタイミングで、自動的に更新データをダウンロードします。
  - ・アクセサリーモードまたは ON モード時、ナビゲーションで登録した自宅周辺 80 km（細街路は 10 km）四方ならびに全国配信道路に更新情報がある場合
  - ・目的地設定時、目的地周辺 10 km四方ならびに全国配信道路に更新情報がある場合

  ※ T-Connect（Bluetooth 携帯電話を利用）の場合、「カーナビ通信料定額プラン」の契約が必要です。（→ P.509）

- 手動更新

  地図更新画面の 自宅周辺 にタッチ。
  - ・ナビゲーションで登録した自宅周辺 80 km（細街路は 10 km）ならびに全国配信道路に更新情報があると更新データをダウンロードします。

  地図更新画面の 目的地周辺 にタッチ。
  - ・ナビゲーションで登録した目的地周辺 10 km四方ならびに全国配信道路に更新情報があると更新データをダウンロードします。

- G-Station（au Wi-Fi®）※ で更新する場合

  更新したい都道府県を選択後、地図更新画面の 開始 にタッチ。

※ G-Station（au Wi-Fi®）とは、電気自動車の充電スタンドです。
（http://www.toyota-ms.co.jp/G-Station/index2.html）

■パソコン経由で更新

- 更新したい都道府県を選択すると、全国配信道路の更新データもあわせてダウンロードします。
- T-Connect サービスを利用していないお客様もご利用いただけます。

■地図更新 DVD を注文して更新

- マップオンデマンド・サポートデスクに地図更新 DVD を電話注文して、更新することができます。その際、以下の情報が必要となりますのでご確認ください。
  ・ナビ型番
  ・サービス終了日※
  ・地図のタイプ※
  ・ナビバージョン※

※ 地図更新画面で確認できます。（→ P.554）

- 地図更新 DVD は有料です。料金については、トヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）をご確認ください。
- T-Connect サービスを利用していないお客様もご利用いただけます。

マップオンデマンド・サポートデスク
0561-57-6814
受付時間　9：00 ～ 18：00
（年中無休）

■更新データ配信の目安

- 高速道路は供用開始後、最短 7 日で更新します。ただし、年末年始などの長期休暇、開通道路状況、天候不良、システム保守などにより、配信までの期間に遅延が生じる場合があります。地図更新データの収集・整備状況によっては、配信までに 3 カ月ほどかかる場合もあります。
- 一般道路は、開通後（変更後）、地図データとして収集・整備を行った後、順次配信します。

更新対象

	全国配信	指定エリア※ 配信
道路データ	高速道路・有料道路、主要国道	一部国道、主要道、都道府県道、その他道路、道幅 5.5m 未満の道路
施設情報	高速道路・有料道路施設	立体ランドマーク相当の著名な施設
市街図	更新対象外	更新対象外
音声案内	更新対象外	更新対象外

※ 指定エリア
［通信で更新時］：自宅周辺 80 ㎞（細街路は 10 ㎞）四方、目的地周辺 10 ㎞四方
- 指定エリア配信を通信で更新する場合、事前に自宅登録、または目的地登録が必要です。（G-Station（au Wi-Fi®）で更新する場合を除く）

［パソコンで更新時］：選択した都道府県

知 識

- 施設の情報は、マップオンデマンドで更新されません。ただし、一部の施設マーク（コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファーストフード店、駐車場）の表示は更新されます。
- マップオンデマンドでは、音声案内データは更新されませんので、交差点、路線、方面名称、施設名称、目印などが更新された場合、固有の音声案内は出力されません。

地図更新のステップ

更新データの本機へのダウンロード（またはコピー）後、地図の更新が完了するまで 2 つのステップがあります。

（1） 地図の更新準備

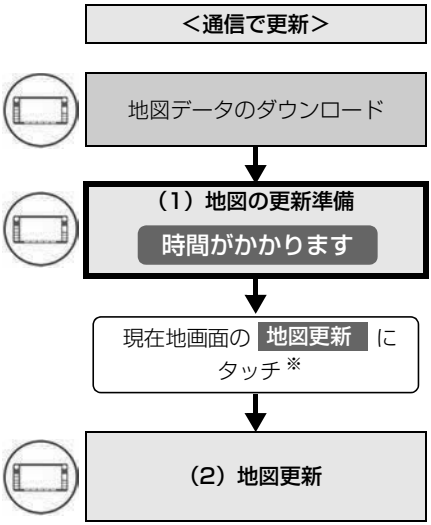
地図データを書き換えるための準備を行います。

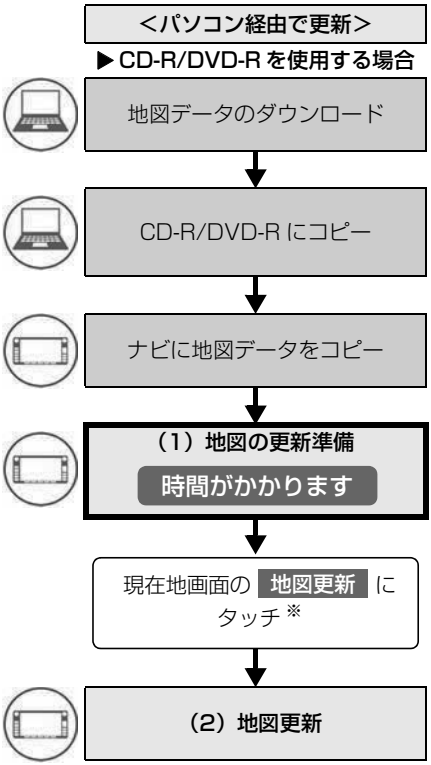
更新データが多い場合、数時間かかることがあります。自動更新以外でご利用の場合、定期的に更新することをお勧めします。

（2） 地図更新

本機の地図データを書き換える処理です。

更新準備が完了後、現在地画面の 地図更新 にタッチした後、20 ～ 30 秒程度で完了します。ただし、更新データが多い場合は数分程度かかることがあります。

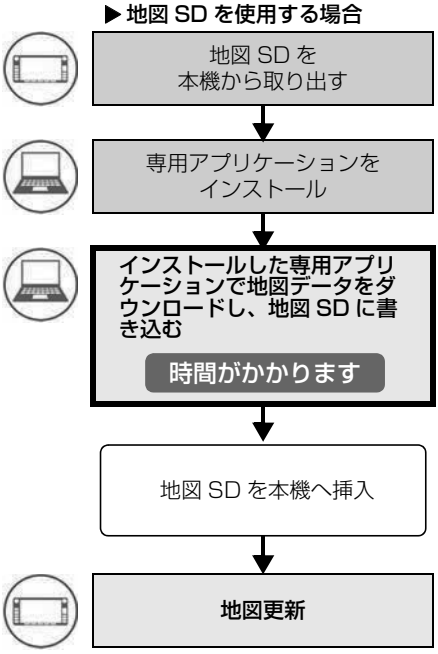




※ 地図更新 にタッチしなかった場合、次回アクセサリーモードまたは ON モードにしたときに地図更新を行います。

知 識

- 「地図の更新準備」および「地図更新」中にオーディオなどの操作を行った場合は、さらに時間がかかることがあります。



地図更新画面の使い方

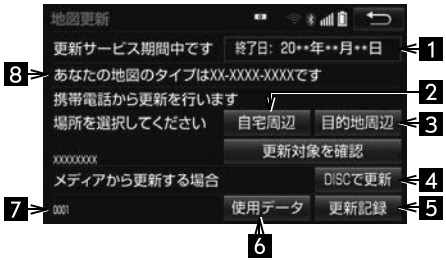
地図更新に関する情報の確認や操作は、地図更新画面から行います。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 地図更新

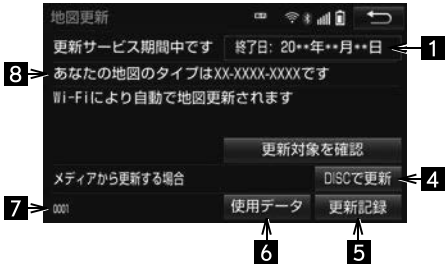
または

MENU ▶ T-Connect → (「オンライン」) → 地図更新

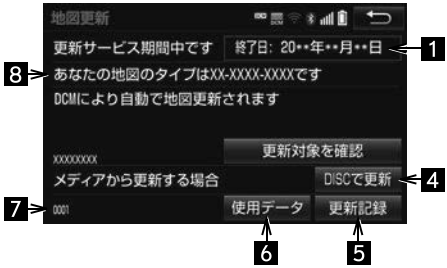
▶T-Connect（Bluetooth 接続）利用時



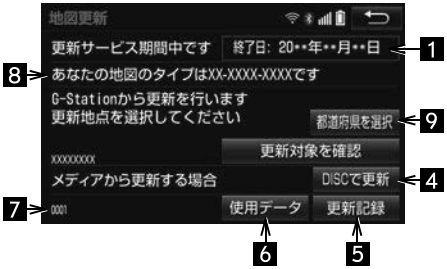
▶T-Connect（Wi-Fi® 接続）利用時



▶T-Connect DCM パッケージ利用時



▶G-Station（au Wi-Fi®）利用時



番号	機能
1	更新サービス終了日を表示する。
2	Bluetooth 携帯電話で、全国の高速道路・有料道路と自宅周辺を更新する。 • ナビゲーションでの自宅登録が必要となります。
3	Bluetooth 携帯電話で、全国の高速道路・有料道路と目的地周辺を更新する。 • ナビゲーションでの目的地設定が必要となります。
4	CD-R/DVD-R で更新する。
5	最新の更新日を確認する。
6	使用データ画面を表示する。 • 地図 SD に収録されているデータベースなどの情報を確認できます。
7	ナビバージョンを表示する。
8	地図のタイプを表示する。
9	更新する都道府県を選択する。

地図を更新する

通信で自動更新する（利用機器：通信モジュール (DCM)、Bluetooth 携帯電話、Wi-Fi®）

差分データがあると、自動で更新データをダウンロードします。

T-Connect（Bluetooth 携帯電話を利用）の場合、ご利用には、「カーナビ通信料定額プラン」（→P.509）にご加入のうえ、本機での登録（→P.591）が必要です。

※ **T-Connect DCM パッケージ**：初回の更新には、時間がかかる場合があります。
T-Connect：初回については情報量が多くなりますので、CD-R/DVD-R での更新をおすすめいたします。

1 トヨタスマートセンターに接続し、差分データがあると、データがダウンロードされる。

- 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

2 現在地画面の 地図更新 にタッチ。



3 地図が更新される。

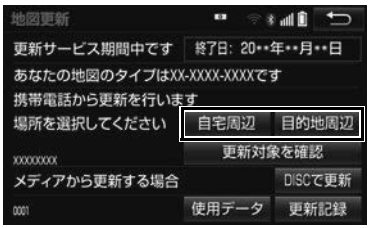
- 地図更新中画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。

通信で手動更新する（利用機器：Bluetooth 携帯電話）

差分データがあると手動で更新データをダウンロードします。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 地図更新
または
MENU ▶ T-Connect →（「オンライン」）→ 地図更新

2 更新する場所を選択する。
自宅周辺 または 目的地周辺 にタッチ。



3 トヨタスマートセンターに接続する。

- 地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。

4 差分データ量が多いときはメッセージが表示される。
継続してよければ、はい にタッチ。

5 データがダウンロードされ、地図更新の準備をする。

- 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

6 現在地画面の 地図更新 にタッチ。



7 地図が更新される。



(知 識)

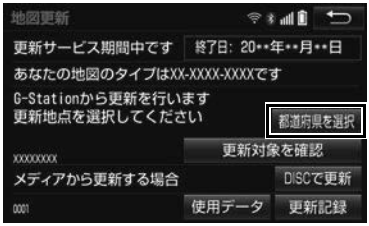
- 地図更新中画面が表示されている間は、ナビの操作はできません。
- 更新にかかる実費（CD-R/DVD 代、通信費）はお客様のご負担になります。
- データ量が多いときに表示される通信データ量は概算値になります。
  データ量が多い場合は、通信にかかる費用を節約するためにも、地図 SD または CD-R/DVD-R での更新をお勧めします。
- 次のいずれかにより前回のダウンロードを途中で中断した場合は、次回 自宅周辺 または 目的地周辺 にタッチすると、ダウンロードを再開できます。
  - 中止 にタッチしたとき
  - 通信が中断したとき
  - パワースイッチを OFF にしたとき

G-Station（au Wi-Fi®）で更新する

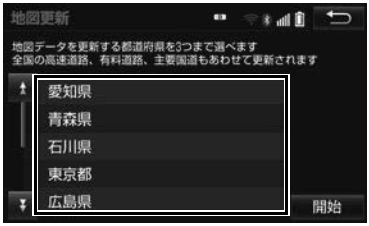
G-Station（au Wi-Fi®）で更新する場合、事前に Wi-Fi® の設定（→ P.593）が必要です。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 地図更新
または
MENU ▶ T-Connect →（「オンライン」）→ 地図更新

2 都道府県を選択 にタッチ。



3 都道府県にタッチ。



➡ 更新する都道府県を 3 つまで選択し、開始 にタッチ。（選択できる都道府県は最大 3 つです。）

4 データがダウンロードされ、地図更新の準備をする。

- ダウンロードが完了すると、G-Station（au Wi-Fi®）エリアから離れることができます。
- 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

5 現在地画面の 地図更新 にタッチ。

6 地図が更新される。

- 地図更新中画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。
- 地図のダウンロードに20分以上かかる場合があります。

パソコン（CD-R/DVD-R）で更新する

■地図データを用意する

1 マップオンデマンドのダウンロードサイト（http://g-book.com/mapondemand/Top.aspx）からデータをダウンロードする。

2 地図データを CD-R/DVD-R にコピーする。

> ⚠ 注意
>
> - CD-R/DVD-R には地図データ以外の情報を入れないでください。
> - ダウンロードした地図データのファイル名および拡張子を変更しないでください。変更すると地図更新できません。

■地図を更新する

1 回の更新で 3 都道府県まで更新できます。

1 CD-R/DVD-R を本機に挿入する。

2 更新する都道府県を選択し、**開始** にタッチ。

- 一度の操作で更新できる都道府県は3つです。
- 地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。

3 データがコピーされ、地図更新の準備をする。

- コピーが完了したら、CD-R/DVD-R を取り出すことができます。
- 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

4 現在地画面の **地図更新** にタッチ。

5 地図が更新される。

- 地図更新中画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。

(知 識)

- 詳しい操作方法は、マップオンデマンドのダウンロードサイト（http://g-book.com/mapondemand/Top.aspx）の「使い方ガイド」にてご確認ください。

パソコン（SD メモリーカード）で更新する

■更新方法について

マップオンデマンドダウンロードサイト（http://g-book.com/mapondemand/Top.aspx）よりインストールした専用アプリケーションで、地図データをダウンロードし、地図 SD に書き込みます。

※地図 SD を更新するには、専用のアプリケーションをパソコンにインストールする必要があります。

■差分更新の手順について

地図データの差分更新は、以下の手順で行ってください。

1 地図 SD を本機から取り出す。（→ P.19）

2 パソコンに専用アプリケーションをインストールする。

3 インストールした専用アプリケーションで地図データをダウンロードし、地図 SD に書き込む。

4 地図 SD を本機へ挿入する。（→ P.18）

専用のアプリケーションについて

専用のアプリケーションをパソコンにインストールすることで、地図データの差分更新ができます。

■専用のアプリケーションの動作環境

▶動作環境

- OS ･･･
  Windows Vista（IE7.0 以上）
  Windows 7（IE8.0 以上※）
  Windows 8（IE10※）

※ 画面の一部が正しく表示されない場合があります。

- HDD ･･･約 18GB 以上の空き容量

▶必要なもの

- SDHC メモリーカードリーダー／ライター、またはパソコン常設のカードスロット
- SD カードアダプター（製品同梱）
- 地図 SD（製品同梱）
- インターネット接続可能な環境
- ID とパスワード

地図更新 DVD を注文する（有料）

地図更新 DVD は、マップオンデマンド・サポートデスクに電話で注文して購入することも可能です。

その際、以下の情報が必要になりますので、確認しておいてください。

- ナビ型番
- サービス終了日※
- 地図のタイプ※
- ナビバージョン※

※ 地図更新画面で確認できます。（→ P.554）

マップオンデマンド・サポートデスク
0561ー57ー6814
受付時間　9:00 ～ 18:00
（年中無休）

5. T ルート探索（プローブ情報付）

T ルート探索をする（プローブ情報付）

トヨタスマートセンターから、T プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を、広域の渋滞予測情報として提供します。この情報をもとに、目的地までの最適なルートを探索し、ご案内します。

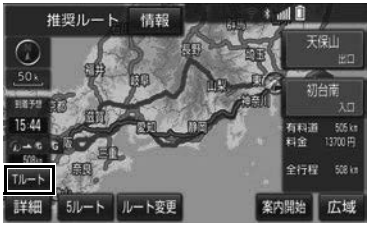
（知 識）

- オペレーターにナビの目的地設定を依頼すると、T ルート探索による最適なルート案内を行います。
- 渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
- T ルート探索をしても、ルートが変わらないことがあります。
- T ルート探索後に IC 指定や探索条件変更などを行うと、広域の渋滞予測情報は破棄されます。

目的地設定時に手動で取得する

目的地設定後に表示される全ルート図表示画面から、T ルート探索することができます。

1 ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で Tルート にタッチ。



- トヨタスマートセンターに接続し、T ルート探索を行います。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。
- 設定前のルートにもどすとき
  ➡ 元ルート にタッチ。
- T ルート探索で取得した情報が本機に保存されていれば、元ルート にタッチしたあとに Tルート にタッチしても、トヨタスマートセンターに接続されません。

ルート案内中に手動で取得する

ルート案内中に手動で、Tルート探索することができます。

現在地画面表示中

1 再探索 にタッチ。



2 Tルート探索 にタッチ。

- トヨタスマートセンターに接続し、Tルート探索を行います。
- Tルート探索情報の取得を中止するとき
  ➡ 取得中止 にタッチ。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。

Tルート探索を自動で取得する

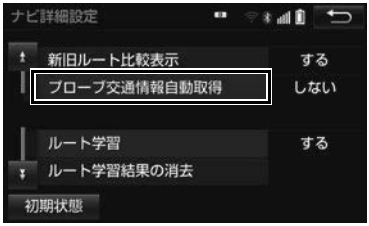
プローブ交通情報を自動取得に設定すると、次のタイミングで自動的にTルート探索情報を取得できます。

(1)ルート案内開始時と、案内開始以降約 20 分ごと

(2)JCT 手前や高速道路に乗る手前

1 MENU ▶ 設定・編集 ▶ ナビ詳細設定 → ルート系設定

2 プローブ交通情報自動取得 にタッチ。



3 する にタッチ。

- 解除するとき
  ➡ しない にタッチ。

6. オペレーターサービス

オペレーターサービスについて

オペレーターサービスは、電話で依頼するだけで、オペレーターがお客様に代わって、ナビゲーションの目的地設定やレストラン／駐車場の検索などを行うサービスです。

- 通信機器を Wi-Fi® に選択したお客様は、ハンズフリー設定のため、Bluetooth 携帯電話の登録・接続が必要です。

オペレーターサービスメニュー

▶ドライブサポート
- ・ナビの目的地設定
- ・駐車場の案内
- ・電話番号の案内
- ・夜間・休日診療機関の案内

▶セキュリティサービス
（T-Connect DCM パッケージ 契約が必要）
- ・オートアラームの作動連絡
- ・盗難車両の位置追跡
- ・警備員の派遣手配

▶トラブルサポート
- ・ロードアシスト 24 への取次ぎ

項目	T-Connect	T-Connect DCM パッケージ
ハンズフリー	必要	不要
通話料	お客様負担	無料※

※ 携帯電話・固定電話からご利用の場合、通話料はお客様のご負担になります。

- スマートフォンで Wi-Fi® 接続するには、テザリング契約が必要です。
- 車での利用は、ハンズフリーが利用可能な条件を満たしているときに可能です。（→ P.462）
- 利用料金や詳しいサービス内容については、T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）でご確認ください。

知 識

- T-Connect DCM パッケージ をご利用の場合は、オペレーターへの発信のみ可能です。オペレーターからの着信には対応していません。
- 本機の時刻データが更新されていないと、オペレーターサービスを利用できません。この場合は、GPS 信号が受信できる場所に車を移動し、地図画面上に GPS マークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。
- ヘルプネットの緊急通報中または保守点検中は、オペレーターサービスを利用できません。
- オペレーターサービス中は、ヘルプネット以外のデータ通信を必要とするサービスは使用できません。これらのサービスを使用するときは、オペレーターサービスを終了してからご使用ください。
- マルチナンバーなど、ひとつの携帯電話に複数の番号が付与されるサービスをご利用の場合、オペレーターサービスが正常に動作しないことがあります。
- T-Connect を通信モジュール（DCM）で使用する場合、電話機接続で携帯電話が選択されていても、オペレーターサービス中は一時的に Bluetooth 接続が切断されます。

オペレーターサービス専用電話番号
0561 − 57 − 6818
（365 日 24 時間対応）

オペレーターサービスを使う

1 MENU ▶ T-Connect →（┌オンライン┘）

2 オペレーターサービス にタッチ。



3 オペレーターに接続する。



● 中止するとき

➡ 切断 （Bluetooth 携帯電話使用時）または 中止 （通信モジュール（DCM）、Wi-Fi® 使用時）にタッチ。

4 オペレーターと通話する。



● 「ナビの目的地設定」、「レストランや駐車場などの周辺情報の検索」や「ニュースの配信」など、利用したい内容をオペレーターにお伝えください。

5 オペレーターとの通話が終了する。

● 自動的に回線が切断されます。

6 画面の指示にしたがって操作する。

● 「周辺情報の検索」や「ニュースの配信」などを利用した場合、トヨタスマートセンターから情報を取得すると、メッセージが表示されます。

手動で情報を取得する

● 自動で情報が取得されない場合は、次の手順で取得してください。

1 MENU ▶ T-Connect →（オンライン）

2 情報確認 にタッチ。

3 メッセージが表示されたら、はい にタッチ。

● メッセージが表示されないとき

➡ 受信一覧 にタッチ。



● 過去に依頼した情報が表示されます。

7. 渋滞予測

渋滞予測情報を表示する

トヨタスマートセンターから渋滞予測情報を取得し、その情報を表示するサービスです。

高速路線マップで表示された道路の現在地周辺とルート上に、渋滞の増減を示すアイコン（渋滞増減予測のアイコン）を表示します。また、ルートが設定されているときは、ルート上の渋滞予測情報を読み上げることもできます。

- 渋滞予測情報は現在地周辺を基準として提供され、「渋滞」および「混雑」について、旅行時間データが提供されている路線のみ表示します。

表示	名称	内容
▶赤色	渋滞	渋滞の区間を示しています。
▶橙色	混雑	混雑の区間を示しています。
▶黒色	通行止め区間	通行止めの区間を示しています。
▶灰色	不明区間	交通情報が配信されていない区間を示しています。

※ 渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。なお、「通行止め」は現在の状況が継続するとして扱っております。

渋滞予測情報を提供する路線について

- 都市間高速道路
- 都市高速道路
- 主な有料道路
- 一部の一般道路
  - 松永道路、名阪国道、姫路西バイパス、姫路バイパス、保土ヶ谷バイパス、加古川バイパス、米子バイパスなど

* 情報提供路線は随時更新されます。

渋滞予測情報を表示する

1 MENU ▶ 情報

2 高速渋滞予測 にタッチ。



3 トヨタスマートセンターに接続し、渋滞予測情報を取得する。

- 情報の表示および読み上げを行います。
- 情報の取得を中止するとき

  ➡ 切断 （Bluetooth 携帯電話使用時）または 中止 （通信モジュール（DCM）、Wi-Fi® 使用時）にタッチ。

(知 識)

- 渋滞予測情報の読み上げは、Viewer の自動読上げ設定（→P.522）に関係なく、常に読み上げられます。
- 以前に取得した渋滞予測情報が本機に保存されているときは、トヨタスマートセンターに接続しないことがあります。
- 極端に遠い距離の渋滞予測情報（到着予想時刻を含む）は、表示されないことがあります。

渋滞予測時間を変更する

渋滞予測情報は、現在の渋滞状況以外に、一定の時間単位で時間を進めて、今後の渋滞予測を表示させることができます。

1 次のいずれかにタッチ。

＋ : 渋滞予測時間を進める

－ : 渋滞予測時間をもどす

現在 : 現在の渋滞状況を表示する

(知 識)

- トヨタスマートセンターから提供される渋滞予測情報は、現在については現在の交通状況が提供され、未来については予測した情報が提供されます。
- その時間の渋滞予測情報を取得していない場合のみ、トヨタスマートセンターに接続して渋滞予測情報を取得します。

渋滞増減予測を表示する

渋滞予測画面の地図上に、渋滞増減予測のアイコンを表示させることができます。

また、ルート上の読み上げ情報があるアイコンの場合は、渋滞情報を音声で読み上げることができます。

渋滞増減予測アイコンの ON（表示する）／ OFF（表示しない）を選択できます。

1 MENU ▶ 情報 → 高速渋滞予測

2 渋滞増減予測表示 にタッチ。



作動表示灯

- 渋滞増減予測表示が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。
- アイコンを表示しないとき
  ➡ 再度 渋滞増減予測表示 にタッチ。

3 読み上げ情報があるアイコンの場合は、地図上に表示されたアイコンにタッチ。



● 渋滞情報を読み上げます。

アイコン	内 容
＋	表示している時間後に、渋滞が増加傾向であることを表します。
－	表示している時間後に、渋滞が減少傾向であることを表します。
■	表示している時間後に、渋滞が変化しないことを表します。

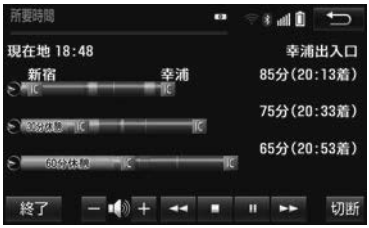
知 識

- 渋滞増減予測のアイコンは、地図の縮尺によって、表示されないことがあります。
- 渋滞増減予測のアイコンは、ルートが設定されている場合は、ルート沿いの情報を提供します。また、ルートが設定されていない場合は、現在地周辺の情報を提供します。

区間所要時間予測を表示する

高速道路を通るルートが設定されているとき、休憩した場合の所要時間予測を行います。
ルート上の渋滞変化を予測し、高精度の到着予測時間をサービスします。

▶区間所要時間予測表示



1 MENU ▶ 情報 → 高速渋滞予測

2 所要時間 にタッチ。

● トヨタスマートセンターに接続し、区間所要時間予測情報を取得すると、ブラウザ画面で区間所要時間予測が表示されると同時に読み上げが行われます。

3 区間所要時間予測表示を解除するときは、終了 または ⮌ にタッチ。

知 識

- 出口 IC までの距離が遠い場合は、出口 IC まで表示されないことがあります。
- 渋滞予測画面で表示される到着予想時刻と区間所要時間予測表示で表示される内容は、それぞれ独自で処理するため異なる表示をすることがあります。

8. WEB 検索

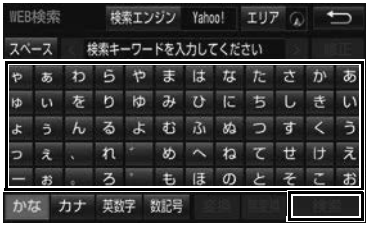
WEB 検索で目的地を設定する

本機からインターネットの検索エンジンを使用して施設を検索し、目的地に設定することができます。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ WEB

2 キーワードを入力し（→ P.33）、検索 にタッチ。

- エリア にタッチすると、検索エリアを変更することができます。



- 検索結果の地図画面が表示され、アイコンが表示されます。

3 アイコンにタッチし、情報 にタッチ。



- 目的地セット にタッチすると、目的地を設定する画面が表示されます。
- リスト表示 にタッチすると、検索結果の一覧を表示することができます。一覧に表示されている項目を選択すると、施設情報を表示することができます。

4 施設情報を確認する。（手順 **3** で リスト表示 にタッチした場合）



- TC 施設情報画面の 詳細情報 にタッチすると、検索エンジンから提供されている施設の詳細な情報を表示することができます。
- リスト表示 （手順 **3**）のリストから TC 施設情報画面を表示したときは、地図表示 が表示され、タッチすると目的地を設定する画面が表示されます。
- 地点登録 にタッチすると、メモリ地点に登録できます。

5 目的地セット にタッチ。

知 識

- 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 検索された施設の情報は、検索エンジンに依存します。詳細は利用案内をご確認ください。
- メンテナンス作業などにより、検索エンジンのサービスが利用できない場合や、予告なしにサポートを終了する場合があります。
- 検索条件によっては、検索結果が取得できない場合があります。
- 検索エンジンからの取得結果によっては、実際の位置と異なる場所が表示される場合があります。
- メモリ地点の登録数には制限があります。登録できない場合は、不要なメモリ地点を削除してから、登録してください。

9. エージェント

エージェントのサービス内容について

本機または音声認識用マイクに向かって話かけることにより、目的地設定の操作や、天気予報などの情報を音声とテキスト表示でご案内します。

主なサービス	機能概要
日常会話	エージェントとの日常会話を行う。 発話例：「おはよう」
ニュース	提携コンテンツから取得したニュースのテキスト表示・読み上げをする。 発話例：「スポーツニュースは？」
天気予報	提携コンテンツから取得した天気予報のテキスト表示・読み上げをする。 発話例：「横浜の天気は？」
目的地検索	提携コンテンツで検索した施設を目的地に設定したり、施設情報の確認、施設への電話発信や G メモリ地点への登録をする。 発話例：「名古屋駅周辺のイタリアン」
ヘルプ	エージェントで実行可能な機能や発話例をガイドする。 発話例：「ヘルプ」
閲覧履歴	閲覧履歴を表示し、履歴から目的地を選択したり履歴の編集（削除）ができる。 発話例：「閲覧履歴」
オペレーターサービス	オペレーターサービスに接続し、オペレーターによる情報検索やナビ設定ができる。 発話例：「オペレーターサービス」
交通情報	提携コンテンツから取得した交通情報（渋滞情報）のテキスト表示・読み上げする。 発話例：「この辺の渋滞情報を教えて」
自宅に帰る	自宅が登録されている場合、自宅に目的地を設定する。 発話例：「自宅に帰りたい」

※サービス内容は順次変更されます。

(知 識)

- 話かける際は、大きめな声でゆっくり、はっきりとお話ください。
- エアコンの風量が強いと認識しづらい場合があります。
- 認識しづらい場合は条件を 2 回に分けるなど、短い文章でお話ください。
  例)「駐車場付きの名古屋のレストラン」
  - 発話 1 回目：「名古屋のレストラン」 → 名古屋のレストランを検索
  - 発話 2 回目：「駐車場付き」 → 駐車場付きの名古屋のレストランを検索

エージェントを開始する

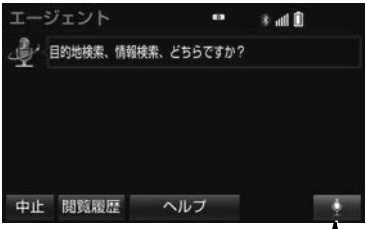
音声認識スイッチで操作する

▶販売店装着オプション　音声操作システム（音声認識用マイク & スイッチ）利用時

基本的な操作の流れを見ながら、エージェントを開始する方法と、音声対話中の基本操作を覚えましょう。以下は、目的地設定の例です。

1 音声認識スイッチを押し続ける。

2 マイクスイッチが緑色になったら、発声する。



マイクスイッチ

- ＜ピッ＞と音がしてから約 5 秒以内に発声してください。
- 発声後、1 つ前のエージェント画面に戻りたいときは、「戻る」と発声します。

3 画面の案内に従って、発声する。

4 リストが表示された場合は、目的の番号（「○番」、または「○番目」）を発声する。



- 音声が認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。

5 地図が表示された後、「目的地セット」と発声する、または **目的地セット** にタッチ。



- ルート案内が開始されます。
- リストを選択して操作することもできます。
- **情報** にタッチすると、検索地点の情報を確認することができます。（停車中）
- 情報画面表示後、「地図」と発声する、または **地図** にタッチすると、地図画面が表示されます。

(知 識)

- エージェント開始から終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- ステアリングスイッチのトークスイッチでも同様の操作ができます。（トークスイッチ装着車のみ）
  - ・ 音声操作システム（→P.360）をご利用の場合は、ステアリングスイッチのトークスイッチを長押しすると、エージェント画面が表示されます。
  - ・ 音声操作システムをご利用でない場合は、ステアリングスイッチを短押しすると、エージェント画面が表示されます。
- 手順 **4** でリストが表示されたとき、「○番目を目的地セット」と続けて発声すると、目的地の設定まで完了させることができます。

本機で操作する

基本的な操作の流れを見ながら、エージェントを開始する方法と、音声対話中の基本操作を覚えましょう。以下は、目的地設定の例です。

1 MENU ▶ T-Connect

2 エージェント にタッチ。



3 マイクスイッチが緑色になったら、発声する。



- <ピッ>と音がしてから約 5 秒以内に発声してください。
- 発声後、1 つ前のエージェント画面に戻りたいときは、「戻る」と発声します。

4 画面の案内に従って、発声する。

5 リストが表示された場合は、目的の番号（○番、または○番目）を発声する。



- 音声が認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。

6 地図が表示された後、「目的地セット」と発声する、または
目的地セット にタッチ。

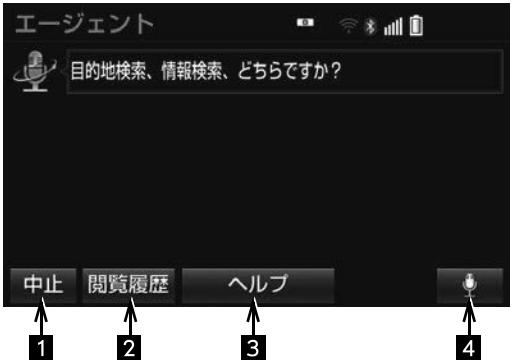


- ルート案内が開始されます。
- リストを選択して操作することもできます。
- 情報 にタッチすると、検索地点の情報を確認することができます。（停車中）
- 情報画面表示後、「地図」と発声する、または 地図 にタッチすると、地図画面が表示されます。

知 識

- エージェント開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 手順 **5** でリストが表示されたとき、「○番目を目的地セット」と続けて発声すると、目的地の設定まで完了させることができます。

エージェント画面の使い方



番号	スイッチ	機　能
1	中止	エージェントを終了する。
2	閲覧履歴	閲覧履歴を表示する。
3	ヘルプ	エージェントの使い方を表示する。
4	マイクスイッチ	ユーザーの発話受付を開始する。 • 音声受付中はスイッチが緑色に変化します。 • エージェントの発話中に押すと、エージェントの音声がスキップされ、音声受付中の状態になります。

エージェント（地図）画面の使い方



番号	スイッチ	機　能
1	中止	エージェントを終了する。
2	最初に戻る	エージェント操作開始画面に戻る。
3	電話	検索した地点（施設）に電話をかける。
4	G メモリ	検索した地点情報を G メモリに登録する。
5	目的地セット	検索した地点を目的地に設定する。
6	マイクスイッチ	ユーザーの発話受付を開始する。 • 音声受付中はスイッチが緑色に変化します。 • エージェントの発話中に押すと、エージェントの音声がスキップされ、音声受付中の状態になります。
7	情報	検索した地点の施設情報を表示する。 • 呼び出した地図の地点により、表示される画面が異なります。 • 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

音声対話を中断する

次のような場合は、音声操作を中断します。

- 通信中、または認識中に キャンセル にタッチ。
- 音声を３回連続で認識できなかったとき。

音声対話を再開する

次のいずれかの操作をします。

- 音声認識スイッチを押す。
-  にタッチ。

最初に戻る

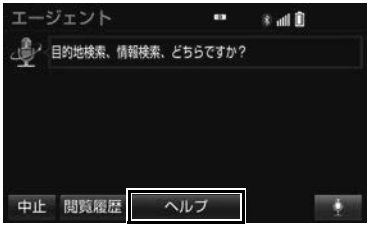
次のいずれかの操作をします。

- 最初に戻る にタッチ。
- 「最初に戻る」と発声する。

ヘルプ機能を使用する

詳しい操作方法を確認することができます。

1 「ヘルプ」と発声する、または ヘルプ にタッチ。



- ヘルプ機能を終了するとき
  ➡ ヘルプを閉じる にタッチ。

音声ガイドを省略する

音声ガイド出力時に音声認識スイッチを押す、または  にタッチすると、音声ガイドが途中でも次の動作に移ることができます。

エージェントを終了する

音声認識スイッチで操作する

▶販売店装着オプション　音声操作システム（音声認識用マイク & スイッチ）利用時

1 音声認識スイッチを押し続ける。

本機で操作する

次のいずれかの操作をする。

- 中止 にタッチ。
- 「中止」と発声する。

知 識

- 次の条件でもエージェントは終了します。
  - ・本機のスイッチを押したとき
  - ・ステアリングスイッチのトークスイッチ（トークスイッチ装着車のみ）を長押ししたとき
  - ・エージェントの検索結果を実行したとき（目的地設定画面に移行したときなど）
  - ・ハンズフリーの着信が入ったとき

10. T-Connect Apps

T-Connect Apps について

T-Connect Apps は多彩なアプリを本機にダウンロードし、ご利用いただけるサービスです。

T-Connect Apps を利用するには、T-Connect の契約が必要です。販売店へお問い合わせください。

■アプリについて

有料アプリのご利用には販売店で次の手続きが必要です。

- クレジットカード情報の登録

アプリの詳細については、次のサイトをご覧ください。

- パソコン／スマートフォン
  URL：http://tconnect.jp/appcatalog/

アプリを購入する

走行中はアプリの購入ができません。
安全な場所に車を停車させて実施ください。

1 MENU ▶ T-Connect → Apps

2 インストール にタッチ。



3 T-Connect アプリストア にタッチ。



- メディアからインストール は表示されますが、使用できません。（現在サービス開始時期は未定です）

4 アプリを選択し、サービス内容・価格を確認して、購入 にタッチ。

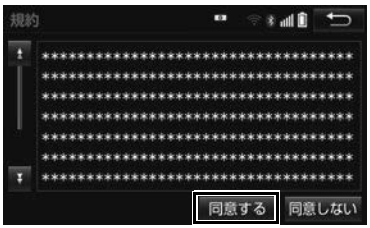
5 T-Connect のユーザ ID、パスワードを入力する。



- 次回入力しない にタッチすると、次回からユーザ ID とパスワードが入力された状態の画面が表示されます。

6 完了 にタッチ。

7 規約を確認後、同意する にタッチ。

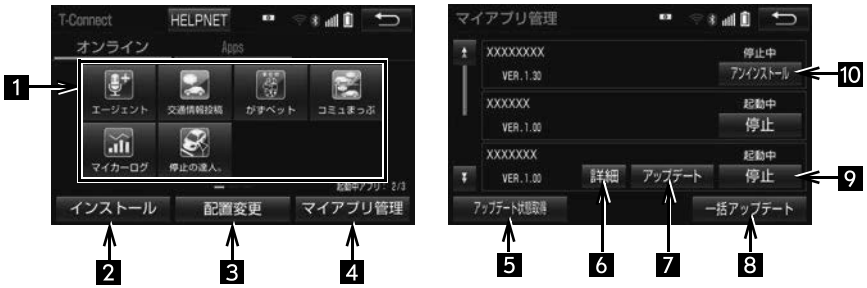


8 はい にタッチ。

知 識

- アプリの購入履歴は、T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）より確認ができます。

Apps 画面の使い方



番号	スイッチ	機　能
1	インストール済みアプリ（アイコン）	選択すると該当のアプリを起動する。
2	インストール	インストール画面を表示する。
3	配置変更	1 のアプリアイコンの表示位置の入れ替えをする。 • アプリアイコンを入れ替えたいときは、入れ替えたいアプリアイコンにタッチし、入れ替え先のアプリアイコンにタッチします。
4	マイアプリ管理	インストールした各アプリの動作やアップデート等の詳細を確認する。
5	アップデート状態取得	最新のアップデート状態を取得する。
6	詳細	インストール、アップデートの詳細を確認する。
7	アップデート	アプリをアップデートする。
8	一括アップデート	アップデートができるアプリを一括でアップデートする。
9	停止	起動中のアプリを停止する。
10	アンインストール	アプリをアンインストールする。

(知 識)

- アプリは同時に 3 つまで起動可能です。
- 音楽系のアプリを同時に 2 つ以上起動することはできません。

アプリの割込み表示について

次のような場合、地図画面上にアプリ画面が表示されます。

(1)地図画面上の Apps にタッチしたとき

(2)アプリが自動で割込み表示をしたとき

現在地画面表示中

1 Apps にタッチ。



2 アプリ画面が表示される。



- アプリ画面を非表示にするとき
  ➡ >> にタッチ。
- 割込み表示されたアプリを切り替えるとき
  ➡ < または > にタッチ。
- Apps にタッチしなくても、アプリ画面が自動で表示されることがあります。

マイアプリ管理について

アプリをアップデートする

1 MENU ▶ T-Connect → Apps

2 マイアプリ管理 にタッチ。



3 アップデート にタッチ。



- 複数のアプリをまとめてアップデートしたいとき
  ➡ 一括アップデート にタッチ。

4 アップデート確認画面が表示される。

- ユーザー認証画面がでたとき
  ➡ T-Connect のユーザ ID、パスワードを入力し、完了 にタッチ。

5 はい にタッチ。

アプリをアンインストールする

1 MENU ▶ T-Connect → Apps

2 マイアプリ管理 にタッチ。

3 アンインストール にタッチ。

4 アンインストール確認画面が表示される。

知 識

- 起動中のアプリをアンインストールする場合は、停止 （→P.578）にタッチ後、アンインストールできます。

各種設定をする

■アップデート確認の設定をする

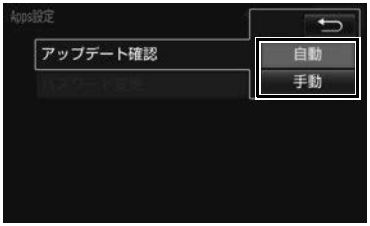
1 MENU ▶ 設定・編集 → Apps

2 Apps 設定 にタッチ。

3 アップデート確認 にタッチ。



4 手動 または 自動 にタッチ。



- 手動 選択時は、マイアプリ管理画面の アップデート状態取得 を選択することで確認できます。（→P.579）

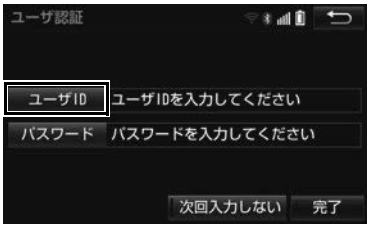
■パスワードを変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → Apps

2 Apps 設定 にタッチ。

3 パスワード変更 にタッチ。

4 ユーザ ID にタッチ。



- 次回入力しない にタッチすると、次回からユーザ ID とパスワードが入力された状態の画面が表示されます。

5 ユーザ ID を入力し（→P.33）、完了 にタッチ。

6 パスワード にタッチ。

7 パスワードを入力し（→P.33）、完了 にタッチ。

8 完了 にタッチ。

11. CD タイトル情報取得

タイトル情報を取得する

音楽 CD から Audio SD へ録音した楽曲のタイトル情報（アルバム名、アーティスト名、ジャンル名など）を、地図 SD に収録されているデータベースから取得することができます。

T-Connect を利用すると、最新の CD タイトル情報をトヨタスマートセンター経由で Gracenote® メディアデータベースから取得することができます。

- データベースの検索について
  ➡「タイトル情報を再取得する」（→ P.279）

アルバム修正画面（→ P.277）

1 TC で検索 にタッチ。



2 表示された画面の指示にしたがって、希望のタイトルを選択・登録する。

知 識

- 該当するCDタイトル情報が見つからなかった場合は、メッセージが表示されたあとにアルバム修正画面にもどります。
- ハンズフリー着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったときは、CD タイトル情報の取得を中止します。

1. オンライン詳細設定

オンライン詳細設定を変更する

T-Connect に関する各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オンライン」

2 オンライン詳細設定 にタッチ。



3 各項目を設定する。

項目	ページ
T-Connect オンライン契約解除	515
Viewer 自動読上げ	522
単語編集	35
定型文修正	36
入力履歴削除	36
予測変換候補表示	36

サポートアドレスについて

サポートアドレスは、マイカー Security やロードアシスト 24 などのコンテンツ利用にあたって、お客様に連絡が必要になった場合の連絡先です。

T-Connect 利用申込書で入力いただいた連絡先が、サポートアドレスとして登録されています。

連絡先に変更があった場合は次の操作で変更してください。

サポートアドレスを確認・変更する

1 MENU ▶ T-Connect →（「オンライン」）→ ユーザー設定

2 サポートアドレスの登録・変更 にタッチ。



3 T-Connect 暗証番号の入力を要求されたときは、T-Connect 暗証番号を入力する。

- T-Connect 暗証番号が未設定の場合、契約 ID とパスワードを入力して T-Connect 暗証番号を設定してください。

4 表示される電話番号を確認した後、メール にタッチ。

- 電話番号を変更するとき
  ➡ 変更する電話番号を選択し、入力する。

5 メールアドレスを確認する。

- メールアドレスを変更するとき
  ➡ 変更する E メールアドレスを選択し、入力する。

知 識

- サポートアドレスの確認・変更は、T-Connect のパソコンサイト（http://tconnect.jp）、携帯サイト（http://mo.tconnect.jp）でも行うことができます。

携帯電話を追加する

▶T-Connect 利用時

利用手続き後、データ通信に利用する携帯電話の追加や変更をする場合は、次の手続きを行なってください。

携帯電話を追加する場合

↓

携帯電話を登録する（→ P.47）

↓

使用する携帯電話の通信設定をする（au ／ docomo ／ SoftBank）（→ P.590）

↓

ヘルプネットの「手動保守点検」を実施する（→ P.535）

2. プライバシー設定

設定・編集画面を表示する

T-Connect を利用するときの各種設定は、設定・編集画面から行います。

1 MENU ▶ 設定・編集

2 「オンライン」にタッチ。

- 設定・編集画面で、次の項目を設定することができます。



項目	ページ
Wi-Fi 設定	593
通信設定	590
プライバシー設定	584
オンライン詳細設定	582

プライバシー設定を変更する

プライバシーに関する各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オンライン」

2 プライバシー設定 にタッチ。



3 各項目を設定する。

項目	ページ
通信ロックを使う	585
暗証番号を変更する	586
暗証番号を忘れた場合	587

通信ロックを使う

通信ロックを使用すると、各機能の動作を下表のように制限できます。
他人に車を貸す場合など、T-Connect を触らせたくないときや、プライベートな情報を見せたくないときに使用してください。

⚠ 注意

- 完了 にタッチして設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
  - ・パワースイッチを OFF にする。
  - ・ハイブリッドシステムを始動しなおす。

○：利用できます
×：利用できません

機　能		動　作
ヘルプネット		○
マップオンデマンド（地図更新）		×（Bluetooth 携帯電話、Wi-Fi® テザリング対応機器または通信モジュール（DCM）で更新するとき）
利用開始 / ユーザー設定		×
閲覧履歴		×
ブックマーク		×
オペレーターサービス		×
CD タイトル情報取得		×
T-Connect とナビの連携機能	WEB 検索	×
	T ルート探索	×（プローブコミュニケーション交通情報を含む）
	G メモリ	○（保存済みデータのみ）
	TC で設定	×
	施設情報表示	×
	TC 情報マーク連動サービス	○（情報の読み上げのみ）

ロックする

1 MENU ▶ 設定・編集 → 」オンライン「 → プライバシー設定

2 通信ロック にタッチ。



3 はい にタッチ。

解除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 」オンライン「 → プライバシー設定

2 通信ロック解除 にタッチ。



3 暗証番号を入力し、完了 にタッチ。

- 間違えたとき
  ➡ 修正 にタッチ。

(知 識)

- 通信ロックを解除するときは、暗証番号が必要になります。

暗証番号を変更する

暗証番号は、通信ロック（→ P.585）の解除時に必要になります。通信ロックを使用するときは、まず暗証番号および暗証番号を忘れたときの質問とその回答を設定してください。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 」オンライン「 → プライバシー設定

2 暗証番号変更 にタッチ。



3 現在の暗証番号を入力し、完了 にタッチ。

- はじめて設定するとき
  ➡「0000」を入力する。
- 変更するとき
  ➡ 設定してある暗証番号を入力する。
- 間違えたとき
  ➡ 修正 にタッチ。
- 暗証番号を忘れたとき
  ➡「暗証番号を忘れた場合」（→ P.587）

4 新しく設定したい暗証番号を入力し、完了 にタッチ。

5 再度新しく設定したい暗証番号を入力し、完了 にタッチ。

6 質問、回答 にタッチして、それぞれ入力する。

7 完了 にタッチ。

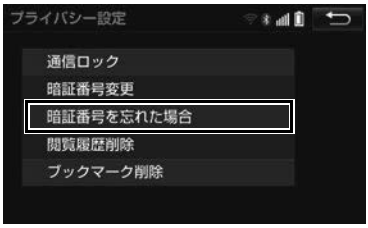
知 識

- 暗証番号は 4 桁の数字です。初期設定は「0000」になっています。
- 質問とその回答は、暗証番号を忘れた場合に暗証番号を表示するために設定します。（→ P.587）
- 暗証番号、質問、質問の回答は他人に分かりにくい内容にしてください。

暗証番号を忘れた場合

1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン → プライバシー設定

2 暗証番号を忘れた場合 にタッチ。

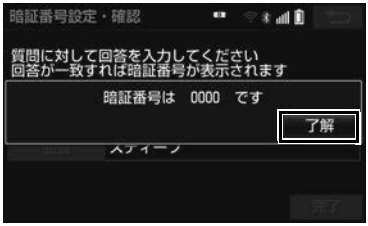


3 回答 にタッチ。

4 回答を入力する。

5 完了 にタッチ。

6 暗証番号を確認したら、了解 にタッチ。



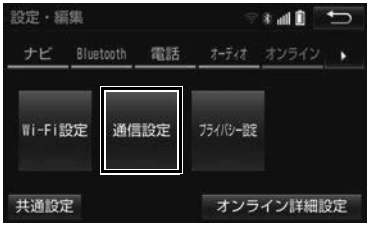
3. 通信設定

通信設定を登録・変更する

通信に関する各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オンライン」

2 通信設定 にタッチ。



3 各項目を設定する。

項目	ページ
通信接続機器の選択	588
通信接続時の確認	589
使用する携帯電話の設定をする	590
自動通信の設定	590
カーナビ通信料定額プランの設定をする	591

(知 識)

- 次の項目は携帯電話毎に設定が保持されます。
  - ・ 使用する携帯電話の設定
  - ・ 通信接続時の確認
  - ・ 自動通信の設定

通信接続機器を選択する

通信に使用する機器を選択することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オンライン」 → 通信設定

2 通信接続機器 にタッチ。

3 通信に使用する機器にタッチ。



通信接続時の確認メッセージを表示する

トヨタスマートセンターへ接続するときに、確認のメッセージを表示することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌋オンライン⌊ → 通信設定

2 通信接続時の確認 にタッチ。

3 する にタッチ。



● 解除するとき

➡ しない にタッチ。

(知 識)

● 接続確認画面で 以降は確認せずに接続 にタッチすると、次回接続時以降は、接続確認画面が表示されません。このとき、通信接続時の確認は「しない」に設定されます。再度表示したいときは、通信接続時の確認を「する」に設定してください。

● 通信接続時の確認を「しない」に設定すると、画面に「自動で通信する場合があります」と表示されます。
これは、自動で通信するサービスを利用したとき、お客様が気付かないところで通信料金が発生する場合があることをご確認いただくためのものです。

● カーナビ通信料定額プランを「契約あり」に設定すると、通信接続時の確認は「しない」で固定されます。「する」に変更したい場合は、カーナビ通信料定額プランを「契約なし」に設定してください。

使用する携帯電話の通信設定を変更する

次のような場合は、必ず使用する携帯電話の設定を確認してください。
(1)携帯電話を初めて接続するとき
(2)補機バッテリーの接続が断たれたとき
(3)使用する携帯電話を変更したとき

1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン → 通信設定

2 使用する携帯電話の通信事業者にタッチ。



項目	機能
au	au のパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
docomo	docomo のパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
SoftBank	SoftBank のパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
通信に利用しない	携帯電話をハンズフリー通話のみに使用する場合

(知 識)

- 通信事業者の設定が間違っていると、T-Connect を利用できません。

自動通信の設定をする

ハイブリッドシステム始動時にトヨタスマートセンターへ自動で接続し、トヨタスマートセンターからのお知らせや新着メールなどの有無を確認できます。

1 MENU ▶ 設定・編集 ▶ オンライン → 通信設定

2 自動通信 にタッチ。

3 する にタッチ。

- 解除するとき
  ➡ しない にタッチ。

(知 識)

- 通信機器選択（→P.489）で携帯電話を変更すると、自動通信の設定も「する」に変更されます。「しない」を選択していた場合は、設定しなおしてください。
- 自動通信の設定を「しない」に設定しても、プローブ交通情報自動取得の設定（→P.560）により自動で通信する場合があります。
- カーナビ通信料定額プランを「契約あり」に設定すると、自動通信は「する」で固定されます。「しない」に変更したい場合は、カーナビ通信料定額プランを「契約なし」に設定してください。

カーナビ通信料定額プランの設定をする

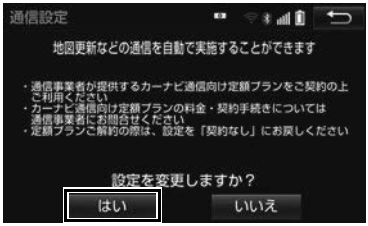
カーナビ通信料定額プランを設定すると、マップオンデマンドは自動更新となります。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オンライン」 → 通信設定

2 カーナビ通信料定額プラン にタッチ。

3 契約あり にタッチ。

4 表示されている内容を確認し、設定を変更する場合は はい にタッチ。



- 変更しないとき
  ➡ いいえ にタッチ。

5 暗証番号を入力し、完了 にタッチ。

⚠ 注意

- カーナビ通信料定額プランに未契約の状態で、地図更新を自動で行うと、通信料金が高額になる可能性があります。
  カーナビ通信料定額プランについては、携帯電話を契約している通信事業者にお問い合せください。

(知 識)

- 複数の携帯電話を登録している場合、携帯電話ごとに設定が必要です。
- カーナビ通信料定額プランを「契約あり」に設定すると、通信接続時の確認は「しない」、自動通信は「する」に固定されます。設定を変更したい場合は、「契約なし」に設定してください。

4. Wi-Fi® 設定

Wi-Fi® について

Wi-Fi® を使用するサービスを利用するには、Wi-Fi® 通信設定が必要です。

(知 識)

- 本機能はベストエフォート型の機能です。
- 本機能はWi-Fi® 対応機器との接続にてご利用ください。Wi-Fi® 対応機器以外の接続を行っている場合、環境によって切断される可能性があります。
- Wi-Fi® や無線 LAN 圏内から出た場合は、通信は切断されます。
- お客様のご利用環境 （車両内および車両周辺の環境）により、通信速度が低下したり、通信ができないことがあります。

受信レベルについて

画面右上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。



表示				
レベル	圏外／未接続	弱	◄——►	強

■対応 Wi-Fi® 通信方式

- 802.11b/g/n

■対応セキュリティ方式

- WEP
- WPA™
- WPA2™
- Wi-Fi Protected Setup™

Wi-Fi® 通信設定をする

Wi-Fi® 通信に関する各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オンライン」

2 Wi-Fi 設定 にタッチ。



3 各項目を設定する。

項目	ページ
Wi-Fi® を ON/OFF する	593
利用できるネットワークから Wi-Fi® 接続する	593
簡単設定から Wi-Fi® 接続する	594
Wi-Fi® 詳細設定を変更する	595

Wi-Fi® を ON ／ OFF する

1 Wi-Fi Power にタッチ。



作動表示灯

- Wi-Fi PowerがONのときは作動表示灯が点灯します。
- タッチするたびに、ON ／ OFF が切り替わります。

利用できるネットワークから Wi-Fi® 接続する

1 利用できるネットワーク にタッチ。

2 利用するネットワークにタッチ。



各ネットワークの電波レベル

- ネットワークの詳細を確認したいとき
  ➡ 詳細 →詳細を確認したいネットワークの順にタッチ。
- リストにないネットワークに接続したいとき
  ➡ Wi-Fi ネットワークを追加 にタッチし、ネットワーク SSID(アクセスポイントの識別子）を入力。

- 接続にセキュリティを設定するときは、セキュリティ方法（WPA、WEP など）を選択するとパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力し 完了 にタッチすると、ネットワークへの接続を開始します。
- EV/PHV 用充電器（G-Station）および au Wi-Fi® SPOT で接続する場合は、利用するネットワーク SSID を au Wi-Fi® に設定して下さい。その場合はパスワードなしで接続できます。

※au Wi-Fi® SPOT 機能のない G-Station もあります。

簡単設定から Wi-Fi® 接続する

簡単設定に対応している Wi-Fi® テザリング対応機器では、より簡単に Wi-Fi® 接続することができます。

1 簡単設定 にタッチ。

2 PIN コード または プッシュボタン にタッチ。



- PIN コード にタッチしたとき
  ➡ 画面に表示されている PIN コードを Wi-Fi® テザリング対応機器に入力する。（時間内に設定できない場合、簡単設定画面に戻ります。）
- プッシュボタン にタッチしたとき
  ➡ Wi-Fi® テザリング対応機器のプッシュボタンを押す。（時間内に設定できない場合、簡単設定画面に戻ります。）

3 Wi-Fi® テザリング対応機器を操作し、ネットワークへ接続する。

知 識

- Wi-Fi® テザリング対応機器側の操作については、Wi-Fi® テザリング対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Wi-Fi® テザリング対応スマートフォンで Wi-Fi® 接続を行う場合

Wi-Fi® テザリング対応スマートフォンで Wi-Fi® 接続を行う場合、下記の操作例を参考に接続してください。

※ テザリング設定の詳細はスマートフォンの取扱説明書等をご覧ください。

利用できるネットワークから接続する

1 スマートフォンを「Wi-Fi® テザリング設定」に切り替える。

2 スマートフォンの Wi-Fi® テザリングを「ON」にする。

3 スマートフォンを「Wi-Fi® アクセスポイント設定」に切り替える。

4 スマートフォンに表示されているネットワーク名、パスワードを確認する。

5 本機の 利用できるネットワーク にタッチ。

6 利用できるネットワーク画面（→ P.593）でスマートフォンに表示されている （ネットワーク名） にタッチ。

7 スマートフォンに表示されているパスワードを本機に入力する。

簡単設定（PIN コード）で接続する

1 スマートフォンを「Wi-Fi® テザリング設定」に切り替える。

2 スマートフォンの Wi-Fi® テザリングを「ON」にする。

3 スマートフォンを「Wi-Fi® 簡単登録」の「PIN 入力」を選択する。

4 本機の 簡単設定 → PIN コード の順にタッチ。

5 簡単設定画面に表示されているPIN コードをスマートフォンに入力する。

簡単設定（プッシュボタン）で接続する

1 スマートフォンを「Wi-Fi® テザリング設定」に切り替える。

2 スマートフォンの Wi-Fi® テザリングを「ON」にする。

3 スマートフォンを「Wi-Fi® 簡単登録」の「プッシュボタン」を選択する。

4 本機の 簡単設定 → プッシュボタン の順にタッチ。

5 簡単設定画面が表示された後、スマートフォンのプッシュボタンにタッチする。

知 識

- 本書に記載されている接続方法は一例であり、簡単設定（PIN コード、プッシュボタン）に対応しているスマートフォンなどの機器に関する内容は、各通信事業者にお問い合わせください。

Wi-Fi® 詳細設定を変更する

1 Wi-Fi 詳細設定 にタッチ。

2 各項目を設定する。



- 初期設定の状態に戻すとき
  ➡ 初期状態 にタッチ。

項目	ページ
優先ネットワークの変更／削除	596
優先ネットワークへの自動接続	596
Wi-Fi® の接続確認を表示する	596

優先ネットワークを変更／削除する

1 優先ネットワークの変更・削除 にタッチ。

2 優先順位を変更、または削除したいネットワークにタッチ。



- 優先順位を変更するとき
  ➡ 上へ または 下へ にタッチし、順位を変更。
- ネットワークを削除するとき
  ➡ 削除 → はい の順にタッチ。

(知 識)

- 優先ネットワークへの登録はWi-Fi® 接続すると自動的に登録されます。最大 20 個まで登録可能です。21 個以上登録する場合は古いものより上書きされます。(既に登録済みの au Wi-Fi® を除く)

自動で優先ネットワークへ接続する

1 優先ネットワークへの自動接続 にタッチし、する にタッチ。

- 解除するとき
  ➡ しない にタッチ。

Wi-Fi® の接続確認を表示する

1 他画面での接続表示 にタッチし、する にタッチ。

- 解除するとき
  ➡ しない にタッチ。

1. こんなメッセージが表示されたときは

次のようなメッセージが表示されたときは、処置内容や画面の指示にしたがって操作してください。表のとおり対処しても状況が変わらない場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

■T-Connect 全般

メッセージ	原　因	処　置
T-Connect の利用手続きを行ってください。	T-Connect DCM パッケージに申し込んだが、本機で利用開始操作が実施されていない。	利用開始操作の方法を選択してください。 • すぐに操作をする。 ➡ 開始する にタッチ。 • あとで操作をする。 ➡ あとで にタッチ。
	T-Connect の利用手続きがされていない。	利用手続きを行ってください。（→ P.512）
サービス開始操作を実施していないためヘルプネット機能が使用できません	ヘルプネットのサービス開始操作 ※ が実施されていない。	サービス開始操作 ※ の方法を選択してください。 • すぐに操作をする。 ➡ 開始する にタッチ。 • あとで操作をする。 ➡ あとで にタッチ。
電話機選択が必要です 設定・編集の Bluetooth から設定してください	使用する電話機が選択されていない。	使用する電話機を選択してください。（→ P.489）
携帯電話の通信設定が必要です 設定・編集のオンラインから設定してください	使用する携帯電話の通信設定がされていない。	使用する携帯電話の通信設定を行ってください。（→ P.590）
Bluetooth 設定が必要です 設定・編集の Bluetooth から設定してください	Bluetooth の設定がされていない。	Bluetooth の設定を行ってください。（→ P.47）

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

次のページに続く

メッセージ	原　因	処　置
緊急通報中です このサービスはご利用できません	ヘルプネットの緊急通報中のため。	緊急通報が終了してから、ご利用ください。 • 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。
オペレーターと通話中です 終了してからご利用ください	オペレーターサービスを利用中のため。	オペレーターサービスが終了してからご利用ください。
センター接続中は変更できません 回線を切断して再度操作してください	通信中のため。	通信が終了してから再度操作する、または 切断 にタッチして通信を終了してください。
電話機が使用中です 通話を終了してからご利用ください	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
通話中は操作できません		
これ以上登録できません 設定・編集のオンラインのプライバシー設定で削除してください	ブックマークの最大登録数を超過したため。	不要なブックマークを削除してください。
保守点検ができませんでした 電話機の状態をご確認ください 再度操作してください	携帯電話が接続されていないため。	携帯電話を接続してください。（「携帯電話を接続する」（→P.462））
これ以上 G メモリ地点を登録できません 設定・編集のナビから不要な G メモリ地点情報を削除してください	G メモリ地点の最大保存数を超過したため。	不要な G メモリ地点を削除してください。（→P.137）
通信ロック中です ロックを解除してからご利用ください	通信ロックされている。	通信ロックを解除してください。 通信ロック解除のための暗証番号を忘れた場合は、プライバシー設定画面で暗証番号の 暗証番号を忘れた場合 にタッチして確認してください。

メッセージ	原　因	処　置
回線が混み合っている等により表示できません しばらく待ってから操作してください	サービスエリア圏外にいる。 • 通信環境が悪い。 • 通信機器の接続状態に異常がある。	携帯電話について、次の点を確認してください。 • 携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 • 携帯電話単体で正常動作するか。 • 携帯電話の異常でないか。（携帯電話の充電不足、携帯電話の故障）
時刻データが古いため通信できません 移動して GPS を受信してください	GPS が受信できていない。	GPS が受信できる場所に移動してください。
電話機が接続されていません	• 携帯電話が Bluetooth 接続されていない。 • 携帯電話に異常がある。（携帯電話の電源 OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障） • 携帯電話が動作確認済みの機種でない。	次の点を確認してください。 • 携帯電話と Bluetooth 接続されているか。 • 携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 • 携帯電話の充電は十分であるか。
回線が混雑しています しばらく待ってご利用ください	発信規制中である。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
通話エリア外です 通話エリアに移動してご利用ください	サービスエリア圏外にいる。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
回線が混み合っている等により情報を取得できませんでした しばらく待ってから再度操作してください	• サービスエリア圏外にいる。 • 通信環境が悪い。 • 通信機器の接続状態に異常がある。	①しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。 ②使用する携帯電話の設定を確認してください。（→ P.590）

2. 故障とお考えになる前に

■ヘルプネット

本機が正常に作動しなくなったときは、以下の表にしたがって確認してください。表にしたがって対処しても作動しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。また、万一異常が起きたら、必ずトヨタ販売店に修理をご依頼ください。

⚠ 警告

- 緊急事態発生時に緊急通報できないときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

症　状	考えられること	処　置
保守点検 が表示されない	利用開始操作が完了していない。	利用開始操作を実施してください。（→ P.512）
HELPNET が表示されない	サービス開始操作※が完了していない。	サービス開始操作※を（→ P.530）実施してください。
緊急通報できない	動作確認済みの携帯電話を使用していますか。	トヨタ販売店にご確認ください。
	使用する携帯電話の通信設定をしましたか。	使用する携帯電話の通信設定をしてください。（→ P.590）
	携帯電話で、緊急通報の妨げになる電話機能を利用していませんか。	携帯電話およびネットワークサービスの発信や着信を制限もしくは禁止する機能を解除してください。
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。（→ P.535）
	携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状況の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。（→ P.535）

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

■マップオンデマンド

症　状	考えられること	処　置
地図更新画面の終了日が「*」になっている。	サービス有効期間の設定前であるためです。	サービス有効期間は自動で設定されます。 サービス有効期間設定前でも地図の更新は可能です。
いつまでたっても地図データが更新される気配がない。	通信で更新する場合、通信状態によってはダウンロードが中断することがあります。	しばらくしてから、通信状態が良好な場所で再度確認してください。
	▶通信モジュール（DCM）利用時 お客様がお住まいの地域で実際に道路更新がなかった。	地図データの更新はありません。
	ダウンロード中、コピー中、または更新準備中である。	MENU ▶ 設定・編集 → 地図更新 の順にタッチし、表示された画面で状態を確認してください。

■接続

症　状	考えられること	処　置
スマートフォンでT-connect に接続できない	スマートフォンが T-Connect 対応機種ではありません。	T-Connect のパソコンサイトの対応機種検索（http://tconnect.jp）にてご確認ください。
	▶テザリング接続利用時 スマートフォンがテザリング機能に対応していない。	スマートフォンの取扱説明書をご確認下さい。

ご参考に

1 参考情報

1. アフターサービスについて.....604
2. 補機バッテリーの交換について.....605
3. お手入れについて.....607
4. VICS 情報有料放送サービス契約約款.....608
5. 仕様について.....610

2 さくいん

1. 50音さくいん.....613
2. アルファベットさくいん.....620

1. アフターサービスについて

保証について

1) 保証の内容

トヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場でトヨタ車にお取付けしたトヨタ純正商品に材料、又は製造上の不具合が発生した場合、下記に示す期間と条件に従ってこれを無償修理いたします。
（以下、この無償修理を保証修理といいます。）保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。また、取外した不具合部品はトヨタの所有となります。

2) 保証の期間、受け方

① 保証の期間
保証修理を受けられる期間は、商品をトヨタ車にお取付けした日をご使用開始日として起算し 3 年間とします。
ただし、その期間内でも走行距離が 60,000km までとします。

② 保証修理の受け方
保証修理をお受けになる場合はトヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場へ自動車に取付けた状態でお持ちいただき、保証修理をお申しつけください。

3) 保証しない事項

① 保証期間内でも、下記に起因する不具合は保証修理いたしません。
・トヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場以外での取付け、修理およびトヨタが認めていない改造など
・取扱書に示す取扱い方法と異なる使用および不適切な保管などおよび地震、台風、水害などの天災並びに事故、火災

② 次に示すものの費用は負担いたしません。
・消耗部品および油脂類など（ヒューズ、各種電球など）
・商品を使用できなかった事による不便さおよび損失など

4) 保証の適用

日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

5) その他

保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■補修用性能部品の最低保有期間

この SD ナビゲーションの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打ち切り後最低 6 年間保有しております。

（知 識）

● アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

2. 補機バッテリーの交換について

補機バッテリー交換をする前に

お車から本機や補機バッテリーを取りはずした場合、一部（下記表）を除き、本機に保存されている情報（設定）が初期化（消去）されます。お車の点検や補機バッテリーの交換、地図データの全更新を行う際は、ご注意ください。

■初期化されない情報

項目	内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
メモリ地点	登録したメモリ地点（自宅を含む）
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
販売店の設定	設定した販売店の情報
地上デジタル TV 放送	プリセットスイッチに記憶されたチャンネル
電話帳	登録した電話帳データ
ワンタッチダイヤル	設定したワンタッチダイヤル
エコ機能	燃費の設定やこれまでの履歴
バックガイドモニター（装着車のみ）※	バックガイドモニターの設定

※ 「このナビを以前使用されていた車から新しい車へのせかえされましたか？」のメッセージに「いいえ」を選択してください。

知 識

- 一度初期化（消去）された内容（データ）は元に戻せません。ご注意ください。
- 本機を別のお車に付け替える場合、必ず販売店で設定等を確認してください。

補機バッテリーを交換した後に

補機バッテリーを交換したとき（補機バッテリーの ⊕ ターミナルを接続）は、車両のパワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにするとプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込み中は絶対に補機バッテリーターミナルをはずさないでください。

次のように画面がかわります。



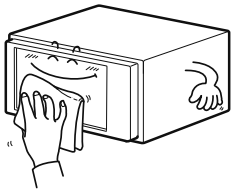
知 識

- セキュリティを設定している場合（→ P.31）や地図 SD が差し込まれていない場合（→ P.18）は、表示される画面は異なります。

3. お手入れについて

本機のお手入れ

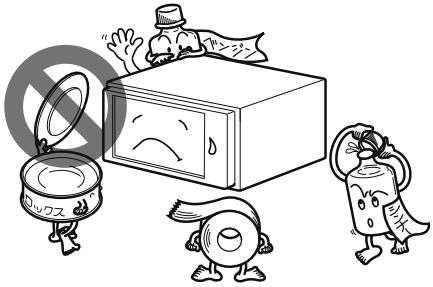
- 汚れをおとす場合、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。
  汚れがひどい場合、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげます。



タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください

化学ぞうきんをご使用の場合、その注意書に従ってください。

- ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。



変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れ

- フィルムアンテナおよびケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。
  表面処理を傷める原因となります。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下することがあります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

4. VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）

第 1 条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1） VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2） VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

（3） 加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者

（4） VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。

（1） 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2） 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3） 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

（契約の単位）

第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第 8 条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）

第 9 条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

（1） 加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2） 加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第 12 条　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サー ビス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料金
（料金の支払い義務）
第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保守
（当センターの保守管理責任）
第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第 15 条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑則
（利用に係る加入者の義務 ）
第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第 17 条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]
視聴料金 300 円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

※この契約約款は、2013 年 11 月 1 日変更時のものを掲載しています。

5. 仕様について

本機の仕様について

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しないことがありますのでご了承ください。

■GPS アンテナ

供給電源電圧	4.0 ～ 5.0（V）
消費電流	10 ～ 30（mA）
動作温度範囲	-20 ～ +65（℃）
保存温度範囲	-40 ～ +85（℃）

■テレビ･ディスプレイ

受信チャンネル	UHF13 ～ 52 チャンネル
液晶パネル	9 型ワイド低反射パネル
画面寸法	200.4（W）× 106.08（H）mm
画素数	1,152,000 個（800（H）× 480（V）× 3）
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリックス方式
動作温度範囲	-20 ～ +65（℃）
保存温度範囲	-40 ～ +85（℃）
バックライト	LED

■ラジオ･チューナー部

受信周波数	AM…522 ～ 1,629kHz FM…76 ～ 90MHz
実用感度	AM…34dBμV (S/N20dB) FM…13dBμV (S/N30dB)
周波数特性	30 ～ 15,000Hz (FM)
ステレオセパレーション	26dB (1kHz)

■CD 部

全高調波歪み率	0.1%（1kHz、0dB）
周波数特性	20 ～ 20,000Hz
S ／ N 比	70dB（1kHz）
ダイナミックレンジ	90dB（1kHz）

■SD メモリーカード部

全高調波歪み率	0.1%（1kHz、0dB）
周波数特性	20 ～ 20,000Hz
S ／ N 比	70dB（1kHz）

■DVD 部

全高調波歪み率	0.1%（1kHz、0dB）
周波数特性	20 ～ 20,000Hz
S ／ N 比	70dB（1kHz）

■共通部

定格出力	11W × 4（1kHz）
最大出力	40W × 4
適合負荷インピーダンス	4Ω（各チャンネル）
電源電圧	DC13.2V（11-16V） アース専用
消費電流	0.5W × 4 出力時 … 約 3.5A 最大 … 約 15A
外形寸法	横幅 235.5mm・高さ 134mm・奥行 177mm
質量（重量）	約 3.0kg
動作温度範囲	-20 ～ +65（℃）
保存温度範囲	-40 ～ +85（℃）

■周辺モニター（オプション）

【共通仕様】

撮像素子	1/4 インチ　カラー CMOS	ホワイトバランス方式	自動
有効画素数	約 31 万画素数	自動感度調整範囲	1：1600 以上
水平解像度	300TV（中心）以上	使用温度範囲	-30 ℃ ～ +70 ℃
TV 方式	NTSC	保存温度範囲	-40 ℃ ～ +85 ℃
標準映像出力レベル	1Vp-p （75Ω）		

【その他の仕様】

		バックガイドモニター	マルチビュー バックガイドモニター
カメラ	焦点距離	f = 1.41mm	f = 0.82mm
	F 値	1：2.4	
	画角（水平、垂直）	135°、105°	190°、155°
最低被写体照度		0.7lux（25IRE）	
電源電圧		DC5.7V ～ 8.4V	
消費電流（最大）		100mA	150mA
外形寸法カメラユニット（W×H×D）		約 23mm × 20mm × 24mm	
質量（重量）		約 25g （ケーブル除く）	

1. 50 音さくいん

あ

アラーム通知 543
暗証番号 ..... 251、586
安全・快適走行の設定をする 161

い

インターネット接続サービス 445

う

迂回 ..... 133、137

え

エコ機能 166
　エコ運転アドバイスの設定 169
　エコ情報の表示 168
　エネルギーモニターの表示 170
　ルート案内時の燃費設定 167
　燃費の計算 166
　ESPO 画面の表示 171
エージェント 568
　エージェント画面の使い方 572
　エージェントを開始する 569
　エージェントを終了する 575
　音声ガイドを省略する 574
　音声操作を再開する 574
　音声操作を中断する 574
　最初に戻る 574
　ヘルプ機能を使用する 574

お

オーディオソース選択画面 220
　スイッチの配置を変更する 221
オーディオ & ビジュアル 211
オーディオスイッチ 218
お車を手放すとき 458
音の設定をする 221
　音量バランス（POSITION）の調整 224
　バーチャルシアターの設定 228
　パラメトリックイコライザの設定 (P.EQ) 221
　ASL の設定 227
　E-VOLUTION の設定 226
　HARMONIZER の設定 226
　LOUDNESS の設定 227
　SFC（音場）の設定 224
オペレーターサービス 561
　オペレーターサービスを使う 562
　手動で情報を取得する 563
音声操作システム 359
音声認識スイッチ 361
音声認識用マイク 361
音声操作の使用例 365
　色々な方法で目的地を設定する 366
　サウンドライブラリの楽曲を検索する 372
　自宅を目的地に設定する 365
　使用例の見方 365
　その他の方法で検索する 368
　電話をかける 374
　メモリ地点を使う 373
　My リクエストを使う 371
音声について 458
音声認識コマンド一覧 376
音量調整 ..... 41、218
オンライン詳細設定 582
　単語編集 35
　定型文修正 36
　入力履歴削除 36
　予測変換候補表示設定 36
　T-Connect 契約解除 515
　T-Connect Viewer 自動読上げ設定 522

か

画面の調整・設定を変更する 49
画質調整画面を表示する 49
画面を消す 51
ディスプレイの角度調整 49
昼画表示・夜画表示の切り替え..... 50
ライト点灯時に昼画表示にする..... 51
画面モード 229
簡易画面について 477

き

緊急警報放送 (EWS) 293
緊急通報 531

け

現在地の修正 146
現在地スイッチ..... 14
検索した地図を操作する 104
施設の内容を表示する 104
住所で絞り込む.....105
地図の位置を変更する 104
提携駐車場を検索する 105
ピンポイント検索.....104

こ

高速道路・
都市高速道路の表示 88
高速分岐案内の表示 90
ハイウェイモード..... 88
交通情報 233
交通ナビ関連情報.....384
個人情報初期化.....52、54

し

自車位置マークがずれているとき 146
距離を補正する 146
現在地を修正する 146
自宅を目的地に設定する.....108
車両警告灯 46
使用できるメディアについて 214
情報画面.....382
情報画面を表示する.....382
スイッチの配置を変更する 383
ショートカット+コントロール画面 24
ショートカット+
コントロール画面の表示.....24
ショートカットスイッチの登録 25
初期設定をする 40
音声案内の音量を設定する 41
自宅を登録する 40
車両情報の設定をする.....41

す

スタートアップ画像の設定.....56
ステアリングスイッチで操作する
(オーディオ) 341
ステアリングスイッチで操作する
(ハンズフリー) 494
スマートフォンナビ連携.....203
スマートフォンナビ連携を
利用する 208
スマートフォンの接続を切る 207
スマートフォンを接続する 205
スマートフォンを登録する 205
スマートフォン機器の登録を
削除する 210
スマートフォン機器詳細情報を
表示する 209
使用するスマートフォンを
選択する 208
Bluetooth 接続の再接続について ...207
スライドタッチ操作 21
スライド操作 21

ピンチ操作 22
フリック操作 21

せ

セキュリティ 31
作動インジケータを点滅させる 32
セキュリティのロックを解除する 32
セキュリティを作動させる 31
セキュリティを停止する 32
設定・編集 (運転支援) ..... 161、411
設定・編集 (オーディオ) ..... 262、274、328
設定・編集 (オンライン) 582
設定・編集 (共通設定) 52
設定・編集 (電話) 478
設定・編集 (ナビ) 148
設定・編集 (メンテナンス) 42
設定・編集 (Bluetooth) ..... 335、489
設定・編集 (ETC) 439

そ

走行軌跡 87
ソフトウェア更新 385
ソフトウェア更新設定を変更する 389
本機の通信機能（DCM）を使って更新する 387
CD-R または Audio SD を使って更新する 386

ち

地上デジタルテレビ 283
緊急警報放送（EWS） 293
初回起動時の設定 287
全画面表示 289
プリセットスイッチ 289
EPG（電子番組表） 291
TV 局リスト切り替え 289
miniB-CAS カードについて 283
miniB-CAS カードの出し入れ 284
地上デジタルテレビ（各種切替） 301
映像切り替え 301
音声切り替え 301
画質調整 301
字幕切り替え 301
主／副切り替え 301
文字スーパー切り替え 301
画面モード切り替え 301
地上デジタルテレビ（TV メニュー） 294
地デジ・ワンセグ受信設定 294
データ放送操作 297
プリセットモード設定 294
放送局サーチ 294
ホームプリセット設定 299
メールインフォメーション 294
IC カード情報 294
地図画面を操作してみましょう 67
地図に現在の車の位置を表示する 67
地図を動かす 67
地図を拡大／縮小する 68
地図更新 181
地図について 180
地図記号・表示 76
地図データ 180
地図データの更新 181
地図データベースについて 181
地図のスケール表示 76
データベースの情報を見る 180
地図の表示 72
画面を左右 2 分割して表示する（地図 2 画面） 81
画面を左右 2 分割して表示する（地図／オーディオ） 82
画面を左右 2 分割して表示する（地図／車両情報） 82
現在地を表示する 72
市街図を表示する 79
施設の内容を表示する 80
スイッチの表示／非表示 73
地図縮尺を切り替える 75
地図の向きを切り替える 78

地図を動かす 74
地図をカスタマイズする 80
地図表示画面を設定する 83
施設マークを表示する 83
走行した経路を表示する（走行軌跡）..... 87
近くの施設を検索する 83
立体ランドマークの施設情報を表示する 84
DSSS（Driving Safety Support Systems）運転支援機能を使用する 85
ITS スポット (DSRC) で受けられる割込情報について 188
地図を呼び出す 91
施設で地図を検索する 100
ジャンルで地図を検索する 101
住所で地図を検索する 99
地図を検索する 91
電話番号で地図を検索する 100
マップコードで地図を検索する 102
名称で地図を検索する 96
履歴で地図を検索する 103
地図 SD の出し入れ 18
地図 SD を入れる 18
地図 SD を取り出す 19
着信中画面の操作 473
着信を拒否する 473
電話を保留する（応答保留）..... 473

つ

通話中の操作 474
受話音量を調整する 474
送話音をミュート（消音）する 474
通話を転送する 475
割込通話を操作する 475
10 キー入力する 476
通信モジュール（DCM）..... 504

て

ディスクの出し入れ 235
ディスプレイと操作スイッチの操作 14
電子番組表 (EPG) 291
電話帳を編集する 480
携帯電話の電話帳データを転送する 481
電話帳に新規データを追加する 483
電話帳について 480
電話帳のデータを削除する 485
電話帳のデータを修正する 484
電話帳を編集する 480
履歴のデータを削除する 486
ワンタッチダイヤルを削除する 486
ワンタッチダイヤルを登録する 485
電話を受ける 467
電話をかける 466
音声認識で発信する 471
携帯電話本体から発信する 472
電話帳から発信する 469
ナビ画面から発信する 471
履歴から発信する 470
ワンタッチで発信する 470
電話を切る 467

と

到着予想時刻 121
取り出しスイッチ 235

な

ナビゲーション画面の見方について 65
ナビの詳細を設定する 148
案内表示設定をする 153
音声設定をする 158
自動表示切替設定をする 157
その他の設定をする 159
地図表示設定をする 149
ルート系設定をする 154

ナビの精度 178

に

2 画面表示 81

は

バックガイドモニター 392
ガイド画面の出し方 393
ガイド方法の選び方 394
縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード） 401
縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード） 409
バックガイドモニターについての注意点 412
バックガイドモニターの設定 411
並列駐車のしかた（進路表示モード） 396
並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード） 399
ハンズフリーについて 456
ハンズフリーが使用できないとき 457
Bluetooth 携帯電話について 457
ハンズフリーの準備をする 462
携帯電話を接続する 462
携帯電話を登録する 462
ハンズフリーの設定をする 462
Bluetooth 接続の再接続について 465
ハンズフリーの詳細設定を変更する 488

ふ

ブラインドコーナーモニター 426
画面の出し方 427
ブラインドコーナーモニターについての注意点 428
プライバシー設定 584
設定・編集画面を表示する 584
プライバシー設定を変更する 584
フルブラウザ 448

へ

ヘルプネット 525
緊急通報 531
緊急通報できない場合 539
サービス開始操作 530
保守点検 534
利用登録の更新 538

ほ

ポータブルオーディオ 329
本機の設定を変更する 52
オープンソフトウェア情報 52
個人情報初期化 52
ショートカット登録・編集 52
スタートアップ画像 52
スライドタッチ操作 52
セキュリティ設定 52
操作画面継続表示 52
ソフトウェア更新設定 52
テーマカラー切替 52
BEEP 音通知 52

ま

マップオンデマンド（地図差分更新） 548
地図を更新する 555
G-Station（au Wi-Fi®）で更新する 556
マップコード 102
マルチビューバックガイドモニター 419
カメラの視点切替方法 420
マルチビューバックガイドモニターについての注意点 422

め

メニュー画面の操作 23
メモリ地点を登録する 134
迂回メモリを登録する 137
グループで絞り込む 141
自宅を登録する 135

地図画面から登録する 134
地点の登録について 134
特別メモリを修正する 136
特別メモリを消去する 136
特別メモリを登録する 135
メモリ地点の情報を修正する 139
メモリ地点を修正する 137
メモリ地点を消去する 137
メモリ地点を登録する 136
メモリ地点を取り込み・取り出しする 143
パスワードの設定 143
メモリ地点の取り込み 145
メモリ地点の取り出し 144
メンテナンス時期を案内する 42
自動通知（メンテナンス案内）の設定 43
販売店の設定をする 45
メンテナンスの項目を設定する 42

も

目的地案内中の現在地画面の見方について 71
目的地案内の開始 114
目的地案内を中止する 114
目的地への案内 115
音声案内について 115
交差点案内 117
到着予想時刻について 121
目的地案内を開始する 114
目的地までの案内 107
目的地を設定してルートを探索する 107
自宅を目的地に設定する 108
目的地の設定 107
ルート探索 108
ルート探索後の全ルート図表示 109
文字情報の表示 217
文字入力の設定を変更する 35
文字を入力する 33

ら

ラジオを操作する 230
エリアプリセット 230
交通情報を受信する 233
周波数切り替え 230
周波数の記憶 230
プリセットスイッチ 230
AUTO.P 230

り

リスト画面.....37
　複数の候補から項目を選ぶ.....37
　文字の表示範囲を変更する.....39
利用手続き.....511
　お車を手放す際にすること.....516
　解約手続き.....515
　利用開始操作をする.....512
　利用契約の継続方法を変更する.....514
履歴発信.....470

る

ルート案内中の操作.....122
　全ルート図を表示する.....122
　到着予想時刻・
　　残距離表示を切り替える.....122
ルート案内をさせてみましょう.....69
　目的地を決める.....69
　目的地を消去する.....70
　ルート案内を中止する.....70
ルートを再探索する.....124
　ルートの再探索方法を選ぶ.....124
　ルートを自動で再探索する.....124
ルートを変更する.....127
　探索条件を変更する.....128
　通過する道路を設定する.....131
　出入口 IC（インターチェンジ）を
　　指定する.....131
　目的地の順番を並び替える.....129
　目的地を消去する.....129
　目的地を追加する.....128
　ルート変更画面を表示する.....127

ろ

録音する.....263



2. アルファベットさくいん

A

AAC について 349
AM ラジオ 230
ASL 221
AUDIO スイッチ 218
Audio SD について 256
Audio SD に録音する 260
データベースについて 260
録音する 263
録音についての注意 262
録音の設定を変更する 262
録音を中止する 264
Audio SD の操作（音楽ファイル）....265
一時停止／再生 265
動画ファイル再生 265
早送り／早戻し 265
ファイル／トラック切り替え 265
ファイル／トラックリスト表示 265
フォルダ／アルバム切り替え 265
フォルダ／アルバムリスト表示 265
MP3/WMA/AAC の再生について 268
RAND（ランダム）再生 265
RPT（リピート）再生 265
Audio SD の操作（動画ファイル）....269
一時停止／再生 269
音楽ファイル再生 269
各種切替画面 273
画質調整 273
画面モード切り替え 273
字幕切り替え 273
全画面表示 269
停止 269
二重音声切り替え 273
早送り／早戻し 269
ファイル／番組切り替え 269
ファイル／番組リスト表示 269
詳細表示／番組情報表示 269
Audio SD の操作（録音データ編集）....274
アルバムを削除する 280
アルバム情報を編集する 277
お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成する 274
サウンドライブラリ編集メニュー画面について 274
トラックを削除する 280
マイベストを編集する 275
Audio SD の空き容量を確認する（詳細情報の表示）....281
Audio SD の出し入れ 258
Audio SD を入れる 258
Audio SD を取り出す 258
Audio SD を初期化する 282

B

B-CAS カード 283
Bluetooth オーディオの操作 329
Bluetooth オーディオについて 329
各種表示について 329
Bluetooth 機器使用上の注意事項について 330
Bluetooth オーディオ再生中の操作 332
一時停止／再生 332
早送り／早戻し 332
トラック切り替え 332
トラックリスト表示 332
アルバム切り替え 332
アルバムリスト表示 332
Bluetooth 接続 332
RAND（ランダム）再生 332
RPT（リピート）再生 332
Bluetooth オーディオを設定する 335
使用するポータブル機を選択する 337
ポータブル機の詳細情報を表示する 338
ポータブル機の接続を切る 340

ポータブル機を接続する 335
ポータブル機の登録を削除する 340
本機の Bluetooth 設定を変更する 339
Bluetooth 機器を初期登録する 47

C

CD タイトル情報再取得 279

D

DSSS（Driving Safety Support Systems）..... 85
DVD について 251
再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について 251
ディスクに表示されているマークについて 252
ディスクの構成について 253
DVD プレーヤーの用語について 254
DVD プレーヤーの操作（映像）..... 241
一時停止／再生 241
各種切替画面表示 241
全画面表示 241
チャプター切り替え 241
早送り／早戻し 241
停止／再生 241
トップメニュー／メニュー表示 241
プログラム／プレイリスト切り替え 241
DVD プレーヤーの操作（音楽）..... 237
一時停止／再生 237
早送り／早戻し 237
ファイル／トラック切り替え 237
ファイル／トラックリスト表示 237
フォルダ切り替え 237
フォルダリスト表示 237
録音開始スイッチ 237
MP3/WMA/AAC の再生について 240
RAND（ランダム）再生 237
RPT（リピート）再生 237
DVD プレーヤーの操作（DVD 各種切替）..... 244
アングル切り替え 244
音声切り替え 244
音声モード切り替え 244
画質調整 244
画面モード切り替え 244
再生モード切り替え 244
字幕切り替え 244
ページ送り 244
リターン 244
DVD タイトルサーチ 244
DVD プレーヤーの操作（DVD 初期設定）..... 248
映像出力切り替え 248
オートスタート設定 248
音声ダイナミックレンジ設定 248
言語コード一覧 250
視聴制限レベル設定 248
マルチアングルマーク表示設定 248
優先音声言語設定 248
優先字幕言語設定 248
優先ソフトメニュー言語設定 248

E

EPG 291
ETC 画面の操作 438
統一エラーコードの表示 439
履歴表示 439
ETC 画面の表示 438
ETC 登録情報の表示 439
ETC の通知設定 439
ETC マーク表示 438
ETC 割込表示 438
ETC システムについて 434
ETC を利用する前に 434

F

FM ラジオ 230

G

GPS.....173
システムの特性上、避けられないズレ.....173
GPS 情報を利用できないとき.....173

H

HDMI の操作.....307
全画面表示.....307
画質調整.....309
各種切替画面.....309
画面モード切り替え.....309

I

iPod の設定.....328
カバーアート表示.....328
iPod ビデオ音声入力.....328
iPod の操作 (音楽).....321
一時停止／再生.....321
カバーアート拡大表示.....321
選曲リスト表示.....321
早送り／早戻し.....321
ファイル切り替え.....321
ファイルリスト表示.....321
iPod ビデオ再生.....321
RAND（ランダム）再生.....321
RPT（リピート）再生.....321
iPod の操作 (動画).....324
各種切替画面表示.....327
画質調整.....327
画面モード切り替え.....327
全画面表示.....324
早送り／早戻し.....324
ビデオリスト表示.....324
フォルダリスト表示.....324
iPod ミュージック再生.....324
ITS スポットサービス（DSRC）.....444
インターネット接続サービスについて.....445
ご利用の前に.....444
フルブラウザ.....448
ITS スポット画面の操作.....444
ITS スポットサービス（DSRC）で提供されるサービス内容について.....444

M

MP3 について.....349

Q

QUICK SETUP（初期設定サポート）.....27

S

SD Photo の操作.....343
全画面表示.....344
回転表示.....344
詳細表示.....344
スライドショー.....343

T

T-Connect.....502
エージェント.....568
オペレーターサービス.....561
オンライン詳細設定.....582
通信設定.....588
プライバシー設定.....584
ヘルプネット.....525
マイカー Security.....541
マップオンデマンド.....548
リモートメンテナンスサービス.....547
利用手続き.....511
CD タイトル情報取得.....581
G メモリ.....519
T ルート探索（プローブ情報付）.....559
T-Connect Apps.....576
T-Connect トップ画面.....517
T-Connect について.....508
T-Connect Viewer.....520

WEB 検索 567
Wi-Fi® 設定 592

U

USB メモリについて 310
USB メモリの操作（音楽）..... 312
一時停止／再生 312
動画ファイル再生 312
早送り／早戻し 312
ファイル／トラック切り替え 312
ファイル／トラックリスト表示 312
フォルダ／アルバム切り替え 312
フォルダ／アルバムリスト表示 312
MP3/WMA/AAC の再生について 314
RAND（ランダム）再生 312
RPT（リピート）再生 312
USB メモリの操作（動画）..... 315
一時停止／再生 315
音楽ファイル再生 315
各種切替画面 318
画質調整 318
画面モード切り替え 318
全画面表示 315
停止 315
早送り／早戻し 315
ファイル切り替え 315
ファイルリスト表示 315

V

VICS・交通情報の表示 183
タイムスタンプ 184
VICS 記号の内容を表示する 185
VICS・交通情報について 183
VICS・交通情報の表示設定 185
VICS・交通情報を活用する 187
渋滞・規制音声案内 187
新旧ルートを比較して表示する 192
割込情報（ビーコン即時案内）を表示する 188
割込情報の表示設定を変更する 191
VICS 図形情報・文字情報を表示する 187
VICS について 195
知っておいていただきたいこと 196
道路管理者からのお知らせとお願い 199
VICS 過去データ 197
VICS 記号・表示 202
VICS センター著作権 197
VICS の用語 197
VICS・ITS スポット・DSSS の問い合わせ先 198
VICS 放送局を選択する 194
自動で放送局を選択する 194
手動で放送局を選択する 194
VICS/ITS スポット設定 ..... 191、194
VTR の操作 304
全画面表示 304
各種切替画面表示 306
画質調整 306
画面モード切り替え 306

W

WEB 検索 567
WEB 検索で目的地を設定する 567
Wi-Fi® 設定 592
簡単設定から Wi-Fi® 接続する 594
自動で優先ネットワークへ接続する 596
優先ネットワークを変更／削除する 596
利用できるネットワークから Wi-Fi® 接続する 593
Wi-Fi® の接続確認を表示する 596
Wi-Fi® を ON ／ OFF する 593
WMA について 349

SDナビゲーション　取付け記録簿

取付け販売店名および取付け店名	
取付け日	
取付け時走行キロ	
備考 （修理メモ・保証継承情報等）	

保証期間を判定する記録簿です。必ず記載し大切に保管してください。

トヨタ自動車株式会社
富士通テン株式会社